

Title	日本語学習過程におけるm-learningの現状、受容と利用プロセスについて
Author(s)	張, 文超
Citation	大阪大学, 2019, 博士論文
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/72216
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

2018 年度博士学位申請論文

日本語学習過程における m-learning の
現状、受容と利用プロセスについて

大阪大学大学院言語文化研究科

言語文化専攻

張文超

目次

第1章 序論	1
第2章 研究背景.....	3
2.1 学習観の変化.....	3
2.2 学習者への視点の転換.....	5
2.3 中国における日本語教育の現状と課題.....	6
2.4 中国におけるインターネットの事情.....	8
第3章 本研究のスタンス	11
3.1 学習科学.....	11
3.2 教室外のインフォーマルな日本語学習.....	12
3.3 学習リソース.....	15
3.4 m-learning.....	17
3.4.1 m-learning について.....	17
3.4.2 m-learning における学習者についての研究の重要性	21
3.5 構成構造主義と混合研究法.....	22
第4章 先行研究.....	25
4.1 教室外の日本語学習における ICT の利用.....	25
4.2 技術受容の理論的基礎.....	28
4.3 M-GTA について.....	37
4.4 本研究の位置付けと目的.....	40
第5章 本研究の構成.....	41
第6章 調査① 現状について.....	43
6.1 はじめに.....	43

6.2 調査の概要.....	43
6.2.1 調査の準備.....	43
6.2.2 調査の実施.....	44
6.2.3 回答者の属性.....	44
6.3 結果と考察.....	46
6.3.1 m-learning のハードウェア	46
6.3.2 m-learning の行動	48
6.3.3 m-learning の利用目的.....	50
6.3.4 m-learning の利用時間.....	52
6.3.5 m-learning の周囲からの推薦	54
6.3.6 m-learning のリソースの数量とクォリティー.....	57
6.3.7 m-learning のリソースの形式	59
6.3.8 m-learning の特徴	61
6.3.9 m-learning の利用を制限する要素.....	63
6.3.10 m-learning のニーズ.....	65
6.3.11 m-learning に対する態度.....	67
6.4 まとめ	71
第7章 調査② 受容について.....	75
7.1 はじめに	75
7.2 技術受容の理論的基礎の応用.....	75
7.3 研究方法	77
7.3.1 変数と仮説.....	77
7.3.2 調査法と統計方法	80
7.4 調査の結果.....	81
7.4.1 アンケートの信頼性	81
7.4.2 統計の結果.....	81
7.5 考察.....	84

第8章 調査③ 利用プロセスについて.....	87
8.1 はじめに.....	87
8.2 日本語学習者の学習アプリの利用状況.....	87
8.3 研究方法.....	100
8.3.1 調査の概要.....	100
8.3.2 データの整理と分析方法.....	102
8.4 調査の結果.....	104
8.4.1 利用前.....	104
8.4.1.1 以前の利用経験.....	104
8.4.1.2 知るきっかけ.....	110
8.4.1.3 利用する原因.....	116
8.4.1.4 利用する前の期待.....	125
8.4.2 利用中.....	128
8.4.2.1 利用の期間.....	128
8.4.2.2 利用の頻度.....	133
8.4.2.3 具体的な時間帯.....	136
8.4.2.4 利用の仕方.....	137
8.4.2.5 利用しなくなる原因.....	141
8.4.3 利用後.....	143
8.4.3.1 期待の達成.....	143
8.4.3.2 アプリの良し悪しについての評価.....	148
8.4.3.3 アンインストール.....	157
8.4.3.4 他人への推薦.....	161
8.4.3.5 後の利用.....	166
8.4.4 学習者の認識と環境.....	173
8.4.5 アプリの利用のストーリーライン.....	186
8.5 まとめ.....	189

第9章 結論.....	193
9.1 結論.....	193
9.2 今後の課題.....	195
参考文献.....	196
謝辞.....	202
付録1 アンケート（中国語）.....	203
付録2 アンケート（日本語訳）.....	211
付録3 中国語の記述.....	219
付録4 同意書（中国語）.....	220
付録5 同意書（日本語訳）.....	221
付録6 インタビューガイドライン（中国語）.....	222
付録7 分析ワークシート.....	223
付録8 文字データ.....	294

第1章 序論

本論文は、教室外における日本語学習者の m-learning について学習者の視点から研究を行うものである。本文に入る前に、筆者がこの研究テーマに辿り着いた経緯について述べたい。修士課程の間、筆者は教科書とコーパスについての研究をしていた。簡易な中国人向け日本語教科書コーパスを作成し、その中の日中同形語にフォーカスし、教科書における扱い方を研究した。その結果、中国人向けの日本語教科書で提示されている日中同形語は、量が多い反面、解釈と例文が不十分で、学習者の中国語からの負の転移が増長する恐れがあると分かった。そのため、博士課程では日中同形語の e-learning のシステムを構築して、中国人向けの日本語教科書における情報提示不足の問題を改善したいと計画していた。しかし、先行研究を読み進めるうちに、e-learning と称している研究が学習者の「学習 (learning)」に注目せず、どのように通信情報技術を利用して「教育 (education)」することにもっばら関心を寄せていることに気づいた。多くの e-learning の研究はむしろ e-education と称すべきではないかと筆者は考える。筆者も博士課程で最初に研究を計画する際に、e-education に関心を持っていたが、研究が進むにつれて、学習者がどのように通信情報技術を利用しているかに関心を持つようになった。そのため、e-education の研究をするより、先に学習者の本質的な e-learning の学びの実態、特に教室外というインフォーマルな学習環境で学習者がどのように情報通信技術を利用して学習しているかを研究する必要があるのではないかと自覚した。また、最近、スマートフォンが若者の間で普及し、e-learning はスマートフォンで行われる m-learning へと変化しつつあるという背景を考慮し、この研究テーマに辿り着いた。本研究では、中国人日本語学習者を対象として、教室外の m-learning の現状、受容、利用プロセスを調査することを通して、学習者はどのようなプロセスで日本語の m-learning を行うか (学習アプリの利用に限定する)、その過程でどのような要素がかかわるかなどなど学びの実態を探究する。

次に、本論文の構成について述べる。本論文は九つの章から構成される。第1章は序論で、第2章から第9章までが本論文の主な内容である。以下、第2章から第9章までの構成について述べる。

第2章では、いままでの学習観の変化、学習者への視点の転換、中国における日本語教育の現状と課題と中国におけるインターネットの事情など本研究の研究背景について整理する。

第3章では、本研究をどのような視点で、どのような研究スタンスで進められてきたかについて述べる。その中で、「学習科学」、「教室外のインフォーマルな日本語学習」、「m-learning」、「学習リソース」、「構成構造主義と混合研究法」の五つの節に分けて説明する。

第4章で、先行研究のレビューを行う。4.1は教室外の日本語学習における情報通信技術の利用に関する研究のレビューで、4.2は本研究の調査②で参考になった技術受容の理論の概観で、4.3は本研究の調査③で利用するM-GTAという研究方法の概説とそれを利用した研究のレビューである。また、4.4節では本研究の位置づけと目的について論じる。

第5章では、本研究はどのような調査で構成されるか、各調査ではどのような調査法でデータを収集し、どのような分析法で考察するかについて述べる。

第6章、第7章、第8章はそれぞれ本研究の調査①、調査②、調査③の報告と考察である。また、最終章の第9章では、本研究で得た結果と知見を全体的に考察し、今後の課題を述べる。

最後に、本論文を読むにあたり、情報通信技術をどのように教育で活用するかという実利的な視点において、学習科学の視点で学習者の学びの実態を探究するという観点で一読いただければ幸いである。

第2章 研究背景

2.1 学習観の変化

言語学習に影響を与えた学習観を見ると、大きく行動主義的な学習観、認知主義的な学習観と構成主義的な学習観に分けることができる。

学習の行動主義的理解は1900年代初頭におけるアメリカで考え出され、20世紀初めには大きな影響力を持つようになった(デ・コレテ, 2013)。行動主義の心理学においては、学習とは刺激と反応の繰り返しによる習慣形成であると考えられていた。行動主義の心理学では、学習の基本的な単位は条件づけによって形成される刺激と反応の連合に他ならず、人間が行う高度な学習も、分析すれば、刺激と反応の連合という要素に還元できると考えられたからである(海保・柏崎, 2002)。その条件づけには「古典的な条件づけ」と「オペラント条件づけ」の二つのタイプがある。いずれも、外界の刺激が強調され、知識はドリルなどを通して反復によって身につくとされている。市川(2013)は、行動主義的学習観では、学習のために必要なのは、賞罰と試行反復であるとされ、人間の場合には、賞罰は賞賛・叱責のような社会的なものもあるし、結果の正誤情報でもよいと述べた。

行動主義の時代は、学習者が持っている内的要因が軽視される一方、刺激としてのインプットが重視される時代で、いかに教えるかといった教授要因や環境要因など外的要因が重視され、言語習得に及ぼす影響が大きいと考えられていた(坂本ほか, 2008)。つまり、行動主義的な学習観では、学習の主体は教師であり、学習者は受動的な存在であると考えられていた。ところが、1950年代後半に、チョムスキーが登場し、「刺激の貧困性(poverty of stimulus)」という考え方を打ち出し、学習は刺激によって進むとする行動主義的な言語習得観を痛烈に批判した(坂本ほか, 2008)。また、1970年代後半に心理学において「認知革命」が起こり(Gardner, 1985; 森田, 2017)、その結果、行動主義から認知主義への移行がもたらされた。認知主義心理学では、人間を一種の情報処理体、いわば精巧なコンピュータとみなし、人間の認知過程を情報処理モデルによって記述する。これを背景とする学習観では、学習者は情報を吸収し、記憶の中に知識を蓄積し認知的に操作する情報処理者であり、教師はその支援者とみなされる。

しかしながら、学習は学校における教科学習によるものだけでなく、学習者は社会の一員として、様々な活動に参加し、社会と関わりながら学習している。1980年頃の構成主義の台頭とともに、学習における社会や文化の働きを重視する構成主義的な学習観が一般的に

なった。久保田（1995）は構成主義において、学習は以下の三つの視点から捉られていると述べている。

1. 学習とは学習者自身が知識を構築していく過程である。
2. 知識は状況に依存している
3. 学習は共同体の中での相互作用を通じて行われる。

つまり、構成主義的な学習観では、学習の社会的側面と学習者の主体的な関わりを強調し、学習者がどのように主体的に意欲を持って学習活動に関わっていくかというところに焦点が当てられる。

以上から分かるように、20 世紀に学習観は、行動主義から認知主義、さらに構成主義へ変化してきた。学習という概念も行動主義的な学習観と認知主義的な学習観における学習者の個人の中に閉ざされた学習から、構成主義的な学習観における社会に開かれる学習へと広がった。また、学習における学習者の主体性も強調されるようになってきた。近年、学習者の多様化が進んでおり、情報通信技術などテクノロジーが急速に進化し、学習者を取り巻く環境もますます複雑なものとなっている。教室や学校などフォーマルな場所は学習者が知識やスキルを得る唯一の場所ではなくなり、情報通信技術のおかげで教室外のインフォーマルな場所でも幅広い学習リソースを入手し、学習できるようになった。特に、スマートフォンなどモバイル型のデバイスが出回るようになってから、いつでもどこでも学習できることが実現された。スマートフォンによる m-learning はどの学習観と関わるかについては、まだ議論されていなかったが、筆者は以下のように考える。

m-learning においては、学習者の主体性が求められるため、構成主義的な学習観との関わりが深いと考えられる。特に、インフォーマルな学習環境においては、m-learning の学習はその場とその状況に依存する。例えば、学習者は教室外で知らないことに直面して、スマートフォンで検索する状況を想定した場合、この際に知識が依存しているのは教室外という場で、未知のことに直面する状況である。学習者が自らスマートフォンで情報を検索することは自分の知識を更新し、構築していく過程の始まりと言える。また、インターネットを通して、バーチャルな共同体とつながる。本研究で言う m-learning の学習は必ず教師の教えのもので行われる学習ではなく、以上のようなインフォーマルな場で、スマートフォンを通して、情報検索や何かの学習リソースに触れることも学習の一部と考える。

2.2 学習者への視点の転換

教育は、「教育する側」すなわち、教師や親に代表される個人や、学校や国家に代表される特定の機関と、「教育される側」すなわち、未成熟な子どもたちや青年に代表される被教育者との関係において成立する（吉川ほか,2010）。つまり、教育は教育者（教える側）と学習者（教えられる側）がともに存在して、はじめて成立する活動である。教育においては、教育者は意図的計画的に学習者に対して働きかけることで、望ましい姿に変化させ能力を伸ばそうとする。この活動において、教育者は主導権を握り、主体となる。しかし、学習することは「経験によって知識を増やすこと」（バウアー & ヒルガード,1988,p.2）であり、主体は学習者である。そのため、教育者がいるいないに関わらず、学習者は学習することができる。第二言語習得（second-language acquisition、SLA）において、教師が言語を教えること（教育）はもちろん重要だが、学習者が学ぶこと（学習）も言語習得に大きな役割を果たしている。しかし、SLAの研究分野では、従来教師が言語を教えることに関心が集まり、学習者の役割は探究されなかった（Benson & Nunan,2005）。1980年代に学習者オートノミー¹に関する概念が台頭し、焦点は教育者側から学習者側に転換した（Nunan & Richards,2015）。

SLAにおける学習者への視点の転換について、ネウストプニー・宮崎（1999）は以下のように述べている。

近代の言語教育は、「教育」であることに誇りを持ち、「教育」であるべきことを疑わなかった。言語教育は、教師が計画し、実践に移す過程であり、学習者はこのプロセスでは恩恵を受ける側に止まり、基本的には教育の受身の「対象」に過ぎなかった。現在も「教育は」社会を変えるものだという簡単すぎる社会観が存在する。これによると、新しい言語を習得することも「教育」によってしかできない。[中略]しかし、1970年代からこのような考え方は次第に変わり始めた。学習者が成長するのは本当に教育のためであろうかという疑問が現れ、学習者自身がはるかに積極的な役割を果たしているし、果たすべきであるという考え方が顕著になったのである。²

¹ 青木・田中（2011）によると、学習オートノミーとは、自分の学習に関する意思決定を自分で行うための能力である。自分の学習について自分で意思決定を行なえるということは、学習の目的、目標、内容、順序、リソースとその利用法、ペース、場所、評価方法を自分で選べるということである。

² ネウストプニー・宮崎（1999）： p.3

日本語教育においても、学習者数の増加や学習目的の多様化などを背景として、教育側から学習側に関心が集まり、学習者の学習ストラテジーやオートノミーの研究が増えてきた。本研究は、日本語学習者にフォーカスし、教室外のインフォーマルな場合の m-learning の現状、受容と利用プロセスを研究する。

2.3 中国における日本語教育の現状と課題

田中（2015）は、1949年からの中国における日本語教育の60年の歴史を概観し、以下の四つの時代に分けた。各時期の日本語教育の特徴について田中（2015）に基づいて、説明する。

1. 「黎明期・揺籃期」（1949-1969）（黎明期：1949-1963・揺籃期：1964-1969）
2. 「復興期・確立期」（1970-1989）（復興期：1970-1977・確立期：1978-1989）
3. 「成長期・成熟期」（1990-2010）（成長期：1990-1999・成熟期：2000-2010）
4. 「転換期」（2011-）

「黎明期・揺籃期」に、中国はまだ日本と正式な国交はなかったものの、戦後処理や国外情報の受信、国内情報の発信、将来的な諸外国との交流を見越した外国語人材の育成などを目的に日本語教育が行われた。「復興期・確立期」に、1972年に中国と日本の国交が回復された後、中国で「第一次日本語ブーム」が起きた。その後、約10年が経過した1980年前後に、「第二次日本語ブーム」が起き、1990年代初頭まで続いた。「第一次日本語ブーム」ではラジオの日本語講座が始まり、「第二次日本語ブーム」ではテレビ日本語講座が開始されたという。また、この時代には、日本語で書かれた資料などを「読む」ことが重視された教育から、「聞く」「話す」も意識された教育へと変化した。

「成長期・成熟期」に入ると、中国における日本語教育の規模はさらに大きくなり、多様化した学習者の「ニーズ」への対応や「複合型」日本語人材の育成などが課題となった。また、この時代に、学習内容や手法について、学習者の視点からも考えるべきであるという主張がなされた。2011年以降の「転換期」になると、実利主義的な学習目的ではなく、アニメやマンガなど日本のポップカルチャーをきっかけに日本語学習を始める学習者が増えた。この時代に、学習者の学習の目的が多様化し、中国における日本語教育の内容とその方法に「転換」の機が訪れ、教育の内容や教授法、教科書の改革が急務とされるようになった。

以上から分かるように、中国における日本語教育は長い歴史があり、中国の発展と日中の関係の回復とともに変化してきた。また、1970、80年代にラジオ講座、テレビ講座など遠隔通信技術をベースとした日本語教育と学習が行われた。さらに、21世紀に入り、日本語学習者数が増加し、それに加えて、日本語学習の目的も多様になり、中国の日本語教育は従来の教育の内容や教授法などを転換しなければならない時期が来た。この転換に備えて、新しい時代で、学習者がどのように日本語を学習しているか、特に教室外で日本語の教師が関わらないときにどのように学習しているかについての実態を明らかにする必要があるだろう。

中国の日本語学習者数は「転換期」に入ってから4年ほど経った2015年に、中国の日本語学習者数は953,283人で³、国別でみると依然として一位である。また、2015年の中国の日本語教師数は18,312人である(図1)。単純に計算すると、教師一人当たりの担当学生数は約52人である。この52人の日本語学習者の学習目的、学習ストラテジー、日本語レベルなどはさまざま、1人の教員がすべての学習者のニーズに対応するのは非常に困難であると予想される。この状況下では、学習者は教室外で自主的に日本語を学習することを強いられている。現在、中国ではインターネットなどの情報通信技術が普及し、多くの日本語学習者がインターネットを通して、日本語に接触している。それに加えて、中国の若者の多くはスマートフォンを利用しているため、中国の日本語学習者はスマートフォンでm-learningを行っていると予想される。本研究では中国の日本語学習者の教師外で行うm-learningに焦点を絞り、その現状、受容と利用のプロセスの三つの面から考察する。

順位	2012年 順位	国・地域	学習者(人)			機関(機関)			教師(人)		
			2015年	2012年	増減率 (%)	2015年	2012年	増減率 (%)	2015年	2012年	増減率 (%)
1	1	中国	953,283	1,046,490	▲ 8.9	2,115	1,800	17.5	18,312	16,752	9.3
2	2	インドネシア	745,125	872,411	▲ 14.6	2,496	2,346	6.4	4,540	4,538	0.0
3	3	韓国	556,237	840,187	▲ 33.8	2,862	3,914	▲ 26.9	14,855	17,817	▲ 16.6
4	4	オーストラリア	357,348	296,672	20.5	1,643	1,401	17.3	2,800	2,685	4.3
5	5	台湾	220,045	233,417	▲ 5.7	851	774	9.9	3,877	3,544	9.4
6	7	タイ	173,817	129,616	34.1	606	465	30.3	1,911	1,387	37.8
7	6	米国	170,998	155,939	9.7	1,462	1,449	0.9	3,894	4,270	▲ 8.8
8	8	ベトナム	64,863	46,762	38.7	219	180	21.7	1,795	1,528	17.5
9	10	フィリピン	50,038	32,418	54.4	209	177	18.1	721	556	29.7
10	9	マレーシア	33,224	33,077	0.4	176	196	▲ 10.2	430	509	▲ 15.5

図1 日本以外の国における日本語学習者数(一部)

³ 国際交流基金(2016)『海外日本語教育の現状 2015年度日本語教育機関調査より』による。

2.4 中国におけるインターネットの事情

CNNIC⁴ (2018) の報告書によると、2018年6月に中国におけるインターネットのユーザー数はおよそ8.02億に達した(図2)。また、インターネットのユーザーの中で、携帯でインターネットに接続するユーザー数は年々増加し、2018年には7.88億に達し、全体のインターネットユーザー数全体の98.3%を占めている(図3)。今後、中国の社会におけるインターネットは、携帯からのアクセスが主流になったと言っても過言ではない。

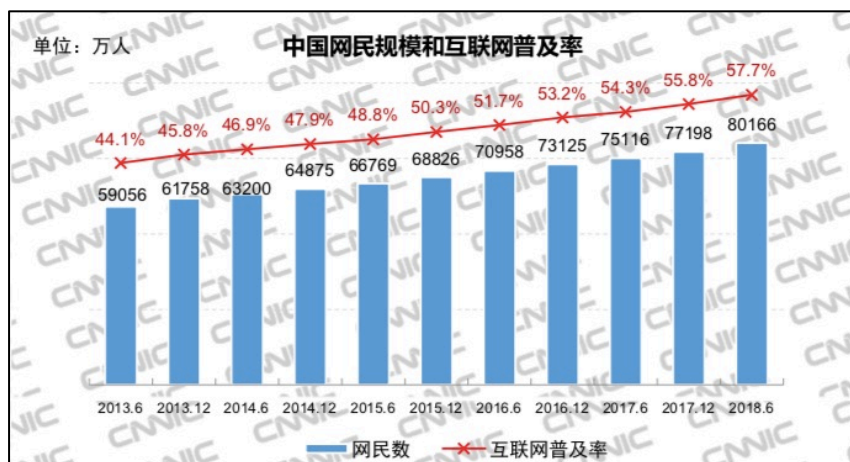


図2 中国のネットユーザーの規模とインターネット普及率 (CNNIC,2018)

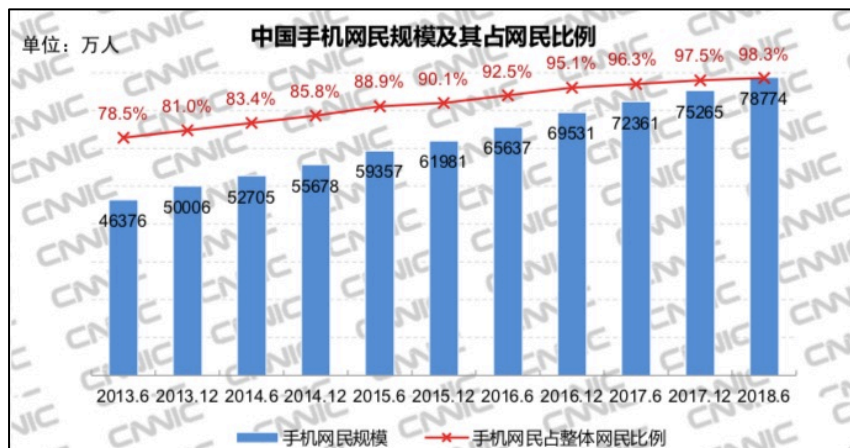


図3 中国の携帯のネットユーザー規模と比率 (CNNIC,2018)

⁴ China Internet Network Information Center の略称である。

以上が中国全体のインターネットの状況である。大学生などの若者の間におけるインターネットの利用について、CNNIC（2016）は、中国の青少年（25歳以下の若者）のネットユーザー数は2011年から毎年増加し、2015年の数は2.87億であると報告している（図4）。また、図5で分かるように、これらの青少年のうち、90%の人は携帯を利用して、インターネットにアクセスする。その比率は2014年より2.4%増加している。それに対して、ノートパソコンからインターネットにアクセスする青少年は39.5%で、2014年より4.5%減少している。このデータは、ノートパソコンを利用するe-learningはスマートフォンなどの携帯端末を利用するm-learningへシフトする裏付けと言える。

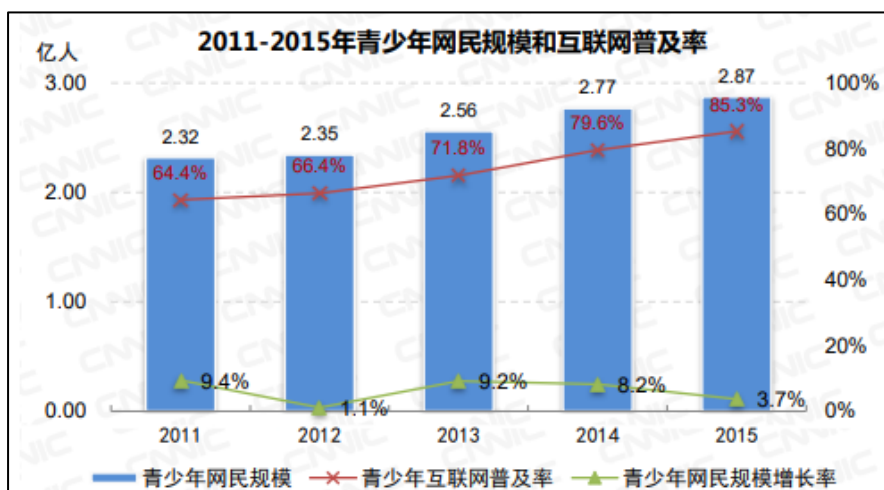


図4 2011-2015年青少年ネットユーザー数とインターネット普及率（CNNIC,2016）

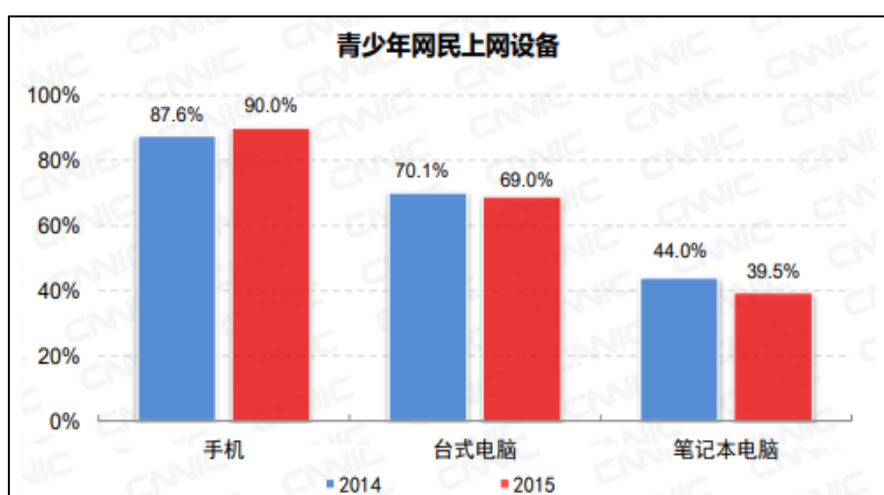


図5 青少年がインターネットにアクセスする設備（CNNIC,2016）

インターネット技術の急速な普及は中国の教育界にも変化をもたらした。中国の教育部は2018年に『教育信息化2.0行动计划⁵』を発表した。同計画書では、「教育信息化2.0行动计划」を以下のように定義した。

教育信息化2.0行动计划是推进“互联网+教育”的具体实施计划。

(教育情報化2.0行動計画は「インターネット+教育」を推し進めるための具体的な実施計画である。)

この計画は今後、中国の社会におけるインターネットと教育の融合の指針を示すものである。その目標の一つは「誰でも学ぶ、どこでも学べる、いつでも学べる学習型社会を築く」⁶ことである。スマートフォンを用いて、いつでもどこでも学べる m-learning はまさにこの目標に合致するものである。今後、中国では m-learning に関する研究や実践が盛んになると予想される。

⁵ 日本語訳：教育情報化2.0行動計画

⁶ 原文：建设人人皆学，处处能学，时时可学的学习型社会。（教育部，2018，p.4）

第3章 本研究のスタンス

3.1 学習科学

本研究の主な研究スタンスである「学習科学」について説明する前に、本研究で「教育」と「学習」をどのように扱うかについて説明したい。

原（2017）は、「教育」というワードの語義について、以下のように説明した。

ヒトに産まれながらには備わっていない能力を見につけさせようとする行為（作用）、またはその結果を言う。ここにいう能力には、技能や知識や思考力など、ヒトの生存に必要な身体的・知的・情操的な諸力が含まれる。これらの能力の獲得を学習と呼ぶとすれば、教育は学習を促し助成する作用として理解される。⁷

この記述からも分かるように、「教育」と「学習」とは関わりがあるものの、それぞれ別物である。「教育」の行動を行う主体は教える人、つまり教育者であるのに対し、「学習」の行動を行う主体は学ぶ人、つまり学習者である。教育は学習を促し助成する作用である。「一般に『教育は学習を援助し、指導していく作用である』と観念されるとき、学習そのものは、教育に先行する所与の事実として前提にされている」（宮寺,2017,p.78）。

「教育」と「学習」の両者について、本研究は「学習」に焦点を当て、中国人日本語学習者の教室外の m-learning の学習に関わる事項を研究する。つまり、本研究の目的は「教育」でどのように m-learning を活用していくかを考察するのではなく、学習者はどのように m-learning で「学習」しているかという今後教育で m-learning を活用する際の前提を考察するものである。そのため、本研究では学習科学の視点をとる。

学習科学について、ソーヤー（2016）は以下のように説明している。

学習科学は教えることと学ぶことについて科学的に研究する学問分野であり、学校の教室における公式の学習だけでなく、家庭や職場や仲間同士のやりとりなどの場面におけるインフォーマルの学習を含む多様な学習を研究対象としている。すなわち学習科学が目指しているのは、学習を促進する認知的・社会的条件を明らかにし、学校の

⁷ 原（2017）:p.138

教室や他の学習環境を再デザインする際に、研究で得られた知見を用いることによって、人々が深く、より効果的に学ぶことができるようにすることである。⁸

学習科学は「学習」という活動を軸とし、それに関わる諸要素を研究し、より効果的な学びを促進することを目的とする。本研究は、この学習科学の視点に基づき、教室外のインフォーマルな日本語学習を軸とし、学習者の m-learning に焦点を絞り、研究を行う。

3.2 教室外のインフォーマルな日本語学習

学習環境により、学習はフォーマル学習⁹、ノンフォーマル学習とインフォーマル学習にわけることができる（図6）。

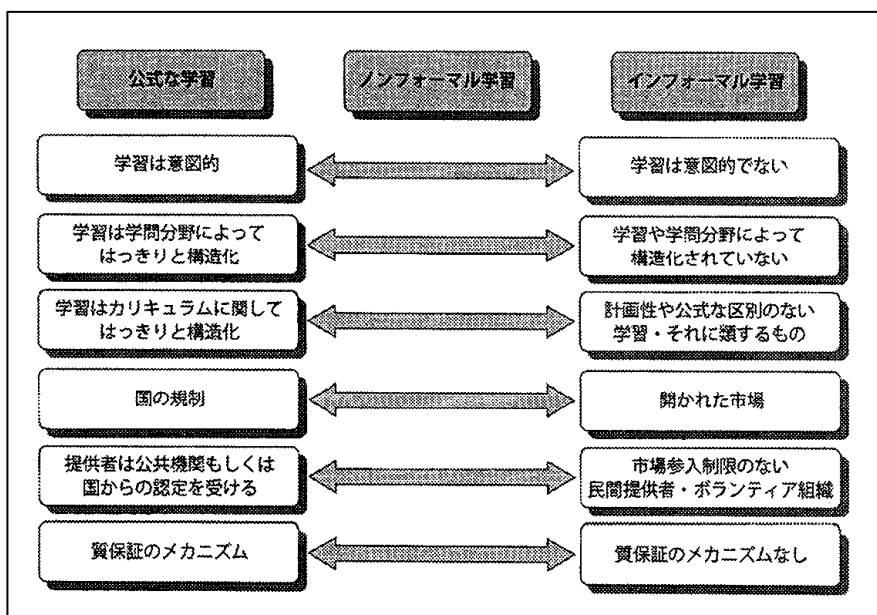


図6 フォーマル学習、ノンフォーマル学習、インフォーマル学習（OCED,2011）

赤尾（2015）¹⁰はこの三つの学習について、以下のように説明している。

⁸ ソーヤー（2016）：p.1

⁹ 「公式な学習」ということもあるが、本研究では引用を除き、「インフォーマル」で統一して表記する。

¹⁰ 赤尾（2015）：p.1

- フォーマル学習 (formal learning) とは、学校教育での授業場面のような定型教育 (formal education) に対応した学習であり「定型学習」と和訳される。学習の成果は学力として試験によって確認され、一定の課程を修了すると卒業証書が授与され、学歴として認知される。
- ノンフォーマル学習 (non-formal learning) とは、学校教育以外の成人学級や職員研修といった非定型教育 (non-formal education) に対応した学習をさし、「非定型学習」と和訳される。日本では、公民館での学級・講座、企業等における研修がその典型例である。学習者は 1～10 回程度の授業を受けるが試験はない場合が多く、修了証が授与されることがあるが、学歴にはならない。
- インフォーマル学習 (informal learning) とは、家庭教育のような不定型教育 (informal education) に対応した学習と、まったく教育に対応しない学びを包含し、「不定型学習」と和訳される。無意図的な学習、偶発的な学習 (incidental learning) を含めて、人間の生涯を通して量的にも質的にも最も大きな割合を占めている。

フォーマル学習は、学校教育のようなフォーマルな学習環境で学ぶことで、「組織化され、構造化された環境において発生し、明らかに (目標設定, 時間, リソースの観点から) 学習としてデザインされている学習である」(OECD,2011,p.40)。それに対して、インフォーマル学習は学校以外の日常生活で学ぶことで、「仕事、家庭生活、余暇に関連した日常の活動の結果としての学習である」(OECD,2011,p.40)。ノンフォーマル学習はフォーマル学習とインフォーマル学習の中間にあたり、「学習 (学習目標、学習時間、もしくは学習支援の観点から) としては明瞭にデザインされていないが、計画された活動に埋め込まれた学習」(OECD,2011,p.42) で、NPO などが提供する学校に近い形態をとる学習プログラムから、直接学習を目的としない経験プログラムまで様々なヴァリエーションがある (山内, 2013)。「学習科学においては、フォーマル学習に対置する言葉としてインフォーマル学習が使われ、生涯学習においては、フォーマル教育に対置する言葉としてノンフォーマル教育が使われてきた」(山内,2013,p.188)。

Banks ほか(2007)は学校教育のようなフォーマルな学習環境と日常生活の中で学ぶインフォーマルな学習環境において過ごす時間を整理し、図 7 の結果を公表した。図 7 における縦軸は人が 1 日に活動している 16 時間を示し、横軸では 0-5 歳 (0-5K)、初等中等教育 (GR1-12)、大学 (UG)、大学院 (GRAD)、仕事 (WORK)、退職 (RETIREMENT) に区切られ、

人の一生を表している。黒の部分はフォーマルな学習環境における学習を示し、灰色の部分はインフォーマルな学習環境における学習を示している。図で分かるように、「人の一生の大半は、正規の教育によらない学習である」(山内,2013,p.187)。

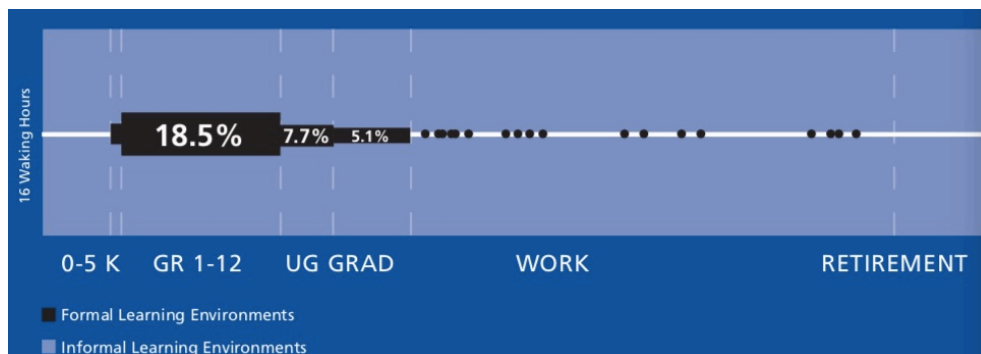


図 7 フォーマル学習とインフォーマル学習の割合 (Banks ほか,2017)

中国の大学における初級の日本語学習の時間数について、『教育大綱』¹¹では、以下のよう
に定めた。

第1学年

毎週最低の授業時間数は14時間で、総時間数は476時間以上である。

(17週×14時間/週×2学期)

第2学年

毎週最低の授業時間数は12時間で、総時間数は408時間以上である。

(17週×12時間/週×2学期)

第1学年と第2学年の授業時間を合わせると、2年という長い期間に学習者が授業で日本語を学習できる時間は884時間である。Banks ほか(2007)と同じように、一日に活動する時間を16時間として計算すると、2年の間で活動する総時間数は11680時間で、学習者が日本語の授業で日本語を学ぶ時間(884時間)はその中の7.6%にすぎない。学習者が日本語の授業というフォーマルな環境で日本語を学習する時間は少ない。情報化の進展により、教

¹¹ 『高等院校日语专业基础阶段教学大纲』の略称である。

室外におけるインフォーマルな環境で学習する機会が増加したことを背景に、学習者は教室外などのインフォーマルな環境で学ぶ時間が多いと予想される。

いままでフォーマルな環境における日本語学習に研究者の関心が集まり、それに関する研究は多く行われてきた。しかしながら、教室外というインフォーマルな環境における日本語学習についてはほとんど研究されておらず、教室外で学習者はどのように学習しているか、なぜそのように学習するか、どのようなプロセスで学習するかなどについて不明な点が多い。本研究は、教室外のインフォーマルな学習に関心を持ち、学習者がスマートフォンを用いて m-learning する行動に注目する。

3.3 学習リソース

第二言語学習において、「教師は必ずしも生徒に十分かつ適切な学習リソースを提供できない。学習効果を高めるためには、学生は自分のニーズを満たすリソースを探し、利用する必要がある」¹² (Nana Long & Jing Huang,2014,p.50)。第二言語学習では学習者が教室外で自主的に学習リソースを探し、学習することが重要である。その学習は、学習一人では成り立たず、学習者と学習リソースの関わり合うことで発生するものである。学習者にとって、学習リソースにどのように接触し、どのように活用するかは、彼らの学習へ大きな影響を及ぼす。

リソースは英語の resource ということばに由来する言葉である。学習におけるリソースについて、田中・斎藤 (1993) は、学習に関するインターアクションとなるもの・学習の素材と述べている。学習と学習リソースの関係について、グループさくら¹³ (2007) は、「学習は学習者と学習リソースが関わり合うことで生まれるものでず。学習者にとって、学習リソースとどう出会い、どう活用するかは、彼らの学習を左右する大きな意味を持ちます。」(p.82)と述べている。学習において学習リソースは重要な役割を果たし、素材であると同時に、学習のきっかけでもある。

日本語教育における、学習リソースの捉え方について、トムソン (1997) は日本語教育に

¹² 原文：Teacher cannot always provide sufficient and suitable learning resources for students. To enhance learning effectiveness, students need to seek resources that meet their own needs and capitalize on them.(Nana Long & Jing Huang,2014,p.50)

¹³ 桜美林大学日本語プログラム「グループさくら」の略称である。

おけるリソースに関してはさまざまな議論が出ているものの、現場の先生方の関心は、まだまだ従来からの「教材」、例えば、教科書、問題集、カセット・テープ、ビデオ、などに集中しがちという問題点を指摘した。その上、同氏は、教室での日本語使用のために作られ、教えるための材料であるのが「教材」であり、学ぶ材料であるのがリソースであると区別し、教材から従来の教材も含めた広義のリソースへの移行は、学習者の教室からの解放を意味すると述べている。つまり、日本語教育における学習リソースの捉え方が、教えるものから学ぶものへ変化し、教室内から教室外へと広がったと言える。実際に、学習者を取り巻く学習環境が著しく変化し、学習は教室内での教科学習だけのものではなく、教室外のさまざまなインフォーマルな場面で起きている。これが背景で、学習で重要な役割を果たす学習リソースも多様に変化しつつある。グループさくら (2007) は、学習者を取り巻くリソースの環境を以下の図 8 で示した。図 8 にあるテレビ、パソコン、本、雑誌、音楽、友人、教師など学習者を取り巻くものは全て学習リソースとなり得る。

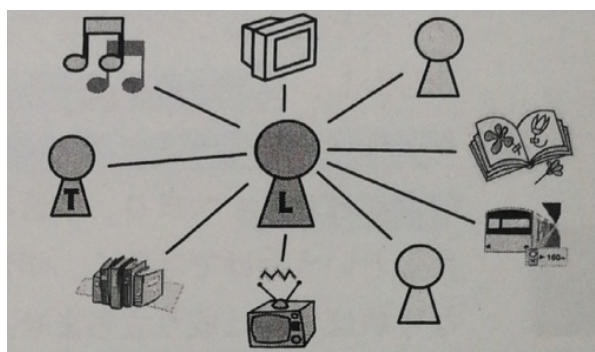


図 8 学習者を取り巻く学習リソースの環境 (グループさくら,2007)

また、同グループは学習リソースを物的リソースと人的リソースに分け、以下のように説明している。

例えば、学習者が新聞や雑誌を読んで情報を得たり、語彙や表現を学んだりすれば、新聞は学習者にとっての物的リソースとなります。また学習者が教師に質問をして、教師がそれに答え、学習者が何らかの情報や知識を得たとしたら、教師は学習者にとっての人的リソースになるというわけです。¹⁴

¹⁴ さくらプログラム (2007) : p.79

さらに、物的リソースと人的リソースの具体例をグループさくら（2007）では以下の表 1 にまとめた。

表 1 物的リソースと人的リソース（グループさくら,2007）

リソースの種類	リソースの例
物的リソース	日本語の教科書/専門科目の教科書/授業のレジュメ/辞書・辞典/一般・専門の書籍/新聞/雑誌/中吊りや折り込みの広告/漫画/映画/歌/テレビ・ラジオ・コンピュータなどの情報機器/教室・設備・施設、他
人的リソース (リソースとなる人間)	教師/ティーチング・アシスタント (TA) /クラスビジター/クラスメイト・クラス外の友人/アルバイト先の人、他

m-learning における学習リソースは、表 1 で示す物的リソースと人的リソースの両方を含むと考えられる。学習者は、スマートフォンを通して、電子版の教科書、辞書などの物的リソースを入手できるだけでなく、インターネットを利用することによってどこで学習していても、目標言語の人的リソースの幅を大きく広げることが可能になる。本研究で扱う m-learning の学習リソースは、物的リソースと人的リソース両方を含むものとする。

3.4 m-learning

3.4.1 m-learning について

m-learning¹⁵は、英語の「mobile」と「learning」からなる言葉で、モバイルラーニングとも呼ばれて、「学習者にとって自由度の高い学習の機会が提供されている」（谷井ほか,2007, p.90）。m-learning を説明する際、しばしば e-learning が取り上げられる。e-learning とはインターネット技術を利用して、受講者の知識と効率を向上させる広範囲の教育手段である（森田,2002）。この定義では、e-learning を学習の手段として捉えておらず、教育の手段として捉

¹⁵ m-learning の表記として、「m-learning」、「M-learning」、「m-Learning」、「M ラーニング」「モバイルラーニング」、「モバイル学習」などがあるが、本研究では引用の部分を除き、すべて m-learning に統一して表記する。

えている。これまでの e-learning に関する研究の多くもこのように e-learning を教育の手段として捉え、どのようにそれを利用して教えるかが研究者や現場の教師の主な関心である。e-learning という言葉は英語の「electronic」と「learning」からなるものである。「electronic」とは「電子的」の意味で、「learning」は「学習」の意味である。e-learning という言葉自体は本来、電子的な機械を利用した学習の手段の意味である。しかしながら、それに関する研究は学習者がどのように学ぶかという「learning」に中心を持たず、どのように教育で活用するかという「education」に焦点を当てている。つまり、いままで行われてきた e-learning と称する研究と実践の多くは、e-learning というより「e-education」という言葉の方がよりふさわしいと考えられる。今後テクノロジー中心のアプローチから学習中心のアプローチへシフトする¹⁶ため、e-learning に関する定義も教育の手段ではなく、学習の手段へと還元すべきだろう。本研究では電子的な通信機器を利用して教えることを「e-education」とし、電子的な通信技術を利用して学ぶことを「e-learning」とする。

近年、電子通信機器がよりコンパクトになり、従来のパソコンによる e-learning はスマートフォンによる m-learning へと変化しつつある。Keegan(2002)では図 9 で示している e-learning は今後図で 10 示している m-learning へと変化するという構想を発表した。

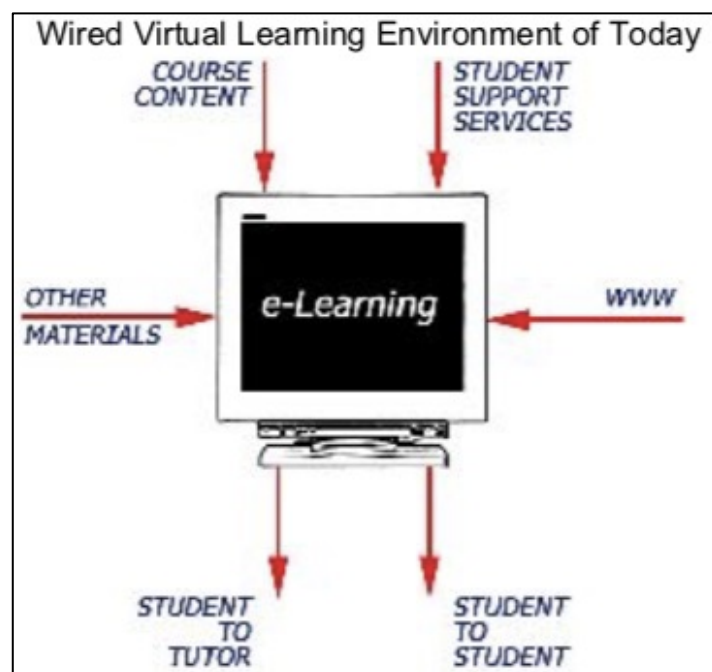


図 9 e-learning(Keegan,2002)

¹⁶ 3.4.2 節を参照されたい。

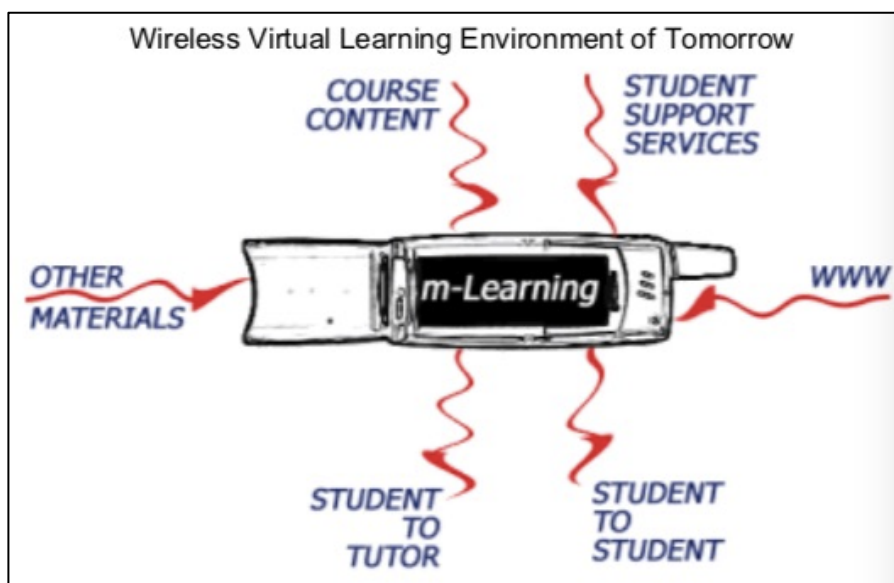


図 10 m-learning(Keegan,2002)

「m-learning とはインターネット技術と無線端末（例えば、ノートパソコン、タブレット、携帯）を利用し、任意の時間と場所で学習できることを実現させる手段である」¹⁷ (陈,2007, p.223)。m-learning は e-learning の発展として存在し、それ自体は e-learning から独立して存在することができない。現在、m-learning の応用の大部分は e-learning と結合し、それぞれのメリットを発揮している (陈,2007)。しかし、e-learning も m-learning もインターネット技術をベースとする新しい学習手段であるが、m-learning は e-learning より、ハードウェア面の携帯性を重視している。m-learning で利用される代表的なデジタルデバイスとしてタブレットやスマートフォンなどがあるが、本研究では、近年急速に普及したスマートフォンで行われる m-learning を扱う。スマートフォンは英語の「smart phone」に由来する言葉で、英語から直訳すると「賢い電話」で、高機能携帯電話を指す。高機能携帯電話について、松村（2010）はアップデート可能なモバイル OS と、大画面、大容量メモリ、カメラ、GPS、各種センサーを内蔵し、アプリと呼ばれるソフトウェアで機能追加が可能となるものであると説明した。パソコンから利用するインターネットのウェブやメールに外出先からアクセスするというパソコンの補助的な位置付けだったスマートフォンは、2.4 節で説明したように現在インターネットにアクセスする際のメインのデバイスになった。

m-learning の発想は、1972 年にすでに提唱されている。Kay(1972)では、以下のように子

¹⁷ 原文：移动学习，实际上就是借助于无限互联技术和无线终端（比如笔记本、PAD、手机），实现任意时空学习的一种手段。（陈,2007,p.223）

供たちが屋外でワイヤレスに接続されたタブレット型コンピューターを使用している挿絵が描かれている（図 11）。1972 年当時は、現在のようにインターネットが普及し、ノートパソコン、スマートフォン、タブレットなどの電子機器が高性能に進化した時代ではないため、挿絵が示している構想は SF 小説に出るようなシーンで、当時は実現が困難であった。しかし、まさに同氏は論文の冒頭に書かれた以下の一文が示すように、Kay(1972)が描いた構想は現在の社会では実現されて、当たり前のような学習行動になりつつある。

Although it should be read as science fiction, current trends in miniaturization and price reduction almost guarantee that many of the notions discussed will actually happen in the near future.

（本論文は SF として読まれるべきであるが、現在の小型化と低価格化の傾向は、本論文で考察された考えの多くが近い将来起こることを保証する。）

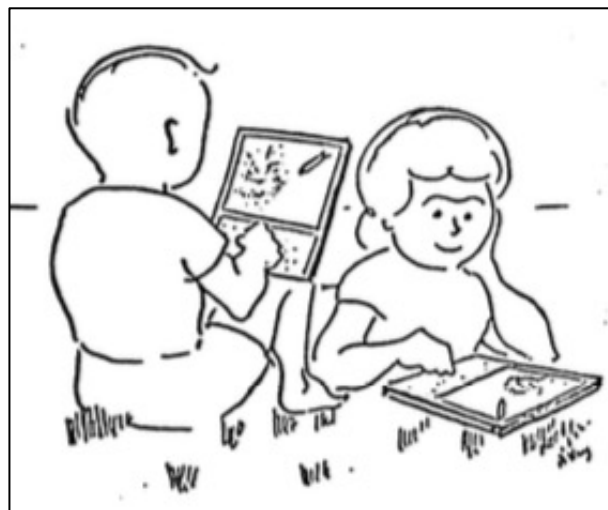


図 11 Kay(1972)における挿絵

3.4.2 m-learning における学習者についての研究の重要性

テクノロジーを活用した学習に関する研究のアプローチには「テクノロジー中心のアプローチ」と「学習者中心のアプローチ」がある。その違いについて、メイヤー（2013）は以下の表 2 にまとめた。

表 2 テクノロジー中心のアプローチと学習者中心のアプローチとの違い

アプローチ	目的	テクノロジーの役割	目標
テクノロジー中心	どのテクノロジーが活用できるか	教授行為の機会を提供する	教授のためのテクノロジーの活用
学習者中心	人間の心にどのように働きかけるか	人間の学習を助ける	学習の促進へのテクノロジーの適合

この表から分かるように、テクノロジー中心のアプローチはテクノロジーをどのように教授活動に活用することかを主な目的とした、まさに前述の e-education のためのアプローチである。しかし、「テクノロジー中心のアプローチの主要な問題は、20 世紀の間に、大層な約束をし、学校に導入し、そして失敗するという、何度かの主なリサイクルを生んできた」（メイヤー，2013，p.214）ことである。その原因の一つは学習者が考慮されていなかったためであると考えられる。テクノロジー中心のアプローチによる教育へのテクノロジーの導入は、一見効果があったように見えるが、それは果たして学習者本人の学習を促進したのだろうかという疑問がある。これまでの e-learning と称する研究の多くはこのテクノロジー中心のアプローチで行われてきたため、学習者が実際にどのように学習しているか不明なことが多い。

それに対して、「学習者中心のアプローチでは、人々がどのようにテクノロジーを学び、人間の学習の補助装置としてテクノロジーをみることに焦点をあて始めている」（メイヤー，2013,p.216）。このアプローチは、学習者を対象に、彼らの学習の促進へのテクノロジーの適合を目標とする。2.1 節と 2.2 節で述べた学習観の変化と学習者への視点の転換を背景に、今後テクノロジーを活用した学習に関する研究は学習者中心のアプローチにシフトするだろう。本研究では、この学習者中心のアプローチをとる。

m-learning において、テクノロジーと学習者のどちらが重要であるかという問題について、Ally & Prieto-Blázquez（2014）は「モバイル学習はテクノロジーに関するものではなく、学

習者に関するものである。学習者は移動的で、学習の中心にあり、テクノロジーにより学習者はどんな状況でも学習できる」¹⁸と学習者の重要性を指摘した。本研究もこの考え方に賛同する。確かに、m-learning はモバイルデバイス、ラーニングシステム、アプリ、ネットワークなどの技術面の開発なしでは成り立たないが、新しい学習形態である以上、ユーザーの学習者に関する事項を明らかにしなければならない。しかしながら、m-learning の研究の現状は、技術開発の研究が先で、ユーザーである学習者についての研究が遅れている。つまり、学習者の状況を的確に把握していない状態で、技術開発が一步先に進んでいる。もちろん、これは技術面でのイノベーションを起こすために必要であるが、その反面開発されたものがなかなか期待された効果を発揮できないというデメリットもある。このようなテクノロジーと学習者の間のギャップを埋めるためには、学習者はどのように学習しているかをいち早く明らかにする必要があるだろう。

3.5 構成構造主義と混合研究法

研究の手法は、大きく量的研究 (quantitative research) と質的研究 (qualitative research) に分けることができる。量的研究は実証主義により、客観的なデータの裏づけによって、演繹的な方法で客観的に現象を解明していくことを目指し、質的研究は、その場に生きる人々にとっての事象や行為の意味を解釈し、その場その場のローカルな状況の意味を具体的に解釈し構成していくことを目指す(秋田,2007)。量的研究では、テストやアンケートによって、データを収集し、平均を取ったり、差を比較したりして、数量を用いて分析するのに対し、質的研究では、インタビューや観察によって得られた言語データなどを量化せずに、言語データのまま分析対象とし、統計を用いず解釈する(竹内・水本,2014)。この二つの研究は異なる科学的立場をとるが、「構造構成主義」(structural-constructivism) の科学観のもとでは、量的研究と質的研究を相互補完的に使う混合研究ができる。構造構成主義では、現象を明らかにするために、量的な方法を選択するか、それとも質的な方法を選択するかは、研究者の「関心関係性」(interest-correlativity) によって決定される(竹内・水本,2014)。教室外における日本語学習者の m-learning の実態を明らかにするために、本研究では構造構成主義の科学観をとり、混合研究(後述)を行う。量的研究で全体的な状況を把握し、質的研究で学習

¹⁸ 原文：Mobile learning is not about the technology, it is about the learner. The learner is mobile and is at the center of learning, and the technology allows the learner to learn in any context. (Ally & Prieto-Blázquez,2014,p.145)

者の独自の「声」を取り上げる。

研究方法について、本研究における各調査では異なる研究方法を用いるが、全体として、混合研究方法を採用して研究を進める。「混合研究方法 (Mixed methods research) とは、哲学的仮定と探究の研究手法をもった調査研究デザインである。研究方法論として、データと分析の方向性、そして調査研究プロセスにおける多くのフェーズでの質的と量的アプローチの混合を導く哲学的仮定を前提とする。また、研究手法として、一つの研究、または順次的研究群での量的かつ質的データを集め、分析し、混合することに焦点をあてる。さらに、その中心的前提は、量的・質的アプローチをともに用いるほうが、どちらか一方だけを用いるよりもさらなる研究課題の理解を生むことである。」(クレスウェル & プラノ クラーク,2010,p.5)

本研究は調査①、調査②、調査③から構成される¹⁹。調査①と調査②は、アンケートを通して、量的データを収集し、統計的な手法を用いて、日本語学習者の m-learning の現状と受容を考察する。しかし、調査①と調査②は、日本語学習者がどのように m-learning をし始め、どのように継続し、その間にどのような問題に直面するかなど一連の動的なプロセスについて調査できないという限界がある。そのため、調査①と調査②の結果に基づき、インタビューのガイドラインを作成し、調査③を行う。調査③はインタビューを通して、質的データを収集し、M-GTA という質的な分析方法で、日本語学習者の m-learning の利用プロセスを研究する。

¹⁹ 詳細については「第5章 本研究の構成」を参照されたい。

第4章 先行研究

4.1 教室外の日本語学習における ICT の利用

ICT (Information and Communication Technology、情報通信技術) の発展に伴い、それを日本語教育に取り入れる実践が多く行われ、その効果についても数多く報告された。

久我・立部 (2016) はこれまでに報告された ICT 導入事例を概観し、日本語教育における ICT の導入のパターンについて、以下の三つに分類した。

- ①ICT の導入が言語知識の獲得、定着を目的として用いられるパターン。
- ②聞き手に何かを分かりやすく見せる際のツールとして ICT が用いられるパターン。
- ③ICT の特徴を生かし、音声教育や不足しがちなコミュニケーション活動を行う場合などの提供に使われているパターン。

また、久我・立部 (2016) は、日本語教育機関におけるパターン①とパターン②の ICT の導入の現状を調査し、ICT の活用に対する教育的な有用性は教育機関においても理解されているが、導入を積極的に進めているのは、まだ一部の個人でしかないという現状であったと述べた。また、同研究では、多くの日本語教育機関が掲げる日本語の運用力やキャリアアップのための日本語という目標に対する ICT の活用方法が不明瞭なまま ICT の導入がなんとなく必要だと考えられるようになってきたと示唆した。つまり、日本語教育の現場では ICT の必要性が認められているものの、具体的にどのように活用するかは現場の日本語教師にゆだねられている。しかし、日本語教師が実践したいと考える方法に必ず ICT が必要というわけではないのが現状で、日本語教育現場への ICT の導入がなかなか進んでいない。久我・立部 (2016) はこの原因について、「ICT を活用した実践と現在の日本語教師が持つビリーフの乖離」と説明した。

以上からわかるように、教室内での ICT の利用は効果があるものの、その導入が広まらないという問題がある。この問題を解決するために、日本語教育を学外に拡大し、教室外の ICT の利用を推進するアプローチが有効である。National Research Council(2000)よれば、一年中、生徒が学校 (School) というフォーマルな学習環境で過ごす時間は全体の 14%を占め、睡眠 (Sleep) の時間は全体の 33%を占めている。残りの 53%の時間は家庭やコミュニティー (Home & Community) というインフォーマルな学習環境で過ごす (図 12)。この結

果からわかるように、ICT がもっとも多く利用できるのは学習者が自主的に取り込む教室外の学習活動であろう。

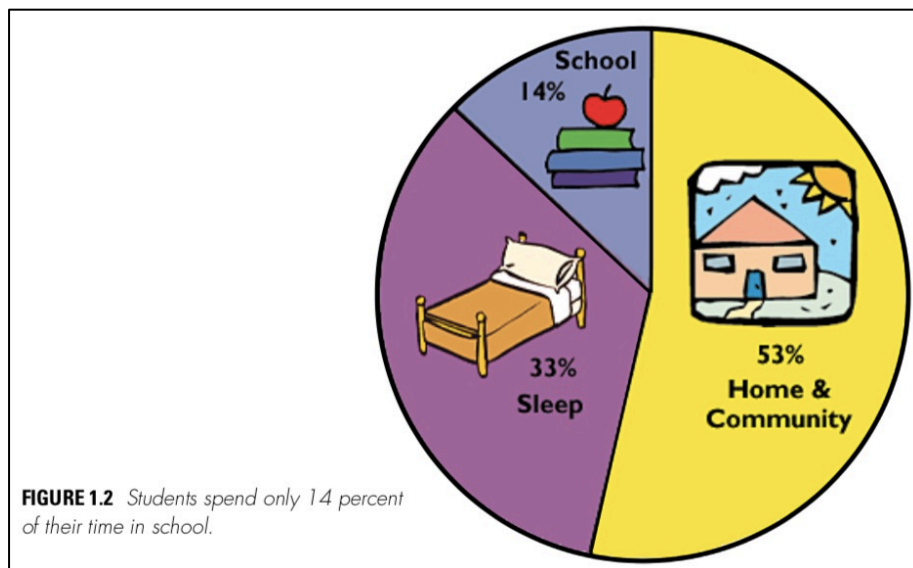


図 12 生徒が各学習環境にいる時間 (National Research Council,2000)

日本語学習者の教室外で ICT の利用についての研究は、梁 (2009) 、三国ほか (2011) 、葛 (2012) 、宇田川ほか (2015) 、伊藤ほか (2016) などがある。

梁 (2009) は中国の日本語専攻の大学生を対象にインターネット学習の現状についてアンケート調査を行った。その結果、インターネットの利用が日本語専攻の大学生の生活に普及し、インターネットを介した学習はすでに大学生の日本語学習において一定の割合を占めているが、学習の意識、方式、効果はまだ十分と言えないと結論づけた。

三国ほか (2011) は 6 カ国の日本語学習者の教室外におけるメディア使用の実態についてアンケート調査を行った。その結果、学習環境によりメディア使用の割合に違いがみられたかが、使用されるメディア媒体やメディアの種類には一致した傾向があることが明らかになった。さらに、特に、インターネット使用の割合はどの地域においても高く、学習者は汎用性に優れたインターネットというメディアを活用して日本語に接触していることを示唆した。

葛 (2012) は、中国人日本語学習者はインターネットを介してさまざまなサイト、コンテンツを利用して日本語を学習しているが、実際日本語学習にあまり結びついていないという否定的な評価が多かったと報告した。さらに、同氏は学習プロセスに注目し、インターネ

ットのリソースにおいて、記憶して理解した知識を使って、なんらかの課題を遂行して知識を応用し、最後に自分の学習過程を振り返って、学習成果を評価するという課程の検証を行わないと本当の学習になったとは言えないと考察した。しかし、葛（2012）が述べた一連の学習プロセスは学校教育などのフォーマルな教育において実現できるものである。教室外などインフォーマルな学習環境においては、このような一連のプロセスをすべて実現するのは難しい。インフォーマルな学習の場合、知識の定着は少ないという問題があるが、学習者が自主的に何かの学習リソースに触れる行動自体は学習といえる。

宇田川ほか（2015）は、日本語を独学で学ぶ学習者の日本語関連のインターネットの使用時間数と使用場所について調査した。毎日の使用時間数は30分未満が最も多く、使用場所は自宅が最も多いと報告した。しかし、同調査は日本語学習者の言語学習ビリーフを調査するのが目的で、インターネットの使用に関する内容は時間数と使用場所にとどまっている。

伊藤ほか（2016）は、日本語学習者の仕事や勉強以外の自主的なインターネット利用の状況について調査を行い、次のように報告した。日本語学習者は日常的にインターネットを使用している。日本語学習者がよく利用する端末は、地域に関わらずPC、スマートフォン、タブレットの順である。また、端末別の利用場所について、スマートフォンは場所を問わず利用されている傾向が見られる一方、同じモバイル端末であるタブレットはPCと似たような場所で利用されており、モバイル端末としての使用というよりはPCの代替として利用されている。しかし、伊藤ほか（2016）の調査におけるインターネットの利用は日本語学習者の仕事や勉強外の自主的な利用の状況に限定しているが、その利用は日本語学習関連の利用かどうかは不明である。

以上の研究から分かるように、インターネットは日本以外の国で日本語を学習する学習者にとって日本語の情報を手にする重要なルートである。海外の日本語学習者にとって、従来制限されがちだった日本語使用の場面はインターネットによって格段に拡大され、また海外の学習者にとって海外に住んでいることそれ自体が自然習得を制限するものではなくなった（葛,2012）。

2011年以降スマートフォンが急速に普及したことを背景として、スマートフォンを通してインターネットに接続する若者が増加し、スマートフォンを利用したm-learningも若者の間で普及してきた。王ほか（2016）は日本語専攻の学習者が日本語学習する際、最も多く利用していた機械はスマートフォンという結果を報告した。また、久我・立部（2016）は日本

語教師がスマートフォンに ICT 活用に関する期待を寄せていると報告し、スマートフォンの活用は、日本語教師が求めている ICT の活用を可能にする一助となり得ると示唆した。

しかしながら、教室外で、日本語学習者がどのようにスマートフォンを利用して日本語を学習しているか、それに対してどのような認識をしているかについての調査研究はほとんどなく、教室外というインフォーマルな学習環境における日本語学習者の m-learning の実態が不明瞭である。

また、日本語教育の現場でも m-learning について詳しい日本語教師がほとんどいない。このような状況下では、いままで日本語教育の現場で起こった ICT 導入の問題が再び表面化し、m-learning が日本語教育に広まらないことになる。その結果、たとえ研究で効果が検証された m-learning のためのアプリや教材などでも、教育現場では応用されない現という現象が生じる。このような状況を改善するためには、日本語学習者の m-learning の実態をいち早く把握することが急務であろう。

4.2 技術受容の理論的基礎

本節では、本研究の調査②と関連する技術受容の理論的基礎について概観する。

新しい技術が効果を発揮できる前提条件として、利用者であるユーザーがそれを受容しなければならない。技術受容に関する研究は 1970 年代から始まり、様々な理論やモデルがその研究で応用された。

TRA (Theory of Reasoned Action、合理的行為理論) は Fishbein & Ajzen (1975) によって提唱された人間の行動に関する理論である (図 13)。TRA では、人の行動 (Behavior) はその行動を取ろうとする行動意思 (Behavioral Intention) によって決定されるとしている。また、行動意思はその態度に対する当人の態度 (Attitude Toward Behavior) と主観的規範 (Subjective Norm) に影響を受ける。態度とは、該当の行動に対する個人の肯定的または否定的な感情である。主観的規範とは当の本人はそうすべきまたはそうすべきではないについて、その本人が重要と考える人がどのように考えているかに関する当の本人の認識である。さらに、態度はその行動をとることによる結果に関する信念 (Beliefs) と評価 (Evaluations) によって決定され、主観的規範は、特定の行動の遂行に関して準拠集団の意見を知覚したものである規範的信念とモチベーションから影響を受ける。TRA は人間の行動に関する一般的な理論として、幅広い分野で利用された。しかし、TRA では信念は各状況において特別なものと考えており、ある特定のコンテキストに適応できる信念は、他のコンテキストに適用

できるとは考えていない(中村,2001)。つまり、異なる行動でこの理論を用いる際、該当行動に対する信念を特定する手順を踏まなければならない。

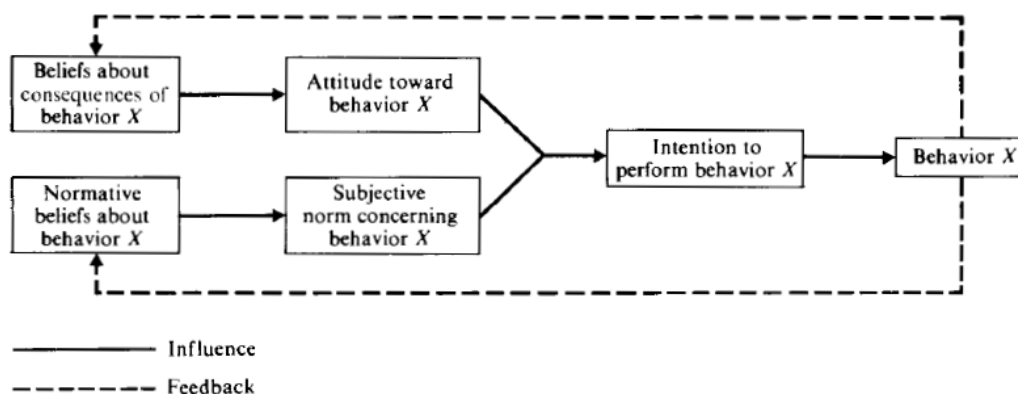


図 13 TRA (Fishbein & Ajzen, 1975)

Davis ほか(1989) はコンピューターの利用行動を説明するために、TRA を参考にして TAM (Technology Acceptance Model、技術受容モデル) というモデルを提唱した(図 14)。TAM は TRA と違って、情報システム利用行動に限定された特定モデルである。TAM の中では、TRA 中の行動意思は態度によって決定されるという関係を受け継ぐが、変更点もある。まず、TAM では、態度は知覚された有用性 (Perceived Usefulness) と知覚された使い易さ (Perceived Ease of Use) という二つの個人の信念によって決定されると仮定している。知覚された有用性とは、「ある組織コンテキストにおいて、特定のアプリケーションシステムの利用が仕事のパフォーマンスを向上させると期待するユーザーの主観的な見込み」²⁰ (Davis,1989,p.985,中村 (2011) 訳) である。知覚された使い易さとは、「対象となるシステムについて、利用努力がいらないとユーザーが期待する程度」²¹ (Davis,1989,p.985,中村 (2011) 訳) である。TAM では、知覚された有用性と知覚された使い易さはコンピューターの利用行動を説明するために、基本的かつ重要であると仮定している。また、TAM は情報システムの利用行動に影響する要因は、すべて外部変数 (External variables) として扱われ、これ

²⁰ 原文 : Perceived usefulness(U)is defined as the prospective user’s subjective probability that using a specific application system will increase his or her job performance within an organizational contexts.(Davis,1989,p. 985)

²¹ 原文 : Perceived ease of use(EOU)refers to the degree to which the prospective user expects the target system to be free of effort. (Davis,1989,p. 985)

らはすべて知覚された有用性と知覚された使い易さを通して、間接的に実際の利用に影響を及ぼすと考える。

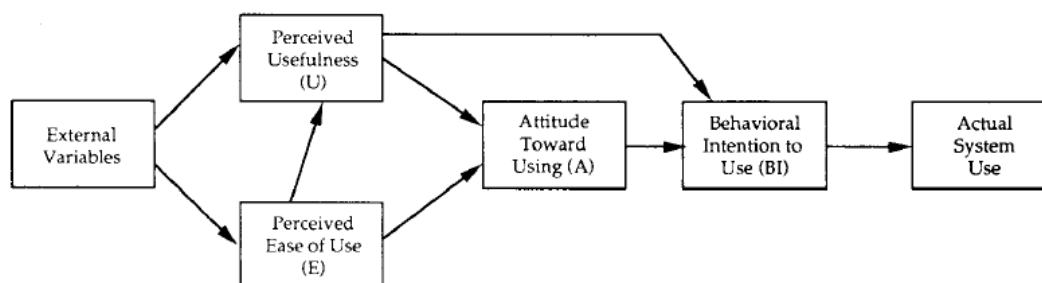


図 14 TAM (Davis ほか, 1989)

TAM の目標は「幅広いエンドユーザーコンピューティング技術とユーザ層に対して、コンピュータの受容の決定要因を説明することであり、それは同時に、簡便で理論的に正当である」²² (Davis,1989,p.985,中村 (2011) 訳)。そのため、長い間ユーザの技術の受容を予測する基礎的なモデルとして広く利用された。関ほか (2008) は IS (Information Systems) 関係の研究誌と ICIS(International Conference of Information Systems)で発表された 211 の論文を調査した結果、そのうち最も多く利用されたのは TAM であると報告した²³。

しかし、TAM はなるべく少ない要因で情報システムの利用行動を説明する簡潔性を追求するあまりに、実証研究で利用されるうちにその問題点も顕著になってきた。中村 (2001) は TAM の限界について以下のように指摘した。

第 1 に、TAM において、態度は仲介変数の役割を完全には果たしていないという問題がある。

第 2 に、TAM が提案するように、知覚された有用性と知覚された使い易さは、両方ともユーザーの情報システム利用に重要であることは実証されているが、それらの相対的な重要性については、過去の研究結果は一貫してないという問題がある。

²² 原文：The goal of TAM is to provide an explanation of the determinants of computer acceptance that is general, capable of explaining user behavior across a broad range of end-user computing technologies and user populations. (Davis,1989,p.985)

²³ 関ほか (2008) によると、TAM を理論的基礎とした論文数 (84 本) は調査全体 (211 本) の 39.8%を占めている。

第3の問題は、第2の問題とも関連するが、情報システムの利用行動に影響を与える要因として、TAMでは明確には示されていないユーザーの経験レベルが重要な役割を果たしていると思われることである。

第4の問題として、TAMは実験的環境においては良好な結果を示しているが、フィールド研究においては一貫した結果が得られていないことが挙げられる。

このような問題点を改善するために、TAMにほかの要因が追加し、拡張されたTAMという形で多くの研究で用いられ、検証されるようになった。Venkatesh & Davis(2000)はTAMをベースに、TAM2を提唱した。

TAM2ではTAMの中の態度という仲介変数を削除し、利用意思(Intention to Use)が知覚された有用性と知覚された使い易さに直接に決定されるという関係になった。その上で、主観的規範(Subjective Norm)、任意性(Voluntariness)、イメージ(Image)、ジョブ関連性(Job Relevance)、アウトプット品質(Output Quality)、結果のデモンストレーション性(Result Demonstrability)、経験(Experience)が付け加えられた(図15)。

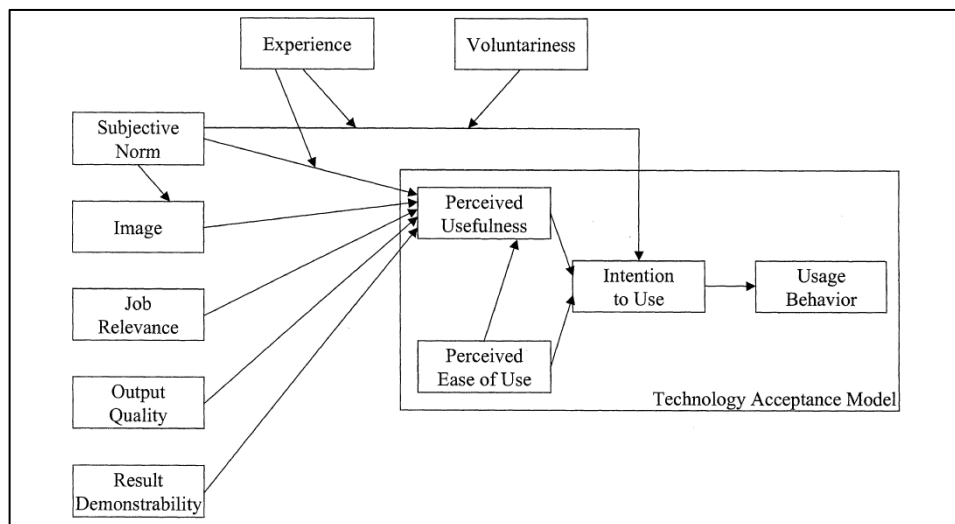


図 15 TAM2 (Venkatesh & Davis, 2000)

主観的規範は TRA から受け継いだものである。任意性とは個人が技術の利用が非強制的だと認知する程度である。イメージとは、個人がシステムを利用することで社会的地位が上がる認知する程度である。ジョブ関連性は、該当システムが自分の仕事に適応する度合い

についての認知を指す。アウトプット品質とはシステムがどれほど自分の仕事に効果が発揮できるかについての認知である。結果のデモンストレーション性とは、技術利用の結果の実証性に対する個人の認知である。経験は技術を利用する経験を指す。主観的規範、任意性とイメージは社会的な影響であり、ジョブ関連性、アウトプット品質、結果のデモンストレーション性、知覚された使い易さはシステムの自体の実用性などによる影響である。

TRA、TAM、TAM2 の関係を簡単にまとめると、TAM は、人間の行動を説明する TRA を参考にして作成された技術受容のモデルである。TAM では知覚された有用性と知覚された使い易さが重要な役割を果たしている。TAM2 は、TAM をベースに、社会的な要素などを付け加え、拡張されたモデルである。

関ほか (2008) によると、技術受容研究の特徴の一つは、理論的基礎が豊富であるという点である。その原因には以下の三つがあると考えられる。

一つ目は、各技術受容のモデルにはそれぞれの限界がある。例えば、TAM は知覚された有用性と知覚された使い易さによる利用意思への影響を強調し、該当 IT 技術本来の特徴や、ユーザの内的モチベーションによる影響があまり考慮されなかった。そのため、技術受容に対する説明力をあげるために、従来の理論やモデルを修正、拡張、統合などしなければならない。

二つ目は、研究者の研究関心と技術モデルを応用するフィールドが異なることである。IT 技術は多種多様で、それが応用されるフィールドもさまざまである。そのため、IT 技術が応用される各フィールドの特性を考慮し、適切な理論やモデルを構築する必要がある。

三つ目は IT 技術は不変なものではなく、常に変化するためである。つまり、従来の理論やモデルは新しい技術の受容をうまく説明できない可能性があり、IT 技術の変化に応じて、更新しなければならない。

これまでの技術受容に関する研究において、様々なモデルが提唱され、理論的基礎が豊富である一方で、各モデルでは異なる決定要因が用いられるために、研究者が研究する際にはこれらのモデルを比較し、選択しなければならないことになる。しかし、各モデルには構造が異なるものの類似する変数がある。Venkatesh ほか (2003) は、いままでの技術受容に関連するモデルを比較し、各モデルにおける類似する変数を統合して、UTAUT (Unified Theory of Acceptance and Use of Technology) を提唱した (図 16)。

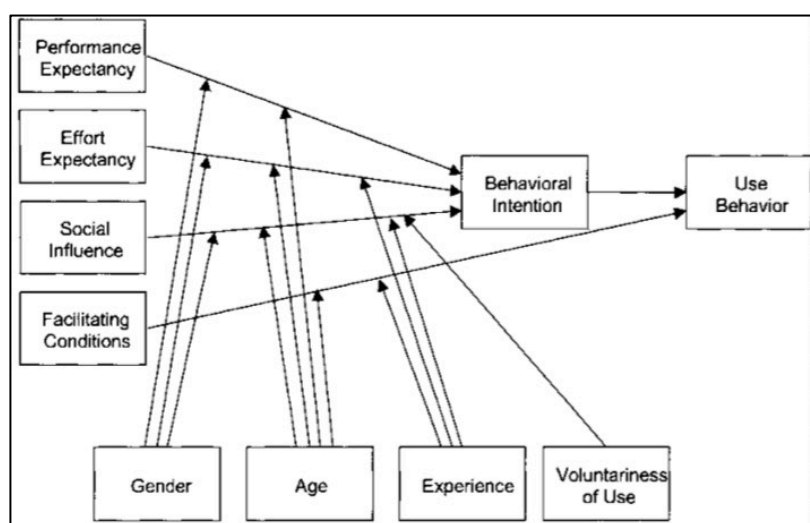


図 16 UTAUT (Venkatesh ほか、2003)

UTAUT では、効果期待 (Performance Expectancy)、努力期待 (Effort Expectancy)、社会的影響 (Social Influence)、促進条件 (Facilitating Conditions) が技術受容において重要な変数であるとした。Venkatesh ほか (2003) はこれらの変数について以下のように説明した。

効果期待は、システムを利用することが職務業績の向上に役立つと個人がどれほど信じているかという程度で定義される。²⁴

努力期待は、システムの使用に伴う使い易さの程度として定義される。²⁵

社会的影響は、個人にとって重要な人が新しいシステムを使うべきだと思うことについて個人が認識している程度と定義される。²⁶

促進条件は、人がシステムの利用をサポートするための組織的および技術的インフラストラクチャが存在すると信じる程度と定義される。²⁷

²⁴ 原文：Performance expectancy is defined as the degree to which an individual believes that using the system will help him or her to attain gains in job performance.(Venkatesh ほか,2003,p.447)

²⁵ 原文：effort expectancy is defined as the degree of ease associated with the use of system.(Venkatesh ほか,2003,p.450)

²⁶ 原文：social influence is defined as the degree to which an individual perceives that important others believe he or she should use the new system.(Venkatesh ほか,2003,p.451)

²⁷ 原文：Facilitating conditions are defined as the degree to which an individual believes that an organizational and technical infrastructure exists to support use of the system.(Venkatesh ほか,2003,p.455)

UTAUT の中で、効果期待、努力期待、社会的影響は行動意思に影響を及ぼし、促進条件は行動意思を通さず、直接に行動に影響すると仮定している。さらに、UTAUT では性差 (Gender)、年齢 (Age)、経験 (Experience)、任意性 (Voluntariness of use) という四つの調節変数がそれぞれに影響するとしている。Venkatesh ほか (2003) は、UTAUT は技術受容の行動意思を 70% 解釈でき、説明力が高いモデルであると述べた。関ほか (2008) は、UTAUT は先人による先行研究の結果を推し進め、具体的な研究課題を遂行する際に多様なモデルを選択しなければならないという問題を解決し、今後の技術受容の研究の発展に理論的な基礎を提供したと評価した。

しかし、UTAUT は職場における社員の技術受容に関する理論である。したがって、異なるフィールドで利用する際、修正を加える必要がある。許・鄭 (2013) は UTAUT を修正して、図 17 で示すモデルと表 3 で示す仮説を仮定し、大学生の m-learning の受容の要素について調査を行なった。

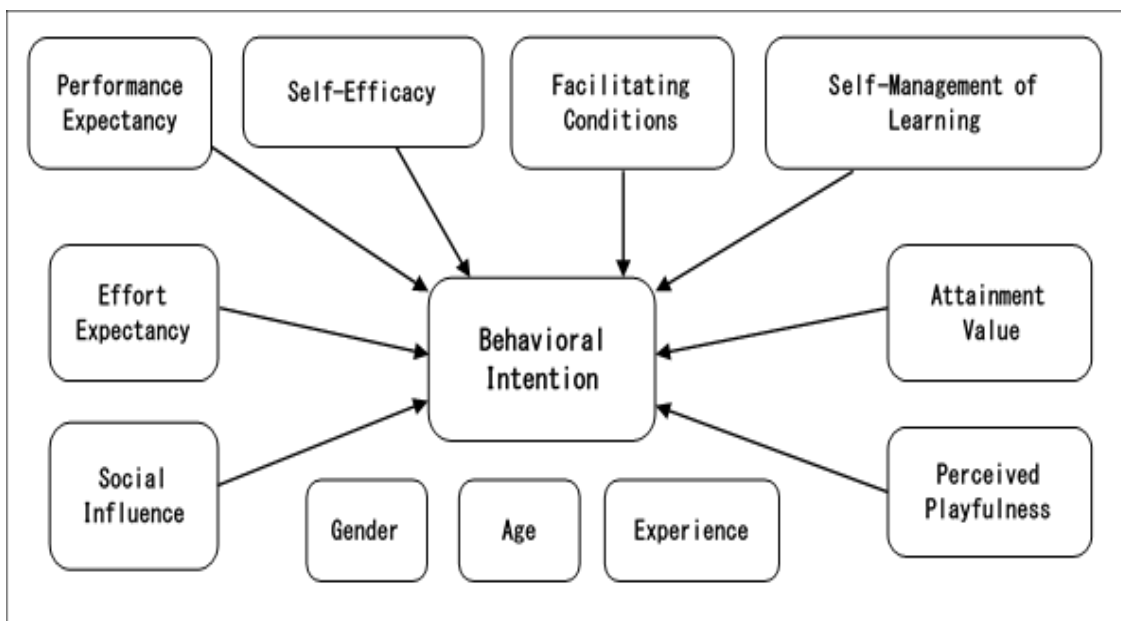


図 17 許・鄭のモデル (許・鄭、2013)

表 3 许・郑 (2013) の仮説

番号	仮説
仮説 1 (H1)	効果期待は m-learning の行動意思に正の影響がある
仮説 2 (H2)	努力期待は m-learning の行動意思に正の影響がある
仮説 3 (H3)	社会影響は m-learning の行動意思に正の影響がある
仮説 4 (H4)	促進条件は m-learning の行動意思に正の影響がある
仮説 5 (H5)	自己効力感は m-learning の行動意思に正の影響がある
仮説 6 (H6)	個人学習マネジメントは m-learning の行動意思に正の影響がある
仮説 7 (H7)	成果価値は m-learning の行動意思に正の影響がある
仮説 8 (H8)	娯楽性認知は m-learning の行動意思に正の影響がある
仮説 9 (H9)	性別は m-learning の行動意思に正の影響がある
仮説 10 (H10)	年齢は m-learning の行動意思に正の影響がある
仮説 11 (H11)	経験は m-learning の行動意思に正の影響がある

许・郑 (2013) のモデルでは、大学生の実際の m-learning の利用行動 (Use Behavior) は取り入れていない。このような設定の仕方は、欠点があるものの、「実証研究の中でユーザーの実際の利用を測定することが難しい」²⁸ (関ほか,2008,p.28) ため、技術受容の研究ではユーザーの実際の利用を取り入れないことが多い。

また、「促進条件」という変数について、许・郑 (2013) ではそれは直接に行動意思へ影響する形に変更した。その上、m-learning において、「任意性」は「促進条件」と重なるところがあると考慮し、许・郑 (2013) では「任意性」を取り入れられていない。

さらに、许・郑 (2013) は「自己効力感(Self-Efficacy)」、「個人学習マネジメント(Self-Management of Learning)」、「成果価値(Attainment Value)」、「娯楽性認知(Perceived Playfulness)」の四つの学習と関連する変数を新たに追加した。

自己効力感、バンデュラ(1977)によって提唱された概念で、現在、臨床のみならず、教育、産業、予防医学といった幅広い領域で利用されている概念である (池辺・三國,2014)。遠藤 (2005) によると、自己効力感 (self-efficacy) は自分が行為の主体であり、自分の行為が自己の統制 (control) 下にあり、外界の要請に応じて適切な対応を生み出しているという

²⁸ 原文：実証研究中“实际使用”较难测量。(関ほか,2008,p.28)

確信・感覚である。瀬尾（2013）は、自己効力感は予見段階において重要な役割を果たし、自己効力感を高く感じる学習者ほど学習を自己調整していることが実証的にも示されていると述べている。許・鄭（2013）は m-learning において、自分が持つ能力で m-learning の学習の任務を完成できる自信の程度と自分の学習をコントロールできる能力に対する主観的判断は、m-learning の受容に影響すると考え、自己効力感を行動意思へ影響する要因として追加した。

また、m-learning には、伝統的な学習方式とは大きく異なり、どのように豊富な学習リソースの中から自分に有用なものを入力し、どのように自分の学習ペースと時間を計画するかなどの自己の学習を管理する能力が必要である。そのため、許・鄭（2013）では自己学習マネジメントの能力を大学生が m-learning を受容する要因の一つと仮定した。

成果価値について、許・鄭（2013）は m-learning が自分にもたらす利点に関する認知であると説明した。その利点は知識が増える、自分の能力が認められる、自信を得るなどである。これらは、内的モチベーションに関する要因として大学生の m-learning に影響をあたえると仮定された。

娯楽性認知について、許・鄭（2013）は、学習者が携帯端末を利用して学習するとき感じる楽しさの程度であると説明し、大学生の m-learning の受容に影響する要因の一つと仮定した。

以上、技術受容に関する理論的基礎と m-learning における利用について整理した。技術の発展とともに、技術受容の理論的基礎も変化し、研究のフィールドは企業から、社会、さらに教育へと広がっている。また、以前の理論的基礎を修正し、新たに要因を追加する研究が盛んに行われている。本研究における技術受容の理論の利用については 7.2 節を参照されたい。

4.3 M-GTA について

M-GTA は Modified Grounded Theory Approach (修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ) の略称で、GTA (Grounded Theory Approach、グラデッド・セオリー・アプローチ)²⁹を抜本的に再編成し、研究法としての独自の位置づけ、そして、具体的なデータの分析方法までを体系化した質的研究手法である(木下,2016)。M-GTA はデータの解釈から説明力のある概念の生成を行い、そうした概念の関連性を高め、まとまりのある理論を作る方法であり、社会的相互作用のある分野において、研究対象がプロセス的特性を持つ場合に有効な分析方法である(木下,2003,2007)。

M-GTA の具体的な分析手順は GTA より可能な限り手続きが簡略化され、GTA より使いやすい。M-GTA の分析手順について、木下 (2016) を参考にして、以下の四つの手順にまとめる。

1. 分析テーマと分析焦点者を設定する。
2. インタビューのデータから概念を生成する。
3. 概念からカテゴリーを生成する。
4. 理論的飽和化を判断し、結果図とストーリーラインを作成する。

M-GTA では、分析テーマと分析焦点者の2点からデータを分析する。木下 (2016) は分析テーマと分析焦点者について、以下のように説明している。

分析テーマとはその分析において明らかにしようとする問いにあたるもので、データ収集前ではインタビュー・ガイド作成に反映され、分析に入るときにデータ全体をみて確認を行い、必要に応じて修正する。(木下,2016,p.7)

分析焦点者とは、インタビュー調査であればその対象者を限定した集団として設定す

²⁹ GTA とはデータに基づいて (grounded) 分析を進め、データから概念を抽出し、概念同士の関係づけによって研究領域に密着した理論を生成しようとする研究手法である (戈木クレイグヒル、2006)。その種類として、グレーザー版、ストラウス・コービン版、M-GTA がある。M-GTA は系統としてはストラウス・コービン版に近く、言語データに根ざした分析者の解釈を分析プロセスに積極的に取り入れ、質的研究手法としての体系化を試みているのが特徴である (竹内・水本,2014)。

る。[中略] 注意が必要なのは、分析焦点者とは実際にインタビューに応じてくれ A さんとか B さんという特定個人を指すのではなく、研究計画から規定される抽象的集団である。(木下,2016,p.7)

つまり、M-GTA を用いて研究を行う際、分析テーマを設定することや分析焦点者を絞ることなどの段階で、研究者の研究関心に関わり、研究が進むにつれて、分析テーマと分析焦点者が具体化されるのが特徴である。

インタビューのデータから概念を生成するために、分析ワークシートと呼ぶフォーマットを利用する。ワークシートは概念名、定義、具体例（ヴァリエーション）、理論的メモの四つの欄から構成される。生成する一つ概念に対して一つの分析ワークシートを立ち上げるため、最終的には概念数だけ分析ワークシートも作成することになる。また、概念間の関係を検討したり、概念からカテゴリーを生成したりするために、分析ワークシートと別に理論的メモノートをつける。概念からカテゴリーが生成されてから、理論的飽和化の判断の段階に移る。個々の概念ごとに完成度を確認して（小さな飽和化）、そうした概念の関係によって構成される全体のまとめ具合について、内容面からも確認する。最後に、概念間、カテゴリー間関係を示す結果図を作成し、分析結果をストーリーラインで簡潔に記述する。

M-GTA はヒューマン・サービス領域の研究に適しており、多くの先行研究が行われている(木下,2005)。日本語学習者を対象とした研究で、M-GTA が利用された研究として、根元(2011)、劉(2011)、秦(2012)、許(2015)、欧(2016)、平田(2018)などがある

根元(2011)はM-GTAを用いて、カタールにおける日本語学習者の学習動機について調査を行った。劉(2011)はM-GTAを利用して、学習者は持続可能性日本語作文教育³⁰を目指してデザインされた一連の作文活動における言語実践をどのように捉え返しているかを調査した。秦(2012)は内容重視の会話授業³¹について中国人日本語学習者はどのように受け止めたかを見るため、インタビューデータを基にM-GTAを用いて課題を質的に分析した。許(2015)は日本語の学習を諦めた日本語専攻の学習者を対象に、M-GTAの分析方法を通

³⁰ 劉(2011)では「作文そのもの」、作文に含まれる言語知識を極めるものではなく、学習者の生活や学業、社会などの人間活動のあり方をよくすることに貢献できるような作文教育を指す。

³¹ 秦(2012)では事前課題と日本語母語話者の参加を取り入れたグループワークによる授業を指す。

して、その動機減退要因プロセスを考察した。欧（2016）は日本語専攻が中国人日本語学習者たちがインターネット上のリソースを教室外の学習に利用し始めるプロセスに存在するメカニズムを明らかにするために、M-GTA を利用した。平田（2018）は日本語の初中級学習者を対象に、彼らがペアワークをどのように捉えているかを解明するために、M-GTA を用いて分析を行った。

根元（2011）、許（2015）は日本語学習者の学習動機についての研究で、劉（2011）、秦（2012）、平田（2018）は日本語の授業における活動に対する日本語学習者の認識についての研究である。そのため、本研究で根元（2011）、許（2015）、劉（2011）、秦（2012）の研究は参考になる点が少ない。欧（2016）は本研究と同じく教室外というインフォーマルな学習環境における日本語学習について研究であるため、調査③の研究設計時に参考になった点が多い。しかし、欧（2016）の研究関心は学習者が教室外でインターネット上のリソースを利用し始める初期段階のプロセスであり、利用し始めるから利用し終わるまでの一連のプロセスではない。また、同研究では学習者がどのようなデバイスからインターネットにアクセスするか、どのようなリソースを利用するかについては限定していなかった。本研究ではこの2点を考慮し、調査③では、M-GTA を採用して、教室外で日本語学習者がスマートフォンの学習アプリを利用するプロセス（利用し始めるから利用し終わるまで）を明らかにすることを目的とする。

4.4 本研究の位置付けと目的

本研究は、日本語の教育を研究するものではなく、日本語の学習に関する研究を行うものである。日本語学習に関する研究のうち、とりわけ教室外というインフォーマルな学習環境におけるテクノロジーを利用した日本語学習に焦点を当てる。また、近年、スマートフォンが普及し、e-learning が m-learning へシフトしつつある。この背景を考慮し、本研究では、教室外におけるスマートフォンによる日本語の m-learning について研究を行う。

現在、日本語学習者はどのように m-learning しているか、どのような要素が彼らの日本語 m-learning に影響するか、さらに学習者はどのようなプロセスで m-learning を行うかなど、教室外における日本語学習者の m-learning に関しては不明な点が多い。そのため、本研究は、中国人日本語学習者を対象として、教室外の m-learning の現状、受容、利用プロセスを調査することを通して、学習者はどのようなプロセスで日本語の m-learning を行うか（学習アプリの利用に限定する）、その過程でどのような要素がかかわるかなど学習者の学びの実態を明らかにしたい。

第5章 本研究の構成

本研究は調査①、調査②、調査③から構成される（表 4）。調査①と調査②は、アンケートを通して、量的データを収集する。調査①の目的は、中国人日本語学習者が教室外で行う m-learning の現状を把握することである。調査②の目的は、技術受容の理論を参考にして、重回帰分析という統計方法を利用して、どのような要素が日本語学習者の m-learning の利用に影響するかを明らかにすることである。しかし、調査①と調査②は、量的研究であるため、日本語学習者がどのように m-learning を開始し、どのように継続し、その間にどのような問題に直面するか、最後にどのように終了するかなど一連の動的なプロセスについて調査できないという限界がある。そのため、調査③では、インタビューを実施し、質的分析法 M-GTA を利用して、日本語学習者が教室外でアプリを利用して学習するプロセスを解明する。

本研究における各調査の関係について、調査①は調査③におけるインタビュー協力者を選定するための調査という役割があり、調査①と調査②の分析結果は、調査③のインタビューガイドラインを作成するための参考資料である。つまり、調査①と調査②は調査③のための基礎調査である。最後に、調査①、調査②、調査③を総合的に分析し、日本語学習者の m-learning における学びの実態を考察する。

表 4 本研究の構成

調査	研究内容	調査法	データ	手法
調査①	教室外における日本語学習者の m-learning の利用の現状に関する研究	アンケート	量的	単純集計
調査②	教室外における日本語学習者の m-learning の利用へ影響する要素に関する研究	アンケート	量的	重回帰分析
調査③	教室外における日本語学習者のアプリの利用プロセスに関する研究	インタビュー	質的	M-GTA

第6章 調査① 現状について

6.1 はじめに

情報通信技術(ICT)が進化する過程で、新しいテクノロジーを教育で利用することがしばしば行われてきた。ラジオ、テレビ、ノートパソコン、スマートフォンなど、通信端末が進化するたびに、それを教育で活かす動きがあった。「一方では教育が“秒進分歩”の技術に翻弄され、必ずしも教育の質が向上しない現象や、ややもすると後退する現象も見られる。教育の荒廃を情報通信技術を活かすことで克服しようと焦りすぎたり、最先端の技術優先で対面授業のよさを壊すような教育システム構築で競争したり、ということも珍しくない」(デジタルコンテンツ協議会,2008,p.1)。日本語教育においても、ICT の利用において同じ問題があり、ICT の活用に対する教育的な有用性は教育機関においても理解されているが、導入を積極的に進めているのは、まだ一部の個人でしかないという現状であった(久我・立部,2016)。しかしながら、梁(2009)、三国ほか(2011)、葛(2012)、宇田川ほか(2015)、伊藤ほか(2016)の研究結果から分かるように、日本語学習者は日本語教師が授業でICTを利用するしないにかかわらず、自主的に教室外でICTを活用して、日本語を学習している。教育においてテクノロジーを効果的に活用するためには、人々がどのように学ぶかの理解を深め、教育実践を基礎づけることが重要である(メイヤー,2013)。

現在、スマートフォンが若者の間で普及し、中国の日本語学習者が日本語を学習する際、最も多く利用しているデバイスはスマートフォンであるという報告もあった(王ほか,2016)。しかしながら、スマートフォンを利用した日本語の m-learning では、学習者がどのように学ぶのかについての調査がほとんどなく、学習者の m-learning の学びの実態について理解が不明なままである。調査①の目的は、アンケート調査を通して、教室外というインフォーマルな学習環境において、日本語学習者は現在どのように m-learning を行なっているかという現状を明らかにすることである。

6.2 調査の概要

6.2.1 調査の準備

この調査で利用するデータの収集方法はアンケート調査である。2017年8月15日から17日の間、予備調査を行った。予備調査の目的はアンケートの不足点や問題点を発見する

ためである。日本語専攻を卒業し日本の大学院に在学する中国人 12 人³²に協力を要請し、回答してもらったうえで修正のアドバイスをもらった。それを参考に予備調査のアンケートを修正し、最終的に、付録 1 を本調査のアンケートとした。

本調査で利用したアンケートは表紙、アンケート①とアンケート②の三つの部分からなる。筆者は各大学の日本語教師にアンケートの配布を依頼し、直接に回答者に会わないため、アンケートの表紙では、「アンケート回答時の注意事項」を付け加えた。その上に、事前に日本語教師に配布する際の注意事項などを説明した。

アンケート①は本研究の調査①のためのアンケートで、設問は 20 問（設問 1～設問 20）がある。アンケート②は本研究の調査②のためのアンケートで、設問は 29 問（設問 21～設問 49）がある。また、調査③のインタビュー協力者に連絡するために、アンケートの最後の設問（設問 50）では、回答者に連絡方法を書いてもらう設問を用意した。

6.2.2 調査の実施

本調査は、2017 年 10 月中に実施した。調査の対象者は、中国の浙江省にある二つの大学（A 大学と B 大学と略称する）の外国語学部で学ぶ日本語学習者である。2017 年 10 月 9 日から 10 月 11 日の間、筆者は A 大学と B 大学に行き、日本語のクラスを担当する教員にアンケート渡し、合計 320 部を配ってもらった。2017 年 10 月 18 日と 19 日に、アンケートの回収をした。回収できたアンケートは 299 部で、その中で、有効回答のアンケートは 292 部である。

6.2.3 回答者の属性

調査した結果、アンケートの回答者の男女の比率について、男子学生は 77 人（26.4%）で、女子学生は 215 人（73.6%）である（表 5）。中国の外国語学部で、女子学生の方が圧倒的に多く、男子学生は少ないのが現状である。今回の調査の男女の比率もこの現状に一致している。

³² 修士課程 1 年生 7 人、博士課程 2 年生 1 人、博士課程 3 年生 3 人、研究生 1 人。

表 5 男女の比率

性別	男	女
人数	77	215
比率	26.4%	73.6%

学年について、1年生は103人（35%）、2年生は64人（22%）、3年生は67人（23%）、4年生は58人（20%）である（図18）。本研究が調査したA大学の外国語学部は調査時にカリキュラムの改革を行なっている³³。新入生を募集する際、昔のように日本語専攻と英語専攻を分けて募集するのではなく、外国語学部という名義で募集する。中国語ではこのような新入生の募集の仕方を「大类招生」と呼ぶ。そのため、新入生は外国語学部に入學したのち、1年生の間は、英語専攻と日本語専攻のどちらにも配属されず、英語の授業、日本語の授業の両方を受けて、1年生の後半の学期に入ってからどちらの専攻に配属するかを決める。このような事情で、回答者の中で、1年生の人数がもっとも多い結果になった。1年生の中の日本語学習者は「大类招生」で入った人もいるため、全員は日本語専攻の学習者ではないが、外国語学部の日本語の授業を受講している。2年生、3年生、4年生は全員日本語専攻の学習者である。

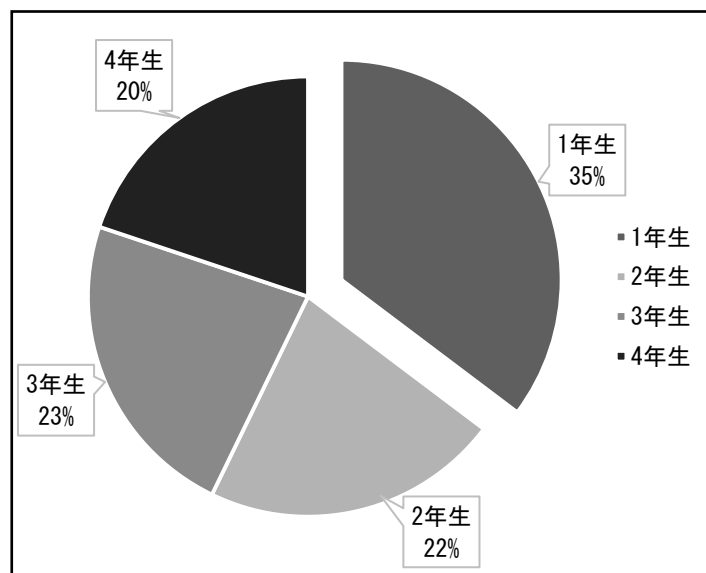


図 18 学年

³³ B大学も調査時の翌年から同じような改革を実施すると計画している。

最後に、回答者の年齢については、その幅は 17 から 23 歳までである。その中で、19 歳の学習者がもっと多い（表 6）。

表 6 年齢

年齢	17 歳	18 歳	19 歳	20 歳	21 歳	22 歳	23 歳	未回答
人数	8	58	71	63	52	30	7	3
比率	2.7%	19.9%	24.3%	21.6%	17.8%	10.3%	2.4%	1%

6.3 結果と考察

6.3.1 m-learning のハードウェア

m-learning を行う際、携帯端末とネットワークの整備が必要である。調査①のアンケートの設問 1 から設問 3 までは、スマートフォンの利用の有無、スマートフォンの操作システム、ネットワーク環境などのハードウェア面についての設問である。

調査の結果、スマートフォンを利用している人数は 292 人中 290 人おり、99.3%にも達している（表 7）。しかしながら、現在スマートフォンを利用している日本語学習者が圧倒的に多いものの、利用していない人もいる。今回の調査で、2 人が現在スマートフォンを利用していないと答えた。

表 7 設問 1：現在スマートフォンを利用していますか。

回答	はい	いいえ
人数	290	2
比率	99.3%	0.7%

次に、スマートフォンの操作システムについて、表 8 で示しているように、Android の端末を利用している人が 162 人で、iOS の端末を利用している人が 124 人である。Android の端末の利用数は iOS の端末の利用数よりやや多いことが分かった。また、ほかの操作システムの端末を利用している人も 2 人いる。

表 8 設問 2：お持ちのスマートフォンの操作システムは。

回答	Android	iOS	ほか	分からない	未回答
人数	162	124	2	1	1

m-learning の利点として、いつでもどこでも利用できることがある。通信端末の小型化と多機能化がこの利点の実現に大きく貢献したが、随時にインターネットに接続できることが m-learning の最大の強みだといえる。表 9 から分かるように、ほぼ全員（288 人）が 4G のネットワークを利用している。しかし、2G、3G を利用している人も少ないながらそれぞれ 1 人いる。

表 9 設問 3：お持ちのスマートフォンでよく利用するネットワークは。

回答	2G	3G	4G	wifi 接続時しか使えない	分からない
人数	1	1	288	0	0

以上、中国人日本語学習者が利用しているスマートフォンのハードウェア面の調査結果をみてきた。これらの結果から、以下のようなことが言える。

m-learning はスマートフォンなどの通信端末を利用して行う学習行為であるため、そのような通信端末の利用が前提である。中国人日本語学習者の多くはスマートフォンを所有し、利用しているが、全員がそうとは限らない。中国のスマートフォンの普及は早く、中国人日本語学習者の中で、大多数の人は m-learning できる環境にいるが、できない人も少数でありながら存在する³⁴。このような状況下では、「デジタルデバイド」³⁵という問題が生じる可能性がある。つまり、スマートフォンを利用し、m-learning を行う学習者とそうでない学習者の間で、日本語の情報に関する格差が生まれる可能性がある。

³⁴ その原因について、学習者自身が持ちたくない意思や学習者（貧困学生）の家庭の経済状況の問題などが考えられる。

³⁵ 森田（2002）によると、デジタルデバイドとは情報技術（IT）を利用するグループと利用しない（できない）グループとの間に、手にできる情報量の大きな差、不公平が生じてしまう現象である。

次に、スマートフォンと言っても、その種類は多種多様で、操作システムから分類すれば、大きく Android³⁶と iOS³⁷に分けることができる。同じ操作システムでも機種によって、アプリの表示や操作の仕方などが異なる。つまり、学習者が同じ学習アプリを利用しているとしても、端末上の操作が異なる可能性がある。学習ソフトを開発する際やその利用の仕方を教える際には、このような操作システムによる違いを考慮しなければならない。

最後に、ネットワークについて、現在中国で、スマートフォンのネットワークとして 4G が普及してきている。日本語学習者の中でも、4G のネットワークを利用している人が圧倒的に多い。しかし、2G と 3G のネットワークを利用している人もいる。画像やテキストが主なコンテンツとした学習アプリなら、2G と 3G のネットワークは通信速度が遅いものの、まだ対応できる。しかしながら、音声やビデオなどのコンテンツをメインとした学習リソースなら、2G と 3G のネットワークだとコンテンツを再生する途中で途切れる可能性がある。また、2G、3G、4G は多くの場合、従量制課金である。そのため、たとえば学習者が月々1ギガの通信容量を契約しても、当月分の通信容量を早く使い切って追加容量を買わないかぎり、翌月までネットワークに接続できなくなる。そのため、wifi に接続できる環境を除けば、インターネットを利用した m-learning ができなくなる。

6.3.2 m-learning の行動

この節では、中国人日本語学習者はどのような形で m-learning を行なっていたかについて述べる。

まず、アンケート①の設問 4 は m-learning の利用経験についての設問で、その結果は以下の表 10 で示した通りである。全員が m-learning をしたことがあるとは限らない。経験がある人は 9 割以上 (272 人、93.7%) を占めているが、経験がない人も少数 (18 人、6.2%) いる。つまり、日本語学習者の中で、m-learning の経験の有無の差が存在する。

³⁶ 日本語では「アンドロイド」と言う。「検索サイト大手のグーグルが開発し、無償提供している、スマートフォンやタブレット端末向けの OS。世界のモバイル端末用 OS の主流となっている。」(下島, 2018, p.585)

³⁷ 「アップルが開発し、iPhone や iPad に搭載しているモバイル端末用 OS。」(下島, 2018, p.585)

表 10 設問 4：スマートフォンを使って日本語を勉強したことがありますか。

回答	はい	いいえ
人数	272	18
比率	93.8%	6.2%

次に、設問 4.1 は設問 4 で「はい」と答えた人にさらに聞いた設問で、どのような m-learning の行動をしたかについての設問である。その結果、日本語学習者は様々な形でスマートフォンを利用して日本語に接触し、勉強していたことが分かった。上位 6 位の行動は「日本語の単語を調べた」(239 人)、「日本語のアニメとドラマを見た」(234 人)、「日本語の先生からの配布資料を読んだ」(220 人)、「日本語の学習アプリをダウンロードした」(184 人)、「日本語のページを閲覧した」(164 人)、「Weibo や WeChat などにおける日本語の内容を配信するユーザーをフォローした」(125 人) である。それ以外、音声資料を聞く、電子ブックを読む、ゲームやチャットするなどの行動をした学習者もいる。

表 11 設問 4.1：スマートフォンを利用して以下のどの行動をしましたか。

回答	人数
A.日本語のページを閲覧した	164
B.日本語の単語を調べた	239
C.日本語の先生からの配布資料を読んだ	220
D.日本語の学習のアプリをダウンロードした (※詳細は 8.2 節を参照されたい。)	184
E.Weibo や WeChat などにおける日本語の内容を配信するユーザーをフォローした	125
F.日本語の電子ブックを読んだ	33
G.日本語の公開授業のビデオを観た	20
H.日本語のドラマとアニメを観た	234
I.日本語のニュース、ドラマ CD などの音声資料を聞いた	99
J.日本人とチャットした	70
K.日本語のゲームをした	27
L.その他	4

上記の表で示している結果のように、中国人日本語学習者の m-learning の行動は多様な形がある。上位 6 位の中、学習が目的かどうかを基準に分けてみると、「日本語の単語を調べた」、「日本語の先生からの配布資料を読んだ」、「日本語の学習アプリをダウンロードした」は学習を目的とした行動である。それに対して、「日本語のアニメとドラマを見た」、「日本語のページを閲覧した」、「Weibo や WeChat などにおける日本語の内容を配信するユーザーをフォローした」は学習が目的ではなく、娯楽のためや知識を増やしたいためなどが目的である可能性がある。

m-learning はアプリやデジタル教材を用いて、勉強する学習形式だと一般的に思われている。スマートフォンで日本語のアニメやドラマを視聴したり、日本語のページを閲覧したりすることなどは m-learning ではないと思う人もいる。確かに、このような行動は学習を目的としたものではないかもしれないが、日本語に接触し、日本語の学習のきっかけになる。日本語のアニメやドラマなどを視聴することは聴解の練習になり、日本語のページを閲覧することは読解の練習になる。また、その過程で知らない日本語を調べることで、日本語の学習に繋がる。

6.3.3 m-learning の利用目的

アンケートの設問 4.2 は教室外でスマートフォンを利用して日本語を学習する際の主な目的についての設問である。その結果を表 12 で示す。

表 12 設問 4.2: 教室外で、スマートフォンを利用して日本語を学習する際、主な目的は。

回答	人数
A.知らない単語を調べるため	221
B.単語を覚えるため	142
C.聴解能力をアップするため	134
D.会話力をアップするため	63
E.日本文化を知るため	115
F.時間つぶしのため	51
G.その他	9

利用目的の中で、もっとも多いのは「知らない日本語を調べるため」(221人)である。これは、日本語学習者が m-learning の行動の中、日本語の単語を調べたということがもっとも多いと一致している。つまり、日本語学習者はスマートフォンで m-learning する際、主にスマートフォンを電子辞書の代わりに利用しようとしている。

次に多い利用目的は「単語を覚えるため」(142)である。新しい言語を学ぶとき、語彙量を増やすことはとても重要である。日本語を学習する過程でも、日本語能力のレベルをアップさせるためには、そのレベルに相応しい単語を覚え、語彙量を増やさなければならない。日本語の語彙量を増やすのは中国人日本語学習者が日本語を勉強する過程での重要なニーズの一つであると言える。中国人日本語学習者が教室外で、日本語の単語を覚える方法として、何回も声を出して読むことや、紙に何回も書くことなどが挙げられる。これらの方法は、参照する教科書や、書くための筆記道具(紙、ペン)などが必要である。また、読み書きが出来る時間と場所も限られている。つまり、このような方法は学習者に道具面の制限と、時間と場所の制限をかけている。もちろん、スマートフォンで日本語を覚えたくとしても、そのスマートフォンが良好な状態(電池残量が十分ある状態、通信状況が良好など)でなければいけない。このような道具面の制限がある。しかし、スマートフォンに単語を覚えるためのアプリをインストールしておけば、学習者は教室外で好きな時間と場所で単語を覚えることができる。また、アプリによっては、人間の記憶方式に基づいて設計されて、学習者に効率が良い単語の覚え方を提供している。つまり、スマートフォンで単語を覚えるとき、時間と場所の制限がなく、効率よく単語が覚えることができるといったメリットがある。このようなメリットが、「単語を覚えるため」という目的と関連するといえる。

それから、「聴解能力をアップするため」(134人)、「日本文化を知るため」(115人)と「会話力をアップするため」(63人)などの目的で、スマートフォンを利用して日本語を学習する人も多い。これらの目的はスマートフォンの多様な機能に起因すると考えられる。紙媒体の教材と比べて、スマートフォンはビデオ、音声などを再生することができる。紙媒体の教材も付属 CD などがあるが、それを再生する機械を別に要する。また、それらの CD は教材作成時に作られたもので、その内容を随時に更新することが出来ないという欠点がある。しかし、スマートフォンをインターネットに繋がれば、ビデオと音声を随時に更新することができる。さらに、インターネット上では豊富な情報があり、日本文化を知るためには非常に

有効なツールである。その上、最近のスマートフォンは音声認識と AI³⁸の技術が応用され、これらの機能を語学のための会話練習に応用することが可能になった。

さらに、「時間つぶしのため」という目的で、教室外でスマートフォンを利用して日本語を学習する人もいる。これは、中国人日本語学習者が m-learning の行動の中で「日本語のアニメとドラマを見た」ことが多いと関連していると考えられる。暇のときに、スマートフォンで日本語のアニメとドラマを見ることは暇つぶしであるが、日本文化と日本語に触れるきっかけにもなる。学習者は学習目的でスマートフォンを利用し、アニメとドラマを見ている過程で知らずのうちに日本文化に触れ、日本語の学習にもなる。アニメやドラマなどで日本社会と日本文化などの要素が少なからず盛り込まれている。これらを視聴することは、日本以外の国で日本語を学習する学習者にとって、日本文化に触れるチャンスである。このような日本文化についての知識を知ることも、日本語の学習の大事な部分であろう。

6.3.4 m-learning の利用時間

スマートフォンで m-learning するときの大きなメリットの一つとして、いつでも利用できることがある。しかし、いつでもできるからといって、学習者がいつも利用しているとは限らない。教室外で、学習者が m-learning する際、どのようなときに利用するかについて一定のパターンがあると考えられる。

表 13 は教室外の場合で、学習者がいつ m-learning を行うかについての結果を示したものである。その中で、一番多いのは「予習または復習するとき」(207人)である。これは設問 4.1 の結果の中、「日本語の単語を調べた」、「日本語の先生からの配布資料を読んだ」という m-learning の行動が多いと関連していると考えられる。学習者は教室外で、新しい教科内容を予習するときや、すでに習った教科内容を復習するとき、スマートフォンを利用して知らない単語を調べる。また、教室外で、先生が配布した予習用あるいは復習用の資料をスマートフォンで読む。「予習または復習するとき」が最も多いという結果から、教室外というフリーの学習環境においても、m-learning は教室内の内容と大きく関わっていることがうかがえる。

³⁸ 人工知能、Artificial Intelligence の略語、「コンピューターを用いて人間の脳が持つ知能や機能を実現させようというもの。」(河村, 2018, p.600)

表 13 設問 4.3 : 授業後、スマートフォンを利用して日本語を学習する時間帯は。

回答	人数
A.予習または復習するとき	207
B.教室に行くまたは寮に帰るなど歩行中	54
C.バスを待つまたはバスに乗っている間	76
D.授業の間の休憩中	96
E.寝る前	95
F.その他	27

また、「授業の間の休憩中」と答えた人は 96 人である。今回調査した 2 大学の授業は一コマ 45 分で、それが終わってから 15 分の休憩を挟んでからまた一コマ 45 分の授業を行うという形である。授業の間の休憩中、スマートフォンで、ニュースを読んだり、SNS をみたり、単語を覚えたりする学習者が多い。

次に、「寝る前」と答えた人は 95 人、「バスを待っているまたはバスに乗っている間」と答えた人は 76 人で、「教室に行くまたは寮に帰るなど歩行中」と答えた人は 54 人である。このように学習者は就寝する前や移動中などのときでも、スマートフォンを利用して日本語を学習している。

「F.その他」を選んだ人の自由記述³⁹ :

寝室にいるとき、早朝の自習のとき、食堂で並ぶとき、食事するとき、宿題をするとき、分からないことがあったとき、暇なとき、休みのとき

最後に、「その他」と答えた人のうち、「寮にいるとき」「早朝の自習のとき」「食堂で列に並んでいるとき」など中国人日本語学習者に特徴的な利用時間についての自由記述があった。まず、中国の大学生は基本的に学校の寮に住んでおり、授業が終わって、図書館や教室ではなく、寮で勉強する人が多い。それから、「早自習」という早朝の自習の時間を設けている外国語学部も少なくない。学習者はその時間帯を利用して、朗読の練習、単語の暗

³⁹中国語の自由記述の原文：「在寝室时，早自习，等饭时，吃饭时，做作业时，遇到不解时，闲的时候，假期」。

記などをする。また、中国の大学では学生が多いため、食堂が混み合い、学生たちは長い列に待たなければならないことがよくある。学習者はこのような時間を無駄にしないように、m-learning を利用している。

6.3.5 m-learning の周囲からの推薦

日本語学習過程で、m-learning のきっかけとして、周囲からの勧めがその一つだと考えられる。大学生という身分を考えれば、周囲の推薦者として、クラスメート、友達、先生が挙げられる。設問 5 と設問 6 は、周りの人から勧められたことがあるかどうかの経験についての設問である。

その結果 (図 19、図 20)、クラスメートまたは友達から勧められた経験がある人は 151 人で、経験がない人 (136 人) よりやや多いことが分かった。先生から勧められた経験の有無についても、ある人 (161 人) がいない人 (131 人) より少し多い。

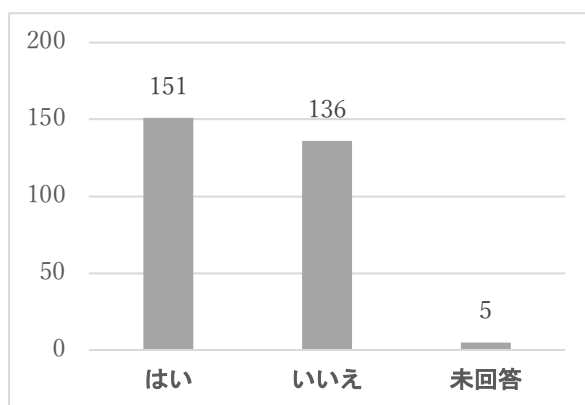


図 19 クラスメートまたは友達から勧められたことがありますか。

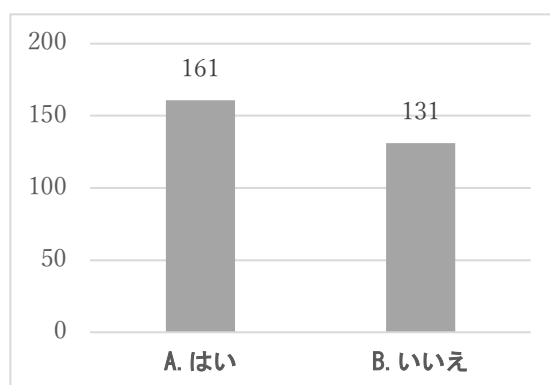


図 20 先生から勧められたことがありますか。

また、上記の二つの結果をクロス集計した結果⁴⁰、クラスメートまたは友達、先生両方とも勧められたことがある人は105人で、両方とも勧められたことがない人が84人である。クラスメートまたは友達から勧められたことはあるが、先生に勧められたことがない人は46人で、その逆で、先生に勧められたことはあるが、クラスメートまたは友達から勧められたことがない人は84人である（表14）。

表 14 勧めの有無

		クラスメートまたは友達から勧められた経験	
		はい	いいえ
先生から勧められた経験	はい	105	52
	いいえ	46	84

以上の結果から分かるように、日本語学習者のうち、周囲から勧められた経験がある人が多い一方、そうでない人も数多く存在する。周囲からの勧めは m-learning を始めるきっかけの一つである。もしそのようなきっかけがなければ、学習者は自分で m-learning のリソースを探さなければならない。

また、学習において、特に先生からの勧めは学習者の学習リソースの選択に大きく影響すると考えられる。その上、教室外の学習環境で m-learning する際、教師からの指導が行き届かない可能性が十分ある。そのため、問題 14 では、教室外の日本語学習において、教師の推薦と指導の必要性について聞いた。

その結果（図 21）、必要と答えた人（184 人）は必要ないと答えた人（70 人）より倍以上多いことが分かった。つまり、多くの日本語学習者は教室外の場合で m-learning するとき、教師の推薦と指導の必要性を感じたといえる。しかし、必要性がないと思う人も少なからず存在していることに留意しなければならない。

⁴⁰ 未回答は計算に入れていない。

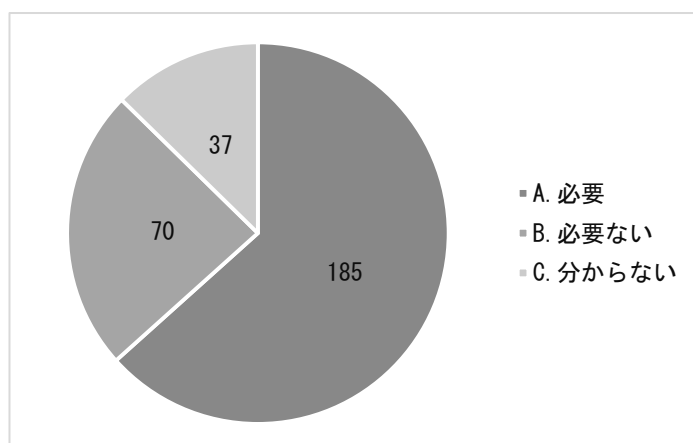


図 21 先生からの推薦と指導の必要性について

さらに、設問 14 で、必要または必要ないと答えた人にそれぞれの理由について、設問 14.1 と設問 14. 2 で聞いてみた。必要だと思う理由については、圧倒的に多いのが「先生の推薦と指導があれば、学習リソースをよりよく選別できる」（161 人）である（表 15）。

表 15 設問 14.1：必要だと思う理由は。

回答	人数
A.先生の推薦と指導があれば、モチベーションが上がる	14
B.先生の推薦と指導があれば、学習リソースをよりよく選別できる	161
C.先生の推薦と指導があれば、よりよい学習効果が得られる	30
D.先生の推薦と指導があれば、継続的に勉強できる	21
E.その他	0

次に、必要ないと思う理由については、「先生の推薦と指導より、自分で学習リソースを選別して勉強する方が好き」を選んだ人が一番多く、43 人である（表 16）。また、「先生の推薦と指導がなくても、自分で適切なリソースを見つけ、自主的に勉強できる」を理由として選んだ人は 26 人である。さらに、「教室外で、先生に干渉されたくない」と答えた人は 8 人いる。これらの理由の背景として、日本語学習者の学習スタイルの違いと学習環境による立場の変化などが考えられる。

日本語学習者の中でも、教師の指導に従って、勉強することを好む学習者がいれば、自分でいろいろな学習リソースを試しながら勉強することを好む学習者もいる。教室内の場合、

教科書や授業の進め方があらかじめ決められ、授業の内容について多様性と面白さがないと思っても、学習者はそれに従って授業に参加しなければならない。つまり、教室内では、学習者は「教師—学生」という権力関係において、受動的な立場に置かれて、自分の好みの内容を学習できないことが多い。しかし、教室外の場合、学習者は受動的な立場から解放され、能動的な立場になる。このような学習環境では、学習者は自分が好きなものを選び、好きなスタイルで学習できる。自主的に教室外で学習リソースを探し勉強する学習者にとって、先生の推薦と指導は逆に負担になるかもしれない。

表 16 設問 14.2 : 必要ないと思う理由は。

回答	人数
A.先生の推薦と指導より、自分で学習リソースを選別して勉強するほうが好き	43
B.先生の推薦と指導がなくても、自分で適切なリソースを見つけ、自主的に勉強できる	26
C.教室外で、先生に干渉されたくない	8
D.その他	0

6.3.6 m-learning のリソースの数量とクォリティー

筆者は Google Play⁴¹で、「日本語」を検索のキーワードとして、それに関連するアプリを調査した。その結果、総ヒット件数 250 件の中、111 件（45%）が日本語の学習アプリで、43 件（17%）が辞典類アプリで、10 件（4%）が翻訳アプリで、残りの 86 件（34%）が入力ツールなど学習と関係のないアプリであった。つまり、日本語と関連するアプリのうち、3 割以上が日本語学習に関係するアプリである。

m-learning の学習リソースの数量とクォリティーについて学習者がどのように認識しているかはいままで調査されなかった。設問 9 と設問 10 は、教室外の m-learning の日本語の学習リソースの数量とクォリティーについて学習者がどのように認識しているかを聞いた設問である。

まず、数量について（表 17）、「多くて、選ぶのが難しい」と思う人が 113 人で、最も多い。それに比べて、「少なくて、もっと多くのリソースが欲しい」と思う人はやや少ない

⁴¹ 2016 年 9 月 26 日に実施した調査である。

ものの 91 人もいて、次に多い。次に、「ちょうどいい」と思う人は 62 人である。また、「分からない」と答えた人は 25 人いる。この結果からみれば、m-learning のリソースの数量について、学習者の間で認識の差が存在しているといえる。筆者がこの設問を作成する際には、学習者の中で学習リソースについての認識は「多くて、選ぶのが難しい」に偏ると予想していた。調査の結果からみれば、確かにその傾向は見られたものの、「少なくてもっと多くのリソースが欲しい」と「ちょうどいい」と思う人も数多く存在していたことは予想外であった。

表 17 設問 9：教室外で、スマートフォンで日本語勉強する学習リソースの数量についてどう思いますか。

回答	人数
A.多くて、選ぶのが難しい	113
B.ちょうどいい	62
C.少なくてもっと多くのリソースが欲しい	91
D.よく分からない	25
未回答	1

次に、教室外の m-learning の日本語の学習リソースのクォリティーについて（表 18）、「普通」と思う人が圧倒的に多く、全体の 69%を占めている。また、「比較的に高い」と思う人は「比較的に低い」という人より多い。さらに、「よく分からない」と思う人も一割いる。学習者の学習リソースのクォリティーに対する認識の結果は上記の数量に対する認識の結果と同じ、学習者の間で認識の差が存在していることが確認できた。「普通」と思う学習者がそれ以外の人の人数の合計より多いという結果からみれば、学習者の多くは m-learning の学習リソースのクォリティーについて、中庸的な認識を持っているといえよう。しかし、それは現時点の認識で、今後の学習者が m-learning の経験を積むことによって、m-learning の学習リソースについての認識が変化する可能性もある。

表 18 学習リソースのクオリティーについてどう思いますか。

回答	人数
A.比較的高い	47
B.普通	202
C.比較的に低い	13
D.よく分からない	30

6.3.7 m-learning のリソースの形式

スマートフォンのマルチメディアの機能により、学習リソースはさまざまな形で提示される。紙の書籍に比べ、スマートフォンで提示できる学習リソースは文字と図だけではなく、音声、ビデオ、ゲームなどもある。教室外で、紙の書籍で学習する場合、学習者は文字と図を頼りに学習するしかないが、スマートフォンで日本語を学習する場合、学習者は自分が好む形の学習リソースで学習する。

設問 11 は、学習者がどのような形式の m-learning の学習リソースを好むかについて聞いた設問である。その結果（表 19）、文字と音声またはビデオと結合した学習リソースを好む学習者は 135 人で、一番多い。文字と図が結合した学習リソースを好む学習者は 83 人で、次に多い。それに対して、音声、ビデオ、文字、図など単独な形の学習リソースを好む学習者は比較的少ない。その原因として、文字と音声またはビデオ、文字と図を結合した学習リソースの方が単独の形の学習リソースに比べて、より多くの情報伝達ができ、学習者にとってより多くの学習内容を得られることが考えられる。さらに、ゲームという形の学習リソースを好む学習者が少ないという結果は筆者の予想外である。

表 19 スマートフォンで日本語を学習すれば、以下のどの形式が好きですか。

回答	人数
A.文字だけのもの	21
B.図	20
C.音声	61
D.ビデオ	68
E.ゲーム	31
F.文字と図が結合したもの	83
G.文字と音声あるいはビデオと結合したもの	135

文字、図、音声、ビデオ、ゲームが学習リソースとして利用される場合、それぞれ異なる特徴がある。m-learning のリソースのうち、多くの場合は文字で情報を提示している。その原因の一つは、インターネット上では文字ファイルの受送信が比較的早く、必要な通信の容量も少ないからである。理解しやすい短い文章ならばまだよいものの、そうでない場合、移動中や短いひまな時間などの m-learning の利用環境を考えると、学習者が集中して読むことができない。また、スマートフォンの液晶画面で文字だけの文章を読みたくない学習者も少なからずいるだろう。

図は文字に比べれば、より具体的な表現ができる。日本語教育で、直接法⁴²で絵カードを利用し、語彙の導入を行うことがよくある。しかし、説明のない絵カードだけでは情報がうまく伝わらないこともある。教室内で、学習者が図で表現されたものについてうまく理解できないあるいは間違っ理解した場合、教師の説明を聞くことなどを通して、正しく理解することができる。しかし、教室外で学習者が一人で m-learning を行う状況を考えると、図の内容を間違っ理解した場合、その理解が修正されないまま終わることがある。

音声の日本語の学習リソースとして、音楽、ニュース、ドラマ CD などがあげられる。これらのものは学習者の視覚を要求せず、聴覚情報として学習者に届くため、移動中の場合でも、学習者がイヤホンをつけて、聞くことができる。ビデオの日本語の学習リソースとして、アニメ、ドラマ、映画、ドキュメンタリーなどがある。これらのものは学習者の視覚と聴覚

⁴² 「母語を使用せず、実物や動作で意味を理解させる教授法のこと。[中略] 日本語教育においては、目標言語のみを使用して教える方法のことを直接法とみなしている。」(近藤・小森,2012,p.242)

両方を要求し、大量な情報を伝達することができる。6.3.2 節で分かったように、日本語学習者の中で、教室外で日本語のアニメ、ドラマを見た学習者が多くいる。しかし、教室外の場合、これらのビデオの視聴の主な目的は娯楽で、学習のためではない可能性がある。

以上、文字、図、音声、ビデオの学習リソースの特徴を整理してきた。これらを組み合わせることで、新たな特徴と効果が現れる。文字と図を組み合わせた学習リソースの代表例として、イラスト入りの解説文章などがある。抽象度が高い文字だけの内容にイラストを入れることで、学習者の理解の手助けになる。文字と音声またはビデオを結合した学習リソースの場合、文字は音声だけの情報不足とビデオだけの情報過多の問題を軽減することができる。例えば、音声のニュースだけでは、学習者がただ聞き流してしまい、そのスクリプトや単語の解説の文章を組み合わせることで、内容をより深く理解することができる。また、映画、アニメなどのビデオは伝達できる情報が多いため、それを短時間に分断し、注意書きや解説などをつけることで、学習者に注目してほしい内容を絞ることができる。

ゲームを日本語の教育活動に取り入れることはしばしばある。しかし、それは教育という文脈での利用であり、ゲームは日本語教師が計画した授業活動の一環で、学習者に習得してほしい内容がそのゲームの活動のなかに盛り込まれている。つまり、教室内のゲームにおいて、学習者は受動的な参加者であるため、ただゲームに参加するだけでも何かを学ぶという安心感がある。スマートフォン上のゲームは、文字、図、音声、ビデオなど自由に組み合わせられて、様々な形がある。教室外で学習者が自主的に学習する場合、スマートフォン上のゲームをすることは単なる娯楽で終わり、学習効果が実感できない可能性がある。そのため、教室外の m-learning でゲームという形式の学習リソースは逆に学習者に敬遠されるだろう。

6.3.8 m-learning の特徴

いままで、日本語学習者は教室外で、書籍、パソコンなどを通して、日本語を勉強してきた。情報通信技術の発展とスマートフォンの普及により、学習者はスマートフォン一つで、さまざまな日本語のリソースを入手でき、自分が好む時間と場所で学習できる。m-learning は知らずのうちに学習者の学習生活に浸透しつつある。m-learning の特徴として、いつでもどこでも利用でき、豊富な学習リソースに瞬時にアクセスできることがあげられる。この特徴は m-learning の研究者や専門家などの間では共通認識といえる。しかし、m-learning のユーザーである学習者は教室外の m-learning の特徴についてどのように考えているだろうか。

調査の結果（表 20）、「端末の持ち運びが便利」を選んだ学習者は 258 人で、一番多い。多くの学習者は「端末の持ち運びが便利」というスマートフォンの携帯の利便性による m-learning の特徴について認識しているといえる。教科書とパソコンに比べれば、スマートフォンは小さく、軽く、持ち運びに優れている。

表 20 設問 8：ほかの教室外の日本語を勉強する方法と比べて、スマートフォンで日本語を学習することの特徴は。

回答	人数
A.学習がより自主的で、選択肢が多い	178
B.端末の持ち運びが便利	258
C.暇な時間を利用して学習できる	233
D.学習のリソースが多い	194
E.学習スタイルは多様である	163
F.その他	12

また、「暇な時間を利用して学習できる」という特徴を選んだ人は次に多い。この特徴も、スマートフォンの持ち運びの利便性と密接に関連する。6.3.4 節で分かったように、移動中の時間を活用し、日本語の m-learning を行う学習者がいる。移動中で教科書やパソコンを使って、学習することは難しいが、片手サイズのスマートフォンは移動中でも対応できる。

次に、「学習リソースが多い」を選んだのは 194 人で、「学習がより自主的で、選択肢が多い」を選んだのは 178 人で、「学習スタイルは多様である」を選んだのは 163 人である。上記の「端末の持ち運びが便利」と「暇な時間を利用して学習できる」のは m-learning のハード面による特徴であるのに対し、「学習リソースが多い」、「学習がより自主的で、選択肢が多い」、「学習スタイルは多様である」は m-learning のソフト面による特徴である。教室外で、書籍を利用して学習することと比べれば、スマートフォンを利用する方は、はるかに多くの学習リソースを入手できる。また、教室外で m-learning する場合、学習者は学習の主導権を握り、自分の好みで学習を計画し、いつでもどこで学習するか、なにを学習するか全て自分で決めることができる。さらに、m-learning の学習リソースは、学習アプリ、Web ページ、辞書、電子ブック、音源、ビデオなどさまざまであるため、学習者は自由にそれらを組み合わせ、多様な学習スタイルを実現できる。しかしながら、m-learning に利用できる日

本語の学習リソースの多くは最初から学習の目的で設計されたものではないのが現実である。また、そのクォリティーは良いものもあれば、悪いものもある。そのため、学習者は多様な選択肢から自分に合う学習リソースを選択する必要がある。その上、上記のソフト面による特徴を最大限に生かすためには、学習者の自律学習の能力を高めなければならない。

最後に、「その他」を選んだ人は、m-learning について以下のような特徴を書いた。

- (ア) 時間をより効率よく利用できる
- (イ) 日本語学習の意欲を高めることが出来る
- (ウ) 語彙の更新はタイムリーで、簡単に調べられる
- (エ) 選択肢が多くなる反面、集中の度合いが落ちる
- (オ) ほかのことで集中できなくなる
- (カ) 気が散りやすい⁴³

上記の (ア) (イ) (ウ) は m-learning のプラス面の特徴であるが、(エ) (オ) (カ) は m-learning のマイナス面の特徴である。日本語の学習リソースが多くなると、確かに学習者がより多くの日本語の情報を手に入れやすくなるが、その反面、一つに専念して学習しなくなる可能性もある。また、スマートフォンは通信用機器として設計されたもので、学習者がスマートフォンを利用する主な目的も通信用である。そのため、m-learning する間、メッセージや電話などにより、学習が一時的に中断せざるを得ない状況になることはしばしばある。このような状況下では、学習者の集中力が阻害されやすい。

6.3.9 m-learning の利用を制限する要素

前節で、学習者が教室外の m-learning の特徴についてどのように認識しているかについて見てきた。それらの特徴は、学習者の m-learning の利用を促進する要素になると考えられる。この節では、教室外の m-learning の利用を制限する要素について学習者がどのように認識しているかについて述べる。

⁴³ 中国語の自由記述の原文：「时间利用率更高、提高学习日语的积极性、词汇更新及时方便查词、选择面多也意味着会丢失一个方面的专心程度、较容易被其他东西分散注意力、容易分心」

表 21 スマートフォンで日本語を学習することを制限する要素は以下のどれと思いますか。

回答	人数
A.学習効果に対して懐疑的である	94
B.先生の推薦と指導がない	73
C.液晶の画面が目が悪いと思う	60
D.もともと教室外であまり日本語を勉強していない	43
E.スマートフォンで日本語を学習できることすら知らない	13
F.学習リソースの取捨選択ができない	189
G.スマートのハード面がよくないあるいはネット状況が悪い	20
H.その他	13

まず、調査の結果（表 21）を見てみると、「学習リソースの取捨選択ができない」を選んだ学習者が 189 人もいて、一番多い。この結果は前述⁴⁴の学習リソースの数量について、多くて選ぶが難しいと考える学習者が多いという結果と関連する。教室内の場合、日本語教師が適切な学習リソースを選定し、教育活動を行うため、学習者がそれを選ぶ権利が与えられていない。教室外の場合、学習者は自分で学習リソースを選択できる権利が与えられたが、インターネット上の学習リソースをどのように取捨選択するか、ためらうことがある。また、学習者自身が選択した m-learning の学習リソースが自分の日本語レベルに合わない場合、早期の利用の破棄が予想される。

次に、「学習効果に対して懐疑的である」を選んだ学習者は 94 人いる。教育実践の中での m-learning の効果は検証されたが、それは教育という文脈で利用された m-learning である。つまり、m-learning は教室内の教育活動に盛り込まれ、学習者が日本語教師の指示のもとで受動的に m-learning を行う。日本語教師は m-learning の効果を知り、認めた上で授業活動に取り入れたため、学習者はその効果について疑うことが少ないと考えられる。それに対して、教室外の場合、学習者は教育という文脈から離脱し、学習という文脈に入る。どのような学習リソースを選択し、どのような形で、どのようなペースで学習するかはすべて学習者自身によって決定される。学習者はあらかじめ学習リソースの効果を実感できない。また、

⁴⁴ 6.3.6 節を参照されたい。

教室外の m-learning の多くは落ち着かない環境で行われるため、知識は定着しにくい。そのため、学習者が教室外の m-learning の学習効果について懐疑的な態度を持つのも無理はないだろう。m-learning の学習効果を疑う日本語学習者は m-learning を避ける可能性がある。

また、「先生の推薦と指導がない」を選んだ学習者は 73 人である。日本語学習者の中で、教室外での m-learning は日本語教師からの推薦と指導が必要だと考える人が多く存在し、その最も大きな理由は、そのような推薦と指導があれば、学習リソースをよりよく選別できるからである⁴⁵。しかし、もし日本語教師からの推薦と指導がなければ、上記のように教室外では学習者は自分で選択しなければならない。

その他の制限について、「液晶の画面が目に悪いと思う」を選んだ学習者は 60 人で、「スマートフォンのハード面がよくないあるいはネット状況が悪い」を選んだ学習者は 20 人である。この二つのは m-learning のハード面による制限である。また、「もともと教室外であまり日本語を勉強していない」を選んだ学習者は 43 人で、「スマートフォンで日本語を学習できることすら知らない」を選んだ学習者は 13 人である。この二つは、学習者の教室外の習慣と経験による制限だといえる。

スマートフォンのハード面と学習者の教室外の習慣を変えることは日本語教師にとって難しいが、学習者に教室外で m-learning という学習行為を紹介し、経験してもらうことが日本語教師にとって簡単であろう。つまり、日本語教師からの m-learning の推薦と指導は、学習者の学習リソースの選定時に役に立つだけでなく、いままで教室外の m-learning について知覚していない学習者にとって、この学習行為を知るきっかけにもなると考えられる。

6.3.10 m-learning のニーズ

m-learning は学習者に豊富な学習リソースと利便性をもたらしたが、学習者は教室外の m-learning についてどのようなニーズがあるだろうか。この節では、教室外の m-learning の学習面についてどのようなニーズがある、その背景にどのようなことがあるかを述べる。設問 12 は m-learning の学習面のニーズについての設問で、学習者が教室外で m-learning を通して最も向上させたいことは何かを聞いた。

その結果（表 22）、「語彙量」を増やしたいと思う人が一番多い（222 人）。この結果から、語彙量の増加は日本語学習者が教室外の m-learning に対する大きなニーズと言える。日

⁴⁵ 6.3.5 節を参照されたい。

本語能力を向上させるためには、日本語の語彙のより多く習得する必要がある。教室外の m-learning は語彙の学習に親和性が良く、学習者の語彙量を増やしたいというニーズに適応する。

表 22 設問 12：教室外で、スマートフォンで日本語を学習する際、最もアップさせたいのは。

回答	人数
A.話す能力	175
B.書く能力	60
C.語彙量	222
D.聞く能力	197
E.読む能力	122
F.日本社会と文化に対する理解	135
G.その他	2
未回答	2

また、日本語の運用能力に大きく分けると、読む、聞く、話す、書く、の四技能がある。調査の結果によると、教室外の m-learning を通して、この四技能の中で聞く能力、話す能力を向上したい学習者は、読む能力、書く能力を向上したい学習者に比べて、比較的多いことが分かった。その背景として、中国人日本語学習者は、日本語の授業以外で日本語を聞く、話す機会が少ないことが考えられる。また、中国の日本語教育の多くは中国語を利用した文法訳読法⁴⁶で行われるため、日本語学習者は教室内でも日本語を聞く機会も限られている。さらに、教室内という環境で考えると、学習者は自由に発音、会話の練習ができず、日本語教師の許可のもとで日本語を話す権利しか与えられていない⁴⁷。その上、日本語教師一人対多数の学習者という状況では、日本語教師がすべての学習者のニーズに応えることは困難である。そのため、聞く能力または話す能力について不足を感じる学習者は教室外で自主的にそのような能力を向上するために工夫しなければならない。m-learning はこのような学習

⁴⁶ 「文法訳読法は、『文法翻訳法』『対訳法』とも呼ばれる。(中略)。授業中、媒介語(学習者と教師の共通言語)が頻繁に使われ、文法と語彙の知識を問う練習問題など多くなされる。」(佐々木,2005,p.727)

⁴⁷ 授業内で、ペアワークやグループワークなどで、学習者が一見自由に話しているが、その権利も日本語教師から与えられたものであろう。

者のニーズに合致し、利便性を提供できる。

しかし、四技能の中、ほかの能力に比べて、書く能力を向上したい学習者が一番少ない。その原因について、日本語能力試験では書く問題が出題されず、学習者も宿題の作文や卒業論文以外、日本語で文章を書くチャンスが少ないことが考えられる。つまり、学習者は日本語で書くことについて実用性をあまり感じない。したがって、教室外の m-learning でもその能力の向上にニーズを感じる学習者が少ない。

表 22 で示したように、日本の社会と文化に対する理解の向上に期待を寄せる学習者が多い。言葉はその背景である社会と文化と密接に関連する。日本の社会と文化に対する知識を増やし、理解を深めることは、日本語の理解に役立つ。また、そのような背景知識は、日本語学習者のモチベーションの向上と維持、新たなスキーマ⁴⁸の形成にもつながる。しかし、教室という限られた空間では、日本の社会と文化に関する内容の学習は限界がある。その上、日本語教師が教える内容は学習者が興味関心の対象と一致しないこともしばしばある。そのため、学習者は教室外で日本の社会と文化に関する内容を求めるニーズが現れる。m-learning は日本語の授業以外で日本の社会と文化に触れることが少ない中国人学習者にとって、有効な手段だと考えられる。

6.3.11 m-learning に対する態度

m-learning は学習者の教室外の日本語学習に便利さをもたらしたが、果たして学習者は教室外の m-learning という学習行為についてどのような態度を持っているだろうか。設問 16 は、教室外で、m-learning で日本語を学習することについて支持するかどうかについての設問である。その結果（表 23）、「支持する」と答えた人圧倒的に多く、270 人もいて、全体の 92% も占めている。「支持しない」と答えた人は 2 人で、「中立」と答えた人は 19 人である。大多数の日本語学習者は教室外での m-learning に対して賛成する態度である。

⁴⁸ スキーマとは、人が持つ構造化された知識、あるいは知識の枠組みのことである（『研究社日本語教育事典』, 2012, p.104）。日本の社会や文化などの背景知識を増やし、理解することにより、学習者は新たなスキーマを獲得または従来持っているスキーマを修正する。このようなスキーマの変化は学習者の日本語理解に役に立つと考えられる。

表 23 設問 16：教室外で、スマートフォンを利用して日本語を学習することを支持しますか。

回答	人数
A.支持する	270
B.支持しない	2
C.中立	19
未回答	1

それぞれの理由について、設問 16.1、設問 16.2 と設問 16.3 で訊ねた。その結果（表 24）、「持ち運びが便利で、いつでもどこでも勉強できるから」という理由を選んだ人が一番多く。「より多くの学習リソースが得られるから」、「操作が簡単だから」を選んだ人も多い。それに対して、「学習効果がいいから」という理由を選んだ人は比較的少ない。また、「その他」で「リソースにアクセスするのが早いから」「学習しないより学習したほうがいいから」などの理由を書いた人もいる。

以上の結果から分かるように、多くの学習者は m-learning の学習効果がいいと思っていなく、いつでもどこでも利用でき、学習リソースが多く、操作が簡単などの m-learning の利便性を理由として、教室外の m-learning を支持している。

表 24 設問 16.1：支持する理由。

回答	人数
A.学習効果がいいから	30
B.操作が簡単だから	126
C.より多くの学習リソースが得られるから	146
D.持ち運びが便利で、いつでもどこでも勉強できるから	168
E.その他 (「リソースにアクセスするのが早いから」、「学習しないより学習したほうがいいから」 ⁴⁹⁾)	4

⁴⁹⁾ 中国語の自由記述の原文：「获取资源迅速」、「学习总比没有学习好」

次に、今回の調査では教室外の m-learning を支持しない人は 2 人しかいないが（表 25）、その理由は「学習効果がよくないから」と「適切な学習リソースを選別できないから」である。

表 25 設問 16.2：支持しない理由。

回答	人数
A.学習効果がよくないから	1
B.操作が複雑だから	
C.スクリーンが小さく、見づらいから	
D.適切な学習リソースを選別できないから	1
E.その他	

また、中立な態度をとった人は自由記述のところ以下のような理由を書いた⁵⁰。

- ① 断片的な時間を利用して、日本語を勉強することは授業で勉強することより効果が薄いと思うが、知識を強化することができる。
- ② スマートフォンの利用は良し悪しがあって、自分をコントロールする必要がある。
- ③ どっちでもいい、良し悪しがある。
- ④ スマートフォンの学習リソースはクォリティーの差があって、効果も個人差があるから中立な態度をとった。
- ⑤ 発音や文法に対する理解の面では限界がある。
- ⑥ 人それぞれ自分が慣れた学習方法がある。
- ⑦ 人それぞれの状況が異なって、自分の選択に責任を持てばいい。
- ⑧ 自分が興味を持っていて、自分から進んで勉強する場合ならば、たくさん勉強できるが、ただ学習という任務を完成するならば、限界がある。
- ⑨ 個人の好みによる。
- ⑩ スマートフォンを利用する間、本当に学習に使う時間が少ない。
- ⑪ 学習資源は豊富だが、クォリティーは高くない。

⁵⁰ 中国語の原文は付録 3 を参照されたい。

- ⑫ m-learning についてあまり分からないので、断言できない。
- ⑬ 気が散りやすい。
- ⑭ スマートフォンを利用して日本語を学習することはやはり人によって異なる、他のことで注意力が分散されやすいならば、勧めしない。労力は大きく効果が少ない。
- ⑮ 良し悪しある。
- ⑯ 個人の学習の習慣による。

以上で自由記述から、分かるように、学習者の中、m-learning の良し悪しがあるため（例えば①、②、③、⑮）、中立な態度をとった人がいれば、効果、個人の好み、学習の習慣などの個人差があるため（例えば④、⑥、⑨、⑭、⑯）、中立な態度をとった人もいる。また、⑤、⑧で記述されたように、m-learning の限界に気づいた学習者もいる。さらに、実際に学習に利用した時間（⑩）、学習リソース（⑪）、注意力（⑬）を意識する学習者が存在する。

6.4 まとめ

調査①では、アンケートを通して、中国人日本語学習者の教室外の m-learning の現状を調査した。6.3 節では、m-learning のハードウェア、行動、利用目的、利用時間、周囲からの推薦、学習リソースの数量とクォリティー、学習リソースの形式、特徴、利用を制限する要因、ニーズ、態度の 11 個の面から中国人日本語学習者の教室外の m-learning の現状を考察した。

まず、ハードウェアの面について、学習者のスマートフォンの利用率は非常に高いが、全員がスマートフォンを利用しているとは限らない。つまり、学習者の中で大多数の人は m-learning できる環境にいるが、できない人も少数でありながら存在することに留意しなければならない。また、学習者が所持しているスマートフォンの操作システムについて、Android の端末の利用数は iOS の端末の利用数よりやや多いことが分かった。学習アプリを開発する際、操作システムの違いによる表示や操作などの違いを考慮する必要がある。さらに、学習者の教室外の m-learning のネットワークについて、現在中国で、スマートフォンのネットワークとして 4G が普及してきている。日本語学習者の中でも、4G のネットワークを利用している人が圧倒的に多い。しかし、2G と 3G のネットワークを利用している人もいる。学習者の中で、スマートフォンのネットワークの通信速度の違いが存在する。

次に、中国人日本語学習者の m-learning の行動は多様な形がある。その行動は大きく、「日本語の単語を調べた」、「日本語の先生からの配布資料を読んだ」、「日本語の学習アプリをダウンロードした」のような学習を目的とした行動と、「日本語のアニメとドラマを見た」、「日本語のページを閲覧した」、「Weibo や WeChat などにおける日本語の内容を配信するユーザーをフォローした」のような学習が目的ではなく、娯楽のためや知識を増やしたいためなどが目的である行動に分けることができる。両者とも日本語学習に必要な行動だと考えられる。しかし、すでに以上のような行動をして、m-learning の利用経験がある学習者は多い一方で、まだ m-learning の利用経験がない人も少数ながら存在する。つまり、日本語学習者の間で、m-learning の経験の有無の差が存在する。

教室外の m-learning の利用目的の中で、もっとも多いのは「知らない日本語を調べるため」である。これは、日本語学習者が m-learning の行動の中、日本語の単語を調べたということがもっとも多いと一致している。つまり、現段階の教室外の m-learning において、日本語学習者は主にスマートフォンを電子辞書の代わりに利用しようとしている。

日本語学習者が教室外でどのような時間に m-learning をするかについて、多くの学習者は

「予習または復習するとき」と答えた。つまり、教室外というフリーの学習環境においても、m-learning は教室内の内容と大きく関わっていることがうかがえる。また、学習者は就寝する前や移動中などのときでも、スマートフォンを利用して日本語を学習している。さらに「寮にいるとき」「早朝の自習のとき」「食堂で列に並んでいるとき」に m-learning する学習者もいる。

日本語学習過程で、m-learning するきっかけとして、周囲からの勧めはその一つだと考えられる。今回の調査を通して、日本語学習者の中、クラスメート、友達、先生など周囲から勧められた経験がある人が多い一方、勧められたことがない人も数多く存在することが分かった。教室外の日本語学習において、先生の推薦と指導の必要性について必要だと思う学習者が多いが、必要がないと思う人も少なからずいる。必要だと思う理由について、圧倒的に多いのは「先生の推薦と指導があれば、学習リソースをよりよく選別できる」である。必要がないと思う理由について、「先生の推薦と指導より、自分で学習リソースを選別して勉強する方が好き」を選んだ人は一番多い。

また、学習者の教室外の m-learning の学習リソースに対する認識について、主にその数量とクォリティーの二つの面から調査した。数量について筆者は学習者の中で学習リソースについての認識は「多くて、選ぶのが難しい」に偏ると予想していた。調査の結果からみれば、確かにその傾向が見られたが、「少なくて、もっと多くのリソースが欲しい」と「ちょうどいい」と思う人も数多く存在することは予想外である。クォリティーについて、「比較的が高い」と思う人は「比較的に低い」という人より多いことが確認できた。それは現時点の認識で、今後の学習者が m-learning の経験を積むことによって、m-learning の学習リソースについての認識が変化する可能性もあると示唆した。

次に、学習者が好む m-learning の学習リソースの形式について、文字と音声またはビデオと結合した学習リソースを好む学習者が一番多い。文字と図が結合した学習リソースを好む学習者が次に多い。それに対して、音声、ビデオ、文字、図など単独な形の学習リソースを好む学習者は比較的少ない。ゲームという形の学習リソースを好む学習者も少ない。

m-learning には多様な特徴があるが、多くの学習者は「端末の持ち運びが便利」や「暇な時間を利用して学習できる」などスマートフォンの利便性による m-learning の特徴について認識している。アンケートでは学習者の m-learning のプラス面の特徴に対する認識を調査のために、そのような選択肢を設定したが、自由記述のところ、「選択肢が多くなる反面、集中の度合いが落ちる」、「ほかのことで集中できなくなる」、「気が散りやすい」などのよう

な m-learning のマイナス面の特徴を答えた学習者もいる。

教室外の m-learning を制限する要素について、「学習リソースの取捨選択ができない」を選んだ学習者がもっとも多い。この結果は学習リソースの数量について、多くて選ぶことが難しいと考える学習者が多いという結果と関連する。つまり、学習者は m-learning の学習リソースをうまく選択できないため、m-learning を断念する可能性がある。次に「学習効果に対して懐疑的である」、「先生の推薦と指導がない」と答えた学習者も多い。m-learning の効果を疑う学習者や教師からの推薦と指導がない学習者は m-learning を避ける可能性がある。

調査①では、教室外の m-learning の日本語の学習面のニーズについても調査した。その結果、語彙量の増加は日本語学習者の教室外の m-learning に対する大きなニーズであることが明らかになった。読む、聞く、話す、書くの四技能について、聞く能力、話す能力を向上したい学習者は、読む能力、書く能力を向上したい学習者に比べて、比較的多いことが分かった。さらに、教室外の m-learning で日本の社会と文化に対する理解の向上に期待を寄せる学習者も多い。

最後に、学習者は教室外の m-learning という学習行為に対する態度について、「支持する」と答えた学習者が圧倒的に多い。その理由について、いつでもどこでも利用でき、学習リソースが多く、操作が簡単などの m-learning の利便性を理由として、教室外の m-learning を支持している学習者が多い。それに対して、学習効果がいいという理由で教室外の m-learning を支持している学習者が少ない。

第7章 調査② 受容について

7.1 はじめに

教室外というインフォーマルな学習環境において、どのような要因が日本語学習者の m-learning の利用に影響するだろうか。調査②の目的は、仮説を検証するとともに、教室外の日本語学習者の m-learning に影響する要因を探り出すことである。調査②では技術受容に関する理論を理論的基礎として調査を行なった。なお、従来の技術受容の理論を異なるフィールドで利用する際に、修正する必要があるため、調査②では、7.2 節で述べたように修正を行い、最終的に九つの変数を決定し、八つの仮説を立てた。五段階評価のアンケートを作成して、調査を行った。調査で得たデータを重回帰分析という統計的手法で分析した。

7.2 技術受容の理論的基礎の応用

この節では、調査②における、技術受容に関する理論的基礎をどのように応用するかについて述べる。

調査②は、許・郑 (2013) のモデルをベースにし、以下の変更をした。まず、促進条件という変数について、調査②では用いないことにした。Venkatesh ほか (2003) の促進条件についての定義から分かるように、促進条件はシステム利用者がシステム利用する際に、所属する組織または他人からサポートが受けられると信じる度合いである。教師が主導する m-learning の場合では、この促進条件が影響するが、教室外という学習者が主導する場合は、m-learning する際に組織や他人からのサポートが受けられにくいと考えられる。また、許・郑 (2013) は重回帰分析を行なった結果、促進条件は大学生の m-learning の行動意思に利用する要因として抽出されなかった。そのため、調査②では促進条件を教室外の m-learning の行動意思へ影響する変数としなかった。

次に、許・郑 (2013) の研究では、努力期待、自己効力感、個人学習マネジメントは大学生の m-learning の行動意思へ影響する要因ではないという結果を示した。しかし、これは同研究では m-learning を教室内外のどちらかに限定せずに調査したことに起因し、教室外で学習者個人が m-learning を利用する場合、これらの変数は m-learning の行動意思へ影響する要因である可能性があるため、調査②ではこれらの変数を残した。

男女、年齢、経験の三つの要素について、6.2.3 節で分かるように、中国人日本語学習者の男女の比率が不均衡で、年齢の幅も大きくない。また、6.3.2 節で分かるように、学習者

の中で m-learning の経験の有無の差があるものの、経験がある学習者の人数が圧倒的に多い。したがって、調査②では男女、年齢、経験の三つの要素を取り入れないことにした。

さらに、調査②ではコスト認知 (Perceived Financial Cost) という変数を新たに追加した。m-learning はスマートフォン、インターネットを要する学習方法であるため、設備の購入と通信料の支払いが必要である。また、学習リソースの中で、無料のものがあるが、有料のものもある。つまり、m-learning では必ずコストが発生する。学習者がこれらのコストを負担する必要があり、支払えるかどうかに対する認知が m-learning の利用に影響すると考えられる。

したがって、本調査では、最終的に、効果期待 (PE)、努力期待 (EE)、社会的影響 (SI)、個人学習マネジメント (SLM)、娯楽性認知 (PP)、自己効力感 (SE)、成果価値 (AV)、コスト認知 (PFC)、行動意思 (BI) の九つの変数を決定し、八つの仮説⁵¹を立てた。調査②の目的は、仮説を検証するとともに、日本語学習者が教室外における m-learning に影響する要因を明らかにすることである。

⁵¹ 仮説については 7.3.1 節を参照されたい。

7.3 研究方法

7.3.1 変数と仮説

まず、本研究で用いる各変数の定義と参考にした文献について、以下の表 26 にまとめて示す。

表 26 変数の定義と参照した文献

変数	略称	定義	参考文献
効果期待 Performance Expectancy	PE	スマートフォンを利用することが日本語学習に役立つと学習者がどれほど信じているかという程度である。	Venkatesh ほか (2003)
努力期待 Effort Expectancy	EE	スマートフォンの使用に伴う使い易さについて学習者が認知する程度である。	Venkatesh ほか (2003)
社会的影響 Social Influence	SI	周囲の人がスマートフォンを使うべきだということについて学習者が認知する程度である。	Venkatesh ほか (2003)
個人学習マネジメント Self-Management of Learning	SML	日本語の学習ペースと時間を計画するなどの自己の学習を管理する能力に関する学習者の認知である。	许・郑 (2013) 谢 (2012)
娯楽性認知 Perceived Playfulness	PP	学習者がスマートフォンを利用して学習するとき、楽しさについて認知する程度である。	许・郑 (2013) 谢 (2012)
自己効力感 Self-Efficacy	SE	自分が持つ能力で学習の任務を完成できる自信の程度と自分の学習をコントロールできる能力に対する主観的判断である。	许・郑 (2013) Chiu & Wang (2008)
成果価値 Attainment Value	AV	学習者はスマートフォンで日本語を学習することが自分にもたらす利点に関する認知で、例えば、知識が増える、自分の能力が認められる、自信を得るなどである。	许・郑 (2013) Chiu & Wang(2008)
コスト認知 Perceived Financial Cost	PFC	スマートフォンで日本語を学習する過程で発生する料金を支払う能力に関する認知である。	Pin & Hsin-Hui(2005) 刘・吴 (2011)
行動意思 Behavioral Intention	BI	学習者が今後スマートフォンで日本語を学習する意思である。	Venkatesh ほか (2003) 谢 (2012)

また、各変数について、表 26 で示した参考文献を参考にしながら、以下のようなアンケートの質問を設定した（表 27）。各質問項目に「A.とても賛成 B.賛成 C.どちらともいえない D.反対 E.とても反対」の五段階評価の選択肢をつけた。

表 27 アンケートの質問項目

効果期待 (PE)
<ul style="list-style-type: none"> ● 教室外で、スマートフォンを利用して日本語を勉強すると、学習効率が上がると思う。 ● 教室外で、でスマートフォンを利用して日本語を勉強すると、成績が上がると思う。 ● 教室外で、スマートフォンを利用して暇な時間を活用して日本語学習ができると思う。
努力期待 (EE)
<ul style="list-style-type: none"> ● 教室外で、日本語学習のためのスマートフォンの操作は容易だと思う。 ● 教室外で、スムーズにスマートフォンを利用して日本語学習できると思う。 ● 教室外で、スマートフォンで日本語を学習する形式にすぐに適応できると思う。
社会的影響 (SI)
<ul style="list-style-type: none"> ● クラスメイトや友達からスマートフォンで日本語を学習することについての勧めは私の使用に影響すると思う。 ● 先生からからスマートフォンで日本語を学習することについての勧めは私の選択に影響すると思う。 ● 家族がスマートフォンで日本語学習することを支持してくれれば、利用すると思う。
個人学習マネジメント (SML)
<ul style="list-style-type: none"> ● 日本語学習において私は自律的な人で、娯楽と学習の関係をうまくコントロールできると思う。 ● 私は自分の日本語学習の時間をうまく管理でき、宿題などを完成できると思う。 ● 私は自分で日本語学習の計画を立てられると思う。
知覚された娯楽性 (PP)
<ul style="list-style-type: none"> ● 教室外で、スマートフォンで日本語を勉強すると、日本語学習の楽しみが増えると思う。 ● 教室外で、スマートフォンで日本語を勉強すると、日本語学習に対する好奇心が湧くと思う。 ● 教室外で、スマートフォンを利用して日本語を勉強すると、分からない日本語の問題について自分で調べて解決するようになると思う。

(表 27 の続き)

自己効力感 (SE)
<ul style="list-style-type: none">● 教室外で、スマートフォンを利用して、より多くの日本語の知識を得られる自信があると思う。● 教室外で、スマートフォンを利用して、日本語を勉強するときに出会った問題（端末の問題、ネットの問題、操作の問題など）を解決できると思う。● 教室外で、スマートフォンを利用して日本語を勉強する方法に慣れると思う。● 教室外で、スマートフォンで日本語を勉強することが上手だと思う。
成果価値 (AV)
<ul style="list-style-type: none">● 教室外で、スマートフォンで日本語を勉強することを通して、多くの日本語に関する知識を得たと思う。● 教室外で、スマートフォンで日本語を勉強することを通して、多くの日本語に関する問題を解決したと思う。● 教室外で、スマートフォンで日本語を勉強して、日本語能力が上がったと思う。
コスト認知 (PFC)
<ul style="list-style-type: none">● 教室外で、スマートフォンを利用して日本語を勉強するときに生じた通信費用や利用料などを支払えると思う。● スマートフォンを購入する費用を負担できると思う。● 教室外で、スマートフォンを利用して日本語を勉強する過程で生じた、すべての費用をすすんで支払うと思う。
行動意思 (BI)
<ul style="list-style-type: none">● これから、教室外でスマートフォンを利用して日本語を勉強すると思う。● これから、もっと頻繁に教室外でスマートフォンを利用して日本語を勉強したい● ある条件に達すれば（スマートフォンの性能が良くなって、利用料金がもっと安くなるなど）、教室外でスマートフォンを利用して日本語を勉強すると思う。

最後に、調査②を実施する前に、以下の表 28 で示している八つの仮説を立てた。

表 28 仮説

仮説	内容
仮説 1	PE は BI に正の影響がある
仮説 2	EE は BI に正の影響がある
仮説 3	SI は BI に正の影響がある
仮説 4	SML は BI に正の影響がある
仮説 5	PP は BI に正の影響がある
仮説 6	SE は BI に正の影響がある
仮説 7	AV は BI に正の影響がある
仮説 8	PFC は BI に正の影響がある

7.3.2 調査法と統計方法

調査②は調査①と同時に行ったため、その調査の概要の詳細は 6.2 節を参照されたい。筆者は A 大学と B 大学に行き、各日本語クラスの担当教員に合計 320 部のアンケート 2 (付録 1 と付録 2 を参照されたい) を渡し、学習者に配った。調査②では、最終的に回収できた有効なアンケート 292 部を調査データとする。

統計方法について、重回帰分析を利用した。重回帰分析は、複数の説明変数全体として目的変数の分散のどれだけを説明しているか(計算される指標値は決定係数と言われる)ということと、個々の説明変数の独自の影響度が計算される(君山,2004)。統計解析ソフトは、IBM SPSS Statistics 23(以下 SPSS と略称する)を利用した。説明変数の選択方法として、ステップワイズ法を選んだ。ステップワイズ法は、説明に使う説明変数⁵²を増やしたり減らしたりしながらあてはまりの良いモデルに近づける方法である(浦上・脇田,2008)。

⁵² 浦上・脇田(2008)は「独立変数」と書いたが、本論文では「説明変数」で統一して述べる。

7.4 調査の結果

7.4.1 アンケートの信頼性

まず、今回の調査で用いたアンケートの信頼性について、SPSS を利用して、Cronbach の α 係数を算出した。その結果、アンケート全体の Cronbach の α 係数は 0.948 で、高い値である。また、各項目の Cronbach の α 係数もいずれも 0.7 以上である (表 29)。したがって、本アンケートは信頼性があるものと考えられる。

表 29 Cronbach の α

	Cronbach の α	項目の数
全部	0.948	28
PE	0.850	3
EE	0.844	3
SI	0.724	3
SML	0.812	3
PP	0.872	3
SE	0.770	4
AV	0.841	3
PFC	0.732	3
BI	0.900	3

7.4.2 統計の結果

次に変数の相関について、相関分析を行った、その結果を表で示す。PE、EE、SI、SML、PP、SE、AV、PFC はすべて BI と正の相関があることが確認できる (表 30)。また、表 30 で示された変数間の相関は 0.90 以上のものはないため、多重共線性の問題はないと考えられる。

表 30 相関行列

	PE	EE	SI	SML	PP	SE	AV	PFC	BI
PE	1	.665**	.517**	.458**	.621**	.651**	.706**	.376**	.683**
EE		1	.473**	.427**	.570**	.719**	.669**	.515**	.645**
SI			1	.263**	.532**	.455**	.515**	.408**	.580**
SML				1	.396**	.447**	.457**	.228**	.404**
PP					1	.648**	.705**	.381**	.669**
SE						1	.709**	.485**	.653**
AV							1	.386**	.678**
PFC								1	.450**
BI									1

注： **p<.01

PE、EE、SI、SML、PP、SE、AV、PFC を説明変数とし、BI を従属変数とする重回帰分析の結果は表 31 で示す。なお、変数の選択方法は、ステップワイズ を利用した。その結果、本研究で最初に設定した八つの説明変数の中、PE、PP、SI、EE と SE は BI に影響を及ぼす変数として残されたが、SML、SE、AV は残されなかった。つまり、PE、PP、SI、EE、SE は BI に影響し、重要な要因であるが、SML、SE、AV は BI に影響が少ない。また、重決定係数 (R²) は.627 であり、1%水準で有意な値である。つまり、PE、PP、SI、EE と SE によって、BI を 60%説明できる。

各説明変数から BI への標準偏回帰係数(β)を見てみると、PE は.240、PP は.235、SI は.191、EE は.157、SE は.144 である。その中、SE は 5%水準で有意であるが、PE、PP、SI、EE はすべて 1%水準で有意である。

表 31 BI を目的変数とした重回帰分析の結果（ステップワイズ法）

変数	B ⁵³	SEB ⁵⁴	β ⁵⁵
(定数)	-.365	.197	
PE	.291	.066	.240**
PP	.250	.056	.235**
SI	.212	.050	.191**
EE	.177	.064	.157**
SE	.187	.075	.144*

注：①R² = .627

②*p < .05, **p < .01

相関分析と重回帰分析の結果を合わせて見ると、各説明変数は BI と相関関係にあるが、BI に影響する要因は PE、PP、SI、EE、SE である。この結果から、本調査が当初立てた仮説の中で、仮説 4、仮説 7、仮説 8 は破棄されたが、仮説 1、仮説 2、仮説 3、仮説 5 と仮説 6 が検証されたといえる。

仮説	内容	結果
仮説 1	PE は BI に正の影響する	○
仮説 2	EE は BI に正の影響する	○
仮説 3	SI は BI に正の影響する	○
仮説 4	SML は BI に正の影響する	×
仮説 5	PP は BI に正の影響する	○
仮説 6	SE は BI に正の影響する	○
仮説 7	AV は BI に正の影響する	×
仮説 8	PFC は BI に正の影響する	×

注：○は仮説が検証されたことを示し、×は仮説が検証されなかったことを示す。

⁵³ 回帰係数

⁵⁴ 標準誤差 (SEB : standard error of B)

⁵⁵ 標準偏回帰係数

7.5 考察

前節の結果から分かるように、効果期待 (PE)、娯楽性認知 (PP)、社会的影響 (SI)、努力期待 (EE)、自己効力感 (SE) は、m-learning の行動意思に影響を及ぼす要因である。

効果期待とは、教室外の m-learning による学習効率、成績の向上や暇な時間の有効活用に対する期待である。効果期待と行動意思は正の相関 ($r=.683$ 、 $p<.01$) から見ると、日本語学習者は教室外で m-learning によって得られる学習効果 (学習効率や成績の向上、暇な時間の有効活用) に期待しているほど m-learning の行動意思が高くなり、利用する可能性も高くなると予想される。つまり、学習者の m-learning の学習効果に対する期待をあげることで、学習者が教室外で m-learning する可能性が高くなると考えられる。ここで問題となるのは誰がどのようにその効果期待をあげることができるかである。教室内と教室外に分けて説明する。教室内の場合、日本語教師は学習者の m-learning に対する効果期待をあげるために重要な役割を果たす。具体的な方法として、教室内に m-learning の活動を取り入れて、学習者に実際にその効果を体験してもらうことと、教室外の m-learning のリソースを勧めることが考えられる。教室外の場合、日本語教師の監督が行き届かないだけでなく、学習者を取り巻く環境が複雑になる。このような状況において、学習者の友達、家族、同じ寮に住む人などからの m-learning の勧めや、学習者本人が模索しながら m-learning を体験し、その効果を実感することなどは m-learning に対する効果期待の向上に影響を及ぼすと考えられる。

また、娯楽性認知と行動意思は正の相関関係にある ($r=.669$ 、 $p<.01$) という結果から、教室外の m-learning の楽しさに対する認知が高ければ、m-learning を利用する可能性が高くなるということが言える。今回の調査における娯楽性とは楽しみが増加し、好奇心や探究心などが満たされることで生じる楽しさである。教室外で、日本語教師がいない場合、m-learning に対する娯楽性認知はすべて学習者の内側で発生し、その認知の向上は学習者本人によるものである。しかし、教室内の活動を通して、日本語教師は学習者の m-learning に対する娯楽性認知を上げることができる。日本語教師が教室内で m-learning を取り入れ、実際に学習者に経験させて、m-learning に対する娯楽性認知を向上させることで、学習者は教室外で m-learning を利用する可能性が高くなると予想される。

次に社会的影響について、行動意思と正の相関 ($r=.580$ 、 $p<.01$) であるため、社会的影響を増やすことで、学習者の m-learning を利用する可能性が高くなることが考えられる。学習者の周囲の環境から見れば、クラスメート、友達、先生、家族などが学習者に社会的影響を及ぼす人物である。クラスメート、友達、先生からの m-learning の勧めは学習者が m-

learning のリソースや m-learning という学習行為を知る契機になる。家族からの m-learning に対する支持は、学習者が安心して、継続的に m-learning を利用する基盤である。もし学習者の家族がスマートフォンは学習者の勉学の邪魔になると考え、学習者にスマートフォンを与えなければ、学習者は m-learning ができないことになる。また、経済的にまだ独立していない学習者にとって、家族からの金銭的な支援は m-learning を継続的に利用するために必要である。学習者の毎月の通信料金も家族に頼ることが多いと予想される。このように、家族からの m-learning の支持は学習者の m-learning の利用に影響を与えられられる。また、学習者の大学生という身分から見れば、大学にいる時間が多く、クラスメート、友達、先生との関わりが多い。6.3.5 節で分かるように、クラスメート、友達、先生から m-learning を勧められた経験がある学習者が多い。つまり、学習者の m-learning にクラスメート、友達、先生が関与する機会が多い。その具体的な関与の形は、m-learning に関する勧めである。このような勧めは学習者が m-learning を知るきっかけであるだけでなく、社会的影響として、学習者の m-learning の利用に働きかける。

さらに、努力期待とは、m-learning の使いやすさと自分の適応力に関する学習者の期待である。努力期待と行動意思は正の相関関係にある ($r=.645$, $p<.01$)。したがって、学習者の努力期待を上げることで、教室外の m-learning の利用が増えると考えられる。m-learning はスマートフォンを利用する学習方法であるため、スマートフォンの操作ができることは前提であり、その操作に慣れるための努力も必要である。また、学習の形式は伝統的に書籍を読むことや日本語教師に従って学習することからスマートフォンによる学習へと変更するため、学習者はこのような変更へ適応する必要がある。もちろん、操作に慣れる努力、学習の形式の変更への適応は学習者が主体的に行う必要があるが、スマートフォンの操作に困る学習者にクラスメートや友達からの支援、日本語教師からの指導などのような周囲からの働きかけにより、m-learning に対する努力期待が向上すると考えられる。

最後に、自己効力感について、許・郑 (2013) と異なる結果が得られた。調査した結果、自己効力感とは日本語学習者の教室外の m-learning の行動意思へ影響する要素の一つであり、行動意思と正の相関関係にある ($r=.653$, $p<.01$) ことが分かった。本調査における自己効力感とは学習者が教室外の m-learning を行う際の能力と自信に関するものである。調査の結果から見れば、自己効力感が高い学習者は m-learning の行動意思が高く、m-learning する可能性が高い。教室外の m-learning は学習者が主導権を握り、どのように学習を計画するか、どのような学習リソースを選ぶか、途中で問題に直面する際にどのように対応するか、最後

にどのように学習効果が得られるかについては、すべて学習者自身に責任がある。学習者は一定の能力と自信がなければ、教室外で m-learning をすることが難しいと考えられる。自己効力感
は教室外の m-learning において重要な役割を果たす。自己効力感を向上する方法として、学習者が自分で m-learning の経験を積み、能力と自信を上げる方法がある一方で、日本語教師による教室内の活動によって学習者の自己効力感を上げる方法もある。

第8章 調査③ 利用プロセスについて

8.1 はじめに

調査①と調査②のようなアンケートによる量的研究は、教室外の日本学習者の m-learning の全体像を把握することはできるが、m-learning がどのようなプロセスを経て変化するか、そのプロセスでどのような要素が関与しているかについては知ることはできない。したがって、調査③では調査①と調査②の結果を参考にしながら、インタビューガイドラインを作成し、M-GTA という質的分析法を用いて、日本語学習者の m-learning の行動のプロセスを究明することを目指す。なお、調査①で明らかになったように、日本語学習者が行っている m-learning 行動は様々がある (6.3.2 節)。調査③では、その中の日本語の学習アプリを利用した行動に注目し、中国人日本語学習者はどのような日本語の学習アプリを使用しているかを概観し、それを利用し始めるから利用し終わるまでの一連のプロセスを考察する。

8.2 日本語学習者の学習アプリの利用状況

スマートフォンによる m-learning の特性の一つとして、学習アプリをダウンロードし、インストールして学習することがある。アプリとはアプリケーション (application) の略語で、「スマートフォンやタブレット端末に機能を追加するソフトウェア」(下島, 2018, p.586) である。本研究で言う学習アプリとは学習のコンテンツが入っているアプリを指す。調査①の結果から分かるように、日本語の学習アプリをダウンロードして、m-learning を行う学習者が多い。しかし、学習者はどのような日本語の学習アプリを利用しているだろうか。調査①の設問 4 の選択肢 D の横に、どのようなアプリをダウンロードしたか書いてくださいという自由記述の空欄を設け、学習者に記述してもらった。学習者が記述した内容は以下である。

沪江小 D(54)、五十音图(20)、MOJi 辞書(15)、标准日本語(10)、沪江网校(7)、最最日语(6)、日语 U 学院(6)、沪江听力酷(3)、日语红宝书(3)、yahoo(3)、N1 听力(3)、YY 日语(2)、随行课堂(2)、沪江 CCtalk(2)、日语学习快速入门(2)、语法酷(2)、NHK 新闻(2)、新编日语(1)、每日日语听力(1)、日语 Fun Easy Learner(1)、Language(1)、全球说(1)、多邻国(1)、朝日新闻(1)、汉日词典(1)、Raziko(1)、喜马拉雅 FM (1)、Jsho(1)、SmartNews(1)、日语大辞典(1)、ChinaRadio(1)、沪江 i 樱花(1)、N1 文法(1)、日语基础入门学习(1)、有道(1)、日语单词天天背(1)、Easy Japanese(1)、MOJI 会话(1)、Drops(1)

注: () 内はそのアプリを書いた学習者の人数を表す。

以上から、日本語学習者は教室外で多様なアプリを利用していることが分かる。ここでは、その中で比較的多くの学習者が利用している「沪江小D」「五十音图」「MOJi 辞書」と「标准日本語」について、そのアプリの機能と特徴などを説明する。

「沪江小D」

「沪江小D」を利用している学習者は最も多い。「沪江小D」は多言語の辞書アプリで、英語、日本語、フランス語、韓国語、ドイツ語、スペイン語の単語を検索できる。そのアイコンとインターフェイス⁵⁶は図 22 で示す。

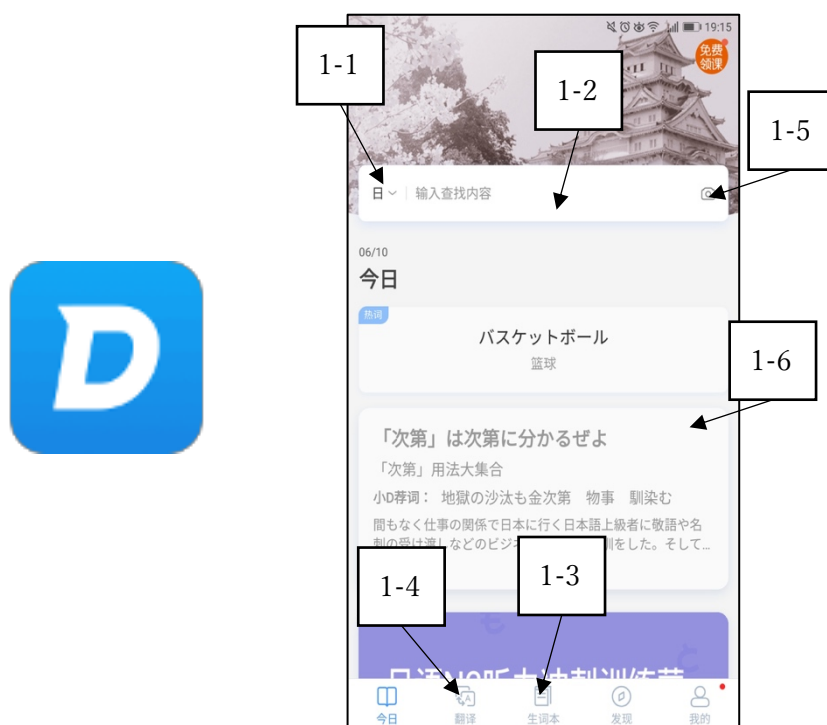


図 22 「沪江小D」のアイコンとインターフェイス

「沪江小D」の特徴は以下のとおりである。まず、このアプリは上に述べた6カ国の言語に対応し、検索できるフリーの辞書アプリである。その6カ国の言語の中国語訳を調べるだけでなく、中国語を入力して、該当する言語の訳を調べることも可能である。日本語の単語を検索したい場合、アプリを起動し、図 22 の 1-1 の部分を押して日本語を選択し、1-2 の部

⁵⁶ この節における画像は全て Android のスマートフォンで表示されるの画像である。
(2018年6月13日に撮影したもの)

分に検索語を入力し、検索するとその結果が表示される。「教育」を検索語として、検索すると、図 23 のような結果が表示される。単語の解釈に「簡明释义」「详细释义」二つある。「簡明释义」の部分では、中国語の訳など簡単な解釈だけ書いてあるが、「详细释义」の部分では、品詞、中国語の解釈、日本語の解釈、例文などがある。1-7、1-9 のボタンを押すと、単語や例文の発音を聞くことができる。1-8 のボタンを押すと、その単語を単語帳に追加される。また、図 22 の 1-3 のボタンを押すと、単語帳に移動し、今まで追加した単語を復習できる。



図 23 「沪江小D」の検索の結果

左：「簡明释义」 右：「详细释义」

また、インターネットに接続し、単語を検索することはもちろん、事前に辞書をダウンロードしておけば、インターネットに接続しなくても利用できる。辞書というメイン機能以外に、翻訳機能もついている。図 22 の 1-4 のボタンを押すと翻訳のインターフェースに移動し、日中、中日の翻訳ができる。入力した文章を翻訳できるだけでなく、撮影した写真の中のテキストを自動的に認識し、翻訳することもできる。図 22 の 1-5 のカメラマークのボタンを押すと、画像認識の画面に移動する。テキストの写真を撮影し、指で翻訳してもらいたい

部分を選択し、確認のボタンを押すと、画面の上部に写真の中で認識した日本語とその中国語の訳の結果が表示される（図 24 で示す）。

さらに、図 22 の 1-6 部分では、毎日自動的に新しい情報が更新される。その情報の種類は、日本語、日本のアニメ・ドラマ、日本社会、日本文化など多岐にわたる。「涪江小 D」はスマートフォン用の辞書アプリであるが、メインの辞書の機能以外、翻訳機能、単語帳機能、情報提示機能などもついている。

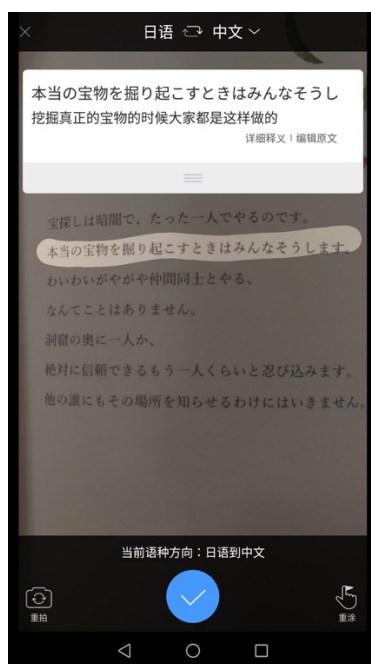


図 24 テキスト認識と翻訳機能⁵⁷

「五十音图」

「五十音图」は初級の学習者向けのアプリで、日本語の五十音図を学習することに特化したアプリである（そのアイコンとインターフェースは図 25 で示す）。その機能の一つは、学習記録の機能である。図 25 の 2-1 の部分ではいままでどれくらいの仮名を学んだかを数字で示す。また、図の中の 2-2 の時計マークを押すと、アラームを設定することができる。あらかじめ時間を設定し、その時間になったら、アラームが鳴り、学習者に学習を促す。

⁵⁷ 図の中の写真はパイインターナショナルが発行した『青い鳥の本』（石井ゆかり（著）、梶野沙羅（イラスト）、パイインターナショナル）の 1 ページを撮影したものである。



图 25 「五十音图」のアイコンとインターフェース

2-3 の部分を押すと、コンテンツを学習するインターフェースに移行する（図 26）。左右にスクロールして、学習したいコンテンツを選択することができる。そのコンテンツは「前言（前言）」「清音（清音）」「浊音（濁音）」「拗音（拗音）」「长音・促音・音调（长音・促音・音调）」の五つの部分で分けられる。ここでは、「前言（前言）」と「清音（清音）」を取り上げて説明する。図 26 は「前言（前言）」のインターフェースで、2-4 部分を押すと、詳細な学習内容を提示する画面に移行する。2-5 の部分はビデオで、その内容は日本語の基本的な文字構成についての 12 分ぐらいの中国語の解説動画である。2-6 の部分はその解説動画の内容についての簡単なまとめである。この「前言（前言）」のコンテンツはこれからの学習のための導入の部分にあたる。



図 26 「前言」のインターフェースと内容

図 27 は「清音 (清音)」の学習コンテンツのインターフェースで、五十音の「あ行」から始まり、その行の学習とテストが全部クリアできてから、次の行の学習をすることができる。つまり、アプリ内ではゲームの要素も取り入れている。図 27 の 2-7 の部分を押すと、詳細な学習内容の画面に移動する。図 27 の真ん中の図は平仮名の「あ」の学習内容を示した画面である。その中で、2-9 が指す部分で学びたい仮名を選択できる。2-10 の部分では、該当の仮名が大きく表示され、書き順を示す動画となっている。また、2-11 のボタンを押すと、該当の仮名の発音を聞くことができる。2-12 のボタンを押すと、自分の発音を録音し、再生することができる。2-13 のボタンを押すと、指で 2-10 の部分で、該当の仮名の書く練習もできる。さらに、画面を下にスクロールすると、学習内容が表示される (図 27 の右の図)。2-14 の部分では、仮名を中国語の漢字と関連づけて、イメージによる記憶法を提示している。2-15 の部分では、該当の仮名に関する解説動画となっている。「五十音図」では各仮名に、以上のように発音、書き方、記憶法、解説動画などがついている。その上、アプリ内で発音と書き方の練習をする機能もついている。学習者はこのアプリを利用して、日本語

の五十音を詳細に学ぶことができる。

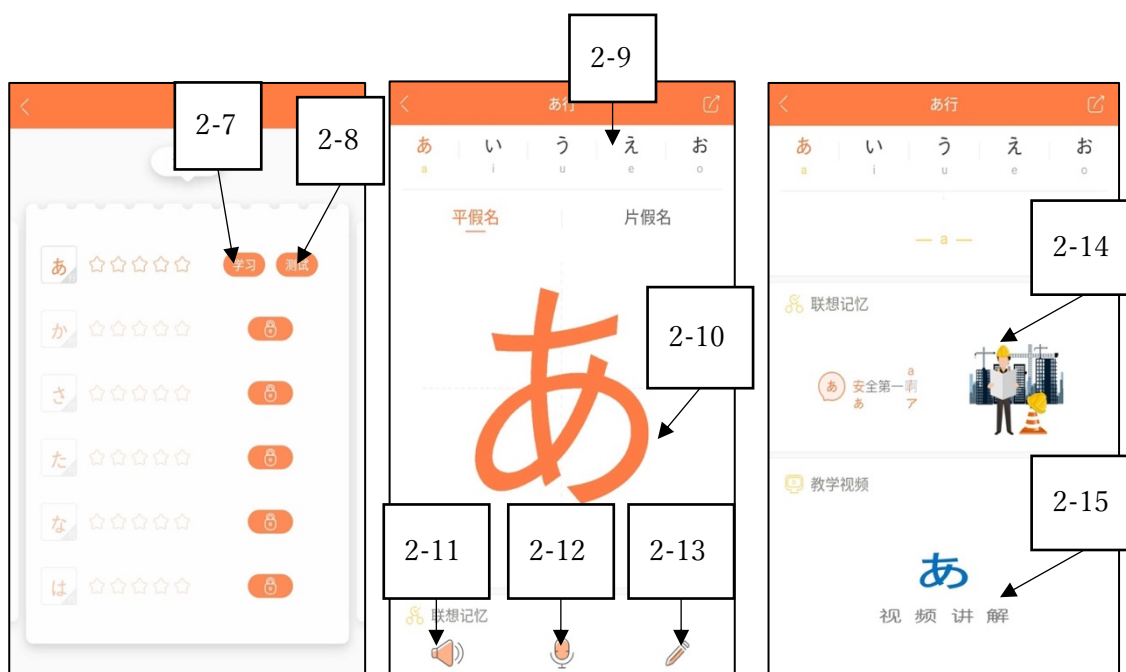


図 27 学習のコンテンツ

一行の仮名を一通り学習して、2-8 のボタンを押すと、その行の仮名のテストを受けることができる。そのテストの問題は、図 28 で示すような発音を聞いて、該当する部分の仮名を選択する問題と、画面で表示されている仮名の発音を選択する問題である。テストは全部で 20 問があり、それが終わったら、2-16 のような画面が表示される。その中で、今回のテストの点数が表示される。テストの点数が 80 点以下だと次の行の学習ができないため、もしテストで 80 点以下の点数をとった場合、2-17 のボタンを押して再テストすることができる。また、2-18 のいずれのボタンを押して、テストの結果を中国の主要な SNS に発信することができる。

また、「五十音図」の中のコンテンツは五十音の学習とテストに関するものだけでなく、日本語に関する豆知識やはやりの言葉などもあり、定期的に更新される。つまり、この「五十音図」というアプリを通して、学習者は五十音を学習できるだけでなく、日本語に関するほかの情報に触れることも可能である。

以上から分かるように、「五十音図」は日本語の五十音の学習に特化したアプリで、その中で、五十音の学習については、発音、書き方、記憶方など提示し、ゲーム的な要素を取り入れ学習者に紙媒体の教科書より多彩な内容を提供している。また、アプリ内で発音の練習

と書き方の練習をする機能もついているため、学習者はペンや紙を持ち歩かなくても、気楽に五十音の練習ができる。さらに、日本語に関する豆知識などが定期的に更新されて、その内容は学習者に日本語に興味をもたらしきっかけにもなると考えられる。



図 28 テスト

「MOJi 辞書」

「MOJi 辞書」は前に説明した「沪江小D」と同じ辞書のアプリであるが、日中辞書に特化したものである。そのアイコンと単語検索のインターフェースは図 29 で示す。例として、検索のキーワードの部分に「教育」という単語を入力すると、図 30 の 3-1 の部分で関連する単語が表示される。その中の「教育」をタップすると、検索結果の画面に移行する。また、検索語を前一致、後一致などで検索することが可能である。

検索結果では各単語の解釈に、品詞、中国語の解釈、日本語の例文とそれに対応する中国語の訳文などがある。また、3-2 のボタンを押すと、該当する部分の発音を聞くこともできる。さらに、3-3 の部分を押すと検索した単語を単語帳に追加することができる。

「MOJi 辞書」の特徴として、アプリ内で検索できるだけでなく、3-4 のボタンを押すと、インターネット上のオンライン辞書、検索エンジンや翻訳ツールにアクセスし、その解釈や訳などを閲覧することができる。「MOJi 辞書」の機能は少ないが、操作が簡単で、日中辞書としては優れた検索ツールである。

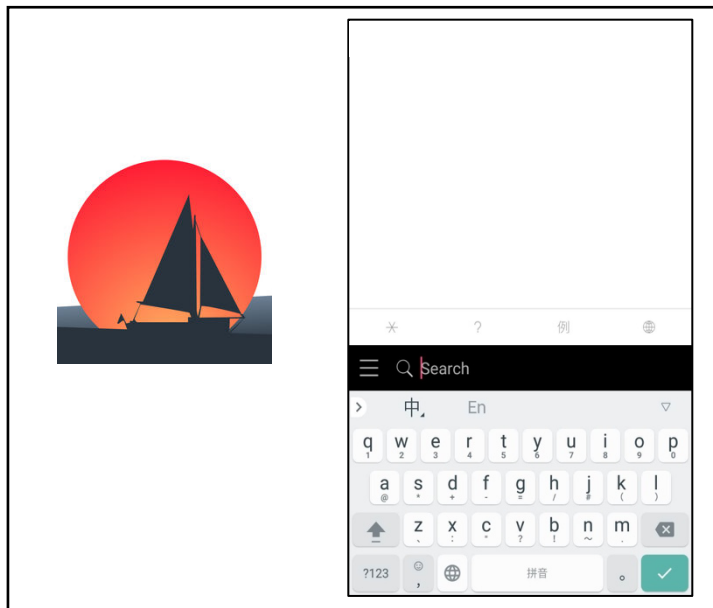


図 29 「MOJi 辞書」のアイコンとインターフェース



図 30 検索結果

「標準日本語」

最後に、「標準日本語」は人民教育出版社が出版した『新版 中日交流標準日本語 初級上、下』という日本語の教科書のスマートフォン用のアプリである。そのため、その内容は、『新版 中日交流標準日本語 初級上、下』と同じである。このアプリを利用するにあたり、まずアカウントを作成する必要がある。また、アプリ内のコンテンツを全部に利用したい場合、実体の本を買い、その本の中で印刷された認証コードをアプリに入力し、コンテンツのロックを解除する必要がある。もしその認証コードがない場合、このアプリ内では五十音図と初級の第1ユニット（第1課から第4課）しか利用できない。つまり、このアプリを全て利用したい場合、本を先に入手しなければならないという制約がある。

ここでは、誰でも利用できる「標準日本語」の中の五十音図と第1課を取り上げて、説明する。アプリを起動すると、まず画面に映るのは、本の表紙である（図31）。左右にスクロールして、学習したい教科書を選ぶ。図32は五十音図を選んだ場合のインターフェースである。図32の4-1の部分を押し、発音を聞きたい仮名をタップすると、該当する仮名の発音を聞くことができる。また、4-2の部分を押し、学習したい仮名をタップすると、その仮名を学習する画面に移動する。4-3の部分では仮名の書き順を数字で表示している。4-4の部分でタップすると、その仮名が動き、動画で書き順が示される。4-5の部分を押すと、書練習用のパットが表示され、そこで仮名の書く練習ができる。4-6部分では、その仮名が入っている簡単な単語が例として出されている。さらに、4-7のマークを押すと、該当する部分の発音を聞くことができる。



図 31 教科書を選択する画面



図 32 「標準日本語」における五十音のコンテンツ

次に、図 33 は第 1 課の教科内容を示すものである。「基本（基本）」「应用（応用）」「语法（文法）」「生词（単語）」「练习（練習）」の中から、学習したい項目を選ぶ。図 33 は「基本（基本）」と「应用（応用）」の部分の内容を示したものである。この二つの部分では該当する課の会話文が表示されている。発音を聞きたい場合、聞きたいセンテンスを直接タップすれば、該当する部分の音声流れる。また、4-8 の部分を押すと、全部の会話文の音声再生される。4-9 の部分で、画面上の日本語の例文の中国語訳を表示するかどうかを選択することができる。

図 34 は「语法（文法）」を示す部分であり、この部分では「基本（基本）」「应用（応用）」の部分で出現した文法項目についての中国語の解釈、日本語の例文とそれの中国語訳が表示されている。

図 35 は、「生词（単語）」の画面である。ここで、この課で新出する単語がリストアップされている。各単語に品詞と対応する中国語がついている。単語をタップすると、その単語の発音を聞くことができる。また、図の下の 4-11 を選択し、再生ボタンの 4-10 を押すと、画面上に表示される単語リストの順番通りに音声流れる。4-12 の選択し、再生ボタンの 4-10 を押す場合、ランダムで画面上の単語の音声流れる。さらに、4-13 のボタンを押し

て、各単語が読まれる回数と二つの単語間の間隔を設定することができる。この機能を利用すれば、学習者は単語の聞き取り練習をすることができる。

図 36 は「練習 (練習)」の部分の一例である。音声聞いて、図を見ながら、例に習って、答えてくださいという問題である。

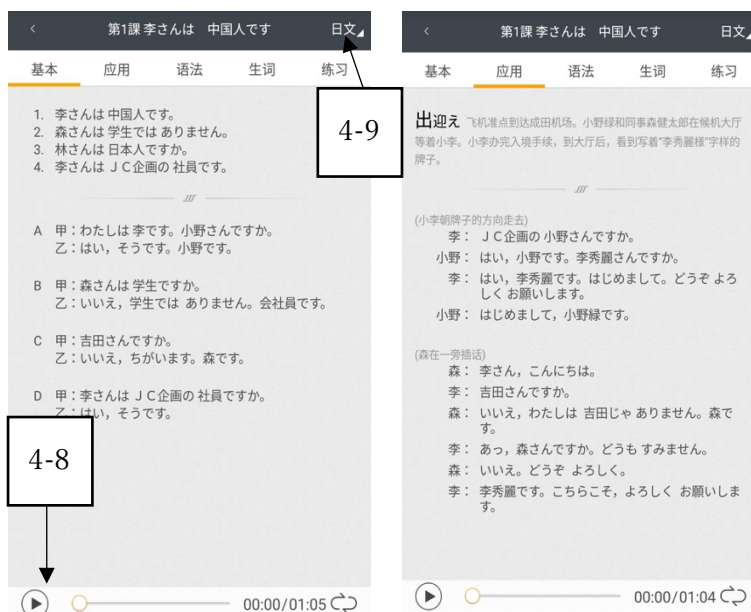


図 33 「基本」と「応用」の内容

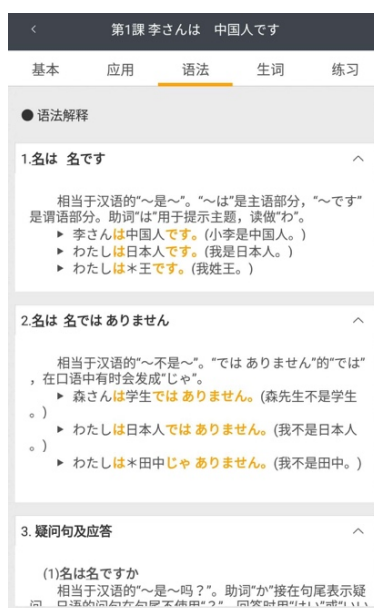


図 34 「語法」の内容



図 36 「生词」の内容

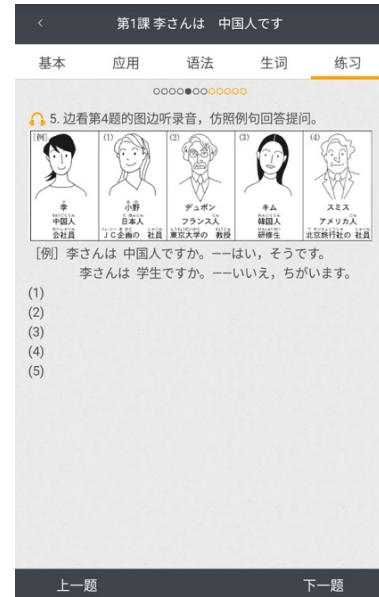


図 35 「练习」の内容

8.3 研究方法

8.3.1 調査の概要

前節で分かるように、日本語学習者は教室外でさまざまなアプリを利用して、日本語を学習している。その中、「沪江小D」「五十音图」「MOJi 辞書」と「标准日本語」は比較的多くの学習者に利用されている。しかし「沪江小D」「MOJi 辞書」は辞書のアプリで、日本語学習の要素が入っているものの、主に電子辞書代わりの役割を果たしている。また、このような辞書のアプリは常に学習者の学習過程に利用されるため、利用終了のプロセスを調査しにくい面がある。「标准日本語」は利用制限があるだけでなく、教科書のアプリであるため、それを利用終了するまでかなりの期間を要する。上記の三つのアプリは筆者が調査する時点で、まだ利用中という可能性が高く、利用終了のプロセスを調査できない。調査③の目的は、教室外で日本語の学習アプリによる m-learning の利用開始から利用終了までの一連のプロセスを調査することである。そのため、調査時点ですでに利用終了した「五十音图」のほうが調査③の研究目的に適合するものである。そのため、調査③では「五十音图」を調査対象のアプリとし、それを利用する学習者を調査の候補者として、日本語の学習アプリの利用に関する一連のプロセスを調査した。

インタビュー協力者の選定について、調査①のアンケート①の設問 4.1 で「D.日本語の学習アプリをダウンロードした」を選び、さらに、「五十音图」と記述した回答者をインタビューの候補者とした。その結果、合計 20 人のインタビューの候補者を得た。しかし、20 人のうち、アンケートの最後の設問 50 で連絡先を書いていなかった人が 2 で、連絡先が書いていたが、連絡がつかない人が 6 人いる。この 8 人を除き、最終的にインタビューに参加した人は 12 人である。

調査③では、調査法として半構造化インタビューを採用した。インタビューを実施する前に、調査①と調査②の結果を参考にして以下のようなインタビューガイドラインを作成した。

A. 今回のインタビュー調査の目的、方法、所要時間およびデータ管理についての説明

B. 協力者のプロフィールについての質問

（苗字、学年、「五十音図」についての簡単な紹介など）

C. 「五十音図」を利用する前の状況について

「五十音図」を利用する前に、ほかの日本語の学習アプリや学習アプリを利用したことがあるか

どのようなきっかけで「五十音図」を使い始めたか

「五十音図」を選んだ理由、基準など

どのような学習効果を期待しているか

同時に何個かの学習アプリを利用するか、それともそれだけ

D. 「五十音図」を利用している間の状況について

どのように使っているか（いつ使い始めたか、頻度、具体的な利用法）

何か問題があったか

使ってみて、どのような感想があるか

期待したことが実現できたか

友達などにこれを勧めると思うか

E. 現在および今後の状況について

現在まだ使っているか

「五十音図」についてどのように評価するか

これからほかの日本語の学習アプリを利用したいか

「五十音図」を利用した経験が、これからの日本語の学習アプリの利用にどのように影響すると思うか

教室外で日本語の学習アプリを利用することについてどう思うか

⁵⁸ 中国語の原本は付録 6 を参照されたい。

インタビューの実施について、以下の表 32 で示す。インタビュー協力者のうち、男性が 3 人、女性が 9 人である。1 年生が 10 人、2 年生が 2 人である。中国の通信アプリ WeChat を利用して、オンラインのインタビューを実施した。そのインタビューの音声を録音機器で録音した。なお、インタビューは同意書⁵⁹の内容に同意した人に実施した。

表 32 インタビュー協力者

日付	長さ	対象者	性別	学年
2018 年 3 月 27 日	16 分 31 秒	A1	女	1 年生
2018 年 3 月 27 日	13 分 23 秒	A2	女	1 年生
2018 年 3 月 27 日	11 分 49 秒	A3	男	2 年生
2018 年 3 月 27 日	18 分 03 秒	A4	男	1 年生
2018 年 3 月 27 日	16 分 13 秒	A5	女	2 年生
2018 年 3 月 27 日	13 分 47 秒	A6	女	1 年生
2018 年 3 月 27 日	14 分 38 秒	A7	女	1 年生
2018 年 3 月 27 日	16 分 57 秒	A8	女	1 年生
2018 年 3 月 28 日	14 分 57 秒	A9	女	1 年生
2018 年 3 月 28 日	16 分 31 秒	A10	女	1 年生
2018 年 3 月 28 日	18 分 42 秒	A11	女	1 年生
2018 年 3 月 29 日	12 分 15 秒	A12	男	1 年生

8.3.2 データの整理と分析方法

インタビューで得た音声データを文字化し、その文字データ（付録 8）を調査③のデータとした。M-GTA の研究方法を利用し、分析焦点者を中国の大学における日本語学習者に絞り、分析テーマを教室外で日本語の学習アプリを利用するプロセスに決定した。文字データを読みながら、付録 7 で示した分析ワークシートを立ち上げ、概念の生成を行なった。一つの概念に一つの分析ワークシートを作成し、その中に該当する具体例を追加し、新たな概念が生成されないと判断できるまで同じ作業を繰り返し行った。その後、概念間の関連を模索し、カテゴリーの生成を行った。その結果、文字データから、合計 24 個の概念、9 個のサブカテゴリーと 4 個のコアカテゴリーを抽出した（表 33）。

⁵⁹ 付録 4 と付録 5 を参照されたい。

表 33 概念、カテゴリーの一覧表

【利用前】	【利用中】
<p>【以前の利用経験】</p> <p>概念 1 〈以前の利用経験の有無と内容〉</p> <p>概念 2 〈以前の利用経験からの影響〉</p> <p>【知るきっかけ】</p> <p>概念 3 〈推薦者〉</p> <p>概念 4 〈推薦者からの勧めの具体的な内容〉</p> <p>概念 5 〈本人による検索〉</p> <p>【利用する原因】</p> <p>概念 6 〈利用する原因〉</p> <p>概念 7 〈選択した理由〉</p> <p>【利用する前の期待】</p> <p>概念 8 〈利用する前の期待〉</p>	<p>概念 9 〈利用の期間〉</p> <p>概念 10 〈利用の頻度〉</p> <p>概念 11 〈具体的な時間帯〉</p> <p>概念 12 〈利用の仕方〉</p> <p>概念 13 〈利用しなくなる理由〉</p>
【利用後】	
<p>【期待の達成】</p> <p>概念 14 〈期待の達成〉</p> <p>【他人への推薦】</p> <p>概念 15 〈推薦の相手〉</p> <p>概念 16 〈他人への勧めの具体的な内容〉</p> <p>【アンインストール】</p> <p>概念 17 〈アンインストールする/しない理由〉</p>	<p>【アプリの良し悪しについての評価】</p> <p>概念 18 〈良い点についての評価〉</p> <p>概念 19 〈良くない点についての評価〉</p> <p>【後の利用】</p> <p>概念 20 〈ほかのアプリの利用〉</p> <p>概念 21 〈今後の利用への影響〉</p>
【学習者の認識と環境】	
<p>概念 22 〈学習アプリの利用の良いところの認識〉</p> <p>概念 23 〈学習アプリの利用の良くないところの認識〉</p> <p>概念 24 〈周囲の環境〉</p>	

※概念とカテゴリー 注：◇ 内は概念名、【】内はカテゴリー名

8.4 調査の結果

結論を先に述べると、学習アプリの利用プロセスについて、【利用前】、【利用中】、【利用後】の三つの段階がある。この三つの段階の背景として、【学習者の認識と環境】がある。学習アプリの利用は【利用前】から【利用中】に変化し、その後【利用後】に変化する。さらに、学習アプリの利用が終わった後、いままでの経験は学習者の次の利用に影響し、自分の次の学習アプリの利用の【以前の利用経験】のベースになることもあれば、学習者が推薦者となり、その勧めはほかの学習者が学習アプリを利用し始めるきっかけになることもある（8.4.5節を参照されたい）。以下の8.4.1節、8.4.2節、8.4.3節、8.4.4節で各カテゴリ内の概念を具体例とともに考察し、8.4.5節で結果図を示し、学習アプリの利用のストーリーラインを論じる。

8.4.1 利用前

8.4.1.1 以前の利用経験

【以前の利用経験】は学習者が「五十音図」を利用する前に、学習アプリを利用した経験とその影響についてのカテゴリである。概念1〈以前の利用経験の有無と内容〉と概念2〈以前の利用経験からの影響〉の二つから構成される。

概念1 〈以前の利用経験の有無と内容〉

この概念では、学習者が五十音図を利用する前に、学習アプリを利用して学習した経験があるかどうか、また具体的にどのような経験があるかを示している。そのヴァリエーションの中で、経験があると経験がないと二つに分けることができる。また、経験がある学習者の中で、英語の学習アプリを利用した経験がある人と日本語の学習アプリを利用した経験がある人と分類できる。

まず、英語の学習アプリを利用した経験がある人の具体例は以下での6例である。

14-A1: 如果是语言类的话, 就比如说这个沪江然后还有, 呃, 什么, 可可英语, 然后这样的英语流利说这样练口语的, 然后或者说看单词的都有。

(14-A1: 語学関係なら、例えばその「沪江」、ええと、「可可英语」、それから「英语流

利说」のような発音を鍛えるためのもの、それから単語を覚えるものなど。) ⁶⁰

18-A2: 之前的话就是背英语单词用的百词斩, MOJi 英语的那种。

(18-A2:その前だったら、英単語を覚えるための「百词斩」、「MOJi 英语」など。)

22-A4: 嗯, 主要就是, 就是那个有道词典, 查英文词语的, 英文单词。然后, 然后就是有个可可英语。就是, 就是里面的资源比较多。我觉得是个比较好的软件。

(22-A4:はい、主に、その「有道词典」、英単語を調べるためのもので。それから、それから「可可英语」、このアプリではリソースが多くて、とてもいいアプリだと思う。)

12-A6: 嗯, 之前就是有, 比方说英语魔方秀, 它就是一些配音嘛, 英语的。然后还有扇贝, 百词斩, 这些背单词的。然后还有一个英语流利说也是类似于有配音的, 它会给你打分。

(12-A6:はい、前は、例えば、「英语魔方秀」、英語のアフレコができる。それから「扇贝」、「百词斩」のような単語を覚えるためのアプリ。それから、「英语流利说」も英語のアフレコができるようなもので、しかも点数もつけてくれる。)

22-A9: 就是, 英语用过百词斩, 然后用过什么, 有一个就是配音的。但是我不太记得名字了。然后, 就是还有什么, 就是看新闻的一些软件, 不是学习性的吧。

(22-A9:英語なら「百词斩」を使ったことがある。それから、英語のアフレコができるアプリも使ったことがあるが、あんまり覚えていない。それから、「ニュースを観るアプリ」など、学習とはあんまり関係ないものかな。)

以上の具体例の下線部から分かるように、学習者は「五十音图」を利用する前に、さまざまな英語の学習アプリを利用した。例えば、英単語を調べるための「有道词典」、英単語を覚えるための「百词斩」「MOJi 英语」、英語の発音を鍛えるための「英语流利说」「英语魔方秀」、英語のリソースを網羅的に扱う「可可英语」などがある。

次に、日本語の学習アプリを利用した経験がある人の具体例について、今回のインタビューでは1例しか確認できなかった。その人(A11)が利用したのは今回の調査対象のアプリ

⁶⁰ インタビューの会話文の中の () 内は日本語訳、[] 内は補足説明である。

と同じく、日本語の五十音図を覚えるためのアプリである。その利用の時期は大学に入る前の高校のときで、その利用の目的は日本語について少し知りたいためであった。また、A11の話から分かるように、A11は高校のときに利用したアプリと比べて、今回の調査対象のアプリの方が良くて、使いやすいと評価した。

20-A11:用过,有一个也是类似五十音图的记忆,[中略]但是我觉得没有我之前我在调查问卷上提到的那个比较好,那样的好用。

[中略]

22-A11:是高中时期,我去了解了一下日语的时候使用的,[后略]。

(20-A11:使ったことがある。五十音図を覚えるためのようなアプリで,[中略]しかし、アンケートで書いたアプリの方が良くて、使いやすい。

[中略]

22-A11:高校のとき、日本語について少し知るために使った、[後略]。)

以上のように「五十音図」を利用する前にすでにアプリを利用して学習した経験がある人がいる一方で、以下のように以前にそのような経験がない人もいる。

14-Z:[前略] 你在使用这个五十音图之前你有使用过其他的一些日语学习软件或者其他的一些学习软件吗

15-A3:没有,之后(五十音图)倒是有的

16-Z:你是之前没有任何学习的经历吗

17-A3:没有,没有

(14-Z:[前略] この五十音図を使う前に、ほかの日本語の学習に関連するアプリまたはほかの学習アプリを利用したことがありますか？

15-A3:ありません。その〔五十音図〕あとはありますね。

16-Z:前はなんの学習経験もないということですか？

17-A3:ありません。ありません。)

18-A5:那时(高中)是不可以用手机的。

[中略]

21-Z:这〔五十音图〕是你第一次用 APP 学语言吗？

22-A5:嗯。对。手机也是〔进大学前的〕暑假买的。

(18-A5:そのとき〔高校〕は携帯の使用が禁止されていました。

[中略]

21-Z:それ〔五十音图〕は初めてアプリで言葉を勉強する経験ですか？

22-A5:はい、そうです。携帯も〔大学に入る前の〕夏休みに買いました。)

以上の具体例が示すように、「五十音图」を利用する前に、学習アプリで学習した経験がなく、「五十音图」の利用経験は、A3 と A5 にとって初めてのアプリによる学習経験である。つまり、「五十音图」は学習者にとって、学習アプリで学習することの起点と言える。また、A5 の話しから分かるように、大学に入る前の高校時代では、学校での携帯の利用が禁止されている。これは日本語学習者が「五十音图」を利用する前に学習アプリによる学習経験がない原因の一つと言える。中国の高校では学生に勉学に集中するために、学生の学校内での携帯の所持と利用を禁止することがある。そのため、A5 が述べたように高校卒業して大学に入る前の夏休みの間に、携帯を初めて買う学習者も少なくない。

概念 2 〈以前の利用経験からの影響〉

概念 1 は学習者の「五十音图」を利用する以前の学習アプリの利用経験についてのものであるが、概念 2 はそれらの経験が「五十音图」にもたらす影響についての概念である。そのヴァリエーションは大きく、影響があったと影響がなかったに分けられる。まず、影響があったほうの具体例は以下の 5 例である。

16-A1:嗯，有〔影响〕，感觉就用 APP 学起来还是蛮方便的嘛。

17-Z: 嗯，那这个方便具体指那些东西呢？

18-A1: 比如说，就像，有课文，然后你就可以听课文嘛，然后，像一般的有些会有测试，就是可以让你去练你的听力，然后或者说去纠正你的那些发音。

(16-A1:はい、〔影響が〕ありました。アプリで勉強することがとても便利だと感じましたね。

17-Z: はい、その便利は具体的に何を指していますか？

18-A1: 例えば、テキストがあって、そのテキストを聞くことが出来るでしょう。そし

て、普通〔アプリ〕にテストがあって、聞く練習をさせて、または発音を直すとか。)

20-A2:有〔影响〕啊，因为之前用它〔软件〕来学过英语，所以就想学日语也会有软件。就上网随便一搜，然后就搜到了，就下载了。

(20-A2:はい、〔影響が〕ありましたね。前、それ〔アプリ〕を使って英語を勉強したから、日本語にもそのようなアプリがあると思いました。ネットで調べて、見つけたから、ダウンロードしました。)

24-A4:会啊，就是因为这些〔英语〕软件比较方便啊，随时都可以看啊,不用带书本。我当然会在学日语的时候，会去搜寻一些软件，然后就可以在手机上使用它们。因为现在手机学习比较方便。

(24-A4:ありましたね。これらの〔英語の〕アプリは便利で、いつでも見ることができるでしょう。本を持ち歩かなくてもいいです。当然ながら日本語を勉強するときも、何かのアプリを探して、スマートフォンでそれらのアプリを使います。今、スマートフォンで勉強するのが便利だから。)

26-A11:〔影响〕有一点吧。因为第一次开始接触总是印象比较深刻。但是不同的软件它使用，体验感觉，我觉得区别是挺大的。

27-Z: 那你之前说它〔之前用的软件〕没有你用的五十音图用的好。那是不是因为它用的不太顺畅所有才导致你去用这个五十音图软件呢?

28-A11:应该是这样说的。

(26-A11:〔影響〕少しありましたね。初めて触れたものは印象深いから。でも、違うアプリの使い心地が違って、その差が大きいと思います。

27-Z: 先に、それ〔前に使ったアプリ〕は五十音図より使いにくいと言いましたね。それ〔前に使ったアプリ〕をうまく使えなかったから、この五十音図を使うようになったですか?

28-A11:そう言えますね。)

16-A1 の発話から分かるように、A1 は前の英語の学習アプリの利用で、学習アプリを使って学習することの利便性を実感した。24-A4 の発話の中でも同じように、以前の学習アプ

りの利用で、その利便性を実感した内容が述べられている。その利便性について、16-A1 はスマートフォンのアプリのマルチメディア性について言及した。具体的には、テキストを見ることが出来るだけでなく、それを聞くこともでき、しかもアプリ内のテスト機能を利用すれば、聞く練習や発音の練習もできることである。24-A4 は「いつでも見ることができる」、「本を持ち歩かなくてもいい」という時空間の制約が少ないという利便性に言及した。また、20-A2 と 24-A4 の発話から、A2 と A4 は英語を学習する際に学習アプリを使ったから、日本語にも同じように学習アプリがあるのではないかという考え方が読み取れる。

A1、A2、A4 が述べているのが前の英語の学習アプリの利用経験による影響であるのに対して、A11 が述べているのは日本語の学習アプリの利用経験による影響である。概念1で述べたように、A11 は高校のときに、日本語を知るために五十音図を学習するための学習アプリを利用した。同氏は当時の学習アプリの利用経験から本調査の対象のアプリ「五十音図」の利用への影響について、「少しありましたね」と述べた。また、同氏は以前利用した日本語の学習アプリが使いにくいから「五十音図」を利用するようになったのではないかという筆者の問いに、肯定的な答えを示した。つまり、A11 が高校時代に利用した日本語の学習アプリの使いにくさは今回の「五十音図」の利用に繋がったと考えられる。

以前の学習アプリの利用経験から影響があったと思う学習者がある一方で、影響がなかったと思う学習者もいる。以下の A6、A7、A9 は以前の学習アプリの利用経験から影響がなかったと述べた。

14-A6: 没有（影响），因为之前就完全没有接触过日语。

15-Z: 哦。

16-A6: 这些（以前用的软件）都是学英语的。

（14-A6: 「影響」ありませんでした。なぜなら前は日本語に触れたことがなかったから。

15-Z: ええ。

16-A6: これら〔前に使ったアプリ〕はすべて英語を学ぶためのものです。

24-A7: 影响倒是没什么影响。毕竟之前学习的都是跟英语，基本上跟英语挂钩，日语学习也是没有的。也没有什么影响。

（24-A7:影響は特にありませんでした。前に学習したのは英語、ほとんど英語と関連す

るものだから、日本語を学んだことがありません。特に影響はないです。)

24-A9:我感觉没有〔影响〕, 因为那个〔以前用的软件〕主要是学英语的。

(24-A9:〔影響〕なかったと思います。それ〔前に使ったアプリ〕は主に英語を学ぶためだから。

A6、A7、A9 の発話から分かるように、「五十音图」を利用する前に、日本語に触れたことがなく、英語学習のアプリを使ったことがあるが、それらはすべて英語に関連するものだから、その経験が「五十音图」の利用にあまり影響がないと考える学習者がいる。

8.4.1.2 知るきっかけ

インタビューで学習者が「五十音图」を知るきっかけとして、推薦者からの推薦と本人による検索の二つがあることが確認できた。【知るきっかけ】というカテゴリーは概念 3〈推薦者〉、概念 4〈推薦者からの勧めの具体的な内容〉、概念 5〈本人による検索〉の三つから構成され、学習者はどのように「五十音图」を知ったかを示すものである。以下、このカテゴリー内の概念とその内容を説明する。

概念 3〈推薦者〉

概念 3〈推薦者〉とは学習者に「五十音图」を勧めた人物を示す概念である。インタビューした結果、「五十音图」を勧めた人物は、先輩、クラスメート、ネット上の新入生コミュニティのメンバー、ルームメートであることが分かった。

先輩から勧められた具体例は以下の 2 例である。A2 は同じく日本語を勉強している先輩に「初めて日本語を勉強するならどんなアプリをダウンロードしたほうがいいのか」とアドバイスを求めて、その先輩は「五十音图」を勧めた。A10 は先輩に「五十音图」を紹介され、自分が日本語を学び始めた際に、「五十音图」をダウンロードした。

26-A2:我是问过一個學日語的學姐, 我就問她刚开始學日語的話要下什麼樣的軟件。她就說你可以先記一下五十音图?

27-Z: 然后她推荐了你这个软件吗?

28-A2: 对, 对, 对。

(26-A2:日本語を学んでいる〔女性の〕先輩に聞きました。初めて日本語を勉強するならどんなアプリをダウンロードしたほうがいいかと聞きました。先輩はまず五十音図を覚えてくださいと言いました。

27-Z: そして先輩はこのアプリを勧めました？

28-A2: そう、そう、そう。

18-A10: [前略] 就是那个, 学姐介绍, 说这个〔软件〕挺好的, 对基础学习日语比较好。然后刚开始进入的话, 就下载了一个。

(18-A10: [前略] あのう、〔女性の〕先輩が紹介しました。これ〔アプリ〕がよくて、基礎の日本語学習にいいと。それで、日本語を勉強し始めたら、ダウンロードしました。)

次に、クラスメートから「五十音図」を勧められた具体例は以下の1例である。

25-Z: 那当时是一个什么样的契机让你开始使用这个五十音图的这个软件的呢？

26-A4: 是同学推荐。

(25-Z: 当時はどのようなきっかけでこの五十音図を利用し始めましたか？

26-A4: クラスメートが勧めてくれました。)

また、ネット上の新入生コミュニティのメンバーの具体例は以下の2例である。12-A5と8-A6の発話から、学習者は自分がどの大学、どの専攻に入るかを知ってから、大学に入る前に、同じ学校同じ専攻のメンバーがいるネット上の新入生コミュニティに入った。そのネット上の新入生コミュニティのメンバーは「五十音図」を紹介した。つまり、学習者の中で、大学で正式に日本語を学ぶ前に、高校卒業後から大学に入学する前の間にネット上の新入生コミュニティで日本語の学習アプリを紹介された人がいる。

12-A5: 就是, (进大学前) 不是知道自己进了哪个学校, 哪个专业以后。然后会有加学习的那个, 学院的那个〔网上的〕群。然后会有一些同专业的加过来。

13-Z: 然后他们〔群里的成员〕有推荐用这个软件对吗？

14-A5: 嗯, 嗯, 是的。

(12-A5:その、[大学に入る前に]自分がどの大学、どの専攻に入るか知ったでしょう。そして、学習の、学院の[ネット上の]コミュニティに入ります。そして、同じ専攻の人が一緒に入ってきます。

13-Z: で、彼らたち[コミュニティのメンバー]はこのアプリを勧めましたか?

14-A5: はい、はい、そうです。)

8-A6: 因为专业呀，然后就是加了新生群嘛，里面有人通过这个在学，然后开学也是要学日语的，所以就看了一下(这个软件)。

(8-A6:専攻だから、新入生の[ネット上の]コミュニティに入ったでしょう。そこで誰かがこのアプリを使って勉強していました。私も学期が始まったら日本語を学ぶから、[このアプリ]見てみました。)

最後に、推薦者がルームメートの具体例は以下の2例である。26-A7と20-A8の発話から分かるように、「五十音图」は大学に入学してから、同じ寮の部屋に住むルームメートから勧められた。上述のネット上の新入生コミュニティのメンバーからの勧めは大学に入学する前の推薦であるならば、ルームメートからの勧めは大学に入ってからのものである。中国の大学の多くは学生寮があり、一部屋に数人が一緒に住み、学生が入学してから大学寮に住むことになる。大学生活の中で、ルームメートは現実のコミュニティの重要なメンバーであり、学習者の生活面だけでなく、学習面にも影響を及ぼしている。

26-A7:室友推荐的，这个(软件)是。

(26-A7:ルームメートが勧めてくれました、これ[アプリ]は。)

20-A8: 因为室友推荐的。就是大一新生的时候，室友推荐。

(20-A8:ルームメートが勧めてくれたから。大学一年生のとき、ルームメートが勧めました。)

「五十音图」の推薦者は先輩、クラスメート、ネット上の新入生コミュニティのメンバー、ルームメートがあるが、今回の調査で先生からの推薦が見られなかった。その原因として、以下の二つが考えられる。一つ目は現場の先生が「五十音图」を知らない、または知っ

ていても教育活動に取り入れていない。もう一つは、先生は 12-A5 と 8-A6 の発話のから分かるような大学に入る前の時期にまだ関与していないからである。

概念 4 〈推薦者からの勧めの具体的な内容〉

概念 3 は「五十音図」を勧めた推薦者はどのような人物の概念であるが、概念 4 はこれらの推薦者からの勧めの具体的な内容についての概念である。そのヴァリエーションは以下の通りである。

18-A10: [前略] 就是那个, 学姐介绍, 说这个 (软件) 挺好的, 对基础学习日语比较好。然后刚开始进入的话, 就下载了一个。

(18-A10: [前略] あのう、[女性の] 先輩が紹介しました。これ [アプリ] がよくて、基礎の日本語学習にいいと。それで、日本語を勉強し始めたら、ダウンロードしました。)

24-A5: 就好像那个, 因为有人 (新生群里的成员) 说: “就是现在自学日语的也很多嘛。然后就, 就, 就说他们可能就已经学的都已经挺厉害了。有的还有日语高考的进来的, 然后就说要不要我们也先学一下 (五十音)。”然后就找到这个入门的五十音图的软件, 就下了

(24-A5: あのう、誰か [ネット上の新入生コミュニティーのメンバー] が、「今独学で日本語を学ぶ人が多いでしょう、それで、で、彼らたちはすでにすごいレベルに達している。日本語の入試科目を受けて入った人もいる、だから私たちも先に [五十音] 勉強しましょう」と言ったから、この入門の五十音図のアプリを見つけてダウンロードしました。)

28-A7: 嗯, 因为她 (室友) 说有, 就是口型, 教你发音的口型。这点就是比较好, 然后就下载了这个软件。

(28-A7: はい、彼女 [ルームメイト] は口の形、発音の口の形を教える内容があると言いました。この点が良いくて、このアプリをダウンロードしました。)

18-A10 は先輩から勧められた内容である。A10 の先輩は「五十音図」は「よくて、基礎の日本語学習にいい」と A10 に勧めた。

24-A5 はネット上の新入生のコミュニティーのメンバーが述べた内容である。「今独学で日本語を学ぶ人が多い」、「日本語の入試科目を受けて入った人もいる」が言及された。つまり、入学する前に、ネット上の新入生のコミュニティーのメンバーは、これから大学で一緒に学ぶクラスメートはすでに日本語ができるのに対し、自分たちはまだ日本語について何も知らないという危機感を感じている。そのため、大学に入学する前の休みの間に、先に日本語の基礎である五十音を学んでおいたほうが良いと認識している。その具体的な方法として、「五十音図」というアプリがコミュニティーの中で紹介された。

28-A7 はルームメートから勧められた内容である。A7 のルームメートは「五十音図」のアプリ内で、「口の形、発音の口の形を教える内容がある」と述べた。この点について A7 は良いと考えて、アプリをダウンロードした。

概念 5 〈本人による検索〉

「五十音図」を知るきっかけとして、上記の概念 3 と概念 4 のように、他人から勧めたことがあるが、概念 5 のように本人の自覚によって自分で検索して知ったこともある。概念 5 〈本人による検索〉の具体例はすべて学習者本人が何かを自覚して、「五十音図」を探してダウンロードしたケースであるが、その自覚の内容は少し異なる。

18-A3:就是，我觉得这东西（五十音）记不住嘛。然后突然想到手机上学习软件这么多，学日语的肯定也有，我看室友在网上看什么可以记得（五十音）快一点，我想手机上也有，更方便嘛。查一下还真的有。

19-Z: 同寝室的人给了你一些启发这种感觉吗？

20-A3: 对对对。

（18-A3:その、これ〔五十音〕が覚えられないと思いましたね。それでスマートフォンに学習のアプリはたくさんあると思いついて、日本語を学ぶものもありませんでした。ルームメートがインターネットでどのようにすれば速く〔五十音〕覚えられるかを調べているのを見て、スマートフォンにもあると思って、もっと便利でしょう。調べたら、本当にありました。

19-Z:ルームメートがヒントを与えたって感じですか？

20-A3:そう、そう、そう。)

18-A3 の発話から分かるように、A3 は「〔五十音〕が覚えられない」という学習する内容の難しさを自覚し、「スマートフォンに学習のアプリはたくさんあると思いついて、日本語を学ぶものもある」と思いついた。また、この考え方は、「ルームメイトがインターネットでどのようにすれば速く〔五十音〕覚えられるかを調べている」というルームメイトの行動からヒントを得たものである。

30-A11: 契机肯定很简单。因为我的专业是日语专业，然后老师要求记（五十音）。反正背记五十音图的时候，我肯定想到用手机或者其他什么来学习一下，然后就去找了呀，这个软件。这样子。

31-Z: 是你自己去找，不是说别人推荐你的吗？

[中略]

34-A11: 嗯，我是自己找的。

(30-A11: きっかけはとても簡単です。専攻は日本語専攻だから、そして、先生は〔五十音を〕覚えると要求しました。五十音図を覚えるとき、スマートフォンか何かで勉強すると思いつくでしょう。それで、探しました。このアプリ。このように。

31-Z: 自分で探しました？ほかの人からの勧めではないですか？

[中略]

34-A11: うん、自分で探しました。)

28-A12: 因为不是说（接下来）要学日语嘛，就先准备一下嘛。

29-Z: 是你自己去下载的吗？还是别人推荐你的？

30-A12: 是的，是我自己想下载的。

(28-A12: 〔これから〕日本語を学ぶでしょう。だから先に準備しました。

29-Z: 自分でダウンロードしようと思いましたか？それともほかの人に勧められましたか？

30-A12: はい、自分でダウンロードしようと思いました。)

30-A11 の発話から、A11 は自分の現在の状況（「専攻は日本語専攻だから、そして、先生は〔五十音を〕覚えると要求しました」）を自覚したことがわかる。また、同氏は「五十音図を覚えるとき、スマートフォンか何かで勉強すると思いつくでしょう」と考え、そのアプ

リを探した。

A28-A12 の発話からは、A12 は自分の今後の状況（「[これから] 日本語を学ぶでしょう。」）を自覚し、その準備として先に自分で「五十音図」をダウンロードしたことが読み取れる。

8.4.1.3 利用する原因

【利用する原因】というカテゴリーは概念 6（利用する原因）と概念 7（選択した理由）で構成される。

前節では学習者はどのようなきっかけで、「五十音図」を知ったかを見てきた。この節では、学習者がどのような原因でそれを利用し始めたか（概念 6（利用する原因））、またどのような理由で同じ種類のアプリの中でそれを選んだか（概念 7（選択した理由））を説明する。

概念 6（利用する原因）

概念 6（利用する原因）は学習者がなぜ「五十音図」を利用するかについての概念である。結論を先に述べると、「五十音図」を利用する原因は、「日本語はまだ入門レベル」、「状況の変化」、「五十音の暗記の難しさ」、「授業での学習不足」などがある。

まず、「日本語はまだ入門レベル」に関する具体例は以下の 2 例である。

12-A2: 就是我当时刚学日语嘛。然后就，它〔软件〕就是纯粹教你五十音图的，然后还有什么拗音，清音，就这样分开来教的。

（12-A2: 当時、日本語を学び始めたばかりだから。で、それ〔アプリ〕は単に五十音図を教えるもので、それから拗音、清音などを分けて教えています。）

24-A8: 首先是因为我们是刚入门嘛。这种〔软件〕就是有那些基础的东西。所有就下了。

（24-A8: まず私たちはまだ入門レベルだからでしょう。このようなもの〔アプリ〕に基礎的な内容が入っているから、ダウンロードした。）

12-A2 と 24-A8 の発話では、「五十音図」を利用するときの日本語レベルについての内容が言及された。12-A2 は「当時、日本語を学び始めたばかりだから」と述べ、23-A8 は「まだ入門レベルだから」と述べた。「単に五十音図を教える」、「基礎的な内容が入っている」

アプリの「五十音図」は日本語についてまだ何も分からない A2 と A8 の日本語のレベルに合致した学習リソースであるため、彼らはそれを利用することになったと考えられる。

次に、「状況の変化」という原因の具体例は以下のようである。

21-Z: 那是一个什么样的契机让你开始使用日语的这个五十音图的软件呢?

22-A2: 是到我被日语系录取之后。

(21-Z: どのようなきっかけで五十音図というアプリを使い始めましたか?)

22-A2: 日本語専攻に合格してから。)

筆者の「どのようなきっかけで五十音図というアプリを使い始めましたか?」という問いに対し、A2 は「日本語専攻に合格してから。」と答えた。この会話のやりとりから、日本語専攻に合格したという状況の変化による日本語の学習アプリを利用する原因が読み取れる。つまり、A2 は日本語専攻に合格するまでは日本語を学ばなくてもいい状況である。しかし、合格してからは日本語を学ばないといけない状況に変化した。このような状況の変化は A2 が「五十音図」を使う原因の一つになった。

また、「五十音の暗記の難しさ」という原因が言及されたのは、以下の 14-A4 の発話である。

14-A4: [前略] 就是，就是当时在背五十音图的时候，有点，很难背。

(14-A4: [前略] 当時、五十音図を覚えているとき、ちょっと、とても覚えにくかったです。)

日本語を学習する際、基礎である五十音が終わらなければ次の日本語の学習に進むことが難しいため、速く五十音を覚えなければいけない。しかし、それを覚えることの難しさを感じる学習者は少なからずいる。その難しさを実感した学習者は五十音を速く覚えるために様々な方法を探し、試すようになると考えられる。その中で、A4 のように、五十音を学習するときにその難しさを実感して、「五十音図」という学習アプリを利用することもあるだろう。

最後に、「授業での学習不足」の具体例は以下の通りである。

30-A9:还有就是老师上课的时候,她就是,因为人〔学生〕也比较多嘛,你可能自己有些不懂的或者学不太好,就是不太会读的东西,(课上)就是也没有办法。就是马上解决啊。那个你回去自己听听看的话,就是会,就是比较,就是有点提高吧。

(30-A9:それから、先生が授業中、先生が、人〔学生〕が多いでしょう。よく分からないあるいはよく学んでいない、うまく読めないものがあるかもしれないが、〔授業では〕仕方ありません。すぐに解決するでしょう。じゃ、帰って自分で聞いてみたら、少しは上達するでしょう。)

30-A9の発話では、日本語の授業の状況が述べられた。日本語の授業では、先生一人が多人数の学習者に対して授業を行う。そのため、学習者は「よく分からないあるいはよく学んでいない、うまく読めないもの」があっても、先生は一人一人に対応することが難しい。授業での学習不足を解決するために、学習者は教室外で自分で学習しなければならない。A9のように授業で五十音を習う際に、授業での学習不足を感じた学習者は、教室外で学習アプリを利用することになると考えられる。

概念7〈選択した理由〉

概念7〈選択した理由〉とは学習者が何を基準にして、どのような理由で「五十音図」を選んだかを示す概念である。そのヴァリエーションは「アプリの外観、サイズ、ダウンロード数、好評率」、「検索結果における表示の順番」、「無料」、「自分との相性」、「ほかのアプリとの比較」に分類することができる。

まず、「五十音図」の外観、サイズ、ダウンロード数、好評率などを重視して、それを選択した具体例は以下の5例である。

32-A1: 我在下之前,就比较了一下它的好评率,还有那种占内存,然后我就挑了五十音图。

(32-A1:ダウンロードする前に、レビューの好評率やサイズを比較して、五十音図を選んだ。)

22-A3:首先我看它是〔搜索结果〕前面两个的嘛。然后它的那个图标比较好看,就是颜色比较干净一点,就选了它。

(22-A3:まず、それは〔検索結果の〕上のほうに入っています。そしてアイコンもきれいで、シンプルな色ですから、それを選びました。)

32-A4: 因为它看起来比较正规，下载量比较高。然后，界面看起来比较舒服，没有那么多广告。

[中略]

36-A4: 只选了〔五十音图〕一个。因为我不想下太多软件，占我手机内存

(32-A4: 正式なものみたいで、ダウンロード数も比較的多いから。そして、インターフェースは見た感じで気分がよくて、広告がたくさん入っていないです。

[中略]

36-A4: これ〔五十音図〕だけを選びました。たくさんのアプリをダウンロードして、スマートフォンの容量を多くとりたくないから。)

22-A10: (学姐) 推荐了有其他的。因为才，就是(日语)零基础进入，然后不太懂。然后就不知道有哪些软件，然后就是说这个刚开始嘛。然后就这个，也没有查其他的软件。然后看一下，然后这个软件用的人好像比较多的，然后也就选了这个。

(22-A10: [先輩は] 他の[アプリ]も勧めてくれました。[日本語の] 基礎が全くない状態で学び始めたから、あまり分かりませんでした。どのようなアプリか知りませんでした。つまりまだ始めたばかりです。そして、これ、他のアプリも探しませんでした。そして、ちょっと見て、このアプリを使っている人が多いようなので、これにしました。)

38-A11: [前略] 就是通过，简单的说吧，就是通过它的图标，设计感啊，还有它的文字说明是不是配的比较齐全，这样子，我就觉得就是通过这些东西看它是不是做的用心吧。然后就会去(使用)。

(38-A11: [前略] 簡単に言うと、そのアイコン、デザインなどを通して、それから説明の文書が整っているかどうか、これらを通して、このアプリは丹念に作られたかどうかを見ますね。それを見てから、[使います]。)

22-A3、32-A4、38-A11 の発話では、「五十音图」の外観が言及された。A3 は「アイコン

もきれいで、シンプルな色」、A4は「正式なものみたい」、「インターフェースは見た感じで気分がよくて、広告がたくさん入っていない」という理由について述べた。A11の発話から、A11はアイコン、デザインと説明の文章から見えるアプリの製作の丹念さを基準に、「五十音図」を選択したと読み取れる。また、32-A1と36-A4の発話から、サイズが小さく、スマートフォンの容量を多く取らないことも「五十音図」を選んだ理由の一つと考えられる。また、32-A4と22-A10の発話からダウンロード数は「比較的多い」、「使っている人が多いようなので」、「五十音図」を選んだことが分かる。さらに、32-A1では、レビューの好評率の高さも「五十音図」を選んだ理由として言及された。

次に、検索結果における表示の順番が上のほうだからという理由で「五十音図」を選んだ例は以下の2例である。

22-A3: 首先我看它是（搜索结果）前面两个的嘛。然后它的那个图标比较好看，就是颜色比较干净一点，就选了它。

（22-A3: まず、それは〔検索結果の〕上のほうに入っています。そしてアイコンもきれいで、シンプルな色ですから、それを選びました。）

34-A4: 嗯，对。然后就是，就是搜出来的时候，就是排在比较靠前的位置嘛。

（34-A4: うん、はい。それから、検索した結果、〔検索結果の〕上のほうに位置していましたから。）

22-A3と34-A4から、学習者が自分でアプリのストアで検索して、「五十音図」が検索結果の上のほうに位置していることが分かる。A3とA4はこれを理由の一つとして、「五十音図」を選択した。検索結果で上方に表示されるものは、最も検索キーワードと関連するという一般的な認識がある。また、アプリのストアの検索結果で上位に配置されることは、そのアプリのダウンロード数が関連アプリの中で比較的多いというしるしでもある。A3とA4のように、検索結果における表示の順番で学習アプリを選択する人は少なからずいるだろう。

次に「無料」という理由の具体例は以下の一例である。

64-A1: 一个免费的比较好的学习软件。

65-Z: 哦。那你刚才，刚才说到了一个免费的这个这个要素。

66-A1: 嗯嗯。

67-Z: 那这个免费的要素是不是也是你当时你选择这个 APP 的一个也可以算是一个理由呢。

68-A1: 呃，是的。因为主要考虑到是初学，就只要能达到我想要的学习效果就好了。如果我想要去深入的话，比如说我现在去沪江〔网站〕，然后我肯能就去买它的课，这样子。

(64-A1: 無料でいい学習アプリです。

65-Z: はい。さき、無料という要素を言いましたね。

66-A1: はい。

67-Z: じゃ、この無料という要素はこのアプリを選択した理由の一つではないですか？

68-A1: はい、そうです。初めて学ぶことを考えたら、私が求めている学習効果を達成できれば十分です。もしもっと深く勉強したければ、例えば、今のように沪江〔ホームページ〕を見に行って、オンラインのコースを買うかもしれません。)

筆者 Z と A1 の会話から、A1 は「五十音図」は無料だから、それを選んだことが分かる。また、68-A1 の発話から、「初めて学ぶことを考えたら、私が求めている学習効果を達成できれば十分」なので、無料のアプリでいいが、「もしもっと深く勉強したければ」、有料の「オンラインのコース」を購入するという考え方が読み取れる。

また、自分との相性がいいという理由が言及された具体例は以下の 26-A1、42-A6、32-A12、18-A6 である。

26-A1: 嗯，就是它更直接吧，它说学五十音图就学五十音图，嗯，对，然后就是它整个操作起来就比较适合我嘛。

(26-A1: はい、それはもっとストレートで、〔このアプリは〕五十音図を学習ものだと言ったら、その内容は本当に五十音図だけです。うん、はい、そして操作が私に合いますね。)

42-A6: 对，我比较喜欢简单一点的东西。

43-Z: 哦，原来如此。

44-A6: 我一下子也不能学这么多，如果用一些别的软件。比如说日语配音吧，我根本就

没有到那个水平。然后先学这个，然后学完了就可以把它卸载啊。也挺方便的。

(42-A6: はい、簡単なものが好きです。

43-Z: はい、なるほど。

44-A6: 一度にたくさんのことを勉強できないし、もし他のアプリを使ったら、例えば日本語のアフレコ [のアプリ]、私はまだそのレベルではないから。先にこれを学んで、終わったらアンインストールすればいいし。とても便利です。)

32-A12: 因为觉得它学习比较简洁嘛，然后感觉使用也比较方便，比较适合自己。

33-Z: 你说的这个使用方便主要是指哪些方面呢？

34-A12: 就是界面比较清晰吧，然后操作也很简易，主要功能也比较明显，就是读音这些。

(32-A12: このアプリの学習はシンプルだと思います。使用もとても便利で、自分に合います。

33-Z: 便利とは主にどんな面を指していますか？

34-A12: インターフェースはくっきりしていて、操作も簡単で、主な機能もはっきりしています。例えば、発音など。)

18-A6: 就下了以后觉得它界面挺简单，就是而且，怎么说呢，就是看过去挺舒服的，每个平假，片假，我觉得它都讲得挺详细的吧。就是用着没有什么不便。因为我比较懒，我就不想换（其他软件）了。

(18-A6: ダウンロードして、インタフェースはとても簡単で、しかも、なんって言えばいいだろう。見て気分がとてもいいです。各平仮名、片仮名、とても詳しく説明していると思います。使って特に不便を感じませんでした。私は怠け者だから、[他のアプリに] 変えたくありません。)

26-A1 の発話では、A1 はアプリの操作が自分に合うと述べた。42-A6 の発話では、A6 は自分が「簡単なものが好き」という自分の好みを述べた。32-A12 では、A12 は「五十音図」は「学習はシンプル」で、「使用もとても便利」で、自分に合うと述べた。33-Z で筆者はその便利が具体的に何を指しているかを A12 に訊ねた。それに対して、A12 は A1 と同じく、操作面の便利さに言及した一方で、インターフェースと機能についても言及した。つまり、学習者が感じる自分に合う「五十音図」の便利さは、操作の面によるだけでなく、インター

フェースと機能による部分もある。

44-A6の発話で、A6は「一度にたくさんのことを勉強できない」、ほかのアプリを使うなら、自分は「まだそのレベルではないから」、先に「五十音図」を選んだと述べた。当時のA6にとって、日本語をたくさん学習したくても、まだその日本語のレベルに達していないため、当時の日本語レベルに合う「五十音図」を先に使うことになった。つまり、アプリの選択にあたって、学習者は自分のレベルに合うかどうかを選択の基準の一つとして考えていると言える。

最後に、ほかのアプリと比較した結果、「五十音図」に決定した具体例は以下の3例です。

32-A2:我是，我当时是多下了几个。然后挑了一个最好用的留着，然后其它的就删掉了

33-Z: 哦，也就是说这个五十音图是你觉得最好用的对吧

34-A2: 对对对。

(32-A2:私は、私は当時何個かダウンロードしました。その中から一番使いやすいものを残して使いました。それ以外はアンインストールしました。

33-Z: はい、この五十音図が一番使いやすいものと思っていたということですか？

34-A2:そう。そう。そう。)

42-A11: 我同时下了几个（软件），然后经过一点体验之后，留下了这一个。

43-Z: 就是最后只留下了这一个对吗？

44-A11: 嗯，对。

45-Z: 那你删掉其他的那些的原因是什么呢？

46-A11: 就是好几个软件同时体验之后，其他的软件制作比较粗糙，然后内容比较少，或者是它的那种软件可能会闪退之类的。所以我就把它删掉了，只留下这一个。

(42-A11:同時に何個か〔のアプリ〕をダウンロードした。少し試してから、これだけを残しました。

43-Z: つまり最後にはこれだけを残したということですね。

44-A11: うん、はい。

45-Z: 他のアプリを削除した原因はなんですか？

46-A11: いくつかのアプリを試してから、それらのアプリの作りは雑で、コンテンツも少なく、また急に強制終了するアプリもありました。だから、それらをアンインストール

ールして、このアプリだけを残しました。)

35-Z: 嗯。那你当时是同时下了几个软件，还是说就下了这个软件呢？

36-A12: 就两三个吧，其实也差不多吧。

37-Z: 那你这个同时下了两三个软件，你比较了之后觉得你最后比较心仪的还是哪个软件呢？

38-A12: 就是那个叫五十音图。

39-Z: 那和你下的其他两个软件比较有什么好的地方呢？

40-A12: 就是它提供了巧记，就是联想记忆什么的。

(35-Z: はい、同時に同時に何個かのアプリをダウンロードしましたか、それともこれだけダウンロードしましたか？

36-A12: 二、三個かね、ほとんど同じでしょう。

37-Z: 同時にこの二、三個のアプリをダウンロードして、比較してどれが一番気に入りましたか？

38-A12: その五十音図のアプリです。

39-Z: ダウンロードした他のアプリと比べていいところはなんですか？

40-A12: いい覚え方を示しています。イメージ記憶とか。)

「五十音图」をダウンロードする際、一つだけをダウンロードして使う学習者もいれば、同時に何個か同じようなアプリをダウンロードし、試しに使って、最後に一個に絞る学習者もいる。上記の具体例から見れば、A2、A11 と A12 は後者である。A2 はアプリを何個かダウンロードして、その中から一番使いやすい「五十音图」を残して使った。A11 は、同時にダウンロードしたほかのアプリは「作りは雑で、コンテンツも少なく、また急に強制終了する」というような問題があるため、それらをアンインストールして、最終的に「五十音图」に決定した。37-Z と 38-A12 の会話から、A12 は同時にダウンロードしたアプリの中で、「五十音图」が一番気に入るものであったことが分かる。また、筆者 Z の「ダウンロードした他のアプリと比べていいところはなんですか？」という質問に対して、A11 は「五十音图」はほかのアプリがない機能を持っていることを述べた。これらの具体例から分かるように、アプリを選ぶ際、学習者は何個かのアプリを試しながら、最終的にその中で最も機能が優れているものに絞るという選択のプロセスがある。

8.4.1.4 利用する前の期待

【利用する前の期待】のカテゴリーは、概念 8〈利用する前の期待〉一つで構成される。概念 8〈利用する前の期待〉とは、「五十音图」を利用する前に、どのように期待しているかを示す概念である。そのヴァリエーションは「能力向上に関する期待」「利便性に関する期待」「あまり期待しない」の三つに分類することができる。

まず、「能力向上に関する期待」の具体例はもっとも多く、以下の 6 例である。

50-A1:想达到的水平应该就是能够，首先就是把五十音图那个发音（发准），先比较正确嘛，然后再能够把它顺利地背出来。

(50-A1:到達したいレベルは、先に五十音図の発音、比較的正確に〔発音できる〕ね、それからうまく覚えればいいです。)

40-A2: 期待就是我能把那五十音发音发标准。然后，写字能像日语学习者那样比较熟练地写出来那样。

(40-A2:期待は自分が五十音を正しく発音できることです。それから、日本語学習者のように書き慣れることです。)

42-A5:学习效果就入门的那种比如说，知道它的写法，然后那种怎么读。最好就是有那种方便记忆的那种规律啥的。〔后略〕

(42-A5:学習効果は入門のような、例えば、どう書くかを知るとか、どのように読むかを知るとか。記憶しやすいルールなどがあればいいと思いますね。〔後略〕)

26-A8: (期待) 就是那个发音比较标准，然后其实我也没想到它会教我们那些笔顺是怎么样的嘛。还可以在上面写那种。

(26-A8:〔期待は〕正しく発音できることです。〔アプリ内で〕書き方を教え、しかもなぞって書くことができるのが予想外でした。)

32-A9: 期待就是。就是可以把五十音图学的比较好一点吧。就是那种读音，发音跟写的方式，可能，写的好看一点，然后就是读音能读对吧。因为老师说，就是刚开始学五十音图，比较重要嘛。就跟你后面的日语单词发音，有关联。

(32-A9 期待は、五十音図をうまく習得できることですね。その発音、発音と書き方、たぶん、きれいに書ける、そして、正しく発音できるなどですね。先生は初めて五十音図を勉強するとき、とても重要で、あとの日本語の単語の発音と関連すると言いましたから。)

24-A10: 期待就是希望能够会写五十音图, 然后会发音。就是那个吧。就是发音准确。这方面的。

(24-A10:期待は、五十音図が書ける、発音できることです。あれでしょう。正しく発音することです。このような面のことです。)

インタビュー協力者の中で、「五十音図」というアプリを通して、日本語の五十音の読み書きができることに期待を寄せている。A1は「比較的正確に〔発音できる〕」、A2は「五十音を正しく発音できる」、「日本語学習者のように書き慣れる」、A5は「どう書くかを知るとか、どのように読むかを知るとか」、A8は「正しく発音できる」、A9は「きれいに書ける、そして、正しく発音できる」、A10は「五十音図が書ける、発音できる」、「正しく発音する」と述べた。これらの発話から分かるように、A1、A2、A8、A9、A10は「五十音図」に対して高い期待を寄せている。「五十音図」を通して、単に日本語の五十音の読み書きができるだけでなく、正しく、きれいに読み書きができることに期待している。

また、「利便性に関する期待」の具体例は以下の4例である。

30-A3: (期待) 就是(软件) 能帮我更快更方便的记住(五十音)。平时这样记的话没什么效率嘛。就是你一直写一直写就没什么意思。(用软件) 就是随时随地都能写, 你没有纸没有笔, 你拿起手机(就能学), 没事的时候, 无聊的时候, 比如说公交车上的时候。随时随地可以这么看两下。那总会记住的嘛。

(30-A3:〔期待は〕〔アプリが〕より速くより便利に〔五十音を〕覚えることの手助けになることです。普段いつものように覚えると、あまり効率が高くないでしょう。書き続けるのが面白くないです。〔アプリを使うなら〕いつでもどこでも書けます。紙もペンも持っていないなくても、スマートフォンを使えば〔勉強できます〕。用事がないとき、暇なとき、例えばバスに乗っているとき。随時随所に少し見ていたら、覚えるでしょう。)

42-A4:〔期待〕就是可以让我更快的背日语，然后能有一些形象记忆法，就是让我不会那么快的遗忘它。

(42-A4:〔期待は〕もっと速く日本語を覚えることです。それから、何かイメージ記憶法とかあって、すぐに忘れないようにしてくれればいいです。)

52-A7:首先应该就是帮我快速地学完五十音图。因为那个时候平假名和片假名，记忆还是有一点困难。然后么，就是希望它能用的时间长一点。

(52-A7:まずは、五十音図を速く覚えさせてくれることです。当時、平仮名と片仮名は覚えにくかったです。それから、長く使えばいいと思っていました。)

40-A11:可能我的的学习目的是学习五十音图，我除了希望他能让我很快很好地把五十音图记全之外，还希望它能在其他功能，比如在背单词背句型，其他更多的学习内容上也有帮助。

(40-A11:学習の目的は五十音図を学習することですが、このアプリで速く、良く五十音図を覚える以外、他の機能、例えば、単語やセンテンスを覚えるなど、他の学習にも役にたってほしいです。)

44-A12:〔期待〕就是比较快的可以记住吧。最好有一点乐趣。

(44-A12:〔期待は〕速く覚えることです。少し楽しさがあればいいです。)

A3は「五十音図」は「より速くより便利に〔五十音を〕覚えることの手助けになる」と期待している。また、A3は紙とペンを使っていつも通りの五十音を覚える方法と比較して、アプリによる覚え方の利便性に言及した。同氏は「普段いつものように覚えると、あまり効率が低い」、「書き続けるのが面白くない」と従来の五十音の覚え方の良くないところを指摘して、「[アプリを使うなら]いつでもどこでも書けます。紙もペンも持っていなくても、スマートフォンを使えば[勉強できます]。」とアプリによる五十音の覚え方の良いところを述べた。

A4は「五十音図」を使って、「もっと速く日本語を覚える」と期待している。具体的には「イメージ記憶法とかあって、すぐに忘れないようにしてくれればいい」と述べた。

A7 は五十音を覚えるときに、「平仮名と片仮名は覚えにくかった」と気づき、「五十音図」で五十音を「速く覚えさせてくれる」ことにアプリに期待した。その上、A7「長く使えばいい」と期待した。

A11 は、「このアプリで速く、良く五十音図を覚える」ことを期待している以外に、「単語やセンテンスを覚えるなど、他の学習にも役にたってほしい」という要望を言った。また、A12「速く覚えること」と「少し楽しさがあればいい」という期待を述べた。

A3、A4、A7、A11、A12 の期待はそれぞれ少し異なるが、発話は共通して「速く」と言う言葉が言及された。つまり、この五人の学習者はアプリを通して、学習効率の向上、学習時間の短縮を期待していると言える。

「五十音図」を利用する前に、以上のように期待を寄せる学習者もいれば、以下のようにあまり期待しない学習者もいる。

22-A6: 我觉得它也不是一个很难，就是非常基础的吧。就稍微对日语有些了解就好了。

(22-A6:難しいではなくて、とても基礎的なアプリだと思いますね。だから、[それを使ったら] 日本語について少し知ればいいです。)

A6 は「五十音図」について、「難しいではなくて、とても基礎的なアプリだ」と評価し、それを使って、「日本語について少し知ればいい」とあまり高い期待を寄せなかった。

8.4.2 利用中

【利用中】というカテゴリーは概念 9〈利用の期間〉、概念 10〈利用の頻度〉、概念 11〈具体的な時間帯〉、概念 12〈利用の仕方〉、概念 13〈利用しなくなる原因〉の五つの概念から構成される。この節では、各概念の具体例を通して、学習者が教室外で日本語の学習アプリを利用する間の状況を見る。

8.4.2.1 利用の期間

概念 9〈利用の期間〉は学習者が学習アプリを利用し始める時期、利用し終わる時期とその期間を示すものである。

「五十音図」を使用し始める時期について、大学に入る前の夏休みの間と大学に入って日本語を学び始めた時という二つのパターンがある。大学に入る前の夏休みの間にすでに「五

十音图」を利用し始めた具体例は以下の通りである。

42-A2:就是在那个, 那个, 得知。暑假的时候, 知道自己要学日语之后, 一直到开学后把五十音记牢之后

(42-A2:あのを、夏休みのとき、自分がこれから日本語を学ぶと知ってから、新学期が始まって五十音をしっかり覚えたまでです。)

10-A5: 还是我没进学校, 暑假的时候。[后略]

(10-A5:まだ大学に入っていない、夏休みのときです。[後略])

42-A2 と 10-A5 の発話から分かるように、A2 と A5 は大学に入る前の夏休みの間に「五十音图」を利用し始めた。A2 は「夏休みのとき、これから日本語を学ぶと知ってから」と述べて、アプリを利用し始める時期の状況について少し説明した。中国の大学生は大学に入学する前の夏休みに大学の合格通知書が届き、その通知書でこれからどの大学、どこ学部に所属するかが分かる。また、インターネットを通してその学部で何を学ぶかもある程度把握できる。A2 と A5 は、大学に入学する前の夏休みに、これから自分は日本語を勉強する必要があると知ってから、大学の正式の日本語の授業に先立って、その前の準備として日本語の基礎とも言える五十音をアプリで学び始めた。

次に、大学に入って日本語を学び始めたときというパターンの具体例は以下のようである。

35-Z: [前略] 我想问一下, 你是在什么时候开始用这个五十音图的呢?

36-A3: (五十音) 大概学了三四列吧。

37-Z: 学了三四列是指在教科书上学五十音图?

38-A3: 对对对, 教科书上的五十音图, 三四列的时候开始

39-Z: 那个时候应该是你刚进大学的那段时间。大概的那个时间段你可以跟我讲一下吗?

40-A3: 我都不记得我什么时候进大学了。是9月份, 对应该是9月份, 那么大概是10月左右吧, 10月多一点点。

(35-Z: [前略] いつからこの五十音図を使い始めたかについて聞きたいです。

36-A3: たぶん [五十音] 三、四列学んでからですね。

37-Z: 学んだ三、四列は教科書にある五十音図ですか？

38-A3: そう、そう、そう。教科書にある五十音図で、三、四列を学んでから。

39-Z: それは確か大学に入ったばかりの頃ですね。だいたいいつなのか教えてもらえませんか？

40-A3: いつ大学に入ったかはっきり覚えてはいませんが、9月、はい、9月だと思います。そうすると、10月ぐらいですね、10月ちょっとすぎたころ。）

42-A9: 就是十月初吧，就是开始学日语就开始用这个软件。

(42-A9: 10月の始めのころですね。日本語を学び始めたらこのアプリを使い始めました。)

28-A10: 就是 2017 年 9 月 17 号，那个时候开始的。

(28-A10: 9月17日です。このときからです。)

48-A11: 是在去年入学十月份开始，就是在开学，日语课开始上课之后，就是正在学五十音图的那个期间，这样。[后略]

(48-A11: 去年、入学して10月からです。学期が始まって、日本語の授業が始まって、五十音図を学ぶ間です。[後略])

インタビュー協力者の A3、A9、A10 と A11 は、大学に入学したあとに「五十音図」を利用し始めた。日本の大学の4月入学がメインであるとは違って、中国の大学は9月入学がメインである。日本語初心者の学習者にとっては、9月は大学に入学し、日本語の授業で日本語を学ぶ最初の時期である。この時期はちょうど授業中에서도五十音の内容が取り上げられている。その上、概念6〈利用する原因〉で述べた「日本語はまだ入門レベル」、「五十音の暗記の難しさ」、「授業での学習不足」などが原因で、学習者は9月や10月に「五十音図」を利用し始めたと考えられる。

しかし、具体的な利用開始の時期が少し異なる。A10のように、「9月17日」という入学の日を利用開始のときとする学習者もいれば、A3、A9、A11のように入学後少し経った10月を利用開始のときとする学習者がいる。また、A3はその時期の状況について、「教科書にある五十音図を三、四列学んでから」と述べた。

以上、学習者がいつ「五十音図」を利用し始めるかについてみてきた。次に、「五十音図」を利用し終わる時期について説明する。その具体例は以下である。

44-A4:就是在学五十音图，上课学到五十音图的时候。那个五十音图学了很久啊。

[中略]

54-A4:然后这个软件就用了两个月左右。

(44-A4:五十音図を勉強して、授業で五十音図を勉強しているときです。五十音図を長く勉強しましたよ。

[中略]

54-A4:このアプリは二ヶ月くらい使いました。)

10-A5: 还是我没进学校，暑假的时候。

[中略]

36-A5: 开学之后，就是不是后来就五十音学完之后就学单词了嘛。后来好像就没用了。

37-Z: 就是类似于开学的那段时间你也在用，但是就是学完五十音后这个就不用了。这个理解对吗？

38-A5: 嗯，好像是。

39-Z: 那大概是开学之后多少的一个时间呢？

40-A5: 开学之后。我记得那个，老师教五十音的时候，好像教的挺快的吧。一个星期，基本上就是要求我们都能够背诵默写下来（五十音图）了。大概一两个礼拜吧。

(10-A5:まだ大学に入っていないなく、夏休みのときです。

[中略]

36-A5:新学期が始まってから、五十音が終わってから、単語を勉強するでしょう。そのあとは使いませんでした。

37-Z: 新学期が始まったばかりのころはまだ使っていましたが、五十音を勉強し終わってから使わなくなったと理解していいですか？

38-A5: うん、そうですね。

39-Z: それは新学期が始まってからどのぐらい経ったときですか？

40-A5: 新学期が始まってから。先生が五十音を教えているとき、早く教えていたことが覚えています。一週間くらいで、〔五十音図〕暗記、読み書きが出来ることが求めら

れていました。だいたい一、二週間ぐらいですね。)

33-Z: 那你大概是在大一的什么期间在用这个软件?

34-A8: 主要就是在学五十音图的时候吧。

35-Z: 那大概是一个什么时候呢? 假如说你开学的时候是九月份的话, 那九月之后的哪几个月?

36-A8: 嗯, 就是两个月之内吧。

37-Z: 就是九月份到十一月份这样的一个时间段对吗?

38-A8: 是的。

(33-Z: 大学1年生のどの期間にこのアプリを使いましたか?)

34-A8: 主に五十音図を勉強しているときですね。

35-Z: それはいつですか? もし新学期が9月から始まるとしたら、その後の何ヶ月?

36-A8: うん、二ヶ月以内でしょうね。

37-Z: 9月から11月までという期間ですか?

38-A8: はい。)

A4 と A8 は大学に入学した後に「五十音図」を利用し始めたのに対し、A5 は大学に入学する前に「五十音図」を利用し始めた。A4 は「このアプリは二ヶ月くらい使いました。」、A8 は「二ヶ月以内でしょうね。」と「五十音図」の利用期間に言及したことから推測すると、A4 と A8 が「五十音図」を利用し終わった時期は、新学期が始まってから二ヶ月ぐらい経った11月であると考えられる。それに対し、大学に入学する前の夏休みにすでに、アプリを利用し始めた A5 は、アプリの利用終了の時期について「新学期が始まってから。[中略]だいたい一、二週間ぐらいですね。」と述べた。また、同氏は「先生が五十音を教えているとき、早く教えていたことが覚えています。一週間くらいで、〈五十音図〉暗記、読み書きが出来ることが求められていました。」と、当時の授業の状況についても言及した。この発言から、授業中における授業内容の進捗状況の速さ、教師の教え方などにより、学習者の教室外の学習アプリの利用期間が影響されることが読み取れる。

さらに、A4 の「授業で五十音図を勉強しているときです。」、A5 の「新学期が始まってから、五十音が終わってから、単語を勉強するでしょう。そのあとは使いませんでした。」、A8 の「主に五十音図を勉強しているときですね。」という発言から、学習者は授業で五十音が

取り上げられた期間に利用しているが、それについての内容が終わってから、利用が終了することが分かった。つまり、教室外の学習アプリの利用期間は授業でそれに該当する内容が取り上げあげられている期間と並行することがある。

以上から分かるように、学習アプリの利用において、その利用開始の時期と利用終了の時期は異なる。新たな学びに備えて、先立って学習アプリを利用し始める学習者もいれば、新たな学びが始まるとともに、学習アプリを利用し始める学習者もいる。アプリを利用し終わる時期は学習者それぞれ異なるが、授業で該当する内容が取り上げられる期間は学習者の利用終了の時期に影響を及ぼす。

8.4.2.2 利用の頻度

概念 10〈利用の頻度〉は学習者が学習アプリを利用している間の利用の頻度と定義された。上記概念 9〈利用の期間〉で述べたように、学習者の中では大学に入学する前の夏休みに学習アプリを利用し始めた人もいれば、大学に入学して正式な日本語の授業が始まってから学習アプリを利用し始めた人もいる。この二つのパターンの利用の頻度も相違が見られた。

まず、大学に入学する前の夏休みの間の利用の頻度について言及された具体例は以下の通りである。

26-A6: 当時〔暑假〕の使用頻度啊。就是好像我自学效率蛮低的，就是有大概一个多星期吧。就是每天打开了看一看，后来就没有怎么看过了。比如说有些什么事情，比如说出去玩，和同学一起，就不会去看了。

(26-A6: 当時〔夏休み〕の利用頻度ですね。私は独学の効率が低いです。一週間ぐらいでしょう、毎日アプリを使って少し見て、そのあとはあまり見ませんでした。何か用事ができて、例えばクラスメートと一緒に遊びに行ったりしたら、見なくなりました。)

46-A2: 开学之前的话，是，当时，一周，一周就一两次吧。

47-Z: 嗯。那开学之后，就是你正式被录取之后，那你这个，我想也在上日语课，那个时候，在课外的时候，是什么样一个频率在用这个软件的呢？

48-A2: 当时课外是每天都会用。

(46-A2: 学期が始まる前なら、はい、当時は、週に、週に一回か二回ですね。)

47-Z: はい。学期が始まってから、つまり正式に大学に入学してから、当時は日本語の授業も受けていると思いますが、そのとき、教室外で、どのような頻度でこのアプリを使っていましたか？

48-A2: 当時、教室外では毎日使っていました。)

A6は大学に入る前の夏休みの間の「五十音图」の利用の頻度について、「一週間ぐらいでしょう、毎日アプリを使って少し見て、そのあとはあまり見ませんでした。」と述べた。つまり、A6は一週間ぐらい毎日学習アプリを利用するが、その後利用の頻度が減少した。その原因について、同氏は「私は独学の効率が低いです。」と「何か用事ができて、例えばクラスメートと一緒に遊びに行ったりしたら、見なくなりました。」と述べた。前項は自律学習に関する学習者の内的な要因であり、後項は学習者の周囲の状況から及ぼす外的な要因である。

A2は「学期が始まる前なら、はい、当時は、週に、週に一回か二回ですね。」と述べた。A2は夏休みの間には週に一、二回の頻度でアプリを利用したが、大学に入って日本語の授業を受けてから、「教室外では毎日使っていました。」と述べた。つまり、正式な授業の開始を分岐点に、学習者のアプリの利用の頻度が変化した。

次に、大学に入って、日本語の授業が始まってから、教室外でアプリを利用し始めた学習者の利用の頻度についての具体例は以下である。

80-A1: 嗯，就开始学的时候可能就每天都在使用。然后把通篇学下来以后，那可能就只会去，可能就比如说周末回去听一听它。

(80-A1: はい、新学期が始まったまもないごろは、毎日使っていました。一通り勉強してから、例えば、週末だけ少し聞くことになりました。)

44-A3: 只要有时间就用吧，那段时间（10月多一点点）用的挺多的。大概几乎天天都有在看

(42-A3: 時間があれば使っていましたね。そのとき〔10月ちょっとすぎたころ〕けっこう使っていました。ほぼ毎日見ました。)

58-A4: 嗯，也不是特别多吧。每星期大概，大概，就是要背的时候才拿出来看一下。就

是，就是在那个上课那天的前一天，前两天会看一下。

(58-A4:うん、頻度はそんなに多くなかったですね。一週間に、たぶん、暗記する必要があるときに見ます。授業の前日か、2日前に少し見ます。)

40-A8: 嗯，是。就是一开始学的时候会频繁一点，差不多每天都用，然后后来就是三四天嘛。

(40-A8:うん、はい。学びはじめた頃は頻繁に使いました。ほぼ毎日使っていました。そのあとは、三、四日になりました。)

32-A10: 频率，就是。每天几个几个地过吧。就它不是有闯关的嘛，一轮一排，然后五个的那个，然后就每一天，每一天或一天到两天的时候就轮一下。也不太确定，就是闯关，闯了两三关，有的时候就放下了。因为课比较少然后比较难。

(32-A10:頻度ですね、毎日何個かクリアしますね。そのアプリは前の方をクリアしないと次に進まないでしょう。1行が1ラウンドで、5個の五十音があります。だから、1日、あるいは2日ごとに1ラウンドをクリアします。はっきり覚えていませんが、クリアして、2、3ラウンドをクリアしたら、時々ほっときました。授業は少ないし、内容も難しいから。)

上記の具体例から分かるように、利用頻度について、A1、A3、A8、A10のように毎日利用する学習者がいる一方で、A4のように「暗記する必要があるとき」や「授業の前日か2日前に」利用する学習者もいる。つまり、教室外における学習アプリの利用の頻度の差が存在する。また、A1、A8とA10の発話から、利用頻度は始終一貫して高い頻度を保っておらず、減少する傾向にあることがうかがえる。

A1は「新学期が始まったまもないごろは、毎日使っていました」が「一通り勉強してから、例えば、週末だけ少し聞くことになりました」。A8は「学びはじめた頃は頻繁に使いました。ほぼ毎日使っていました。そのあとは、三、四日になりました」。A10は、毎日何個かの仮名を勉強したが、その後の学習は時々途切れるようになった。A1とA10の発話では、アプリの学習内容を一通り勉強したことや、授業内容が難しいなど、利用頻度が変化する原因が言及された。参考書などで日本語を学習する際も、内容を一通り読み終ってから、その参考書の利用頻度が少なくなると同じように、学習アプリで日本語を学習する際も、そのコ

コンテンツが継続的に更新されなければ、一通り学習したら、利用の頻度も減少する。また、五十音すら習得していない日本語の初心者にとって、日本語の授業内容が難しいと感じる学習者も少なからずいる。これは学習者の教室外の日本語学習の意欲にも影響を及ぼすだろう。教室外でより一層努力し自主的に勉強したい学習者もいれば、A10のようにいままで継続していた学習を疎かにする学習者もいると考えられる。

8.4.2.3 具体的な時間帯

概念 11 〈具体的な時間帯〉とは学習者がどのような時間帯でアプリを利用するかを示す概念である。その具体例は、以下である。

43-Z: 那大概是每天的什么时候在看呢?

44-A3: 吃饭的时候, 然后下课, 然后有些时候在外面, 坐公交车的时候, 都是比较碎的时间。

(43-Z: 毎日いつアプリを見ますか?)

44-A3: 食事しているとき、授業後、それから外にいて、バスに乗っているときなど、断片的な時間ですね。)

46-A4: 一星期大概就学一行两行这样子吧。然后平时零碎的时间都可以看一下嘛。排队啊, 或下课之后。

(46-A4: 一週間に一行か二行ぐらい勉強しましたね。普段、まとまった時間がないときは少し見ますね。列に並んでいるときとか、授業後とか。)

38-A7: 一般是晚上熄灯之前, 然后大概每天用个 20 到 30 分钟的样子。还有一个是在上课之前, 之前大概有 10 分钟的时间, 去温习一下以前学的比如说那些五十音图。

(38-A7: 普通は、夜消灯する前、だいたい毎日 20 から 30 分ぐらい使いました。それから授業の前に、10 分ぐらいの時間があるから、以前習ったたとえば五十音図を復習しました。)

32-A8: 一般就是老师上课之前我会先看一点吧。但是不太懂, 然后等老师讲解了之后, 再用这个复习, [后略]。

(32-A8:先生が授業をする前に少し見ましたね。でもよく分からなかったら、先生が解説してから、これを使って復習しました。[後略])

52-A11: 白天上课, 然后在中午闲暇的时候, 或者是晚上准备睡觉之前, 就打开来使用一下。

(52-A11: 昼間に授業を受けて, お昼の休みのとき, あるいは夜寝る前に, アプリを開いて使いました)

A1 は「食事しているとき」、「授業後」、「バスに乗っているとき」など断片的な時間帯で「五十音図」を利用した。A4 は「列に並んでいるとき」のようなまとまった時間がないときに「五十音図」を利用した。A7 は「夜消灯する前」や「授業の前」、「五十音図」を利用した。また、A7 の発話から、利用時間の具体的な長さは、消灯する前の場合は 20～30 分ぐらい、授業の前の場合は 10 分であることが分かる。A8 も A7 と同じように、授業の前にアプリを利用したが、「よく分からなかったら、先生が解説してから」、教室外で復習する際に、またアプリを利用した。A11 は A7 と同様に「夜寝る前」、アプリを開いて使った。それ以外に、A11 は「お昼休み」の時間帯にもアプリを利用した。

以上の内容をまとめると、学習者は「食事しているとき」、「授業後」、「バスに乗っているとき」、「列に並んでいるとき」、「夜消灯する前」、「授業の前」、「夜寝る前」、「お昼休み」などの時間帯で「五十音図」を利用した。この結果は 6.3.4 節で述べた m-learning の利用時間と呼応する。これらの時間帯は断片的な時間帯であるため、学習者の集中力が低く、気が散りやすいことが予想される。したがって、これらの時間帯で学習者は集中して日本語を学習するというより、日本語に触れる機会を増やし、日本語に慣れる工夫をしていると考えられる。「五十音図」のようなコンテンツの内容が基礎的かつシンプルな内容で、操作も簡単な学習アプリは上記のような時間帯の利用に向いている。

しかし、上記の時間帯は全て、学習者が大学に入学したあと、「五十音図」を利用する際の時間帯である。今回のインタビュー調査では、大学に入学する前の夏休みにおけるアプリの利用の具体的な時間帯の言及がなかった。

8.4.2.4 利用の仕方

学習アプリの利用の仕方は学習者によって異なり、概念 12 (利用の仕方) とは学習者が

「五十音图」を利用している間、どのような形でそれを利用したかという具体的な利用の仕方に関する概念である。インタビュー調査で、伝統的な学習方法と合わせて利用するパターン、ほかの学習アプリなどと同時に利用するパターンと該当アプリだけを利用するパターンという三つのパターンが確認できた。

まず、伝統的な学習方法と合わせて利用するパターンの具体例は以下の4例である。

49-Z: 哦。那具体是一个怎么样的使用方式呢？

50-A2: 就是在图书馆的时候，只要是在学习就基本上打开软件，就算（自己）不发出声音也要听，那样的。

51-Z: 嗯。还有就是一边听然后还一边动手在纸上写这样的一个状况对吗？

52-A2: 对对对。

(49-Z: はい、具体的にどのような使い方をしましたか？)

50-A2: 図書館にいるとき、勉強しているならば、アプリを開いて、たとえ〔自分が〕発声しなくても、発音を聞きます。

51-Z: はい。それから、聞きながら紙に書いたりしましたか？

52-A2: そう、そう、そう。)

48-A9: 那个时候就是大概就是，先看书本自己读一遍，然后跟，就是有一些不是特别会读的，然后看着它，就是它的那个APP有一些发音，然后就再跟着它写嘛。大概是这样子。

(48-A9: そのときは、まず自分で本を読んで発音して、うまく発音できないものがあれば、アプリには発音があって、それを聞いて、書いたりしました。こんな感じです。)

56-A11: 因为它的功能是书写，书写顺序还有发音。所以说用的时候一边跟着发音一边用笔写。

(56-A11: その機能は書く、書き順、発音などだから、使うときは発音を聞きながら、ペンで書きます。)

54-A12: 也会在本子上写一写吧。我觉得写下来可以帮助记忆吧。

(54-A12: ノートに書いたりしたこともありました。書いた方が覚えるのに役に立つと思います。)

筆者 Z と A2 の会話のやり取りから分かるように、A2 は図書館という環境にいる際に、自分で声を出して発音できないが、「五十音图」のアプリ内の発音を聞きながら、紙にそれを書いたりして、練習した。A11 と A12 も A2 と同じように、アプリ内の発音を聞きながら、ペンで書いた。また、A12 は「書いた方が覚えるのに役に立つ」と感想を述べた。A2、A11 と A12 はペンで紙に書いて覚えるという伝統的な学習方法をしながら、それに合わせて、発音を聞くために「五十音图」を補助的なツールとして利用した。

A9 は上記の三人の利用の仕方と少し異なり、「まず自分で本を読んで発音して、うまく発音できないものがあれば、アプリには発音があって、それを聞いて、書いたりしました」という形で「五十音图」を利用した。つまり、A9 は紙媒体で学習して、発音に困っている際の対策として「五十音图」利用した。

次に、ほかの学習アプリなどと同時に利用するパターンの具体例は以下の 3 例である。

60-A4: 就是五十音图的那个软件也会用。然后我也会在知乎软件上面搜一些，就是相关的背的方法。

[中略]

72-A4: [前略] 就是，就是当那个记忆的方法不太适合我的时候，我就会去知乎上再看看（其他方法）。就是每个音他们都有不一样的记法嘛。

(60-A4: 「五十音图」というアプリも使っていましたが、「知乎」というアプリで、暗記の仕方などに関するものを探しました。

[中略]

72-A4: [前略] ええと、その記憶の方法が自分に合わないとき、「知乎」で〔他の方法を〕探してみました。各音は違う記憶の方法があるでしょう。)

47-Z: 哦，好的。那你当时的具体的使用方式是什么样的，你是只用这个五十音图在学呢？还是说你还配合了一些其他的形式在学呢？

48-A8: 我可以說，别的 APP 也在用吗？

49-Z: 可以，你当时还用了些什么样的 APP 呢？

50-A8: 就是我们学的就是那个标准日语的那册书嘛。然后根据它书上也有一个同样的 APP，和那个书相关的，和书本内容相关的，也叫标准日语。

[中略]

57-Z: 嗯，好。就是类似于你在用这个软件之外，你还用了其他的一些软件，也在一起使用这种感觉对吗？

58-A8: 嗯。

(47-Z: はい、分かりました。当時、具体的な利用の方法はどんな感じでしたか。「五十音図」だけを使って勉強していますか。それとも他の何かと一緒に勉強しましたか？

48-A8: 他のアプリも一緒に使っていたと言っていいですか？

49-Z: はい、当時他にどのような APP を使いましたか？

50-A8: 標準日本語という本を勉強していましたね。その本には付属のアプリがあって、本と関連して、本の内容と関連して、名前も標準日本語です。

[中略]

57-Z: うん。はい。この〔五十音図の〕アプリを利用する以外に、他のアプリも利用したということですか？

58-A8: はい。)

36-A10: 也会写。当时老师也在教嘛，然后就，老师们发的也有那些视频啊。然后什么 bilibili 啊，然后就看啊，看就是那些相关的那些动画啊。[后略]

(36-A10: 書いたりしました。当時、先生も教えていますし、それから、先生たちは動画を配布していました。それから、bilibili もあって、そのサイトで関連の動画を観たりしました。[後略])

A4 は「五十音図」以外に「知乎」というアプリも利用した。「知乎」はユーザーの質問に対してほかのユーザーが回答、またはコメントするアプリである。アプリの中では、ほかのユーザーが回答したものなども閲覧することができる。日本で言えば、Q&A サイト「Yahoo! 知恵袋」をアプリにしたようなものである。同氏は「五十音図」を利用している際、その中の「その記憶の方法が自分に合わないとき、「知乎」で〔他の方法を〕探してみました」。つまり、A4 は「五十音図」のアプリで感じた不足の部分をほかのアプリを通して解決するということが分かる。A8 も A4 と同じように「五十音図」を利用している間、ほかの学習アプリと一緒に利用した。A8 が利用したのは 8.2 節で説明した「標準日本語」という教科書をアプリにしたものである。また、A11 は「五十音図」を利用しながら、「書い

たりしました」。それ以外に、教師が配布した動画を閲覧したり、「bilibili」という動画サイトで関連の動画を観たりした。

最後に、該当アプリだけを利用するパターンの具体例は以下の1例である。

45-Z:你刚才说就是你在使用这个软件之前的时候，是用笔和纸在记五十音图。然后在你下载了这个五十音图之后，你只用了这个五十音图软件，还是继续在纸上写。

46-A3: 纸笔没用了。

47-Z: 就是一直用这个五十音图在学么？

48-A3: 对对对。

(45-Z:先ほど、このアプリを使う前に、ペンと紙を使って、五十音図を覚えていたと言いましたね。この「五十音図」をダウンロードしてから、これだけを使いましたか、それとも引き続き紙に書いたりしましたか？)

46-A3:ペンと紙を使わなくなりました。

47-Z:ずっとこの「五十音図」で勉強したということですか？

48-A3:そう、そう、そう。)

A3 の利用の仕方が筆者の予想外である。同氏は「五十音図」を利用する前に、ペンと紙を使って、伝統的な学習方法で五十音を覚えた。しかし、「五十音図」をダウンロードしてから、アプリだけで学習するようになった。つまり、学習アプリの利用を分岐点に、伝統的な学習方法から学習アプリを中心とした学習方法へ変化したといえる。

8.4.2.5 利用しなくなる原因

概念 9〈利用の期間〉で分かるように、学習アプリの利用には終了の時期がある。また、概念 10〈利用の頻度〉で分かるように、学習アプリの利用の頻度は減少する傾向にある。つまり、学習アプリは最初に高頻度で利用されるが、その頻度は次第に減少し、最終的に利用されなくなるというプロセスがあると考えられる。しかし、学習者はなぜ学習アプリを利用しなくなるか。概念 13〈利用しなくなる原因〉はその原因に関する概念である。その原因に言及した具体例は以下である。

36-A5: 开学之后，就是不是后来就五十音学完之后就学单词了嘛。后来好像就没用了。

(36-A5:新学期が始まってから、五十音が終わってから、単語を勉強するでしょう。そのあとは使いませんでした。)

88-A8: 因为那个时候都在学课文那些单词什么的，每天都要记单词。就是那个学期，你感觉那些〔五十音〕你都掌握的都比较牢固了，然后记单词记记啊背背，然后经常有些就感觉特别熟悉了，然后就不需要重复拿这个 APP 来帮你记这些单个的发音啊什么的。

(88-A8:そのとき、文章にある単語などを勉強して、毎日単語を覚えなければなりません。〔五十音を〕しっかり習得したと感じて、単語を覚えたりして、慣れてきました。繰り返しにこのアプリを使って各発音を覚える必要がなくなりました。)

61-Z: 那你刚才说它没有很好的达到你的预期效果。那你觉得就是这个，这个也是最后影响到你不用它的一个原因吗？

62-A9: 一个是这个原因吧，还有一个就是后面学，就是课文的话，就是五十音图感觉去复习的不多了。因为就是要专注一些课文单词，背的也比较多。这样子的。

(61-Z: 先このアプリは自分が期待した効果を発揮していないと言いましたね。これはあとこのアプリを使わなくなった原因の一つですか？

62-A9:原因の一つはそれですね。もう一つは、あと文章を勉強すると、五十音図を復習することが少なくなったと思います。文章の単語に集中して、覚えることが多いからですね。)

60-A10: 大概是在十二月份，十一月份左右吧。因为那个时候，我，就是五十音图什么，都已经基本上知道了。都在接触一些短语啊，就是句子啊，就没太用它。

(60-A10: たぶん十二月、十一月ごろですね。そのとき、五十音図についてはほとんど知っていました。短いフレーズやセンテンスなどを勉強することが多いから、あまり使わなくなりました。)

48-A11: [前略] 然后我们进入新的学习阶段之后，这个软件就没有再怎么用了。

(48-A11: [前略] 新しい段階の学習に入ってから、このアプリをあまり使わなくなりました。)

A5は五十音の学習が終わり、次に単語を勉強することになるため、「五十音図」を使わなくなった。A8は「〔五十音を〕しっかり習得したと感じて、単語を覚えたりして、慣れてきました」。そのため、「繰り返しにこのアプリを使って各発音を覚える必要がなくなりました」。また、筆者とA9の会話から、A9が利用しなくなる原因は二つあることが分かる。一つの原因は「アプリは自分が期待した効果を発揮していない」ことであり、もう一つはこれから「文章の単語に集中して、覚えることが多いから」である。次に、A10は五十音を習得したあと、「短いフレーズやセンテンスなどを勉強することが多いから」、「五十音図」を利用しなくなった。

A5、A8、A9、A10が「五十音図」のアプリを利用しなくなる原因は共通している。その原因は、A11が述べたように「新しい段階の学習に入ったから」であるといえる。「五十音図」は日本語の基礎である五十音に特化した学習アプリである。そのため、初心者には向いているが、日本語レベルが上がるに連れて、その内容が学習者のレベルに合わなくなる。このような現象はほかの学習アプリでも同様に起こりうる。学習者がアプリを利用している間、学習者自身の日本語のレベルが学習アプリのコンテンツのレベルより先に上がった、その学習アプリを利用しなくなるだろう。また、授業で教えている内容が次の段階に移ると、いままで教室外で利用している学習アプリがこれからの授業の内容と合わなくなる可能性がある。このような場合、いままで利用した学習アプリを放棄し、授業の内容に合うようなアプリの利用に変更する可能性が高い。

8.4.3 利用後

【利用後】というカテゴリーは、学習者が「五十音図」を利用したあと、利用前の期待が達成されたか、他人に勧めるか、学習アプリをどのように処置しているか、その学習アプリについてどのように認識しているか、また今後の利用へ影響するかなどに関するカテゴリーである。サブカテゴリーは、【期待の達成】、【アプリの良し悪しについての認識】、【アンインストール】、【他人への推薦】、【後の利用】の五つである。この章では、学習者がアプリを利用したあとの状況について具体例と共に分析する。

8.4.3.1 期待の達成

8.4.1.4節では、学習者が「五十音図」を利用する前に、それに対する期待は、「能力向上に関する期待」、「利便性に関する期待」、「あまり期待しない」の三つに分類することができ

るという結果を示した。学習者が利用したあと、これらの期待は達成されただろうか。【期待の達成】は概念 14〈期待の達成〉から構成される。概念 14〈期待の達成〉は学習者が「五十音図」をしたあと、利用する前の期待が達成できたかどうか、具体的にどのような部分が達成できたかを示す概念である。

まず、「能力向上に関する期待」の達成についての具体例は以下である。

54-A1: 应该说是算达到了吧，但是我觉得就是说不止是靠 APP 的这种，就是作用嘛。因为就是你单纯的依靠 APP 我觉得其实是一件蛮耗费时间的事情，因为它有些时候就会让你无意义地去重复。

(54-A1:達成できたと言えますね。でも、このアプリだけによる効果ではないと思います。アプリだけに頼ると、けっこう時間かかりますから、時々無意味に同じことを繰り返してやらされますから。)

62-A2: 嗯，算达到了吧。就让我记牢了嘛，然后也让我就是，就是，就是，让我方便一点记忆。然后碎片化时间也利用的比较好。

(62-A2:はい、達成できましたね。しっかり覚えさせてくれましたね。それから、その、その、便利に記憶させてくれました。それから、断片的な時間の利用もよかったです。)

46-A5: 嗯，还可以。

47-Z: 这个还可以可以讲的更具体一点吗？

48-A5: 就是入门的话，就，就它的写法和读音的话，我觉得肯定是不够的，但因为它这个软件就叫五十音嘛。

49-Z: 嗯。

50-A5: 好像有其他的功能。但我后来没有点开来看。好像有那种视频，教学什么的。其他的我没点开来看。

(46-A5:はい、まあまあです。)

47-Z: もうすこし具体的に説明してもいいですか？

48-A5: 入門ならば、このアプリの書き方と読み方では、足りないと思います。でも、このアプリの名前も五十音でしょう。

49-Z: はい。

50-A5: ほかの機能もあるらしいですが、開いて見ませんでした。ビデオとか、レッスンとかもあるらしいが、タップして見ませんでした。)

64-A8: 其实也不能说完全达到吧。就是有些东西还是会忘记的。不过很奇怪的是，就是一开始学的时候嘛，就会让你记得很牢，但是当你全部都学会了之后，你会觉得你再复习的时候，好像都似曾相识，都学过了。但是还是有些总是会忘记。这个我也不清楚。

(64-A8:完全に達成できたとは言えないですね。忘れるものがあります。おかしいことに、学び始めた頃はね、しっかり覚えさせてくれました。しかし、全部習得して、復習するとき、見たことがあるような、勉強したことがあるようなと感じますね。なにかがいつも忘れています。これについてはあまり分かりません。)

56-A9: 我感觉就是没有特别达到吧。因为就是感觉，就是因为可能不是读的特别多嘛。就是你后面，我感觉就是在读单词的时候没有特别注重那个发音了。就是你读的时候，可能说只是说大概读对了就好了，就是没有注重你的发音到底要有多标准，这样的。

(56-A9:あまり達成できなかつたと思います。たぶんたくさん発音しませんでしたから。そのあと、単語を読むとき、発音が重視していなくて、つまり、読むよき、発音がほしい合っていればいいということです。)

42-A10:算是达到了吧，因为其实也是当一个辅助吧。因为毕竟还是靠老师这边教，自己也练习啊，练习下来的。所以应该效果还是有的。

(42-A10:達成できましたね。補助として使いましたから。なんととっても、先生が教えて、自分も練習して、習得しましたから。効果はあると思います。)

8.4.1.4 節で分かるように、A1、A2、A5、A8、A9、A10 は、教室外で「五十音图」を通して、日本語の五十音の読み書きができることに期待を寄せている。上記の具体例で示したように、アプリを利用したあと、期待の達成について、A1 は「達成できたと言えますね」、A2、A10 は「達成できましたね。」、A5 は「まあまあです。」、A8 は「完全に達成できたとは言えないですね。」、A9 は「あまり達成できなかつたと思います。」と述べた。この結果から、学習者の中では、期待が達成できた人もいれば、できなかった人もいることが確認できる。

A1、A10 の場合、利用前の期待が達成したものの、A1 は「このアプリだけによる効果で

はない」、「アプリだけに頼ると、けっこう時間かかりますから、時々無意味に同じことを繰り返してやらされますから」のような感想を述べた。A10は「補助として使いましたから。なんといっても、先生が教えて、自分も練習して、習得しましたから」と述べた。この二人の発話から、二人は五十音の読み書きができたことについて、「五十音図」というアプリの効果を確認したが、全てアプリによる効果ではないと認識していることが読み取れる。

A2は「しっかり覚えさせてくれましたね。それから、その、その、便利に記憶させてくれました。それから、断片的な時間の利用もよかったです」と述べた。つまり、同氏は利用前の五十音の読み書きができるという期待が達成できた以外に、学習アプリの利用による利便性を実感した。

次に、A1、A2、A10と違って、A5、A8、A10は期待が達成できなかったに近い発話をした。A5は「このアプリの書き方と読み方では、足りないと思います。」という否定的な評価をした上で、「ほかの機能もあるらしいですが、開いて見ませんでした」と言う自分が学習アプリの内容を全部学習していなかったことにも言及した。学習者が学習アプリを全部利用しないことはそれに対する期待が達成できない一因だと考えられる。

A8は期待が達成できなかった原因について、「学び始めた頃はね、しっかり覚えさせてくれました。しかし、全部習得して、復習するとき、見たことがあるような、勉強したことがあるようなと感じますね。なにかがいつも忘れています。」という記憶の問題に言及した。時間が立つにつれて、学んだ内容についての記憶が薄くなる。断片的な時間を利用して、学習アプリで学習する際に、学習内容が最初から深く記憶されないことが多い。そのため、A8が述べたように、「復習するとき、見たことがあるような、勉強したことがあるようなと感じますね。なにかがいつも忘れています。」は起こると考えられる。

また、A10は「たぶんたくさん発音しませんでしたから」という自分の練習不足の問題に言及した。「五十音図」のアプリ内では、仮名の発音を提示し、学習者の発音を録音することもできるが、学習者が実際に発音などの練習をしないと、五十音の習得が難しいと考えられる。A10の発話から、学習者がアプリを利用する際の練習の度合いは、アプリに対する期待の達成に影響を及ぼす可能性があるかと推測できる。

次に、「利便性に関する期待」の達成の具体例は以下の4例である。

51-Z: 那使用之后你觉得它达到了你预期的效果吗?

52-A3: 有。

53-Z: 具体是哪些方面呢？

54-A3: 就是零碎时间一直看一直看，它会让我方便的记住，不用整理出大把时间，很枯燥的坐在那个地方背。平时没事情看看就随便记住了，那就最好了呀。

(51-Z:使ったあと、期待した効果が達成されたと思いますか。)

52-A3:はい。

53-Z:具体的にはどんな面ですか？

54-A3:まとまった時間がないときに見て見て、便利に覚えさせてくれました。多くの時間を空けて、ただ座って無味乾燥に覚えなくてもいいです。普段、暇などときに見て覚えらるるなら、これに越したことはないでしょう。)

74-A4: 嗯，算是达到了吧

75-Z: 你可以具体跟我讲它达到了哪些吗？

76-A4: 就是我能比较牢固的记住它们（五十音），然后也可以比较流利地写出来，就是写的时候不会卡壳这样子。

(74-A4: はい、達成できたでしょうね。)

75-Z: 具体的になにが達成できたか説明してもいいですか

76-A4: [五十音を] しっかり覚えることができました。そして、スムーズに書くこともできて、書くときに滞ることがないということです。)

56-A7:基础学习还是有的，那个比如说它不能搜索单词，这个的话感觉还是需要改进一下。因为不管怎么说，日语学习虽然基础也是很重要，但是一些单词搜索，一些基础的单词搜索应该具备。

(56-A7:基礎的な学習はありました。でも、たとえば単語を検索できなくて、これはすこし改善する必要があると思います。なにしろ、日本語の学習は基礎も大事ですが、単語の検索など、基礎的な単語の検索の機能も備えるべきだと思います。)

64-A11:嗯，我觉得是达到了。因为它大部分（的内容）都是非常有效的促进了我当时的记忆的，就是程度还有有速度。

(64-A11:はい、達成できたと思います。このアプリの大部分〔の内容〕は当時の記憶の程度とスピードを非常に効果的に促進してくれましたから。)

65-A12:达到了吧，在开学之前就把它记齐了。

(65-A12:達成できましたね。学期が始まる前に全部覚えました。)

上記の「能力向上に関する期待」の達成の状況はばらつきがあるのに対し、これから説明する「利便性に関する期待」の達成状況は全員が達成したと言える。8.4.1.4 節で述べたように、A3、A4、A7、A11、A12 は利用前に速く、便利に五十音が覚えられることに期待を寄せている。その期待の達成について、筆者 Z の質問に対して、A3 は「はい」と答え上に、「まとまった時間がないときに見て見て、便利に覚えさせてくれました。」と説明した。A4 は「しっかり覚えることができました。そして、スムーズに書くこともできて、書くときに滞ることがないということです。」という学習の結果について話した。A7 は「基礎的な学習はありました。」と肯定的に捉えたが、単語を検索できなく、そのような機能が備えるべきだと感想を述べた。A11 は「アプリの大部分 [の内容] は当時の記憶の程度とスピードを非常に効果的に促進してくれました。」と述べた。また、A12 は「学期が始まる前に全部覚えました。」と述べた。この発話から A12 は日本語の授業で日本語を勉強する前に、すでに学習アプリによる学習で、基礎的な知識をある程度を習得したことが分かる。

学習アプリを通して、五十音の読み書きができるという能力向上に関する期待を達成するためには、学習者本人の努力が必要である。A5 のようコンテンツを全部学習していない、A8 のように内容を深く記憶していない、A10 のようにあまり練習をしていなければ、読み書きができるという期待は達成できにくいだろう。しかし、A4、A7、A11、A12 のように学習アプリの利便性に期待し、実際に利用してから、その期待が達成できやすいと考えられる。なぜなら、学習アプリのメリットの一つは学習の効率の向上に貢献できることである。そのため、A4、A7、A11、A12 が求める「速く覚える」ことが実感しやすい。

8.4.3.2 アプリの良し悪しについての評価

どのアプリにもいいところもあれば、改善すべきところもある。【アプリの良し悪しについての評価】は学習者が「五十音図」を利用したあと、そのアプリの良いところと良くないところについてどのように評価しているかを示すカテゴリである。概念 18〈良い点についての評価〉と概念 19〈良くない点についての評価〉の二つからなる。以下、それぞれの概念の具体例を分析しながら、学習者が学習アプリについての評価を説明する。

概念 18 〈良い点についての評価〉

概念 18 は学習者が学習アプリを利用した後、その学習アプリの良いところについてどのように評価するかを示す概念である。結論を先に述べると、学習者は「五十音図」についての良い点の評価は、「学習レベル」、「コンテンツ」、「使いやすさ」、「制作」についての評価の四つに分けることができる。

まず、「学習レベル」についての評価の具体例は以下である。

84-A2: [前略] 然后当然对于初学者来说还是挺好用的。[后略]

84-A2: [前略] 初心者にとってはとてもいいです。[後略]

54-A6: 我觉得它就是一个比较适合于初级，比较基础，然后用起来确实对初学者，怎么说呢，就是使用起来挺方便的一个软件。

(54-A6:初級に合う、基礎的なアプリだと思います。そして、確実に初心者にも、なんと言えればいいだろう、つまり、利用はとても簡単なアプリです。)

74-A7: 就是对入门还是有很好的帮助。

(74-A7: 入門にはとても役に立ちます。)

54-A9: 感受我就觉得对初学者来说还是挺有用的吧。因为那个虽然后续，不太，就是有发展。但初学者的话记得还是挺牢的。

(54-A9:初心者には役に立つと思いますね。このアプリは続きがなく、あまり、あとの内容はないです。でも、初心者はしっかり覚えられます。)

74-A10:评价的话，我觉得它对那个完全，就是初学者比较好。[后略]

(74-A10:評価は、初心者にはいいと思います。[後略])

A2 は「初心者にとってはとてもいいです。」、A6 は「初級に合う、基礎的なアプリだと思います。」、A7 は「入門にはとても役に立ちます。」、A9「初心者には役に立つと思いますね。」は、A10 は「初心者にはいいと思います。」と述べた。A2、A6、A7、A9、A10 は共通して、「五十音図」という学習アプリが初心者レベルの日本語の学習に適応すると評価した。

次に、「コンテンツ」についての評価の具体例は以下の2例である。

50-A7:对于刚开始入门吧,我觉得这个软件还是不错的。因为之前也提到它关于口型的问题,这个就是可以调整,就是调整,纠正我的发音。然后再结合老师上课讲的一些注意点,就可以很好的,首先发音也可以发的标准了。这个挺好。然后它那个每日一句日语,这个设计也是不错的。因为它每日的那句日语就是偏向生活方面的。就这些。

(50-A7:入門の人には、このアプリはいいと思います。先も〔発音の〕口の形の話をしました。このアプリは調整でき、調整、私の発音を直すことができます。そして、授業で先生が教えた注意点と合わせれば、よく、まず発音も正しくできるようになりました。この点はよかったです。それから、アプリの中の毎日日本語のセンテンスを一つ提示する、というデザインもよかったです。そのセンテンスは生活に近いから。以上です。)

90-A8:评价, 比较有趣吧。然后效率也挺高的。

91-Z:那这个有趣具体是指什么呢?

92-A8:就是, 比如, 让我想想。其实我也说不太上来, 就是比如说它那个はひふへほ那个ふ, 它给你画了一只小猫, 然后把它那个猫耳朵里一标, 就是那个ふ的那个片假名嘛, 然后就有有点像, 然后一只小小的猫, 你就看到它耳朵那里被标出来, 然后就可以联想到它那个片假名, 就是感觉比较容易记吧, 就这种挺有趣的。

(90-A8:評価は、とても面白かったですね。そして、効率もよかったです。)

91-Z:面白いとは具体的に何を指しますか?

92-A8:それは、例えば、少し考えさせて下さい。はっきり言えないですが、例えば、「はひふへほ」のふ、アプリでは、子猫の絵かがれていて、猫の耳のところで表示して、それはふの片假名でしょう、似ていますね。小さい猫で、耳のところで印が付けられていて、その片假名に連想できます。とてもおぼえやすかったと思いますね。とても面白かったです。)

80-A11:我的评价是它非常优秀。因为它真的是依照中国学生, 中国人的那种思维习惯, 来很快的记忆了这个五十音图。效果很好。

(80-A11:評価はこのアプリはとても優秀なものです。このアプリは本当に中国人の学生、中国人の考え方に従って、速く五十音図を覚えさせてくれますから。効果はとても)

いいです。)

A7は「入門の人には、このアプリはいいと思います」と上記で述べたように学習アプリが適応するレベルを評価した。その上に、「発音を直すことができます。」と「毎日日本語のセンテンスを一つ提示する」などコンテンツに関する内容にも言及し、「よかった」という評価をした。A8は「とても面白かったですね。そして、効率もよかったです。」と良い評価をした。92-A8の発話から、A8が「面白かった」と評価したのはアプリ内のコンテンツの提示の仕方であることが分かる。また、A11は「このアプリはとても優秀なものです。」と高く評価した。なぜそのように評価したかについて、同氏は「アプリは本当に中国人の学生、中国人の考え方に従って、速く五十音図を覚えさせてくれますから。」と述べた。

次に、「使いやすさ」について評価したのは以下の2例である。

58-A2: 我觉得还蛮好用的。然后平时课本那么沉，然后不带课本就可以直接拿出手机用，也挺方便的。

(58-A2: とても使いやすいと思います。普段、教科書は重くて、教科書を持たなくてもスマートフォンを出せば勉強できて、とても便利です。

54-A5: 感受的话就是比较简单，比较好用吧。

(54-A5: とても簡単に、使いやすいと思いますね。)

A2は「とても使いやすい」、「とても便利」と評価し、A5は「とても簡単に、使いやすい」と評価した。また、A2の発話から、学習アプリを使えば、教科書を常に持ち歩かなくても、勉強できることにアプリによる m-learning の利便さを感じたと言える。

最後に、アプリの制作について良い評価をしたのは以下の1例である。

92-A4: 做的挺好的，挺人性化的，没有广告。

(92-A4: よく制作されて、ユーザーフレンドリーで、広告がありません。)

A4は「ユーザーフレンドリー」という言葉で評価した。それは具体的に何を指すか、詳細に聞くことができなかった。上記の「学習レベルについての評価」と「コンテンツについて

の評価」の具体例から、「五十音图」は日本語がまだ入門レベルの中国人というユーザーを想定し、コンテンツの提示の仕方にもユーザーが記憶しやすいように工夫した。これはA4が述べた「ユーザーフレンドリー」の内容の一部と考えられる。また、A4は「広告などはありません」にも言及した。この言及から、アプリ内で広告の有無が学習者の評価に影響する可能性があるを読み取れる。

概念 19 〈良くない点についての評価〉

概念 18 では学習者の「五十音图」の良い点についての評価を見てきた、その良くない点について学習者はどのように評価しただろう。概念 19 はその良くない点についての評価を示す概念である。学習アプリの良くない点についての評価の内容も上記で分析した概念 18 と同じように「学習レベル」、「コンテンツ」、「使いやすさ」、「制作」の四つに分類することができる。

まず、学習者は「五十音图」の学習レベルについて良くない評価の具体例は以下である。

96-A2: 就是我觉得它基本上对于初学者来说,对日语学习来说有用价值可能也就三四个月就能把五十音图记住了嘛。然后就没什么其他用了。

(96-A2:初心者にとって、日本語の学習について価値は多分三、四ヶ月で五十音図を覚えることだけだと思いますね。そのあと、ほかにはあまり役に立ちません。)

54-A6: [前略] 但是,它就是像我说的我学完以后就把它卸载了。它就不是一个长期,就是一个长期使用的软件。功能也就很有限嘛。也就是帮助你学习五十音图。

(54-A6: [前略] でも、言ったように学習し終わってからアンインストールしました。このアプリは長期的に、長期的に利用できるアプリではありません。機能も限られていますね。五十音図の学習にだけ役に立ちます。)

A2 と A6 はともに、「五十音图」が利用できる期間について言及した。A2 は「五十音图」が初心者の学習者にとって価値がある期間は三、四ヶ月だと述べた。A6 は五十音の学習が終わったら、「五十音图」をアンインストールした。「長期的に利用できるアプリではありません。」「五十音図の学習にだけ役に立ちます。」と述べた。つまり、五十音を学習する間は、「五十音图」という学習アプリはまだ役に立つが、それ以降の日本語の学習に役に立たな

い。学習者の日本語レベルが上がるにつれ、このアプリは学習者のレベルに合わなくなる。

次に、アプリ内のコンテンツについて良くない評価の内容は以下の例で示す。

44-A1: 哦，哦，会有。因为就，嗯，有时候比如说，课上它会上的，可能你学的比较快，然后你已经掌握到后面，但是它那里就会一定要求你通关才能去学习后面的。但是其实你就已经想复习后面了，其实然后再从头开始，其实你已经掌握了这些东西再去通关，其实我觉得是蛮浪费时间的。

[中略]

48-A1: [前略] 但是，就是形式太过单一了吧。就是你可以有这种按部就班的，然后你也可以就是新出，另外出一个版本，就是说你可以跳着来的。这样我觉得也是更适合那种巩固的。

(44-A1:ええと、ええと、あります。時々、例えば、授業でも教えられていて、早く勉強して、すでに後の内容を習得したが、このアプリならば次の内容に進むために前の内容をクリアしないといけません。でも、実は多分もう次の内容を復習したいかもしれません。また最初からやり始めて、すでに習得済みの内容をもう一度クリアすることは、時間の無駄使いだと思います。)

[中略]

48-A1: [前略] でも、形式はとても単一ですね。「五十音図」のように設定された順番で使うアプリもいいが、新たに、ほかのバージョンも制作して、ランダムで勉強できるようなもの。このようなアプリは習った内容をしっかり覚えることに合うと思います。)

54-A2: 这个，它就是，五十音图它上面显示的一般都是印刷体的，那样的写法。然后老师教的时候，发现跟老师的手写体有很多不太一样。

(54-A2:このアプリは、五十音図で表示しているのは印刷のフォントで、そのような書き方です。先生が教えているとき、その多くは先生が実際に手で書いたものと違いことに気づきました。)

100-A4: 我觉得它可以再扩展一点吧。嗯，就是，它可以，如果它可以做个更完整版的。就是把日语的学习方法也放进去。就是可以做一些后续的不止是五十音图的东西

(100-A4:もう少し広げたほうがいいですね。うん、つまり、より完全なバージョンを

作ればいいです。つまり、日本語の学習方法なども入れて、もう少しあとの学習に関する内容を作成して、ただ五十音図に限るものではありません。)

74-A5: 评价的话，就我自己用的话。我感觉就是，就是我自己知道的那些，就感觉它有点过于简单了吧。就那个教教五十音，有读音啥的。就你真的要学日语的话，这个肯定是不够的，起码最好有点单词啥的。

(74-A5:評価について、自分が使った経験から言うならば、自分が知っている限り、このアプリは簡単すぎると思いますね。五十音を教えて、発音などがあるだけです、もし本当に日本語を勉強するならば、これだけは足りなくて、少なくとも単語などあればいいと思います。)

98-A8:就是其是我是觉得它可以在多一些那些，就是那种句子的那些的扩展嘛。就是我只能用它一段时间，不够丰富。

(98-A8:もっとセンテンスなどがあればいいと思います。このアプリを短い期間内でしか使えなくて、内容はあまり豊富ではないです。)

58-A11:因为我是同时下了好几个，留下了这一个，所以我对它的一些功能都是比较满意的。唯一就是有一点遗憾的就是，它就是单一的仅作为一个五十音图的学习软件来使用，并没有拓展其他的功能。然后它的那些记忆的方法呀什么的，都还是非常的厉害的，我觉得。当然每个人记忆的习惯不一样，它大部分是让我中意它的记忆方式，也有少数的，极少的部分它的那种记忆有点不恰当，但是这是每个人的体验都是不一样的。

(58-A11:私は同時にいくつかのアプリをダウンロードして、最後にこれだけを残しました。だから、このアプリの機能については満足しています。唯一残念なことは、五十音図の学習だけの学習アプリで、ほかの機能はありません。そして、このアプリの記憶の方法とか、とてもすごかったともいます。もちろん人それぞれ覚える習慣が違いますが、このアプリの大部分記憶の方法は気に入ります。もちろん極わずか、極わずかの記憶の方法は適切ではなくて、でも、人の体験はそれぞれ違います。)

以上の事例の文量からも分かるように、インタビューでは学習者は、コンテンツから生じる学習アプリの良くないところについて多く語っている。A1は「五十音図」の中のコンテ

ンツの「形式はとても単一ですね。」と述べた。44-A1 と 48-A1 の発話から、「五十音図」の中の内容を学習する際、事前に設定された順番で学習して行かなければいけないことが分かる。そのため、A1 が述べた「授業でも教えられていて、早く勉強して、すでに後の内容を習得したが、このアプリならば次の内容に進むために前の内容をクリアしないと行けません。」のような問題が発生する。つまり、学習者はすでに次の学習に進めたいが、学習アプリで設定された順番に従わなければいけない。それについて、A1 は「すでに習得済みの内容をもう一度クリアすることは、時間の無駄使いだと思います。」という感想を述べた。また、同氏は「ランダムで勉強できるような」バージョンを作った方がいいという改善策を提案した。

54-A2 では、学習アプリで表示している印刷のフォントと教えられた手書きの形と異なるという問題が述べられた。スマートフォンの画面で表示している仮名のフォントは印刷時に使うフォントであるが、実際に学習者が授業で習ったのは教師が手書きで示したものである。A2 はその違いに気づいた。つまり、同じ学習項目について、学習者が授業で習った内容と、教室外で学習アプリで習う内容の間に違いが生じる可能性がある。このような問題が発生すると、そのアプリのコンテンツに不信感を抱き、マイナスの評価をすることになるだろう。

100-A4、74-A5、98-A8、58-A11 の発話では共通してコンテンツの内容は少ないことを指摘した。A5 は「五十音を教えて、発音などがあるだけです。」、A4 は「もう少し広げたほうがいいですね。」、A8 は「内容はあまり豊富ではないです。」、A11 は「唯一残念なことは、五十音図の学習だけの学習アプリで、ほかの機能はありません。」と述べた。また、A4 は「日本語の学習方法なども入れて」、A5 は「少なくとも単語などあればいい」、A8 「もっとセンテンスなどがあればいいと思います。」と述べ、追加したいコンテンツの内容について話した。これらの事例から、アプリ内のコンテンツの内容が少ないと、良くない評価につながる。

これらの事例から分かるように、学習アプリの良くない評価につながる要素として、以下の三つあると考えられる。

- a. コンテンツの利用の形式が単一で、学習者が自由に利用できない。
- b. コンテンツの内容は実際に学習者が授業で習った内容と異なる。
- c. コンテンツの内容が少ない。

「使いやすさ」の良くない評価についての具体例は以下である。

50-A9:就是它有一些那个,就是你自己写的那个时候,感觉不太方便嘛。然后写起来就很奇怪。然后有一些就是,就是读的话,我觉得读还可以,因为都是你点一个,它读一个。选择性比较强。

(50-A9:このアプリは、自分で書くとき、少し不便だと感じます。書いておかしいです。それから、読むについて、読むのはいいです。タップしたら読んでくれます。選択は自由です。)

A9は学習アプリで書くことに不便を感じた。8.2節で説明したように、「五十音图」の中では、指でスマートフォンの画面をなぞって、仮名を書く練習もできる。しかし、スマートフォンで書くと実際にペンで書くのは異なる。上の54-A2の発話から読み取れるように、授業中、日本語の教師は手書きで仮名の書き方を教えている。学習者の中ではペンと紙を利用して書く練習をすることが多く、そのような練習の方法に慣れていると思われる。「五十音图」のアプリで、スマートフォンの画面上で仮名の書く練習をすることができるが、学習者はこのような斬新な練習の仕方に慣れない。そのため、A9が述べた「不便」、「書いておかしい」というイメージを持つことになる。つまり、学習アプリの中で便利な使い方があっても、もし学習者はそれに慣れていなければ、逆に不便と評価する可能性がある。

最後に、アプリの「制作」についての良くない評価についての具体例を分析する。

94-A4:[前略]就是背单词的软件嘛,就跟背英语单词差不多。那我觉得创新嘛,也没什么创新吧。

(94-A4:[前略]単語を覚えるソフトでしょう。英単語を覚えると同じようなものです。新しいところについては、特にないと思いますね。)

80-A5:就是我感觉它这个,它这个软件的名字就有点就是过于简单了。如果是稍微知道一点的人就知道,就是五十音图就是最最那个基本的。可以稍微,比如说就是那个,就是比如说改下名字,比如日语入门,这样。就,它就光五十音的话,有一些稍微知道一点的人,肯定就不愿意下这个了。因为他们肯定就五十音知道一点的嘛。

(80-A5:このアプリの名前は簡単すぎると思います。少し知っている人ならば、五十音

図は最も基礎だと知っています。少し、例えばあのを、例えば名前を少し変えて、例えば「日本語入門」のように。五十音だけならば、少し知っている人ならば、これをダウンロードしたくないです。彼らたちは五十音について知っているでしょう。)

96-A12: 评价, 各方面都挺好的, 如果可以提供一些比如说主题什么的, 让它看起来更舒服一点。

[中略]

102-A12: 就是界面应该可以自己选择, 不是单一的颜色吧。

(96-A12: 評価は、全部よかったです。でも何か例えばテーマを提供して、もっと見やすくして。

[中略]

102-A12: インタフェースは自分で選択できて、単一の色ではないことですね。)

94-A4 の発話で、A4 は「五十音図」をいままで利用した英単語を覚える学習アプリと比較して、「英単語を覚えると同じようなもの」と括り、「新しいところについては、特になくと思いますね」と述べた。A4 は「五十音図」の制作の面について特に斬新さを感じていない。

A5 は「このアプリの名前は簡単すぎる」と評価した。同氏は、「五十音図」の名前だと、日本語について「少し知っている人ならば、これをダウンロードしたくないです。」と述べ、学習アプリの名前から生じるダウンロードしない原因を示唆した。

A12 は「評価は、全部よかったです」と言ったが、アプリのインターフェースについて少し不満があった。A12 の要望は「インタフェースは自分で選択できて、単一の色ではないこと」である。

この三つの具体例から、「斬新さ」、「名前」、「インターフェース」は学習者のアプリの制作についての評価の対象となる。

8.4.3.3 アンインストール

インタビューでは、学習者がアプリを使ったあと、アプリをどのように処置したか、現在どのように扱っているかなどの利用後の状況についても調査を行なった。【アンインストール】は学習者がアプリを利用した後の処置とその原因に関するカテゴリーで、概念 19〈アンインストールする/しない理由〉からなる。

概念 17 〈アンインストールする/しない理由〉

結論を先に述べると、調査時にすでに「五十音図」をアンインストールした学習者もいれば、アンインストールせず、まだスマートフォンにおいたままの学習者もいる。それぞれの理由は何であろうか。概念 17 〈アンインストールする/しない理由〉は学習者がアプリを利用したあと、それをアンインストールするまたはしない理由についての概念である。

まず、アンインストールする理由に関する具体例は以下である。

76-A2: 就是把五十音图记牢之后就卸掉了。

[中略]

79-Z: 就是类似于你已经学完五十音图, 你已经掌握了五十音图, 然后你觉得这个就达到了它的功效。然后你就把它给删了对吗?

80-A2: 嗯, 对。

(76-A2: 五十音図をしっかり覚えてからアンインストールしました。

[中略]

79-Z: 五十音図の勉強が終わって、それを習得して、このアプリはその役割を果たしたので、それをアンインストールしましたか?

80-A2: うん、はい。)

66-A3: 我把五十音图全部背清楚了就删了。

(66-A3: 五十音図をはっきり覚えてからアンインストールしました。)

88-A4: 因为我已经学完五十音图了, 它对我没什么价值了。

(88-A4: 五十音図の勉強が終わって、このアプリは私にとってあまり価値がないから。)

66-A7: 一个是室友就是推荐了对以后学习更加有帮助的几个 APP 嘛。然后就是觉得基础来说自己掌握的也还行。基础方面也不怎么需要了, 就把它给卸掉了。

(66-A7: 一つの原因はルームメイトがこれからの学習にもっと役に立つアプリを勧めてくれたから。それから、基礎については自分がまあまあ習得できたと思います。基礎についての勉強は必要ないから、アンインストールしました。)

70-A9: 就是那个时候,就是因为刚刚学完,已经学完五十音图啦。然后就是开始学课文,然后不是要背单词嘛。刚好它那个跟课文配套的标准日语(软件)里面,就是有一些单词,还有课文里面的语法都有,然后就用那个软件。然后五十音图就是学完的话,我看它不用了,然后就把它删掉了。因为那个标准日语里面,就是前面,它也有五十音图。就是这样子。

(70-A9:そのとき、五十音図を勉強し終わったばかり、すでに勉強し終わりました。本文などを学んで、単語を覚える必要があるでそう。ちょうど本文の内容とセットになっている標準日本語〔アプリ〕の中で、単語があつて、本文の中の文法もあるから、それを使うようになりました。五十音図は勉強済みで、あまり使っていないくて、アンインストールしました。標準日本語の中でも、前半の内容には、五十音図があるから。以上です。)

76-A11: 没有了,因为我现在已经到了大一下学期,五十音图的记忆已经比较熟悉了。然后功能,也因为它的功能太单一,所以留在手机里面,用处不大,我就把它删除了。

(76-A11 使っていません。いまはもう一年生の下半期だから、五十音図は記憶して慣れています。それから、アプリの機能はとても単一だから、スマートフォンにおいても、あまり役に立たなくて、アンインストールしました。)

A2、A3、A4の発話から、五十音の学習が終わり、それをしっかり、はっきり覚えたため、「五十音図」を利用する価値を感じないというアンインストールの理由が確認できる。A7は自分がアンインストールした理由について、「ルームメイトがこれからの学習にもっと役に立つアプリを勧めてくれたから」という理由を述べた。つまり、他人の勧めによるほかの学習アプリの利用への移行は、いままで利用した学習アプリをアンインストールする原因の一つであると言える。

A9は五十音の学習が終わり、本文の単語など覚える必要があるため、他の学習アプリを利用するようになった。A9はA7と同じように他人による勧めで、「標準日本語」というアプリの利用に移行したかどうか、確認できなかったが、その発話から他の学習アプリの利用への移行はA9が「五十音図」をアンインストールした理由の一つと言える。それ以外に、A9は「五十音図は勉強済みで、あまり使っていないくて」と、学習アプリの利用の頻度の減少という理由を述べた。

A11 は自分がすでに五十音に慣れているからという理由以外に、「アプリの機能はとても単一だから、スマートフォンにおいても、あまり役に立たなくて」という機能の単一性について言及した。

以上まとめると、学習者がアンインストールする理由として、以下の四つがある。

- ①学習アプリ内の内容を学習したため、その価値を感じない。
- ②ほかの学習アプリの利用へ移行する
- ③いままでの利用した学習アプリの利用の頻度が減少する
- ④学習アプリの機能は単一的である。

次に、今回の調査では、上記のように、学習アプリを利用したあとアンインストールした学習者が多い一方で、利用後もアンインストールせず、スマートフォンにおいたままの学習者もいる。その事例は以下の2例である。

73-Z: 没有在使用，但是它还保留在你的手机里吗？

74-A1: 嗯，是的。

75-Z: 就类似于存在手机里，但是基本上之后就不动了，不用了。这个状况对吗？

76-A1: 对，基本不太使用。但是如果说有时候就觉得发音比较忘记了或者是比较奇怪，然后可能就会去再打开它再去听一下。

(72-A1: いまはもう使っていません。

73-Z: 使っていません。しかしまだスマホにっていますか？

74-A1: うん、はい。

75-Z: まだスマホにっていますが、基本的に触らない、使わないような状況ですか？

76-A1: はい。

76-A1: はい。ほとんど使いませんが、発音を忘れたときや発音がおかしいとき、またアプリを開いて聞きます。)

89-Z: 那你现在这个手机里，还保存着这个软件吗？

90-A12: 嗯，是的。

91-Z: 那你为什么还会把它保存在那里呢？

92-A12: 因为手机内存够用。

(89-Z: スマホに今でもこのアプリをおいていますか？

90-A12: うん、はい。

91-Z: なぜまだおいていますか？

92-A12: スマホのストレージはまだ余裕がありますから。)

A1 は調査時にまだ「五十音图」をアンインストールしておらず、スマートフォンにおいたままであるが、ほとんど使わない。「発音を忘れたときや発音がおかしいとき、またアプリを開いて聞きます。」という発話から、A1 は復習のためにまたアプリを使う可能性があるため、アンインストールしないという理由が読み取れる。A12 は A1 と同じように、アプリをアンインストールしなかった。その理由について、同氏は「スマホのストレージはまだ余裕がありますから」と述べた。逆に言えば、もし A12 のスマートフォンのストレージは余裕がない場合、同氏は使い終えた学習アプリをアンインストールするだろう。つまり、スマートフォンのストレージの残量は学習者が利用済みの学習アプリをアンインストールするかどうかの一因であると考えられる。

8.4.3.4 他人への推薦

8.4.1.2 節で分析したように、学習者が「五十音图」を知るきっかけの一つは他人による推薦である。その推薦をした人物は、先輩、クラスメート、ネット上の新入生コミュニティのメンバー、ルームメートである。学習者はその勧めを受けて、実際にそれを利用した後、周りの人にまた勧める可能性が十分あると考えられる。しかし、利用後に学習者は自分が利用した学習アプリを誰に、どのように勧めたか。カテゴリー【他人への推薦】は概念 16〈推薦の相手〉と概念 17〈他人への勧めの具体的な内容〉という二つの概念から構成され、学習者が学習アプリを利用したあと誰に、具体的にどのように勧めたかを示すものである。

概念 15 〈推薦の相手〉

概念 15 〈推薦の相手〉は「五十音图」を利用したあと、勧めたまたは今後勧める可能性がある相手を示す概念である。まず、すでに勧めたことがあり、その相手についてのヴァリエーションは以下である。

40-A6: 我给我一个不是日语专业在别的学校的同学推荐过。因为它就是像我说的内存比较小, 然后界面简单, 然后挺好用的。对于一个就是没有接触过的一个初学者来说, 我觉得它是一个挺好的入门方式。

(40-A6:日本語専攻ではないほかの学校にいる同窓に勧めました。このアプリは私が言ったようにサイズが小さくて、インターフェイスも簡潔で、とても使いやすいです。日本語に触れたことがない初心者にとっては、とてもいい入門の方法です。)

58-A7:会的。我有一个朋友是其他专业的, 她说她之后想辅修一门日语。问我有什么可以学习的那些软件啊。我就把这个基础的五十音图推荐给她。

(58-A7:はい。友達がほかの専攻で、彼女はこれから日本語を副専攻として学びたくて、私になにか学習アプリがあるかと聞きました。この基礎の「五十音図」を勧めました。)

74-A8:会啊, 我见到同学, 我有时候就会说。

(74-A8:はい。クラスメートとあったとき、時々言いますね。)

70-A11:嗯, 会推荐, 然后之后我的室友们她们也下载了这个软件, 都是基本上大家好几个同学都用了这个软件来学, 都挺好的。

(70-A11:うん、勧めますね。ルームメートたちもこのアプリをダウンロードして、みんな、何人かがこのアプリで勉強して、よかったです。)

勧めた相手について、A6は「日本語専攻ではないほかの学校にいる同窓」、A7は日本語を副専攻として学びたい友達、A8はクラスメート、A11はルームメートに「五十音図」を勧めた。A6とA7はこれから日本語を学びたい人に勧めたのに対して、A8とA11は自分と一緒に学んでいる人に勧めた。しかし、インタビューで学習者がすでに勧めた相手のヴァリエーションの中で、後輩は出現しなかった。その原因は、インタビューの協力者はA3とA5を除き、全員大学一年生であり、大学ではまだ後輩という身分だからである。

次に、今後勧める可能性がある相手の具体例は以下である。

62-A1:嗯, 呃, 呃, 想推荐的人那一般就是, 就是如果把这个软件推荐给别人, 我觉得就是和我相同的状况, 他基础肯定是比较差的嘛。或者说是想要去巩固。[后略]

(62-A1:うん、ええと、ええと、勧めたい相手は、もしこのアプリをほかの人に勧めるとしたら、自分と同じような状況で、その人は基礎があまりよくない、あるいは基礎をしっかりしたい人だと思います。)

64-A9:应该是会的吧。就是对初学者的话，如果是已经学过的就不一定会推荐了。

(64-A9:勧めると思いますね。初心者なら勧めますが、すでに習った人なら勧めません。)

46-A10:推荐的话，到目前好像没有没有推荐过，因为周围，周边的同学们，都好像，都有好像有一些就是那个，跟我不一样水平。就是他们之前可能接触过了，用的可能不一样。所以就没有那个〔推荐〕。

47-Z: 那假如说是你的那些后辈啊，你会去推荐他们吗？

48-A10: 那当然会的，因为如果完全没有基础的话，我觉得这个还是可以的。就是这个〔五十音〕像拼音一样嘛。所以我觉得会推荐的。

(46-A10:勧めについて、いままでまだ勧めたことがないです。周り、周りのクラスメートは、たぶん、たぶん何人かは、私のレベルと違って、彼らたちは前にすでに日本語に触れたことがあって、他のアプリを使っていたかもしれません。だから、〔勧め〕しませんでした。

47-Z: 後輩たちになれば、彼らに勧めますか？

48-A10: もちろんですね。もし完全に何の基礎もなければ、このアプリはいいと思います。この〔五十音は〕ピンインみたいなものでしょう。だから、勧めると思います。)

68-A12:大家都有自己的选择吧。我不会特别去推荐。

69-Z: 那假如说你的后辈问你有什么，那个，那个，软件的话。你会去推荐它吗？

70-A12: 会的。

(68-A12:みんな自分の選択があると思いますね。特に勧めはしません。

69-Z: もし後輩に何か、その、その、アプリがあるかと聞かれたら、このアプリを勧めますか？

70-A12:はい。)

A1は、今後勧める可能性がある相手について明言していないが、「自分と同じような状況で、その人は基礎があまりよくない、あるいは基礎をしっかりしたい人」に勧めると述べた。A9は「勧めると思いますね」と言ったが、実際に勧めるかどうかは相手による、同氏は「初心者なら勧めますが、すでに習った人なら勧めません。」と述べた。次に、A11はいままでほかの人に勧めたことはなかった。その原因は、周りのクラスメートは自分のレベルと違って、すでに日本語に触れたことがあって、ほかのアプリを使っていたかもしれないからである。しかし、筆者Zが「後輩たちになれば、彼らに勧めますか？」という問いに、「もちろんですね。もし完全に何の基礎もなければ、このアプリはいいと思います。」と回答した。また、A12は「みんな自分の選択があると思いますね。特に勧めはしません。」が、後輩に何かアプリがあるかと聞かれた場合は勧める。

上記のすでに勧めた相手と、今後勧める可能性がある結果を合わせると、学習者がアプリを利用したあと、ほかの専攻の同窓、友達、ルームメート、クラスメート、日本語の初心者、後輩に勧めることが分かる。学習者の勧めはこれらの人がアプリを知るきっかけになる。

概念 16 〈他人への勧めの具体的な内容〉

概念 16 〈他人への勧めの具体的な内容〉は学習者が前節で明らかになった相手に、具体的にどのように勧めるかを示す概念である。そのヴァリエーションは以下である。

62-A1: [前略]那我就跟他讲这个软件就是专注于这一点〔五十音〕的。然后它就是，它就是操作起来还是比较简单的。就，然后也没有说需要，呃，购买增值的服务。

(62-A1: [前略]彼らに、このアプリは〔五十音〕一つに集中したもので、そして、操作も簡単で、そして、有料のオプションを買う必要もありませんと言います。)

66-A2: 我就说我当时用的就是五十音图，然后我觉得还挺好用的。

(66-A2: 当時私も「五十音图」を使っていて、とても使いやすいと言います。)

82-A4: 他们在背五十音图的时候，我会说，那你可以下一个软件来，然后，然后就是平时随便什么时候，零碎的时间都可以拿出来看一看。然后这样会记得更快

(82-A4: 彼らが五十音図を覚えているとき、「アプリをダウンロードして、そして普段いつでも、まとまった時間がないときなどアプリを開いてみて、この方が速く覚えられます」と言います。)

76-A8: 我一般会说有个 APP 叫五十音图, 然后它就可以教你比较快的把那些发音啊, 那种写法记住, 都很简单。

(76-A8: 「「五十音图」というアプリがあって、発音や書き方を速く覚えさせてくれます。全部とても簡単です。」と言います。)

74-A11: 就是, 我们都有共同的目的学习这个五十音图嘛, 所以我肯定首先跟他说, 这个促进了我的学习进度, 所以也推荐试试看, 然后他试了之后也会知道它的某些好处, 所以就推荐成功了。

(74-A11: 五十音図を勉強するという共通の目的があるでしょう。だから、先にその人に「このアプリは私の学習のスピートをアップしてくれましたから、試してみたほうがいい」と言います。そして、その人が試して、アプリの何かのいいところを知るなら、勧めが成功したことになります。)

A1 は「このアプリは〔五十音〕一つに集中したもの」、「操作も簡単」、「有料のオプションを買う必要もありません」などアプリの主なコンテンツ、操作、利用の料金の面から勧める。A2 は「当時私も「五十音図」を使って、とても使いやすい」のように自分の体験を語り、他人に勧める。A4 は「まとまった時間がないときなどアプリを開いてみて、この方が速く覚えられます」、A8 は「発音や書き方を速く覚えさせてくれます。」と述べた。二人はアプリを利用することで得られる効果について他人に話す。A11 は「このアプリは私の学習のスピートをアップしてくれましたから」と述べ、A2 と同じように自分が実際に利用した体験を他人に伝える。

以上の結果を見ると、学習者が他人に勧める際の内容は以下の三つに分類することができる。一つ目は A1 が言ったようなアプリに関する詳細な情報（コンテンツ、操作、利用の料金など）について内容である。二つ目は A4 と A8 が述べたアプリで得られる効果についての内容である。三つ目は A2 と A11 が述べたアプリ利用の体験談である。

8.4.3.5 後の利用

【後の利用】は概念 20〈ほかのアプリの利用〉と概念 21〈今後の利用への影響〉という二つの概念からなる。本節では、学習者が「五十音図」を利用した後、ほかのどのようなアプリの利用へ移行したか、「五十音図」の利用経験が学習者の今後のアプリの利用へどのように影響するかなどについて分析する。

概念 20 〈ほかのアプリの利用〉

概念 17〈アンインストールする/しない理由〉でも少し触れたが、ほかの学習アプリへの利用の移行は学習アプリをアンインストールする原因の一つである。しかし、学習者は「五十音図」を利用した後に、どのような学習アプリの利用へ移行したか、その際にどのような要素が関わっているか。概念 20 は学習者が学習アプリを利用した後のほかの学習アプリの利用についての概念である。以下、具体例を参照しながら、分析する。

81-Z:那你在删了之后, 你有再去下一些其他的软件吗?

82-A2: 嗯, 我下了一个标准日本语, 那个软件就叫这个。跟我们课本是对接的。然后就可以听课文录音什么的。

(81-Z:アンインストールした後、他のアプリをダウンロードしましたか?)

82-A2:はい、「标准日本语」という名前のアプリをダウンロードしました。教科書とセットになっています。教科書の録音を聞けます。)

20-A12: 就是那个书配套的。

21-Z: 这个是在五十音图之前用的吗?

22-A12: 不是, 是开始学习那个具体的单词啊, 然后句子语法什么的时候开始的。

23-Z: 也就是说这是在使用五十音图之后才开始使用的是吗?

24-A12: 是的。

(20-A12: 教科書とセットになっているアプリです。)

21-Z: 「五十音図」を利用する前ですか?

22-A12:いいえ、単語、センテンス、文法などを勉強することになったから。

23-Z: 「五十音図を利用してから使い始めたということですか?」

24-A12:はい。)

A2 と A12 は、「五十音图」をアンインストールしてから、8.2 節で説明した教科書とセットになっている「标准日本語」をダウンロードした。A2 は「教科書の録音を聞けます。」とそのアプリの機能についても話した。A12 は「単語、センテンス、文法などを勉強することになったから」次の学習アプリの利用に移行した。

71-Z: 那你在不用这个 APP 之后，你还下载了其他的 APP 吗？

72-A3: 就是很多单词不认识的时候就用那个沪江小 D。其他就没了

73-Z: 这个也是别人推荐你的吗？

74-A3: 不是，这个是老师推荐的。

(71-Z: このアプリを使わなくなってから、他のアプリをダウンロードしましたか？

72-A3: 単語が分からないとき「沪江小 D」を使います。他はないです。

73-Z: これは他の人が勧めてくれたものですか？

74-A3: いや、先生が勧めてくれました。)

A3 の話しから、同氏は「五十音图」のあと、「沪江小 D」を利用することになった。8.2 節で説明したように、「沪江小 D」は辞書のアプリである。A3 は「単語が分からないとき「沪江小 D」を使います」。また、このアプリの推薦者は【知るきっかけ】の概念 3 (推薦者) の中で出現しない「先生」である。

86-A4: 对。我现在在用那个，就是教材那本书，它的配套软件。

[中略]

106-A4: 嗯，如果我选了日语专业，我就肯定会去下载的。但是我现在没有在学日语专业了。然后就是相当于二外，不是特别重要。然后我最近就是没有在下载。但是我觉得，等考试的时候我还是会再下载的。

(86-A4: はい。今その、教科書とセットになっているアプリを使っています。

[中略]

106-A4: はい。もし日本語専攻を選んだら、必ずダウンロードしますね。でも、いまは日本語専攻ではなくて、日本語は副専攻で、あまり重要ではありません。最近ダウンロードしませんでした。でも、試験などのときはまたダウンロードすると思います。)

A4 は A2 と同じ、「標準日本語」を利用した。106-A4 の発話から、A4 は調査時に日本語専攻ではなく、副専攻として日本語を履修しているという状況が分かる。A4 は副専攻として履修している日本語についてあまり重要ではないと思って、最近日本語の学習アプリをダウンロードしなかった。しかし、同氏は「試験などのときはまたダウンロードすると思います」。つまり、日本語の学習の必要性の度合いは学習者が学習アプリをダウンロードするかどうかに影響する可能性がある。A4 のように日本語を副専攻として学ぶ学習者ならば、日本語を学習することの必要性は主専攻に比べて低い。しかし、日本語の試験に合格するなどのような事情で、また日本語の学習アプリを利用する可能性がある。

しかし、以下の A7 は A4 と違って、調査時に日本語専攻を選び、日本語を主専攻として本格的に学習し始めた。

32-A7: 学习了一段时间之后, 就是五十音图也学完了。然后也是室友推荐, 下了一些其他的软件。那个时候室友推荐的是沪江开心词场。

33-Z: 你继续。

34-A7: 她们说那个背单词比较好用, 所以就下了那个。

35-Z: 你刚才说的是, 你用完了这个五十音图之后, 你再去下载了另外的 APP 这样的吗?

36-A7: 对对。因为那个时候也决定要学习日语了。

(32-A7: 少しの間勉強してから、つまり五十音図の勉強が終わりました。またルームメートの勧めで、他のアプリをダウンロードしました。そのとき、ルームメートが勧めてくれたのは「沪江开心词场」というアプリです。

33-Z: 続けてください。

34-A7: 彼女たちはそのアプリは単語を覚えるのにいいと言ったから、ダウンロードしました

35-Z: 先言ったのはこの「五十音図」を使い終わってから、他のアプリをダウンロードしましたということですか?

36-A7: そう、そう。そのとき、すでに日本語を学ぶと決めたから。)

A7 は、「五十音図の勉強が終わりました。またルームメートの勧めで、ほかのアプリをダウンロードしました」。その学習アプリは「沪江开心词场」という単語を覚えるためのアプリである。また、36-A7 の発話から、A7 が「沪江开心词场」を利用するきっかけは、ルー

ムメートの勧めだけではない。日本語専攻に進み、「すでに日本語を学ぶと決めたから」のもその契機の一つである。上記の A4 の日本語を学習する必要性が低いと異なり、A7 は日本語を主専攻にしたため、日本語を学習せざるを得ない。つまり、A7 は日本語を学習する必要性が高い。そのため、単語の暗記に役に立つ学習アプリを利用することになったと考えられる。

以上、学習者が「五十音図」を利用した後のほかの学習アプリの利用の状況について分析してきた。その結果、学習者は教科書とセットになっている「標準日本語」や、辞書のアプリの「沪江小 D」や、日本語の単語を覚えるための「沪江开心词场」などのアプリの利用に移行した。また、これらの学習アプリを利用することにあたり、「先生」、「ルームメート」などの推薦者が関わるだけでなく、学習者の日本語の学習の必要性の変化も関わっている。

概念 21 〈今後の利用への影響〉

【後の利用】というカテゴリーの中の二つめの概念は概念 21 〈今後の利用への影響〉である。この概念は、学習アプリを利用した経験は、今後学習者がほかの学習アプリの利用へどのように影響するかを示す概念である。

まず、今後の学習アプリの利用へ影響があると回答した A3、A4、A7、A10、A11 の事例を分析する。

83-Z:我是说你用软件的这个经历，对你选择其他的一些软件的那些影响。

84-A3: 有的呀，就是经常会想到什么需要用的就直接去搜一下，然后随便选，挑一个试一下，好用就用，不好用就不用。

(83-Z:このアプリを利用した経験は、他のアプリの選択に何か影響。

84-A3:ありますね。何か必要があれば探してみると常に思います。随意に選んで、一つ選んで試して、使いやすければ使う、使いにくければ使いません。)

8.4.1.2 節の概念 5 〈本人による検索〉で分かるように、A3 は「ルームメートがインターネットでどのようにすれば速く〔五十音〕覚えられるかを調べている」というルームメートの行動からヒントを得て、自分で「五十音図」を探したという経験があった。このような学習アプリを知る経験は、A3 が今後、何か必要があれば学習アプリを探してみて、「随意に選んで、一つ選んで試して、使いやすければ使う、使いにくければ使いません。」という今後

の利用の行動に影響したと考えられる。

78-A7:还是会有的。就是会尽量挑选一些能使用的时间比较长的一些软件。

(78-A7:影響あります。できるだけ利用の期間は少し長めのアプリを探します。)

78-A7 の発話から、A7 は今後利用したいのは利用の期間が少し長めの学習アプリであることが分かる。「五十音图」のような学習アプリは初級の五十音を習う期間に役に立つが、その後の学習に適応しないため、利用できる期間が短い。また、上の概念 20〈ほかのアプリの利用〉で分かるように A7 は調査時に日本語専攻を主専攻とした。そのため、これからの大学生活では長く日本語を勉強する必要がある。そのため、「五十音图」を利用した A7 は長く使える学習アプリを求める。

82-A10:会吧，就是通过它之后，然后应该会学习其他的比较，就是教你日常的会话啊，什么那种软件。就会换成这种。

(82-A10:影響はあるでしょう。このアプリを使ってから、ほかの比較的、つまり日常会話を教えたりするようなアプリを学習します。このようなものに変えます。)

82-A10 の発話から、A10 は「五十音图」を利用した後、今後日常会話を教えたりするような学習アプリに移行することが分かる。つまり、今後 A10 の日本語のレベルが上がるにつれて、「五十音图」は A10 の日本語レベルに合わず、A10 は自分のレベルに相応しい学習アプリを探し利用することになる。これは同時に、A10 のような学習者は以前利用したものと同じような学習アプリに逆戻りしないことを意味する。

66-A11:我肯定是非常感谢这个软件给我带来的帮助，然后也关注了一下这个制作的这个，这个制作者，然后发现他好像没有其他的那种，其他类型的软件可以使用。然后就比较遗憾吧。

67-Z: 那假如说你发现了这个作者做了些其他的软件的话，你是不是也有可能就会再去下载其他的那些软件呢？

68-A11: 嗯，对的。因为它就是，就像是那种小说，小说家写了好的小说，你肯定关注他的下一部作品之类的感觉。

(66-A11:このアプリが役に立ったことに感謝しています。そのあと、これを制作、この制作者を少しフォローして、ほかの、ほかの種類のアプリがないことを知りました。残念ですね。

67-Z:もしこの制作者はほかのアプリも作ったと見つけたら、ほかのアプリもダウンロードする可能性はありますか？

68-A11:うん、そうですね。アプリは小説のようなもので、小説家がいい小説を書いたら、彼の次に作品に注目するといった感じです。)

A11は「五十音図」を利用した後、「このアプリが役に立ったことに感謝しています」。また、同氏はその制作者が気になり、その制作者がほかの学習アプリを作成したかどうかを探した。しかし、見つからなかった。筆者Zの「もしこの制作者はほかのアプリも作ったと見つけたら、ほかのアプリもダウンロードする可能性はありますか？」という質問に対して、A11は「そうですね。」と肯定的に答えた。さらに、同氏はアプリとその制作者を小説と小説家に例えて、「アプリは小説のようなもので、小説家がいい小説を書いたら、彼の次に作品に注目するといった感じです」と話した。つまり、A11のように学習アプリを使用した後、その効果を実感すれば、次に同じ制作者が作成したほかの学習アプリを利用する可能性が高くなると考えられる。

102-A8:就是会，你用别的软件的话，你就会进行一些对比，比如说在它的功能上。像这个标准日本語，就他就虽然主要是紧合课本的嘛，但是它也不是很有趣，就是那些东西搬在上面。[后略]

(102-A8:他のアプリを利用すれば、何か比較し、例えば機能の面。この「標準日本語」は、教科書と密接に関係しているでしょう、でもあまり面白くなくて、教科書の内容そのままアプリに移っただけです。)

86-A11:可能是有一点影响的。因为我可能会不由自主的去比较一下两个软件的优劣。

[中略]

88-A11:比较之下肯定会，就是本来如果说没有使用这个五十音图，那我下其他的软件可能只是单一地从它给我带来的体验和观感来做评判。但是在使用了那个五十音图之后，因为那是一个优秀的软件，所以说在使用其他软件之后，可能其他软件的体验感，就然我就

没有单纯只使用它的那种感觉那么好，因为是有那种比较了嘛

(86-A11:少し影響はあるかもしれませんが。思わず二つのアプリの優劣を比較するかもしれないから。

[中略]

87-A11:比較したら、つまり、もしこの「五十音图」を使っていなければ、ほかのアプリをダウンロードしてそのアプリによる経験と感想で評価します。でも、その「五十音图」を使ってから、ほかのアプリの体験の感想は単にほかのアプリを使うときより、よくないかもしれません。比較があるから。)

102-A8、86-A11 と 87-A11 の発話では、「比較」という言葉が言及された。これらの発話から、A8、A11 は今後ほかの学習アプリを利用する際、以前利用した「五十音图」と比較する可能性があることが分かる。A11 は「もしこの「五十音图」を使っていなければ、ほかのアプリをダウンロードしてそのアプリによる経験と感想で評価します。でも、その「五十音图」を使ってから、ほかのアプリの体験の感想は単にほかのアプリを使うときより、よくないかもしれません。」と述べた。つまり、「五十音图」の利用の経験は次に学習アプリの利用の感想に影響を及ぼす。

A3、A4、A7、A8、A10、A11 のように「五十音图」を利用した経験が今後のほかの学習アプリの利用に影響すると思う学習者がいる一方で、以下の A9 のように影響しないかもしれないと思う学習者もいる。

82-A9:不会吧，我觉得每个软件都不一样。就是它，现在学习软件特别多，每个软件都有它的特色嘛。不会影响，应该不会影响。因为我下软件特别多，就是不会因为一个软件影响另一个软件。

(82-A9:影響しないでしょう。それぞれのアプリは違います。いま学習のアプリはとても多くて、それぞれ特色ありますね。影響しません、多分影響しません。たくさんアプリをダウンロードしましたから、一つのアプリで他のアプリに影響しません。)

82-A9 の発話で、A9 は影響しないかもしれない理由について二つ言及した。一つは、「それぞれのアプリは違います。いま学習のアプリはとても多くて、それぞれ特色ありますね。」、つまり、学習アプリはそれぞれ特色があることである。もう一つは、「たくさんアプリをダ

ウンロードしましたから」、学習アプリを多く利用し、その利用に慣れていることである。

8.4.4 学習者の認識と環境

学習者が教室外で自主的に学習アプリをダウンロードして、学習することに関して、どのような背景があるだろうか。今回のインタビュー調査のデータから、学習者が学習アプリで学習するという新しい学習の方法に対する認識と、学習者の周りの環境という二つを抽出し、【学習者の認識と環境】というカテゴリにまとめた。その中に、概念 22〈学習アプリの利用の良いところの認識〉、概念 23〈学習アプリの利用の良くないところの認識〉、概念 24〈周囲の環境〉の三つの概念がある。概念 22、概念 23 はそもそも学習者が教室外で学習アプリによる学習についてどのように認識しているかという学習者の内的な考え方である、概念 24 は学習が置かれた環境など外的な環境である。

概念 22 〈学習アプリの利用の良いところの認識〉

概念 22 は、学習者が教室外で、学習アプリを利用して学習するという行為についての良いところの認識を示す概念である。学習アプリの利用の良いところの認識は学習アプリの利用を促進する可能性があると考えられる。以下、具体例とともに、学習者が認識している学習アプリの利用の良いところはどのようなものを分析する。

99-A1: [前略] 他可携帯啊。就你如果，比如说你带着一部手机，然后你可能想学习了就学。但是如果你带着一本书，你可能想学啊，但是你没带书，你不就是不能学了么。[后略]

(99-A1: [前略] 持ち運べます。例えばもしスマートフォンを持っていれば、勉強したければ勉強できます。しかし、本を持って、勉強したいかもしれませんが、でも本を持っていなければ、勉強できないでしょう。[後略])

100-Z: 那你刚才说挺方便，挺好，这个到底，你可以具体和我解释一下吗？这个方便和好到底指的是哪些东西呢？

101-A2: 就是课本天天带着肯定太沉嘛。天天携带就很沉就不方便。但是手机的话就会随身带嘛。就随时，在等车的时候，或者坐车的时候。然后随时拿出来听一下，就很方便。

102-Z: 那这些主要指的是方便的一些方面。那好的话你主要指的是哪些具体的内容？

103-A2: 好的话我觉得就是你想，想，就是重复学习的时候，你就可以重复学了。然后就是会让你记忆，记忆的比较频繁，也比较深刻，那样的。

(100-Z:先言った便利といいについて具体的に説明してもいいですか。この便利といいとは何を指していますか？)

101-A2: 毎日教科書を持ち歩くと重いでしょう。毎日持ち歩くと重くて不便です。でもスマートフォンなら持ち歩けますね。いつでも、バスを待つときとか、あるいはバスに乗っているときとか、いつでも出して聞いたりして、とても便利です。

102-Z: これらは便利についてのもので、いいとは具体的に何の内容を指しますか？

103-A2: いいについて、繰り返して勉強したいとき、それができると思います。それから、記憶、記憶の頻度を多くしてくれて、もっと深くなど。)

115-Z: 嗯，那你觉得它的好处是什么呢？

116-A4: 好处，好处就是可以利用零碎的时间来学习。然后就是不用一直在手机上玩啊。可以用手机来学习啊。

117-Z: 还有其他的吗？

118-A4: 就是很方便啊。不用带书本。

(115-Z: うん、良いところは何だと思いますか？)

116-A4: 良いところ、良いところは断片的な時間を利用して学習できることです。そして、ずっとスマートフォンで遊ぶではなく、スマートフォンで勉強できます。

117-Z: ほかはありますか？

118-A4: 便利ですね。教科書を持たなくていいです。)

99-A1、101-A2、118-A4 の発話では、スマートフォンは本と比較され、本より持ち運びに便利という利点が言及された。本は毎日持ち歩くと重くて不便であるが、スマートフォンなら持ち運びに便利で、いつでもどこでも利用できる。そのため、「バスを待つときとか、あるいはバスに乗っているときとか」(101-A2)、「断片的な時間を利用して学習できる」(116-A4)。

また、A2 は「持ち運びに便利」以外に、「繰り返して勉強したいとき、それができる」、「記憶の頻度を多くしてくれて、もっと深くなど」と述べた。つまり、学習アプリが学習の頻度を多くすることができるため、深く記憶できるという点に A2 が良いと認識した。次の

86-A3 の発話でも A2 と同じような認識が読み取れる。

86-A3: [前略] 比如说, 拿一个单词出来, 就是一个单词跳出来, 然后你每天都会出现这个单词, 你无聊的时候看看, 就记住了。那样最好了。

87-Z: 那你觉得课外使用日语学习软件的好处是什么。

88-A3: 好处的话肯定对日语成绩有所提高吧。就比如说多记些单词的话肯定对日语的词汇量这些都有增加。然后日语课外学习软件, 有些还有读音的嘛。那肯定对你的听力也有些帮助。其他好像没有什么了。

(86-A3: [前略] 例えば、単語一つ選んで、単語一つが出てきて、毎日同じこの単語が出ます。退屈のとき見て、覚えられます。それは最もいいです。

87-Z: 教室外で日本語の学習アプリを利用することの良いところは何かと思いますか？

88-A3: 良いところは日本語の成績が上がることです。もっと多くの単語を覚えれば日本語の語彙量の増加にいいです。そして、教室外で使う日本語のアプリは中で発音があるアプリもある。聴解にも役に立ちます。他は特にないです。)

86-A3 では単語を覚える際の学習アプリの利用は例として述べられた。A3 は毎日同じ単語がスマートフォンに表示するように設定し、退屈のとき見て、覚えられることにいいと述べた。それ以外に、同氏は教室外で日本語の学習アプリの利用の利点について、「日本語の成績が上がること」、「日本語の語彙量の増加にいい」、「聴解にも役に立ちます」と述べた。

83-Z: 那你觉得它有什么优点？

84-A7: 一个是携带方便吧。现在每个人都有智能手机, 然后还有个是, 种类也挺多的, 种类也挺广的。

85-Z: 你说的是学习资源的种类吗？

86-A7: 对。然后还有就是可以在空余的时间, 可以利用, 学习。

(83-Z: どのような良いところがあると思いますか？

84-A7: 一つは持ち運びが便利ですね。今みんなスマートフォンを持っています。それから、種類も多くて、範囲が広いです。

85-Z: リソースの種類を言っていますか？

86-A7: はい。そして、暇のときを利用して勉強できます。)

A7 は、持ち運びが便利という利点を述べた上、「今みんなスマートフォンを持っています。」という背景に言及し、学習のリソースも多いと述べた。さらに、「暇のときを利用して勉強できます。」と、学習アプリで暇な時間を有効に活用でき、時間的な制約が少ないことについて話した。以下の A8 と A11 は同じように暇な時間を有効に活用でき、時間的な制約が少ないという利点について言及した。

91-Z：你觉得这个学习行为的优点在哪里呢？

92-A11:它能最大化地利用你现在生活之中的各种零零散散的碎片的时间，这就是效率非常高，然后因为它操作又便捷，不需要带着额外的东西，只需要拿着手机就可以达到一个学习的目的。所以说我觉得它优势很大。

93-Z：那你觉得其他的优势还有吗？

94-A11：就是，它的时间，主要还是时间问题。它除了提高了学习的效率，利用了很多很多零散时间之外，它也没有顾及这个时间，它的那个，怎么说，就是白天和晚上，无论你那个时间段，你都能学。因为你不需要灯，也不需要其他东西。你只要打开屏幕就可以学。所以说那种局限性很小。

(91-Z：この学習の行為の良いところは何かと思いますか？)

92-A11:生活の中の断片的な時間を最大限に利用できて、効率はとてもいいです。そして、操作も便利で、他のものを持たなくてよくて、スマートフォンだけを持っていれば勉強できます。だから、強みが多いと思います。

93-Z：他に何かの強みがあると思いますか？

94-A11：それは、時間、やはり主に時間の問題です。学習の効率をあげて、断片的な時間を利用する以外、時間をあまり気にしなくてもいいです。その、何と言えいいだろう。昼と夜、どんな時間帯でも勉強できます。ライトとかいらなくて、ほかのものもないです。起動すれば勉強できます。だから、制限が少ないです。)

A11 は、学習アプリで学習すると、「生活の中の断片的な時間を最大限に利用できて、効率はとてもいいです。」「時間をあまり気にしなくてもいいです。」と述べた。時間の制限が少ない具体的な内容として、A11 は「昼と夜、どんな時間帯でも勉強できます。」と説明した。確かに本で学習する場合、昼間であれば、学習することができるが、夜になるとライト

がない環境ではしにくい。しかし、スマートフォンはこのような制限がなく、夜になっても、「ライトとかいらなくて、ほかのものもないです。起動すれば勉強できます」。

次に、112-A8 の発話でも、学習アプリで学習する際、時間の制限が少ないことが言及された。また、A8 は「わざわざ専門の機関に行って勉強しなくていいです」と述べた。

112-A8: 第一个就是经济上，你不用特地到专门机构去学。然后就是它比较方便啊，你随时都可以打开手机来学习。

(112-A8:一つは経済の面で、わざわざ専門の機関に行って勉強しなくていいです。そして、便利です。いつでもスマートフォンを使って勉強できます。)

112-A8 で A8 は学習アプリで学習することと専門機関に行って学習することを比較して、前者の方が経済的で、コストが低いと認識しているだろう。

112-A12: 优点就是可以自己一个人学习吧。

113-Z: 其他呢？

114-A12: 就是不用老师也可以自己学习。

(112-A12: 良いところは自分一人でも勉強出来ることでしょうね。

113-Z : ほかは？

114-A12: 先生がいなくても自分で勉強できます。)

A12 が述べたのは、教師がいなくても一人で学習できるという利点である。授業では、学習者は教師に指導に従って学習することができる。しかし、教室外の場合、学習者は教師の指導を受けにくく、一人で学習する。学習アプリはこのように教師の監督不在の場合でも、学習者一人で学習できるように設計されている。また、学習アプリによっては、学習者と教師、学習者とほかの学習者とを繋ぐ機能もあり、学習者はインターネット上の学習コミュニティで教師の指導を受けたり、学習者同士で意見交換したりすることができる。つまり、学習者は現実の世界では一人で学習するかもしれないが、バーチャルのインターネットの世界では教師または他の学習者と繋がっている。

88-A9: 第一的话就是比较方便嘛, 因为书比较大, 有些时候。第二个是, 可以就是听, 我觉得最重要的就是听吧。因为就是觉得学习外语的话, 其实因为我们就是不是外国人, 就是发音可能都不是特别标准, 就是你可以听它的发音。第三个的话, 我觉得就是可能对你的兴趣也有一点影响吧。就是这样子。

(88-A9:第一は便利ですね、本は大きいから、時々。第二は、聞くことができます。最も重要なのは聞くと思います。外国語を勉強することについて、その国の人ではないから、発音は正しくないかもしれません。アプリの中の発音を聞くことができます。第三は、興味にも少し影響しますね。以上です。)

A9 は学習アプリで学習することの良いところについて、三つ話した。一つ目は、上の A1 と A2 と同じように、本より持ち運びが便利である。二つ目は、アプリの中の発音を聞くことができる。三つ目は、興味に影響することである。88-A9 の発話から、A9 は外国語を学習する際、聞くことがとても大事だと思っていることが分かる。学習アプリで学習すると、外国語の発音などを聞くことができる。教科書も CD が付属して、その内容を聞くことができるが、CD を再生する機械を要するだけでなく、いつでもどこでも聞くことができない。しかし、学習アプリはこのような制限が少ない。A9 のような聞くことが大事だと思う学習者は、学習アプリを求め、それで聞くだらう。三つ目の良いところについて、以下の A10 の発言の中でも言及した。

86-A10:我觉得这个, 我觉得很必要有一个这样的〔学习方法〕。就单单的学习日语的话, 就很枯燥。然后你有一个什么手机软件啊, 然后就可以增加自己的兴趣, 兴趣感嘛, 然后就比较更加的喜欢吧。所以就, 我觉得蛮支持的。

87-Z: 你觉得其他优点是什么?

88-A10: 优点就是那个, 娱乐性比较强, 然后就知识的话, 就是可以更加的有印象嘛, 更加有印象的那种感觉。

89-Z: 还有其他的呢?

90-A10: 其他的。应该是更容易吸收吧。更容易吸收知识, 然后就没有那么, 压力感存在。

(86-A10 このような〔学習方法は〕必要だと思います。単に日本語を勉強すると、とてもつまらないです。もし何かのアプリがあれば、自分の興味を高めることができ、もっと好きになるでしょう。だから、賛成します。

87-Z：他の良いところはなんだと思いますか？

88-A10:良いところはその、娯楽性が強いですね。そして、知識については、もっと印象深くなりますね。

89-Z：他は何かありますか？

90-A10:ほかは、もっと吸収しやすいでしょう。知識はもっと吸収しやすいです。そして、そんなにプレッシャーはないことです。)

86-A10の発話では、A10は「このような〔学習方法は〕必要だと思います。」「賛成します。」と教室外で学習アプリによる学習に対して、支持する態度を示した。その理由について、「単に日本語を勉強すると、とてもつまらないです。もし何かのアプリがあれば、自分の興味を引き立てることができて、もっと好きになるでしょう」。つまり、学習アプリは学習者の日本語に対する興味を高めることができる。88-A10で述べられた学習アプリは「娯楽性が強い」ことも学習者の興味を高めることに関連する。また、A10は教室外で学習アプリで学習する際の知識の定着の状況について、「知識については、もっと印象深くなります。」「知識はもっと吸収しやすいです。」と述べた。最後に、A10は、学習アプリによる学習は「そんなにプレッシャーはない」と話した。これは上記のA12の発話に関連する。教室外で学習者は一人で学習アプリを使って学習するため、教師からのプレッシャーが少ない。いつ、どのように学習するかなど学習の計画は全て学習者本人に委ねられている。

以上、教室外における学習アプリを利用して学習する行為の良いところについて学習者がどのように思うかについて見てきた。それを整理すると、学習者は以下の七つの良いところについて認識していると考えられる。

1. 本より持ち運びに便利である。
2. 学習アプリが学習の頻度を多くすることができるため、深く記憶できる。
3. 暇な時間を有効に活用でき、時間的な制約が少ない。
4. 経済的で、コストが低い。
5. 教師がいなくても一人で学習できる。
6. 日本語に対する興味を高めることができる。
7. プレッシャーが少ない。

概念 23 〈学習アプリの利用の良くないところの認識〉

以上、学習者が教室外で学習アプリを利用することの良いところについての認識を分析してきたが、学習者がそれについて良くないと思うところはあるだろうか。概念 23 は学習者が教室外で学習アプリを利用して学習することについて良くないと認識するところを示す概念である。

54-A1: [前略] 因为就是你单纯的依靠 APP 我觉得其实是一件蛮耗费时间的事情, 因为它有些时候就会让你无意义地去重复。

(54-A1: [前略] アプリだけに頼るのはとても時間がかかることだと思います。時々、無意味に同じことを繰り返します。)

A1 は「アプリだけに頼るのはとても時間がかかることだと思います。」と話した。その理由について、「時々、無意味に同じことを繰り返します。」と述べた。教室外で、学習アプリの内容について学習者がすでに授業で習得した場合、学習アプリで同じ内容を何回も繰り返して学習するのは逆に学習者にとって時間がかかることになるだろう。

120-A4: 不好的地方就是学习的时候趣味性比较少吧。

121-Z: 那你期待的那些趣味性是什么呢?

122-A4: 就是可以结合一些音乐啊, 电影啊, 这种。然后也可以放一些文学啊, 历史进去啊。

(120-A4: 良くないところは、勉強するとき面白さが少ないですね。

121-Z: どのような面白さを期待していますか?

122-A4: 音楽とか、映画とか、このようなものと結びつて、そして、文学とか、歴史とかの内容も入れてもいいです。)

120-A4 では「勉強するとき面白さが少ないですね。」という良くないところが述べられた。A4 が述べた面白さが少ないとは、コンテンツの内容は広がりがないことから生じることを指している。122-A4 の発話から、A4 が期待している面白い学習アプリのコンテンツは、音楽、映画、文学、歴史などの幅広い内容が入っているものであることが分かる。

84-A5: 就是像有些人的话，他可能要做个题目，他可能先中文写好，然后直接用那种翻译软件翻译出来，然后写上去。这样的话就是可能对学习啊什么的反而是不太好的。

(84-A5:例えば、このような人もいます。彼は問題をとく必要があって、まずは中国語で書いて、直接翻訳のアプリで訳して、書きます。これは学習に逆に良くないです。)

84-A5 では、学習アプリを利用することは逆に学習に良くないことが述べられた。8.2 節で「涇江小 D」という学習者の中で多く利用された辞書のアプリについて説明した。このアプリは、辞書の機能はもちろん、翻訳の機能もある。しかも、翻訳したい原文を入力する手間もいらず、スマートフォンのカメラを利用してテキスト認識ができる。しかし、このような便利さが逆に学習者が思考する時間を奪い、A5 が述べた「逆に学習に良くない」ことが生じるだろう。

次に、88-A7 では、教室外における学習アプリの利用の良くないところについて二つが言及された。

88-A7: 不足的地方的話。可能就是有些日语学习资料吧，跟老师讲的可能会有些出入，然后就是可能自己学习的这些，然后老师上课讲的又是另外一种，就很容易，脑子很容易混淆。而且网上的一些资料就是参差不齐，鱼龙混杂吧，也不知道哪一种可信度比较高，哪一种可信度比较低。

(88-A7:良くないところについて、先生が教えた内容と異なる日本語の学習の資料があって、自分がこれらを勉強して、先生が授業中で違うものを教えて、頭が混乱しやすいです。ネット上のリソースはクォリティーがバラバラで、色々ありますね。どれが信頼性が高いか、どれ低いかわかりません。)

A7 が述べた良くないところの一つ目は、学習アプリで学習した内容と授業で教師が教えた内容が異なる可能性があることである。もう一つは、学習リソースのクォリティーがバラバラで、どれが信頼できるものかわからないことである。一つ目については、8.4.3.2 節で「五十音图」についての良くない評価でも確認された。学習アプリのコンテンツの内容は実際に学習者が授業で習った内容と異なると、学習者は A7 が述べたように「頭が混乱しやすい」だろう。二つ目については、もし誰かが学習者に勧めれば学習者はその学習のリソースについて不信感を持つことが少ない。しかし、誰も勧めなければ、学習者は自分で選択しなけれ

ばならない。その際に、A7 が述べた「ネット上のリソースはクォリティーがバラバラで、色々ありますね。どれが信頼性が高いか、どれ低いかわかりません。」という不信感が生じる。

これから見る A8 と A10 の具体例では、長続きできないという良くないところが言及された。

118-A8: 就是有可能你会三天打鱼两天晒网吧，就是有些东西你刚知道很新鲜，但是过了之后可能记不住。有些印象深刻的倒是能记住。

(118-A8:たぶん三日坊主で勉強するかもしれないでしょう。最初に知ったときは、新鮮で、あとになったら覚えられないかもしれません。印象深いものは覚えられます。)

94-A10: 这个缺点就是，在用手机（学习）的时候会被其他的那些什么，其他信息干扰。就会长时间的就会，有时候会被搁置住，就会就不坚持吧，就容易放弃一段时间。然后又想着又容易把它搁置在那个地方，有时候就会。

(94-A10:良くないところは、スマートフォンで〔勉強する〕とき、ほかの何か、ほかの情報に邪魔されます。長時間に、放置されて、続かないですね。少しの間やめて、時々また放置すると思います。)

教室外で、学習アプリによる学習について、A8 は「たぶん三日坊主で勉強するかもしれない」、A9 は「スマートフォンで〔勉強する〕とき、ほかの何か、ほかの情報に邪魔されます。長時間に、放ったらかしにされて、続かないですね。」と述べた。スマートフォンは学習に利用することができるものの、最初から学習のために設計されているのではなく、通信機器として設計された。そのため、学習者が学習アプリを利用して学習する際、メッセージや通話、またはほかのアプリの通知で邪魔されやすい。つまり、学習アプリによる学習は中断されやすく、学習者は集中できない可能性が高い。また、教室外という教師の監督不在の環境では、学習しないといけないプレッシャーが少ない反面、A8 と A9 が述べた「三日坊主で勉強する」、「放置する」という学習を長続きしない問題がある。

下の 96-A11 の発話では、A11 は学習アプリで学習することの良くないことについて三つ話した。

96-A11: 首先, 从身体健康来说, 老对着手机屏幕肯定是不健康的。然后就是, 因为它是安装在手机上, 你老是对着手机的话, 你肯定会不由自主打开其他东西。因为就会造成一个滥用手机, 对手机产生依赖的一个情况出现。这可能是不好的地方。

(96-A11:まず、体の健康からいえば、ずっとスマートフォンの画面を見るのは健康的ではないです。そして、アプリはスマートフォンにインストールされていますから、ずっとスマートフォンを見ていると、思わずほかのアプリを開きます。それで、スマートフォンを過度に使って、スマホ依存のような問題が出ます。これは良くないところかもしれない。))

A11 は「体の健康からいえば、ずっとスマートフォンの画面を見るのは健康的ではないです。」と述べた。つまり、A11 はアプリで学習する際、長時間スマートフォンの液晶のスクリーンを見ることから生じる健康問題を心配している。また、A11 は「ずっとスマートフォンを見ていると、思わずほかのアプリを開きます。」と話した。これは上記の A9 が述べた邪魔されやすいと同じである。さらに、A11 は「スマートフォンを過度に使って、スマホ依存のような問題が出ます。」と心配している。これは上の 84-A5 の内容と関連する。学習アプリを含め、なんでもスマートフォンで解決しようとする、便利ではあるが、スマホ依存症という現代病を深刻化する可能性もある。

116-A12: 缺点和优点差不多, 就是老师提供的会更加详细, 有时候也会引申一些。

(116-A12:良くないところは良いところと似ていて、先生が提供したのはもっと詳細で、時々ほかの内容へ広がります。)

最後に、A12 は学習アプリで学習することの良くないところは、自分が述べた良いところと似ていると話した。上の概念 22 〈学習アプリの利用の良いところの認識〉で A12 は教室外で学習アプリを利用することによって、教師なしで自分一人でも勉強できると述べた。しかし、その反面、116-A12 で述べた「先生が提供したのはもっと詳細で、時々ほかの内容へ広がります。」ということが少ない。これは、上の 120-A4 の発話で確認したコンテンツの広がりが少ないと関連する。学習アプリによる学習は、教師に従って、学習する際のようにより詳細な説明や他の内容への広がりを得難いという難点があると考えられる。

以上の学習者の発話を整理すると、学習者は以下の八つの良くないところについて認識していると考えられる。

1. 学習した内容が繰り返されて、逆に時間がかかる。
2. コンテンツが他の内容への広がりがないため、面白さが少ない。
3. 学習アプリやスマホに過度に頼ることは、逆に学習に良くなく、スマホ依存になる。
4. 学習アプリの内容と授業で教えられた内容が異なり、混乱しやすい。
5. 信頼性のある学習リソースを選択するのが難しい。
6. 邪魔されやすいため、長続きしない、学習を放置しやすい。
7. 長時間のスマートフォンの利用は不健康である。
8. 教師に従って、学習する際のようにより詳細な説明や他の内容への広がりを得難い。

概念 24 〈周囲の環境〉

教室外における学習アプリの利用の良し悪しに関する内的な考え方を示す概念 22 と概念 23 と違って、概念 24 は学習者がおかれた外的な環境についての概念である。インタビューで、自分の周囲の環境について言及したのは A1 と A2 である。

99-A1: 我是蛮赞成这种行为的。因为不只是我，身边也有很多人在用这种学习软件去学习。

(99-A1:この行為には賛成します。私だけでなく、周りも多くの人がこのような学習アプリで勉強しています。)

99-A2: 我觉得挺方便，挺好的。就用 APP 学，学习的话。然后身边同学也有很多在用 APP 嘛。而且大家都基本上互相推荐这样子。

(99-A2:とても便利で、いいと思います。アプリで勉強することは。周りのクラスメートの多くもアプリを使っていますね。しかも、みんなお互いに勧めます。)

A1 は「周りも多くの人がこのような学習アプリで勉強しています。」、A2 は「周りのクラスメートの多くもアプリを使っていますね。」と、自分の周囲の環境について述べた。教室

外で学習者が行う m-learning の行動についての結果を示す 6.3.2 節でも分かるように学習者の中で日本語の学習アプリをダウンロードした人が多い。つまり、学習者の周囲で多くの人々がアプリを利用して学習し、学習者はこのような環境にいる。また、A2 は「みんなお互いに勧めます」と述べたことから、学習者の間で学習アプリの利用の経験などはお互いにシェアされることが分かる。

18-A3: 就是，我觉得这东西（五十音）记不住嘛。然后突然想到手机上学习软件这么多，学日语的肯定也有，我看室友在网上看什么可以记得（五十音）快一点，我想手机上也有，更方便嘛。查一下还真的有。

19-Z: 同寝室的人给了你一些启发这种感觉吗？

20-A3: 对对对。

（18-A3: その、これ〔五十音〕が覚えられないと思いましたね。それでスマートフォンに学習のアプリはたくさんあると思いついて、日本語を学ぶものもあと思いました。ルームメイトがインターネットでどのようにすれば速く〔五十音〕覚えられるかを調べているのを見て、スマートフォンにもあると思って、もっと便利でしょう。調べたら、本当にありました。

19-Z: ルームメイトが君にヒントを与えたって感じですか？

20-A3: そう、そう、そう。)

上の A3 の事例は 8.4.1.2 節の概念 5（本人による検索）でも分析した。A3 は「ルームメイトがインターネットでどのようにすれば速く〔五十音〕覚えられるかを調べている」というルームメイトの行動からヒントを得て、「五十音図」というアプリをダウンロードすることになったという経緯がある。この事例から、寮の環境も学習者が学習アプリを利用することに影響を及ぼすことがあると言える。中国の大学生は大学では寮生活をし、自分のクラスメイトや同じ専攻の人と同じ寮で住むことが多い。そのため、A3 のようにお互いの学習の様子を観察することができ、お互いに学習の方法を参考できる。

8.4.5 アプリの利用のストーリーライン

8.4.1 節、8.4.2 節、8.4.3 節、8.4.4 節の分析結果に基づいて、カテゴリ間に関連について以下の図 37 で示す。【】で示しているのはカテゴリで、〈〉で示しているのは概念である。実線の矢印は影響するという関係性を示し、点線の矢印は変化するという意味を表す。○がついている数字はプロセスのステップを示す。

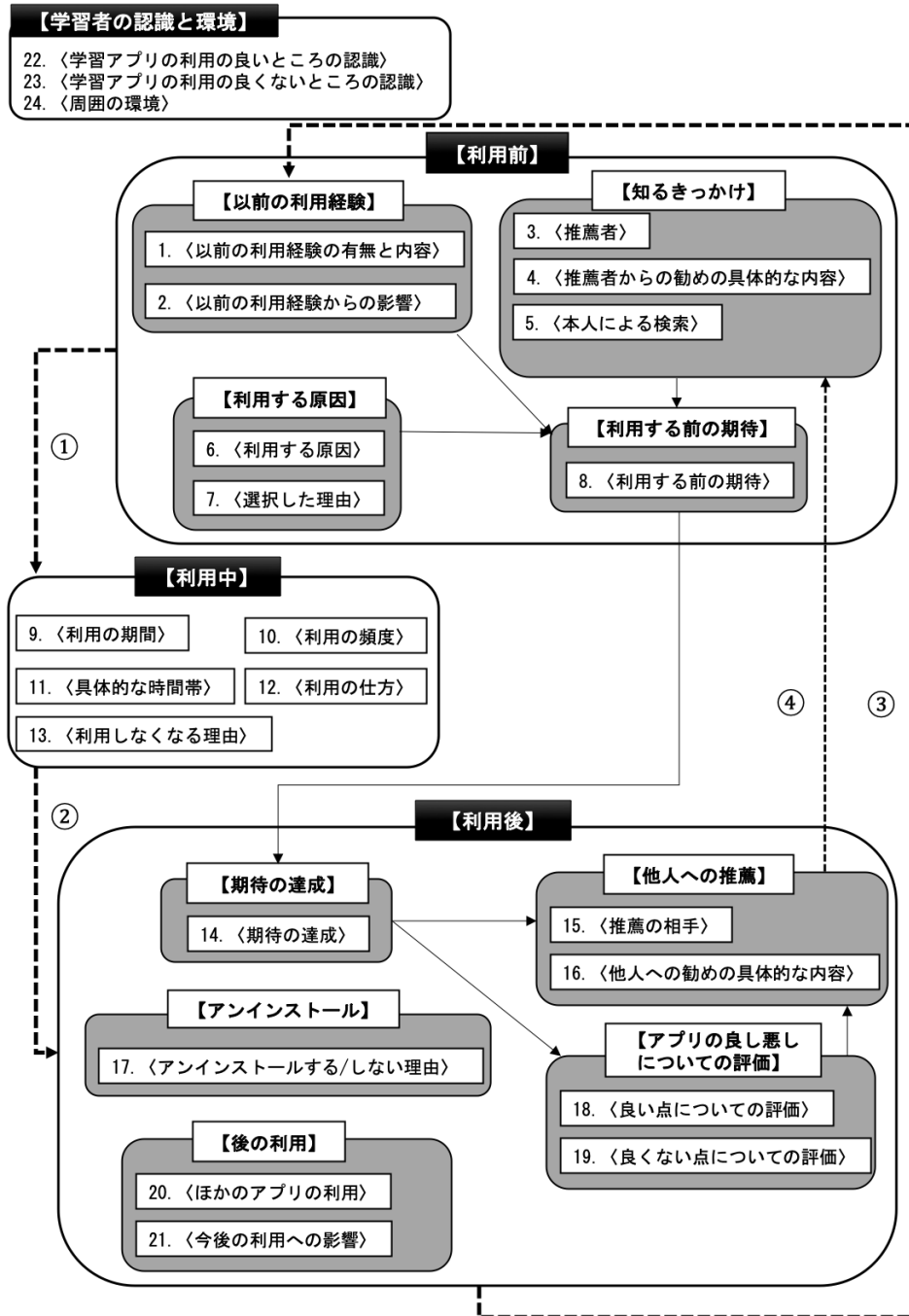


図 37 結果図

学習者が学習アプリを利用する過程で、【利用前】、【利用中】と【利用後】の3段階があり、その背景として【学習者の認識と環境】がある。学習アプリを利用するプロセスは、まず【利用前】から【利用中】に変化し（①の矢印、ステップ①）、その後【利用後】に変化する（②の矢印、ステップ②）。さらに、学習アプリの利用が終わった後、いままでの経験は学習者の次の利用に影響し、自分の次の学習アプリの利用の【利用前】のベースになることもあれば（③の矢印、ステップ③）、学習者が推薦者となり、その勧めはほかの学習者が学習アプリを利用し始めるきっかけになることもある（④の矢印、ステップ④）。また、学習アプリを利用する背景として、学習者の〈学習アプリの利用の良いところの認識〉と〈学習アプリの利用の良くないところの認識〉の内的な考え方と、周りの人も学習アプリを利用している〈周囲の環境〉という外的な環境がある。以下、各段階の詳細について説明する。

まず、【利用前】の段階で、以前にほかの学習アプリについての【以前の利用経験】、これから利用する学習アプリを【知るきっかけ】、それを【利用する原因】とそれに対する【利用する前の期待】がある。【以前の利用経験】、【知るきっかけ】と【利用する原因】は学習者がこれから利用する学習アプリに対する「能力向上に関する期待」、「利便性に関する期待」、「あまり期待しない」などの【利用する前の期待】を形成する。

次に、学習者は【利用前】の段階で形成された【利用する前の期待】を持ちながら、学習アプリを実際に利用する【利用中】の段階に移る。【利用中】の段階で、学習者は一定の〈利用の期間〉、〈利用の頻度〉、〈具体的な時間帯〉で、自分が好む〈利用の仕方〉で学習する。しかし、学習アプリは、初期は高頻度で利用されるが、その頻度は次第に減少し、最終的に利用されなくなる傾向がある。〈利用する期間〉に学習者自身の日本語レベルがアプリのコンテンツのレベルより先に上達し、次のステップの学習に進まなければならないという〈利用しなくなる理由〉は〈利用の頻度〉の減少の一因である。

学習者が学習アプリを利用し終わってから、【利用後】の段階に入る。この段階では、学習アプリの処置に関する【アンインストール】の行為がある。学習者の中で、アンインストールする人もいれば、復習したいまたはスマートフォンにまだストレージの余裕があるため、アンインストールしない人もいる。また、利用前に、学習アプリに寄せる期待も、この段階の【期待の達成】の項目で確かめられる。【期待の達成】は、学習者がこれから【他人への推薦】の際の経験談の内容になるだけでなく、【アプリの良し悪しについての評価】の一部にもなる。さらに、【利用後】の段階では、次の学習アプリの利用につながる【後の利用】という項目もある。学習者は学習アプリを利用し終わってから、次の学習アプリの利用に移

行し、〈ほかのアプリの利用〉を始める。その上に、いままで利用した経験は今後の利用の【以前の利用経験】になる。

さらに、以上のように学習アプリの利用の一連のプロセスが終わってから、学習者は経験者となり、【他人への推薦】の推薦者になる。いままで自分が利用した経験に基づいて、自分の周りの人に自分が利用した学習アプリを勧める。この勧めは他人が学習アプリを利用し始める契機にもなる。

8.5 まとめ

調査③は調査①で「五十音図」を利用したと回答した学習者を対象に、半構造化インタビュー調査を通して、学習者が学習アプリを利用するプロセスについての調査である。最終的に、12人の学習者の協力を得て、インタビューを実施した。そのインタビューの録音データを文字化し、M-GTA という質的研究法でデータを分析した。その結果、データから概念を24個抽出した。また、これらの概念から【利用前】、【利用中】、【利用後】と【学習者の認識と環境】の四つのコアのカテゴリーを抽出し、8.4.1節、8.4.2節、8.4.3節と8.4.4節でそれぞれのカテゴリー内のサブカテゴリーと概念について、具体例とともに分析した。さらに、8.4.5節で、各カテゴリーの関連に基づいて、学習者が学習アプリを利用するストーリーラインを作成した。

分析の結果に基づいて、本研究では、学習アプリの利用プロセスについて、【利用前】、【利用中】、【利用後】の3段階と、以下の4ステップがあると仮定した。学習アプリの利用は【利用前】から【利用中】に変化し（ステップ①）、その後【利用後】に変化する（ステップ②）。さらに、学習アプリの利用が終わった後、いままでの経験は学習者の次の利用に影響し、学習者自身の次の利用の【以前の利用経験】のベースになる（ステップ③）。また、学習者が推薦者となり、その勧めはほかの学習者が学習アプリを利用し始めるきっかけになることもある（ステップ④）。

まず、【利用前】は【以前の利用経験】、【知るきっかけ】、【利用する原因】と【利用する前の期待】の四つのサブカテゴリーがある。「五十音図」を利用する前に、すでに英語や日本語などの学習アプリを利用した経験がある学習者がいる一方で、全く学習アプリで学習した経験がない学習者もいる。前者の場合、ある程度学習アプリで学習することに慣れていているが、後者の場合、大学に合格してから初めてスマートフォンを持つようになった学習者もいるため、学習アプリで学習することに慣れていない、またはスマートフォンの操作すら慣れていないことが予想される。

次に、今回の調査で、学習者が「五十音図」を知るきっかけとして、大きく分けて、推薦者による推薦と本人による検索の二つがあることが明らかになった。推薦者は先輩、クラスメート、ネット上の新生コミュニティのメンバー、ルームメートである。つまり、学習者が学習アプリを利用する際、周囲の人からの影響がある。この結果は、調査②で社会的影響が学習者の m-learning の行動意思に影響を及ぼすという結果の裏付けとも言える。しかし、先生が「五十音図」の推薦者として挙げられたなかった。その原因について、現場の先

生は「五十音図」を知らないまたは知っていても教育活動に取り入れていないことと、先生は大学に入学する前の時期に関与していないことを示唆した。つまり、教室外における学習アプリによる学習について、入学する前など教師が全く関与しない時期がある。

学習アプリを利用するにあたり、それを〈利用する原因〉と〈選択した理由〉に関する事項は【利用する原因】というカテゴリーにまとめた。具体例から、学習者が「五十音図」を利用する原因として、「日本語は入門レベル」、「状況の変化」、「五十音の難しさ」、「授業での学習不足」が挙げられた。また、学習者は「アプリの外観、サイズ、ダウンロード数、好評率」、「検索結果における表示の順番」、「無料」、「自分との相性」、「ほかのアプリとの比較」を通して、様々な学習アプリから最終的に「五十音図」を選んだ。また、「五十音図」のアプリを利用する前に、そのアプリに対して、能力の向上や学習の効率の向上、学習の時間の短縮に役立つことに高い期待を寄せる学習者が多い。しかし、あまり期待をしない学習者もいる。つまり、学習アプリを利用する前に、学習者の利用の意欲の差が存在すると言える。

次に、【利用中】というカテゴリーは、学習アプリの〈利用の期間〉、〈利用の頻度〉、〈具体的な時間帯〉、〈利用の仕方〉、〈利用しなくなる理由〉の五つの概念から構成され、学習者が「五十音図」を利用している間の事項について内容である。具体例から、授業で新たな学びに備えて、先立って学習アプリで学び始める学習者もいれば、授業で新たな学びが始まるとともに、教室外で学習アプリを利用し始める学習者もいることが分かった。学習者が教室外で学習アプリを利用し始める時期は必ずしも、日本語の授業で同じ内容が扱われる時期と一致するとは限らない。大学に入学する前の夏休みの間に学習アプリを利用して五十音を学習し始めた学習者がいる。このような時期は日本語を含む外国語教育の視点の死角である⁶¹。

利用の頻度について、学習者は始終一貫して同じ頻度で利用しているのではなく、変化することがある。特に、学習アプリの内容を一通り学習してから、利用の頻度は減少する。また、インタビュー調査を通して、学習者は「食事しているとき」、「授業後」、「バスに乗っているとき」、「列に並んでいるとき」、「夜消灯する前」、「授業の前」、「夜寝る前」、「お昼休み」などの時間帯で学習アプリを利用したことがある。このような時間帯では、学習者の集中力が低く、気が散りやすいことが予想される。利用の仕方について、学習者の中で三つのパターンがある。伝統的な学習方法と合わせて利用するパターン、ほかのアプリなどと同時に利

⁶¹ 第9章で論じる。

用するパターンと該当アプリだけを利用するパターンという三つのパターンである。その中で、最後のパターンは筆者の予想外で、これからの学習者は教室外で、伝統的な学習方法からアプリを中心とした学習方法へ変化する可能性があると考えられる。最後に、利用しなくなる理由について、学習者のインタビューから「新しい段階の学習に入ったから」という共通した回答があった。授業で扱う内容が次に進むにつれて、教室外で利用している学習アプリの内容はそれに合わなくなるため、学習者はいままで利用したアプリを放棄した。

【利用前】、【利用中】を経て、次に学習者は【利用後】の段階に入る。【利用後】では、【期待の達成】、【アプリの良し悪しについての評価】、【アンインストール】、【他人への推薦】、【後の利用】の五つのサブカテゴリーがある。【期待の達成】について、能力の向上に関する期待は達成できた学習者もいれば、達成できなかった学習者もいる。この差が出る原因は、学習アプリの利用法による。コンテンツを全部学習していない、内容を深く記憶していない、あまり練習しない学習者は能力の向上という期待は達成しにくい。それに対して、学習の効率の向上、学習の時間の短縮など利便性に関する期待は達成しやすい。【期待の達成】は、【アプリの良し悪しについての評価】の一部になり、【他人へ推薦】する際の経験談の一部になる。

学習者は学習アプリの「学習レベル」、「コンテンツ」、「使いやすさ」、「制作」の四つの面からアプリの良し悪しについての評価をする。また、学習アプリを利用した学習者は、推薦者となり、ほかの学習者に勧める。その勧めはほかの学習者がその学習アプリを知るきっかけになる。

学習アプリの最終的な処置はスマートフォンからアンインストールされることである。学習者は①アプリ内の内容を学習したため、その価値を感じない、②ほかのアプリの利用への移行、③いままでの利用したアプリの利用の頻度の減少、④アプリの機能の単一性などの理由で、学習アプリをアンインストールした。その一方で、復習のためやスマートフォンのストレージは余裕があるためなどの理由でアプリをアンインストールせず、スマートフォンに残す学習者もいる。

利用前から利用中、さらに利用後に変化する一連の学習アプリの利用が終わってから、そのプロセスで得た経験は学習者がほかのアプリの利用への移行と今後ほかのアプリの利用に影響を及ぼす。つまり、現在の学習アプリを利用した経験が次の学習アプリを利用する際の【以前の利用経験】となり、次の学習アプリを利用し始める一因となる。

また、この一連のプロセスの背景には、【学習者の認識と環境】がある。教室外で学習ア

アプリによる学習に対しての良い認識はその利用を促進し、それに対する良くない認識はその利用を阻害する。また、このような内的な認識だけではなく、学習者が置かれた周囲の環境も利用のプロセスに影響を及ぼす。具体例では、学習者の周囲の人もアプリを利用して学習し、学習者の間でその利用の経験がシェアされることが分かった。このような環境にいる学習者は積極的に学習アプリの利用に踏み出すだろう。

第9章 結論

9.1 結論

学習観が行動主義から認知主義さらに構成主義に変化するにつれて、学習者の主体性が強調されるようになった。これまでの日本語教育を含む言語教育に関する研究では、どのように教えるかということに関心が集まり、学習者がどのように学んでいるかについてあまり探求されなかった。特に、教室外というインフォーマルな環境における学習者の学習の実態について不明な点が多い。また、最近情報通信技術を代表とするテクノロジーが日進月歩に進化し、学校や教室などフォーマルな学習環境は学習者が知識を得る唯一な環境ではなくなり、学習者が情報通信技術を駆使し、フォーマルな学習環境より多様多様な学習リソースを入手し、学ぶことができる。しかし、教室外というインフォーマルな学習環境で、学習者はどのように情報通信技術を利用しているか、どのような要因がその利用に影響するか、どのようなプロセスでそれを利用するだろうか。本研究は、現在、若者の間で急速に普及するスマートフォンによる学習 **m-learning** に注目し、学習科学の視点に基づき、性質が異なる三つの調査を通して中国人日本語学習者の教室外における **m-learning** の学びの実態を探求した。以下、本研究で得られた結果と知見について述べる。

教室外で情報通信技術を利用して自主的に日本語学習に取り組む学習者が多いという結果は先行研究で多く報告されていた。本研究の調査①でも、教室外でスマートフォンを用いて、**m-learning** を行なっている学習者が圧倒的に多いことが確認できた。しかしながら、**m-learning** を経験したことがない学習者も少数ではあるが存在する。**m-learning** の経験がなかった学習者はまだ **m-learning** に慣れておらず、その操作などに戸惑う可能性がある。そのため、日本語教師が授業で **m-learning** を導入する際にこのような学習者に対して適切なサポートをする必要がある。

また、調査①では、学習者が教室外で最も多く行う **m-learning** の行動は「日本語の単語を調べた」ことで、利用目的の中で最も多いのは「知らない日本語を調べるため」という結果を得た。現在、日本語学習者は、主にスマートフォンを電子辞書の代わりとして利用して、**m-learning** を行なっていると推測できる。これは、日本語学習者の多くが「端末の持ち運びが便利」や「暇な時間を利用して学習できる」などスマートフォンの持ち運びの利便性による **m-learning** の特徴を認識していることから起因すると考えられる。また、調査①では、日本語学習者の中で、日本語の学習アプリをダウンロードした経験がある学習者も多いとい

う実態が明らかになった。この結果は調査③の背景となった。

しかしながら、教室外における m-learning に対して、「学習リソースの取捨選択ができない」「学習効果に対して懐疑的である」「先生の推薦と指導がない」のように困難を感じている学習者が多い。これらの問題点について、調査②の結果から解決策のヒントが得られた。本研究の調査②では技術受容に関する理論を参考にして、統計的な手法を用いて、日本語学習者の教室外の m-learning の行動意思に影響する要素を考察した。その結果、効果期待、娯楽性認知、社会的影響、努力期待と自己効力感は教室外の m-learning に影響する要因であることがわかった。これらの要因を操作することによって、上記の問題点が改善されると考えられる。これらの要因を操作するにあたっては、日本語の授業における日本語教師の役割が大きい。授業で、日本語教師が教室内で m-learning の活動を取り入れ、学習者にその学習効果、楽しさなどを実感させて、教室外で利用できる m-learning のリソースを学習者に勧めれば、学習者は教室外で m-learning を行う可能性が高くなると考えられる。

以上のように、本研究の調査①と調査②では量的な研究を通して、日本語学習者の教室外における m-learning の全体の状況を把握した。この二つの調査の結果をベースとして、調査③では、インタビューを実施し、教室外の日本語の学習アプリによる m-learning のプロセスを質的研究法を用いて分析した。分析の結果に基づいて、本研究では、学習アプリの利用プロセスについて、【利用前】、【利用中】、【利用後】の3段階と、以下の4ステップがあると仮定した。学習アプリの利用は【利用前】から【利用中】に変化し（ステップ①）、その後【利用後】に変化する（ステップ②）。さらに、学習アプリの利用が終わった後、いままでの経験が学習者の次の利用に影響し、次の学習アプリの利用の【以前の利用経験】のベースになることもあれば（ステップ③）、学習者が推薦者となり、その勧めはほかの学習者が学習アプリを利用し始めるきっかけになることもある（ステップ④）。この一連のプロセスの背景には、【学習者の認識と環境】がある。

調査③では、正式な日本語の授業に先立って、学習アプリをダウンロードして学習した学習者がいることが判明した。いままでの日本語教育において研究された主な対象は学習者が教育を受けている間であるため、その教育が始まる前という時期は死角として日本語教育の視野から外され、ほとんど検討されてこなかった。これは、「教育」に教師が関与しなければならぬという制限があるためである。日本語学習者が授業で日本語教育を受けている期間には、日本語教師が直接に関与しているが、それ以前に、日本語教師が関与していない。しかしながら、教室外というインフォーマルな学習環境では、学習者は教師が関与する

しないにもかかわらず、m-learning をしている。正式な日本語の授業が始まる前に日本語教師は直接に関与できないが、間接的に関与できる。調査③では、学習者が日本語の学習アプリを知るきっかけの一つとして、先輩、ネット上の新入生のコミュニティのメンバーからの勧めがあることがわかった。つまり、日本語教師は先輩、ネット上の日本語学習者のコミュニティを通して、正式な日本語の授業を受ける前の学習者に間接的に関与できる。また、調査②で示唆したように、教室外の m-learning の行動意思を向上するためには、日本語の授業における日本語教師の働きかけが重要である。そのため、正式な日本語の授業の期間中における日本語教師の働きかけがもちろん重要であるが、その授業が開始する前に、先輩、ネット上の日本語学習者のコミュニティを通して間接的に日本語学習者に働きかけることも重要であろう。

9.2 今後の課題

本研究は、現状、受容と利用プロセスの三つの面から、教室外で日本語学習者がどのように m-learning をしているかを考察した。しかし、教室外という複雑な学習環境における m-learning の学びの実態は決して三つの調査で全て追究できたとは言えない。今後、教室外の m-learning は、学習者にどのような学習効果をもたらし、学習者の日本語の学習にどのような影響を与えたかを解明することが必要である。また、日本語学習者は教師室外だけではなく、スマートフォンを教室内に持ち込み、教室内でスマートフォンを利用する行動が多くなると予想される。そのため、どのように教室外の m-learning を教室内の内容と連動させるかを検討する必要もある。

参考文献

日本語の文献

- 青木直子・田中賀之 (2011)『学習者オートノミー日本語教育と外国語教育の未来のために』
ひつじ書房
- 赤尾勝己 (2015)「生涯学習社会におけるノンフォーマル・インフォーマル学習の評価をめぐる問題—ユネスコと OECD の動向を中心に—」『教育科学セミナー』46,関西大学教育学会,1-16
- 秋田喜代美 (2007)「教育・学習における質的研究」『はじめての質的研究法教育・学習篇』
能智正博・秋田喜代美 (監修) ,東京図書,3-20
- 池辺さやか・三國牧子 (2014)「自己効力感研究の現在と今後の可能性」『九州産業大学国際文化学部紀要』57,九州産業大学国際文化学会,159-174
- 市川伸一 (2013)「学習理論」『認知心理学ハンドブック』日本認知心理学会 (編) 有斐閣ブックス,354-355
- 伊藤秀明・石井容子・武田素子・山下悠貴乃 (2016)「日本語学習者のネット利用状況と学習サイトへの期待-海外 11 拠点の調査結果から-」『国際交流基金日本語教育紀要』12,97-104
- 宇田川洋子・梁安玉・李澤森・侯清儀・李夢娟 (2015)「香港の日本語学習者における言語学習ビリーフ-2014 年香港日本語学習者背景調査報告-」『日本學刊』18, 香港日本語教育研究会,121-133
- 浦上昌則・脇田貴文 (2008)『心理学・社会科学研究のための調査系論文の読み方』東京図書
- 遠藤由美 (2005)「自己のパーソナリティ認知」『新・心理学の基礎知識』中島義明・繁樹算男・箱田裕司 (編) ,有斐閣ブックス,291-292
- OECD (2011)『学習成果の認証と評価—働くための知識・スキル・能力の可視化』山形大学教育企画室 (監訳)・松田岳士 (訳) ,明石書店
- 桜美林大学日本語プログラム「グループさくら」(2007)『自律を目指すことばの学習さくら先生のチュートリアル』凡人社
- 欧麗賢 (2016)「日本語学習者がインターネット上のリソースを教室外の学習に利用し始めるメカニズム：修正版グランデッド・セロリー・アプローチ (M-GTA) による理論構築」『阪大日本語研究』28,大阪大学大学院文学研究科日本語学講座,77-108

- 海保博之・柏崎秀子 (2002) 『日本語教育のための心理学』 新曜社
- 葛茜 (2012) 「日本語学習のためのインターネットの利用と問題点について—中国の大学日本語専攻生を対象に」 『日本學刊』 15, 香港日本語教育研究会, 121-133
- 河村正行 (2018) 「デジタル機器」 『現代用語の基礎知識 2018』 自由国民社 (編), 自由国民社, 121-133
- 木下康仁 (2003) 『グラウンデッド・セオリー・アプローチの実践-質的研究への誘い』 弘文堂
- 木下康仁 (2005) 『分野別実践編グラウンデッド・セオリー・アプローチ』 弘文堂
- 木下康仁 (2007) 『ライブ講義 M-GTA 実践的質的研究法 修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチのすべて』 弘文堂
- 木下康仁 (2016) 「修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ (M-GTA) の分析技法」 『医療看護研究』 13 (1), 順天堂大学医療看護学部, 1-11
- 君山由良 (2004) 『統計解説書シリーズ A-55 重回帰分析の利用法』 データ分析研究所
- 許晴 (2015) 「日本語の学習を諦めた学習者の動機減退要因のプロセス—中国における日本語を専攻とする学習者の一事例—」 『日本語教育方法研究会誌』 22 (1), 日本語教育方法研究会, 30-31
- 久我瞳・立部文崇 (2016) 「日本語教育機関への ICT 導入に関する考察」 『徳山大学論叢』 83, 徳山大学経済学会, 19-34
- 久保田賢一 (1995) 「教授・学習観の哲学的前提 パラダイム論の視点から」 『日本教育工学雑誌』 18 (3-4), 日本教育工学会, 219-231
- クレスウェル, J.W. & プラノ クラーク, V.L. (2010) 『人間科学のための混合研究法: 質的・量的アプローチをつなぐ研究デザイン』 大谷順子 (監訳), 北大路書房
- 国際交流基金 (2016) 『海外日本語教育の現状 2015 年度日本語教育機関調査より』 独立行政法人国際交流基金
- 近藤安月子・小森和子 (2012) 『研究社日本語教育事典』 研究社
- 戈木クレイグヒル滋子 (2005) 『グラウンデッド・セオリー・アプローチ—理論を生みだすまで』 新曜社
- 坂本正・小柳かおる・長友和彦・畑佐由紀子・村上京子・森山新 (2008) 『多様化する言語習得環境とこれからの日本語教育』 スリーエーネットワーク
- 佐々木倫子 (2005) 「文法訳読法」 『新版日本語教育事典』 日本語教育学会 (編), 大修館書店, 727-728

- 下島朗 (2018) 「スマホ・パソコン」『現代用語の基礎知識 2018』自由国民社 (編), 自由国民社,584-591
- 秦松梅 (2012) 「中国人学習者は事前課題と日本語母語話者の参加を取り入れたグループワークによる内容重視の会話授業をどう受け止めたか-中国の大学における日本語専攻クラスの場合」『言語文化と日本語教育』44,お茶の水女子大学日本語言語文化研究会,21-30
- 瀬尾美紀子(2013)「自己調整学習」『認知心理学ハンドブック』日本認知心理学会 (編), 有斐閣ブックス,364-365
- ソーヤー,R.K. (2016) 『学習科学ハンドブック第二版第 2 巻:効果的な学びを促進する実践/共に学ぶ』大島純 (監訳)・森敏昭 (監訳)・秋田喜代美 (監訳)・白水始 (監訳)・望月俊男 (編訳)・益川弘如 (編訳), 北大路書房
- 竹内理・水本篤 (2014) 『外国語教育研究ハンドブック改訂版』松柏社
- 田中望・斎藤里美 (1993) 『日本語教育の理論と実践—学習支援システムの開発』大修館書店
- 田中祐輔 (2015) 『現代中国の日本語教育史』国書刊行会
- 谷井宏尚・諏訪博彦・太田敏澄 (2007) 「m ラーニングにおける自立型学習モデルに関する研究」『日本社会情報学会全国大会研究発表論文集』22 (0), 日本社会情報学会, 90-93
- デ・コルテ,E. (2013) 「第 2 章 学習についての理解の歴史的発展」佐藤智子 (訳)『学習の本質』OECD 教育研究革新センター,明石書店
- デジタルコンテンツ協議会 (2008) 『e ラーニング-実践と展望』米田出版
- トムソン木下千尋 (1997) 「海外の日本語教育におけるリソースの活用」『世界の日本語教育. 日本語教育論集』7,国際交流基金,17-29
- 中村雅章 (2001) 「情報システム利用の人間行動モデル-TAM (技術受容モデル) に関する研究-」『中京経営研究』10 (2), 中京大学経営学会,51-77
- ネウストプニー,J.V.・宮崎里司 (1999) 『日本語教育と日本語学習—学習ストラテジー論にむけて』くろしお出版
- 根元愛子 (2011) 「カタールにおける日本語学習動機に関する一考察: LTI 日本語講座終了者へのインタビュー調査から」『一橋大学国際教育センター紀要』2,一橋大学,85-96
- 原聡介 (2017) 「教育」『教育思想事典増補改訂版』教育思想史学会 (編), 勁草書房,138-141
- バウアー,G.H. & ヒルガード,E.R. (1988) 『学習の理論 (上)』梅本堯夫 (訳), 培風館

- バンデュラ,A. (1977) 『Social learning theory』 Prentice-Hall, 原野広太郎 (監訳) (1979) 『社会的学習理論』 金子書房
- 平田祐 (2018) 「M-GTA を使った質的分析による日本語学習者のペアワーク観」『立命館経営学』 56 (5) ,立命館大学経営学会,95-113
- 松村太郎 (2010) 『スマートフォン新時代』 NTT 出版
- 三國喜保子・谷口美穂・岩下智彦・川崎タルつぶら・張世襲・岩本尚希 (2011) 「日本語学習者の教室外におけるメディア使用の実態:6 カ国におけるアンケート調査から」,『桜美林言語教育論叢』 7,桜美林大学言語教育研究所,147-162
- 宮寺晃夫 (2017) 「学習」『教育思想事典増補改訂版』 教育思想史学会 (編), 勁草書房,78-81
- メイヤー,R.E. (2013) 「テクノロジーを活用した学習」 福本徹 (訳) 『学習の本質』 OECD 教育研究革新センター (編著), 立田慶祐・平沢安政 (監訳) ,明石書店
- 森田尚人 (2017) 「教育心理学」『教育思想事典増補改訂版』 教育思想史学会 (編) ,勁草書房,166-169
- 森田正康 (2002) 『e ラーニングの<常識>』 朝日新聞社
- 山内祐平 (2013) 「教育工学とインフォーマル学習」『日本教育工学会論文誌』 37 (3) ,日本教育工学会,187-195
- 吉川成司・鈎治雄・関田一彦 (2010) 『はじめて学ぶ教育心理学』 ミネルヴァ書房
- 劉娜 (2011) 「中国の大学における持続可能性日本語作文教育の可能性-学習者の意識から言語実践を見る」『言語文化と日本語教育』 42,お茶の水女子大学日本語言語文化学会研究会,41-50
- 梁燕碧(2009) 「日本語学習におけるインターネット利用の現状調査—広州の日本語専攻大學生を対象として」『グローバル化社会の日本語教育と日本文化—日本語教育スタンダードと多文化共生リテラシー』 萬美保・村上史展 (編) ,ひつじ書房,137-152

中国語の文献

- 陈丽 (2007) 『数字化校园与 E-Learning 信息时代大学的必然选择』 北京师范大学出版社
- CNNIC (2016) 『2015 年中国青少年上网行为研究报告』 中国互联网络信息中心
- CNNIC (2018) 『中国互联网络发展状况统计报告』 中国互联网络信息中心
- 教育部 (2018) 「教育信息化 2.0 行动计划」 教育部
- 教育部高等学校外语专业教学指导委员会日语组编 (2001) 『高等院校日语专业基础阶段教

学大纲』大连理工大学出版社

- 闵庆飞·刘振华·季绍波(2008)「信息技术采纳研究的元分析:2000—2006」『信息系统学报』2,清华大学出版社,22-32
- 刘根萍·吴凤秀(2011)「温州在校大学生接受移动学习的影响因素分析—基于扩展技术接受模型的实证研究」『现代教育技术』21(6),109-144
- 王誉晓·裘静仪·郭晨航·张晓东(2016)「日语专业学生移动学习日语的现状与对策研究——基于杭州三高校的问卷调查」『现代交际:学术版』9,183-184
- 谢爱珍(2012)「基于 UTAUT 大学生手机移动学习使用意愿影响因素研究」浙江师范大学教育技术学专业硕士学位论文(未公刊)
- 许玲·郑勤华(2013)「大学生接受移动学习的影响因素实证分析」『现代远程教育研究』4,61-66

英語の文献

- Ally, M. & Prieto-Blázquez, J. (2014) What is the future of mobile learning in education. *International Journal of Educational Technology in Higher Education*, 11 (1) .142–151.
- Banks, J., Au, K., Ball, , A., Bell, P., Gordon, E., Gutierrez, K., et al. (2007) *Learning in and out of school in diverse environments: Life-long, life-wide, life-deep*. THE LIFE Center, University of Washington, Stanford University, and SRI International, Washington, Seattle.
- Benson, P. & Nunan, D. (2005) *Learners' stories: Difference and diversity in language learning*. Cambridge University Press.
- Chiu, M.C. & Wang, E.T.G.(2008) Understanding Web-based learning continuance intention: The role of subjective task value. *Information & Management*, 45(3).194-201.
- Davis, F.D. , Bagozzi, R.P. , Warshaw, P.R. (1989) User Acceptance of Computer Technology: A Comparison of Two Theoretical Models. *Management Science*,35(8).982-1003.
- Fishbein, M. & Ajzen, I. (1975) *Belief, attitude, intention and behaviour: An introduction to theory and research*, Addison-Wesley.
- Gradner, H.(1985)*The Mind's New Science:A History of The Cognitive Revolution*, New York:Basic Books.
- Kay, A.C.(1972) A Personal Computer for Children of All Ages, *ACM '72 Proceedings of the ACM annual conference*, 1(1).1-11.

- Keegan, D. (2002) The future of learning: From eLearning to mLearning, *ZIFF papiere*,119.
- Nana Long & Jing Hung. (2015) Out-of-Class Pronunciation Learning: Are EFL Learning Ready in China?. *Language Learning Beyond the Classroom*. New York: Routledge.
- National Research Council. (2000) *How People Learn: Brain, Mind, Experience, and School: Expanded Edition*, NATIONAL ACADEMY PRESS Washington, D.C.
- Nunan, D. & Richards, J.C. (2015) *Language Learning Beyond the Classroom*, New York: Routledge.
- Pin, L. & Hsin-Hui, L. (2005) Toward an understanding of the behavioral intention to use mobile banking. *Conmuters in Human Behavior*, 21(6).873-891.
- Venkatesh, V. & Davis, F.D. (2000) A Theoretical Extension of the Technology Acceptance Model: Four Longitudinal Field Studies. *Management Science*, 46 (2) .186-204.
- Venkatesh, V., Morris, M.G. , Davis, G.B. , Davis, F.D. (2003) User Acceptance of Information Technology: Toward a Unified View. *MIS Quarterly*, 27 (3) .425-478.

謝辞

本研究を進めるに当たり、指導教員の岩根久先生、難波康治先生から多大な助言を承りました。厚く感謝を申し上げます。本研究の調査にご協力してくださった大学の先生の方々と、アンケート調査とインタビュー調査に参加してくれた学生たちにも感謝の意を表します。また、本研究の調査②は e-Learning 教育学会平成 29 年度の研究奨励金の助成を受けたものです。e-Learning 教育学会の学会発表でアドバイスしてくださった先生の方々にお礼を申し上げます。最後に、博士課程の間、温かく見守ってくださった両親、金沢で出あった方々、大阪ロータリークラブの皆さんにも深謝します。

付録1 アンケート (中国語)

关于日语学习者课外使用智能手机学习的调查

您好:

本人为大阪大学言语文化研究科博士 2 年级学生, 正在做有关日语学习者课外使用智能手机学习的研究, 需要进行问卷调查。

本问卷调查旨在调查日语学习者课外使用智能手机学习日语的相关经历以及看法。本次调查所得数据仅用于研究。

回答问卷前请仔细阅读以下注意事项。

问卷填写注意事项

1. 本问卷由问卷 1 和问卷 2 两个部分组成, 共有 7 页, 回答需要 10 分钟左右的时间。
2. 问卷采用匿名方式, 答案没有对错之分, 希望您能根据自己的实际情况填写。
3. 请选择最符合自己实际情况的选项, 在该选项上打√。
4. 如发现错选, 请划掉原来的选择, 重新回答。
5. 如无特殊注明 (*此题可多选), 都为单选题。
6. 填写完后请将问卷直接交给调查人员。
7. 如有任何问题或建议请与以下联系。

E-mail: 410677657@qq.com

QQ: 410677657

感谢您的合作。

整理号_____

2017 年 10 月

问卷①

1. 您如今正在使用智能手机吗

A.是 B.不是

(*如果选 A 请继续回答问题 2 至问题 4, 如果选 B 请直接转至问题 5)

2. 您的手机的操纵系统是

A.安卓 B.苹果 C.其他 () D.不清楚

3. 您的智能手机主要使用的移动网络是

A.2G B.GPRS C.3G D.4G
E.没有 wifi 的情况下无法上网 F.不清楚

4. 您是否通过智能手机学习过日语(如查单词, 下载 APP, 预览日文网页, 听日语新闻等)

A.是 B.否

(*如果选 A 请继续回答问题 4.1 至问题 4.5, 如果选 B 请直接转至问题 5)

4.1 您曾用过智能手机做过以下行为(*此题可多选)

- A.预览日语网页
- B.查询日语生词
- C.看老师发的课件资料等
- D.下载日语学习软件_____ (请填写软件名)
- E.关注微博或者微信上和日语学习有关的公众号
- F.看日语的电子书
- G.看有关日语的公开课
- H.看日语电视剧或者动漫
- I.听日语新闻, 广播剧等语音资料
- J.玩日语游戏
- K.和日本人聊天
- L.其他_____ (请写出具体内容)

4.2 您课外通过智能手机进行日语学习的最主要的目的是(*此题可多选)

- A.查询生词 B.记忆词汇 C.训练听力 D.练习口语
- E.了解日本文化 F.打发时间 G.其他_____ (请写出具体内容)

4.3 您课外使用智能手机进行日语学习的时间一般是(*此题可多选)

- A.预习或复习时 B.去教室或回寝室等在行走时 C.等车, 坐车时
- D.课间休息时 E.睡觉前 F.其他_____ (请写出具体时间)

- 4.4 您平均每天花多少时间通过智能手机学习日语
- A.5 分钟以内 B.5 分钟到 15 分钟 C.15 分钟到 20 分钟
D.20 分钟以上_____ (请写出具体所花时间)
- 4.5 使用智能手机进行日语学习时, 您的注意力
- A.非常集中 B.不一定 C.容易分散 D.不知道
5. 曾有同学或朋友推荐您使用智能手机学习日语
- A.有 B.没有
6. 曾有老师推荐您使用智能手机学习日语
- A.有 B.没有
7. 您认为使用智能手机学习日语更适合
- A.课堂上使用 B.课外使用 C.两者都可以 D.不清楚
8. 与其他课外学习日语的方式相比, 您认为使用智能手机学习日语的特点是(*此题可多选)
- A.学习更自主, 选择性强
B.学习设备方便携带
C.可以利用各种空闲时间进行学习
D.学习资源更丰富
E.学习方式多样化
F.其他_____ (请写下您认为的特点)
9. 您认为课外通过智能手机学习的日语资源的数量
- A.比较多, 难以选择
B.刚好
C.比较少, 希望有更多的资源
D.不清楚
10. 您认为课外通过智能手机学习的日语资源的质量
- A.质量比较高
B.质量一般
C.质量比较低
D.不清楚

11. 课外通过智能手机学习日语, 您偏向于以下哪一种学习资源的呈现形式
- A. 纯文字 B. 图片 C. 音频 D. 视频
- E. 游戏 F. 文字与图片结合 G. 文字与音频或视频结合

12. 课外通过智能手机学习, 您最想提高(*此题可多选)
- A. 口语能力 B. 写作能力 C. 单词量 D. 听力
- E. 阅读能力 F. 对日本社会文化的理解
- G. 其他_____ (请写下您具体想提高的能力)

13. 课外通过智能手机学习某一知识内容所花时间, 您觉得多长合适
- A. 5 分钟以内 B. 5-10 分钟
- C. 10-15 分钟 D. 15 分钟以上_____ (请写下您认为需要的时间)

14. 您认为通过智能手机在课外学习日语时是否需要老师的推荐和指导
- A. 需要 B. 不需要 C. 不清楚

(*如果选请 A 回答问题 14.1, 如果选 B 请回答问题 14.2, 如果选 C 请转至问题 15)

- 14.1 您认为需要老师的推荐和指导的理由是
- A. 有老师的推荐和指导, 更有学习动力
- B. 有老师的推荐和指导, 可以更好地选择学习资源
- C. 有老师的推荐和指导, 学习效果更好
- D. 有老师的推荐和指导, 更容易坚持学习
- E. 其他_____ (请写下具体理由)

- 14.2 您认为不需要老师的推荐和指导的理由是
- A. 比起老师推荐和指导, 我更喜欢自己选择学习资源进行学习
- B. 即使没有老师的推荐和指导, 我也可以找到合适的学习资源自主学习
- C. 我不希望老师干涉我的课外学习
- D. 其他_____ (请写下具体理由)

15. 如果在课外用智能手机学习日语与课堂内容同步, 您希望智能手机实现以下何种功能
- A. 教材内容预习与复习功能
- B. 与课堂内容相关的练习功能 (比如单词, 文法练习等)
- C. 课外知识拓展功能
- D. 学习进度记录功能
- G. 其他_____ (请写下您希望实现的功能)

16. 您是否支持课外利用智能手机进行日语学习

- A.支持 B.不支持 C.中立

(*如果 A 请回答问题 16.1, 如果选 B 请回答问题 16.2, 如果选 C, 请在下方空栏填写理由)

16.1 您支持的理由是

- A.学习效果好
B.操作方便
C.可以获取更多的日语学习资源
D.携带方便可以随时随地学习
E.其他_____ (请写出具体的理由)

16.2 您不支持的理由是

- A.学习效果不好
B.操作复杂
C.手机屏幕小, 看着吃力
D.无法筛选合适的学习资源
E.其他_____ (请写出具体的理由)

问题 16 选择 C 的理由是:

17. 您认为限制您课外使用智能手机学习日语的主要因素是 (*此题可多选)

- A.质疑其学习效果
B.没有老师的推荐和指导
C.认为液晶屏幕伤眼
D.本来课外就不怎么学日语
E.不知道原来课外可以通过手机学日语
F.不知道如何选取合适的学习资源
G.手机配置不够或网络不佳
H.其他_____ (请写出具体的因素)

18. 您的性别

- A.男 B.女

19. 您的年级

- A.大一 B.大二 C.大三 D.大四
E.其他_____

20. 您的年龄_____岁

问卷②

21. 课外使用智能手机学习日语将会提高我的日语学习效率
A.完全同意 B.基本同意 C.中立 D.基本不同意 E.完全不同意
22. 课外使用智能手机学习日语将会提高我的日语学习成绩
A.完全同意 B.基本同意 C.中立 D.基本不同意 E.完全不同意
23. 课外使用智能手机学习日语能够帮助我将零散时间利用起来学习日语
A.完全同意 B.基本同意 C.中立 D.基本不同意 E.完全不同意
24. 课外使用智能手机学习日语, 在操作上对我来说很容易
A.完全同意 B.基本同意 C.中立 D.基本不同意 E.完全不同意
25. 我觉得我能驾轻就熟地使用智能手机学习日语
A.完全同意 B.基本同意 C.中立 D.基本不同意 E.完全不同意
26. 我会很快就适应在课外用智能手机学习日语的方式
A.完全同意 B.基本同意 C.中立 D.基本不同意 E.完全不同意
27. 周围的同学/朋友对课外智能手机学习日语的推荐, 会影响我对其的使用
A.完全同意 B.基本同意 C.中立 D.基本不同意 E.完全不同意
28. 老师对课外智能手机学习日语的推荐,会影响我的选择
A.完全同意 B.基本同意 C.中立 D.基本不同意 E.完全不同意
29. 如果家人支持我用智能手机学习, 那我会使用
A.完全同意 B.基本同意 C.中立 D.基本不同意 E.完全不同意
30. 在日语学习中, 我是个自律的人, 很容易处理娱乐和学习的关系
A.完全同意 B.基本同意 C.中立 D.基本不同意 E.完全不同意
31. 我能有效的管理自己的日语学习时间, 完成作业任务
A.完全同意 B.基本同意 C.中立 D.基本不同意 E.完全不同意
32. 我能自己制定日语学习计划
A.完全同意 B.基本同意 C.中立 D.基本不同意 E.完全不同意

33. 课外使用智能手机学习将会增加日语学习的趣味
A.完全同意 B.基本同意 C.中立 D.基本不同意 E.完全不同意
34. 课外使用智能手机学习将会激发我对日语学习的好奇心
A.完全同意 B.基本同意 C.中立 D.基本不同意 E.完全不同意
35. 课外使用智能手机学习将会驱使我去探索并解决不懂的日语问题
A.完全同意 B.基本同意 C.中立 D.基本不同意 E.完全不同意
36. 我有自信在课外使用智能手机学习到更多的日语知识
A.完全同意 B.基本同意 C.中立 D.基本不同意 E.完全不同意
37. 我能解决课外在使用智能手机学习日语过程中出现的问题（如设备故障，网络不流畅，操作问题等）
A.完全同意 B.基本同意 C.中立 D.基本不同意 E.完全不同意
38. 我能适应在课外使用智能手机学习日语这种学习方式
A.完全同意 B.基本同意 C.中立 D.基本不同意 E.完全不同意
39. 我善于使用智能手机学习日语
A.完全同意 B.基本同意 C.中立 D.基本不同意 E.完全不同意
40. 我认为自己在课外通过智能手机学习，了解了更多日语知识
A.完全同意 B.基本同意 C.中立 D.基本不同意 E.完全不同意
41. 我认为自己在课外通过智能手机学习，解决了许多关于日语的疑惑
A.完全同意 B.基本同意 C.中立 D.基本不同意 E.完全不同意
42. 我认为自己在课外通过智能手机学习，提高了日语能力
A.完全同意 B.基本同意 C.中立 D.基本不同意 E.完全不同意
43. 我能够承担课外使用智能手机学习日语时产生的通信费用和业务费用
A.完全同意 B.基本同意 C.中立 D.基本不同意 E.完全不同意
44. 我能够支付购买智能手机时的费用
A.完全同意 B.基本同意 C.中立 D.基本不同意 E.完全不同意

45. 我愿意支付使用智能手机学习日语时的一切费用
A.完全同意 B.基本同意 C.中立 D.基本不同意 E.完全不同意
46. 我预计将来会使用智能手机在课外学习日语
A.完全同意 B.基本同意 C.中立 D.基本不同意 E.完全不同意
47. 我愿意在今后更频繁地使用智能手机在课外学习日语
A.完全同意 B.基本同意 C.中立 D.基本不同意 E.完全不同意
48. 如果条件达到或允许（如手机性能更好，资费更低等）我会使用智能手机在课外学习日语
A.完全同意 B.基本同意 C.中立 D.基本不同意 E.完全不同意
49. 本次问卷调查之后，还有后续采访调查，请问您是否愿意参加。（参加后续采访调查者有谢礼赠送）
A.愿意 B.不愿意
50. 为方便我们联系您向您汇报调查结果以及进行采访调查,请您务必留下您的联系方式。
邮箱:_____
- QQ: _____
- 微信号:_____

请检查是否有问题没有回答，谢谢。

本次问卷调查到此结束，
再次感谢您的合作。

付録2 アンケート（日本語訳）

日本語学習者の授業外における モバイルラーニングについての調査

こんにちは：

大阪大学言語文化研究科博士後期 2 年の学生です。中国の日本語学習者の授業外におけるモバイルラーニングについて研究しており、アンケート調査が必要です。

本アンケートは、中国の日本語学習者の授業外におけるモバイルラーニングの経験とそれに対する意識について調査します。調査で得られたデータは研究のみに利用します。

アンケートに答える前に、以下の注意事項をよく読んでください。

アンケート回答時の注意事項

1. 本アンケートは、アンケート①、アンケート②、二つ部分があります。全部で7ページがあり、10分ぐらいかかります。
2. 本アンケートは匿名式なので、ご自身の実際の状況に沿ってお答えください。
3. 最もふさわしいと思う選択肢に、✓をつけてください。
4. もし間違えて選択した場合、棒線で消して、もう一度選択してください。
5. 特別な注意事項（*多選択）がなければ、すべての問題に対して、答えを一つ選択してください。
6. 回答が終わったら、アンケートを調査員に渡してください。
7. もし何か問題点あるいは意見などがあれば、以下に連絡してください。
E-mail: 410677657@qq.com
QQ: 410677657

ご協力ありがとうございます。

整理番号 _____

2017年10月

アンケート①

1. 現在スマートフォンを利用していますか？

- A.はい B.いいえ

(*A を選択した場合、続けて問題 2 から問題 4 まで答えてください。B を選択した場合、直接問題 5 から答えてください。)

2. お持ちのスマートフォンの操作システムは

- A.Android B.iOS C.ほか () D.分からない

3. お持ちのスマートフォンでよく利用するネットワークは

- A.2G B.GPRS C.3G D.4G
E.WIFI 接続時しか使えない F.分からない

4. スマートフォンを使って日本語を勉強したことがありますか (例えば、単語を調べる、APP で学習する、日本語のネットページを閲覧する、日本語のニュースを聞くなど)

- A.はい B.いいえ

(*A を選択した場合、続けて問題 4.1 から問題 4.5 まで答えてください。B を選択した場合、直接問題 6 から答えてください。)

4.1 スマートフォンを利用して以下のどの行動をしましたか(*多選択)

- A.日本語のページを閲覧した
B.日本語の単語を調べた
C.日本語の先生からの配布資料を読んだ
D.日本語の学習のアプリをダウンロードした_____ (アプリ名を書いてください)
E.Weibo や WeChat などにおける日本語の内容を配信するユーザーをフォローした
F.日本語の電子ブックを読んだ
G.日本語の公開授業のビデオを観た
H.日本語のドラマとアニメを観た
I.日本語のニュース、ドラマ CD などの音声資料を聞いた
J.日本人とチャットした
K.日本語のゲームをした
L.その他_____ (具体的な内容を書いてください)

4.2 授業外で、スマートフォンを利用して日本語を学習する際、主な目的は (*多選択)

- A.知らない単語を調べるため B.単語を覚えるため C.聴解能力をアップするため
D.会話力をアップするため E.日本文化を知るため F.時間つぶしのため
G.その他_____ (具体的な内容を書いてください)

4.3 授業後、スマートフォンを利用して日本語を学習する時間帯は (*多選択)

- A.予習または復習するとき B.教室に行くまたは寮に帰るなど歩行中
C.バスを待つまたはバスに乗っている間 D.授業の間の休憩中
E.寝る前 F.その他_____ (具体的な時間帯を書いてください)

4.4 授業外で平均、毎日どのぐらいの時間を使ってスマートフォンで日本語を勉強しますか

- A.5分以内 B.5分～15分 C.15分～20分
D.20分以上_____ (時間を書いてください)

4.5 授業外で、スマートフォンで日本語を勉強する際、注意力は

- A.とても集中している B.場合による C.集中できない D.分からない

5. クラスメイトまたは友達からスマートフォンを利用して日本語を勉強することを薦められたことがありますか。

- A.はい B.いいえ

6. 先生からスマートフォンを利用して日本語を勉強することを薦められたことがありますか。

- A.はい B.いいえ

7. スマートフォンで日本語を勉強するのは以下のどの場面がいいと思いますか

- A.授業中 B.授業外 C.両方とも D.分からない

8. ほかの授業外の日本語を勉強する方法と比べて、スマートフォンで日本語を学習することの特徴は (*多選択)

- A.より自主的で、選択肢が多い
B.持ち運びが便利
C.暇な時間を利用して学習できる
D.学習のリソースが多い
E.学習スタイルは多様である
F.その他_____ (具体的な特徴を書いてください)

9. 授業外で、スマートフォンで日本語勉強する学習リソースの数量についてどう思いますか？

- A.多くて、選ぶのが難しい
B.ちょうどいい
C.少なくて、もっと多くのリソースが欲しい
D.よく分からない

10. 授業外で、スマートフォンで日本語勉強する学習リソースのクォリティーについてどう思いますか？

- A.比較的高い B.普通 C.比較的に低い D.よく分からない

11. 授業外で、スマートフォンで日本語を学習すれば、以下のどの形式が好きですか
 A.文字だけのもの B.図 C.音声 D.ビデオ
 E.ゲーム F.文字と図が結合したもの G.文字と音声あるいはビデオと結合したもの
12. 授業外で、スマートフォンで日本語を学習する際、最もアップさせたいのは **(*多選択)**
 A.会話能力 B.ライティング能力 C.語彙量 D.聴解能力
 E.読解能力 F.日本社会と文化に対する理解
 G.ほか _____ (具体的な内容を書いてください)
13. 授業外で、スマートフォンを通して知識を習得するためには、どれくらいの長さがいいと思いますか
 A.5分以内 B.5-10分
 C.10-15分 D.15分以上 _____ (具体的な時間を書いてください)
14. 授業外で、スマートフォンで日本語を学習する際、先生の推薦と指導が
 A.必要 B.必要ない C.分からない
 (*Aを選択した場合、問題 13.1 を答えてください。Bを選択した場合、問題 13.2 を答えてください。
 Cを選んだ場合、直接問題 15 を答えてください。)
- 14.1 必要だと思う理由は
 A.先生の推薦と指導があれば、モチベーションが上がる
 B.先生の推薦と指導があれば、学習リソースをよりよく選別できる
 C.先生の推薦と指導があれば、よりよい学習効果が得られる
 D.先生の推薦と指導があれば、継続的に勉強できる
 E.その他 _____ (具体的な理由を書いてください)
- 14.2 必要ないと思う理由は
 A.先生の推薦と指導より、自分で学習リソースを選別して勉強するほうが好き
 B.先生の推薦と指導がなくても、自分で適切なリソースを見つけ、自主的に勉強できる
 C.授業外で、先生に干渉されたくない
 D.その他 _____ (请写下具体理由)
15. もし授業外でスマートフォンを使って日本語勉強する内容と授業の内容が連動したら、スマートフォンにどのような機能があればいいと思いますか
 A.教材内容の予習と復習機能
 B.授業内容の練習機能 (例えば、単語の練習、文法の練習など)
 C.派生的な知識が得られる機能
 D.学習記録機能
 E.その他 _____ (希望する機能を書いてください)

16. 授業外で、日本語を学習することを支持しますか
A.支持する B.支持しない C.中立

(*Aを選択した場合、問題 16.1 を答えてください。Bを選択した場合、問題 16.2 を書いてください。Cを選択した場合、下の空欄で理由を書いてください。)

16.1 支持する理由

- A.学習効果がいいから
B.操作が簡単だから
C.より多くの学習リソースが得られるから
D.持ち運びが便利で、いつでもどこでも勉強できるから
E.その他_____ (具体的な理由を書いてください)

16.2 支持しない理由

- A.学習効果がよくないから
B.操作が複雑だから
C.スクリーンが小さく、見づらいから
D.適切な学習リソースを選別できないから
E.その他_____ (具体的な理由を書いてください)

問題 16 で C を選択した理由は：

17. 授業外で、スマートフォンで日本語を学習することを制限する要因は以下のどれと思いますか (*多選択)

- A.学習効果に対して懐疑的である
B.先生の推薦と指導がない
C.液晶の画面が目が悪いと思う
D.もともと授業外であまり日本語を勉強していない
E.スマートフォンで日本語を学習することすら知らない
F.学習リソースの取捨選択ができない
G.スマートのハード面がよくないあるいはネット状況が悪い
H.その他_____ (具体的な要因を書いてください。)

18. あなたの性別は

- A.男 B.女

19. あなたの学年は

- A.一年 B.二年 C.三年 D.四年 E.ほか_____

20. あなたの年齢は_____歳

アンケート②

21. 授業外で、スマートフォンを利用して日本語を勉強すると、学習効率が上がると思う。
A. つよく賛成 B. やや賛成 C. どちらともいえない D. やや反対 E. つよく反対
22. 授業外で、スマートフォンを利用して日本語を勉強すると、成績が上がると思う。
A. つよく賛成 B. やや賛成 C. どちらともいえない D. やや反対 E. つよく反対
23. 授業外で、スマートフォンを利用して暇な時間を活用して日本語学習ができると思う。
A. つよく賛成 B. やや賛成 C. どちらともいえない D. やや反対 E. つよく反対
24. 授業外で、日本語学習のためのスマートフォンの操作は容易だと思う。
A. つよく賛成 B. やや賛成 C. どちらともいえない D. やや反対 E. つよく反対
25. 授業外で、スムーズにスマートフォンを利用して日本語学習できると思う。
A. つよく賛成 B. やや賛成 C. どちらともいえない D. やや反対 E. つよく反対
26. 授業外で、スマートフォンで日本語を学習する形式にすぐに適応できると思う。
A. つよく賛成 B. やや賛成 C. どちらともいえない D. やや反対 E. つよく反対
27. クラスメイトや友達からスマートフォンで日本語を学習することについての勧めは私の使用に影響すると思う。
A. つよく賛成 B. やや賛成 C. どちらともいえない D. やや反対 E. つよく反対
28. 先生からからスマートフォンで日本語を学習することについての勧めは私の選択に影響すると思う。
A. つよく賛成 B. やや賛成 C. どちらともいえない D. やや反対 E. つよく反対
29. 家族がスマートフォンで日本語学習することを支持してくれれば、利用すると思う。
A. つよく賛成 B. やや賛成 C. どちらともいえない D. やや反対 E. つよく反対
30. 日本語学習において私は自律的な人で、娯楽と学習の関係をうまくコントロールできると思う。
A. つよく賛成 B. やや賛成 C. どちらともいえない D. やや反対 E. つよく反対
31. 私は自分の日本語学習の時間をうまく管理でき、宿題などを完成できると思う。
A. つよく賛成 B. やや賛成 C. どちらともいえない D. やや反対 E. つよく反対
32. 私は自分で日本語学習の計画を立てられると思う。
A. つよく賛成 B. やや賛成 C. どちらともいえない D. やや反対 E. つよく反対
33. 授業外で、スマートフォンで日本語を勉強すると、日本語学習の楽しみが増えると思う。
A. つよく賛成 B. やや賛成 C. どちらともいえない D. やや反対 E. つよく反対

34. 授業外で、スマートフォンで日本語を勉強すると、日本語学習に対する好奇心が湧くと思う。
A. つよく賛成 B. やや賛成 C. どちらともいえない D. やや反対 E. つよく反対
35. 授業外で、スマートフォンを利用して日本語を勉強すると、分からない日本語の問題について自分で調べて解決するようになると思う。
A. つよく賛成 B. やや賛成 C. どちらともいえない D. やや反対 E. つよく反対
36. 授業外で、スマートフォンを利用して、より多くの日本語の知識を得られる自信があると思う。
A. つよく賛成 B. やや賛成 C. どちらともいえない D. やや反対 E. つよく反対
37. 授業外で、スマートフォンを利用して、日本語を勉強するときに出会った問題（端末の問題、ネットの問題、操作の問題など）を解決できると思う。
A. つよく賛成 B. やや賛成 C. どちらともいえない D. やや反対 E. つよく反対
38. 授業外で、スマートフォンを利用して日本語を勉強する方法に慣れると思う。
A. つよく賛成 B. やや賛成 C. どちらともいえない D. やや反対 E. つよく反対
39. 授業外で、スマートフォンで日本語を勉強することが上手だと思う。
A. つよく賛成 B. やや賛成 C. どちらともいえない D. やや反対 E. つよく反対
40. 授業外で、スマートフォンで日本語を勉強することを通して、多くの日本語に関する知識を得たと思う。
A. つよく賛成 B. やや賛成 C. どちらともいえない D. やや反対 E. つよく反対
41. 授業外で、スマートフォンで日本語を勉強することを通して、多くの日本語に関する問題を解決したと思う。
A. つよく賛成 B. やや賛成 C. どちらともいえない D. やや反対 E. つよく反対
42. 授業外で、スマートフォンで日本語を勉強して、日本語能力が上がったと思う。
A. つよく賛成 B. やや賛成 C. どちらともいえない D. やや反対 E. つよく反対
43. 授業外で、スマートフォンを利用して日本語を勉強するときに生じた通信費用や利用料などを支払えると思う。
A. つよく賛成 B. やや賛成 C. どちらともいえない D. やや反対 E. つよく反対
44. スマートフォンを購入する費用を負担できると思う。
A. つよく賛成 B. やや賛成 C. どちらともいえない D. やや反対 E. つよく反対

45. 授業外で、スマートフォンを利用して日本語を勉強する過程で生じた、すべての費用を
すすんで支払うと思う。
A. つよく賛成 B. やや賛成 C. どちらともいえない D. やや反対 E. つよく反対
46. これから、授業外でスマートフォンを利用して日本語を勉強すると思う。
A. つよく賛成 B. やや賛成 C. どちらともいえない D. やや反対 E. つよく反対
47. これから、もっと頻繁に授業外でスマートフォンを利用して日本語を勉強したい。
A. つよく賛成 B. やや賛成 C. どちらともいえない D. やや反対 E. つよく反対
48. ある条件に達すれば（スマートフォンの性能が良くなって、利用料金をもっと安くなる
など）、授業外でスマートフォンを利用して日本語を勉強すると思う。
A. つよく賛成 B. やや賛成 C. どちらともいえない D. やや反対 E. つよく反対
49. 今回のアンケート調査後、インタビュー調査があります。参加のご意向はいかがですか。
(インタビュー協力者に謝礼があります。)
A. 参加します B. 参加しません
50. 調査結果の報告とインタビュー調査の連絡のため、ぜひ連絡方法を書いてください。
QQ: _____
E-mail: _____
WeChat: _____

記入漏れがあるかどうかもう一度ご確認お願いいたします。

アンケートは以上です。

ご協力まことにありがとうございました。

付録3 中国語の記述

アンケートの設問16でCを選択した理由についての中国語の記述

- 用碎片化时间学习日语感觉效果不如课堂深刻，但它可以巩固知识。
- 用手机有利有弊，要控制自己。
- 都行，好坏皆有。
- 智能手机提供的学习资源质量有高有低效果也因人而异故中立。
- 对发音和相关语法的理解有局限性。
- 每人有自己习惯的方法。
- 每个人有每个人的情况，为自己选择负责就可以。
- 在自己感兴趣且乐意学习日语的情况下能学到很多新的东西，但是仅仅是完成学习工作，就会有很大的限制性，觉得应该增加课外知识而不是依赖。
- 全凭各人喜好。
- 因为用手机学习时真正学习的时间是很少的。
- 虽然资源广但是质量不很高。
- 对这块了解不深，不能妄加断言。
- 容易分散注意力。
- 利用智能手机日语学习还是因人而异，容易被别的什么诱惑分散注意的话，不推荐，事倍功半。
- 有利有弊。
- 根据个人的学习习惯而定。

付録 4 同意書 (中国語)

同意书

您好

本人为大阪大学言语文化研究科博士 3 年级学生，博士研究中需要进行采访调查，主要采访有关使用日语学习 APP 的相关情况。

采访形式：微信语音通信

(采访者会对采访内容进行录音)

所需时间：10-15 分钟

采访所得语音数据将被文字化，文字信息中涉及受访者个人姓名等信息时会做匿名处理。本次采访所得数据仅用于研究。

您是否同意参加本次采访调查

A.同意 B.不同意

如有任何问题或建议请与以下联系

QQ:410677657

付録5 同意書（日本語訳）

同意書

はじめまして

本人は大阪大学言語文化研究科博士 3 年の学生です。博士研究でインタビュー調査を実施する必要があり、日本語の学習アプリの利用についての事項を調査する。

インタビューの形式：WeChat の音声通話機能によるオンライン調査

（インタビューの音声を録音します。）

所要時間：10-15 分

インタビューで収集した音声データはすべて文字化されるが、文字データでインタビュー協力者の名前など個人情報に関する情報はすべて匿名で処理される。本インタビューで得たデータは研究だけに利用する。

本インタビューに参加するご意向は？

A.はい B.いいえ

なにか質問またはアドバイスがあれば以下に連絡してください。

QQ:410677657

付録6 インタビューガイドライン（中国語）

A.介绍本次采访调查的目的，方式，所需时间，以及数据保密等情况

B.确认受访者的基本情况（姓，年级、简单介绍”五十音图”等）

C.有关使用”五十音图”之前的情况的问题

在使用”五十音图”之前，有用过其他的日语学习软件或者其他的学习软件吗

是怎样一个契机让你开始使用”五十音图”的

选择”五十音图”这软件的理由，标准等

使用之前你期待它给你带来什么样的学习效果

同时选择了几个 APP，还是只选择了一个

D.有关使用”五十音图”期间的情况的问题

怎样使用的（在什么时候，怎样的频率，具体的使用方式）

使用之后你有遇到过什么问题吗

使用之后你的感受怎样

有达到你的预期效果或学习目标吗

你会向你身边的朋友推荐该 APP 吗

E.现在以及今后的使用情况的问题

现在还在使用”五十音图”吗

你对”五十音图”的评价是怎样的

今后会还想使用其他的日语学习 APP 吗

你觉得使用”五十音图”这一经验，对你今后使用其它日语学习 APP 有什么影响

你对课外使用日语学习 APP 学习日语这一学习行为的整体看法是什么

付録7 分析ワークシート

分析ワークシート 1

<p>概念名</p>	<p>概念1〈之前的利用経験の有無と内容〉 (概念1〈以前の利用経験の有無と内容〉)</p>
<p>定義</p>	<p>受訪者が利用日本語学習ソフトウェア之前是否有使用过其他相关的软件，具体是什么软件。 (インタビュー協力者が日本語の学習アプリを利用する前にほかのアプリを利用した経験があるかどうか、それは具体的にどのようなアプリなのか。)</p>
<p>ヴァリエーション</p>	<p>14-A1: 如果是语言类的话，比如说这个沪江然后还有，呃，什么，可可英语，然后这样的英语流利说这样练口语的，然后或者说看单词的都有。 (14-A1:語学関係なら、例えばその「沪江」、ええと、「可可英语」、それから「英语流利说」のような発音を鍛えるためのもの、それから単語を覚えるものなど。)</p> <p>18-A2: 之前的话就是背英语单词用的百词斩，MOJi 英语的那种。 (18-A2:その前だったら、英単語を覚えるための「百词斩」、「MOJi 英语」など。)</p> <p>14-Z: [前略] 你在使用这个五十音图之前你有使用过其他的一些日语学习软件或者其他的一些学习软件吗? 15-A3: 没有，之后倒是有的。 16-Z:你是之前没有任何学习的经历吗? 17-A3: 没有，没有。 (14-Z: [前略] この五十音図を使う前に、ほかの日本語の学習に関連するアプリまたはほかの学習アプリを利用したことがありますか? 15-A3: ありません。その〔五十音図〕あとはありますね。 16-Z:前はなんの学習経験もないということですか? 17-A3: ありません。ありません。)</p>

	<p>22-A4: 嗯，主要就是，就是那个有道词典，查英文词语的，英文单词。然后，然后就是有个可可英语。就是，就是里面的资源比较多。我觉得是个比较好的软件。</p> <p>(22-A4:はい、主に、その「有道词典」、英単語を調べるためのもので。それから、それから「可可英语」、このアプリではリソースが多くて、とてもいいアプリだと思う。)</p> <p>18-A5:那时（高中）是不可以用手机的。</p> <p>[中略]</p> <p>21-Z:这（五十音图）是你第一次用 APP 学语言吗？</p> <p>22-A5:嗯。对。手机也是（进大学前的）暑假买的。</p> <p>(18-A5:そのとき〔高校〕は携帯の使用が禁止されていました。)</p> <p>[中略]</p> <p>21-Z:それ〔五十音图〕は初めてアプリで言葉を勉強する経験ですか？</p> <p>22-A5:はい、そうです。携帯も〔大学に入る前の〕夏休みに買いました。)</p> <p>12-A6:嗯，之前就是有，比方说英语魔方秀，它就是一些配音嘛，英语的。然后还有扇贝，百词斩，这些背单词的。然后还有一个英语流利说也是类似于有配音的，它会给你打分。</p> <p>(12-A6:はい、前は、例えば、「英语魔方秀」、英語のアフレコができる。それから「扇贝」、「百词斩」のような単語を覚えるためのアプリ。それから、「英语流利说」も英語のアフレコができるようなもので、しかも点数もつけてくれる。)</p> <p>22-A9: 就是，英语用过百词斩，然后用过什么，有一个就是配音的。但是我不太记得名字了。然后，就是还有什么，就是看新闻的一些软件，不是学习性的吧。</p> <p>(22-A9:英語なら「百词斩」を使ったことがある。それから、英語のアフレコができるアプリも使ったことがあるが、あんまり覚えていない。それから、ニュースを観るアプリなど、学習とはあんまり関係ないものかな)</p>
--	--

	<p>20-A11:用过,有一个也是类似五十音图的记忆,[中略]但是我觉得没有我之前我在调查问卷上提到的那个比较好,那样的好用。</p> <p>[中略]</p> <p>22-A11:是高中时期,我去了解了一下日语的时候使用的[后略]。</p> <p>(20-A11:使ったことがある。五十音図を覚えるためのようなアプリで,[中略]しかし、アンケートで書いたアプリの方が良くて、使いやすい。</p> <p>[中略]</p> <p>22-A11:高校のとき、日本語について少し知るために使った [後略]。)</p>
<p>理論的メモ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 英語学習アプリの利用経験が多い。 ➤ 高校のとき、スマートフォンの利用が禁止された。 ➤ 高校のとき、すでに日本語の学習アプリを利用した学習者もいる。

分析ワークシート 2

<p>概念名</p>	<p>概念 2 〈之前的利用经验的影响〉 (概念 2 〈以前の利用経験からの影響〉)</p>
<p>定義</p>	<p>之前的利用经验是否影响到了受访者使用该软件，具体在那些方面有影响。 (以前の利用経験がインタビュー協力者の該当のアプリの利用に影響したかどうか、また具体的にどんな面で影響したか。)</p>
<p>ヴァリエーション</p>	<p>16-A1: 嗯，有（影响），感觉就用 APP 学起来还是蛮方便的嘛。 17-Z: 嗯，那这个方便具体指那些东西呢？ 18-A1: 比如说，就像，有课文，然后你就可以听课文嘛，然后，像一般的有些会有测试，就是可以让你去练你的听力，然后或者说去纠正你的那些发音。 (16-A1: はい、[影響が] ありました。アプリで勉強することがとても便利だと感じましたね。 17-Z: はい、その便利は具体的に何を指していますか？ 18-A1: 例えば、テキストがあつて、そのテキストを聞くことができるでしょう。そして、普通 [アプリ] にテストがあつて、聞く練習をさせて、または発音を直すとか。) 20-A2: 有（影响）啊，因为之前用它（软件）来学过英语，所以就想学日语也会有软件。就上网随便一搜，然后就搜到了，就下载了。 (20-A2: はい、[影響が] ありましたね。前、それ [アプリ] を使って英語を勉強したから、日本語にもそのようなアプリがあると思いました。ネットで調べて、見つけたから、ダウンロードしました。) 24-A4: 会啊，就是因为这些〔英语〕软件比较方便啊，随时都可以看啊，不用带书本。我当然会在学日语的时候，会去搜寻一些软件，然后就可以在手机上使用它们。因为现在手机学习比较方便。 (24-A4: ありましたね。これらの〔英語の〕アプリは便利で、いつでも</p>

	<p>見ることができるでしょう。本を持ち歩かなくてもいいです。当然ながら日本語を勉強するときも、何かのアプリを探して、スマートフォンでそれらのアプリを使います。今、スマートフォンで勉強するのが便利だから。)</p> <p>14-A6: 没有（影响），因为之前就完全没有接触过日语。</p> <p>15-Z: 哦。</p> <p>16-A6: 这些（以前用的软件）都是学英语的。</p> <p>（14-A6:〔影響〕ありませんでした。なぜなら前は日本語に触れたことがなかったから。</p> <p>15-Z: ええ。</p> <p>16-A6: これら〔前に使ったアプリ〕はすべて英語を学ぶためのものです。</p> <p>24-A7: 影响倒是没什么影响。毕竟之前学习的都是跟英语，基本上跟英语挂钩，日语学习也是没有的。也没有什么影响。</p> <p>（24-A7:影響は特にありませんでした。前に学習したのは英語、ほとんど英語と関連するものだから、日本語を学んだことがありません。特に影響はないです。）</p> <p>24-A9:我感觉没有（影响），因为那个（以前用的软件）主要是学英语的。</p> <p>（24-A9:〔影響〕なかったと思います。それ〔前に使ったアプリ〕は主に英語を学ぶためだから。</p> <p>26-A11:（影响）有一点吧。因为第一次开始接触总是印象比较深刻。但是不同的软件它使用，体验感觉，我觉得区别是挺大的。</p> <p>27-Z: 那你之前说它（之前用的软件）没有你用的五十音图用的好。那是不是因为它用的不太顺畅所有才导致你去用这个五十音图软件呢？</p> <p>28-A11:应该是这样说的。</p>
--	--

	<p>(26-A11:〔影響〕少しありましたね。初めて触れたものは印象深いから。でも、違うアプリの使い心地が違って、その差が大きいと思います。</p> <p>27-Z:先に、それ〔前に使ったアプリ〕は五十音図より使いにくいと言いましたね。それ〔前に使ったアプリ〕をうまく使えなかったから、この五十音図を使うようになったのですか？</p> <p>28-A11:そう言えますね。)</p>
理論的メモ	<p>以前の利用経験から影響があったと思う人と、影響がなかったと思う人がいる。</p>

分析ワークシート 3

<p>概念名</p>	<p>概念 3 (推荐人) 概念 3 (推荐者)</p>
<p>定義</p>	<p>推荐给了受访者该软件的人。 (インタビュー協力者に該当のアプリを勧めた人。)</p>
<p>ヴァリエーション</p>	<p>26-A2: 我是问过一个学日语的学姐, 我就问她刚开始学日语的话要下什么样的软件。她就说你可以先记一下五十音图? 27-Z: 然后她推荐了你这个软件吗? 28-A2: 对, 对, 对。 (26-A2: 日本語を学んでいる [女性の] 先輩に聞きました。初めて日本語を勉強するならどんなアプリをダウンロードしたほうがいいかと聞きました。先輩はまず五十音図を覚えてくださいと言いました。 27-Z: そして先輩はこのアプリを勧めました? 28-A2: そう、そう、そう。 25-Z: 那当时是一个什么样的契机让你开始使用这个五十音图的这个软件的呢? 26-A4: 是同学推荐。 (25-Z: 当時はどうのようなきっかけでこの五十音図を利用し始めましたか? 26-A4: クラスメートが勧めてくれました。) 12-A5: 就是, (进大学前) 不是知道自己进了哪个学校, 哪个专业以后。然后会有加学习的那个, 学院的那个 (网上的) 群。然后会有一些同专业的加过来。 13-Z: 然后他们 (群里的成员) 有推荐用这个软件对吗? 14-A5: 嗯, 嗯, 是的。 (12-A5: その、[大学に入る前に] 自分がどの大学、どの専攻に入るか知ったでしょう。そして、学習の、学院の (ネット上の) コミュニティ</p>

	<p>一に入ります。そして、同じ専攻の人が一緒に入ってきます。</p> <p>13-Z: で、彼らたち〔コミュニティーのメンバー〕はこのアプリを勧めましたか？</p> <p>14-A5: はい、はい、そうです。）</p> <p>8-A6: 因为专业呀，然后就是加了新生群嘛，里面有人通过这个在学，然后开学也是要学日语的，所以就看了一下（这个软件）。</p> <p>（8-A6:専攻だから、新入生の〔ネット上の〕コミュニティーに入ったでしょう。そこで誰かがこのアプリを使って勉強していました。私も学期が始まったら日本語を学ぶから、〔このアプリ〕見てみました。）</p> <p>26-A7:室友推荐的，这个（软件）是。</p> <p>（26-A7:ルームメートが勧めてくれました、これ〔アプリ〕は。）</p> <p>20-A8: 因为室友推荐的。就是大一新生的时候，室友推荐。</p> <p>（20-A8:ルームメートが勧めてくれたから。大学一年生のとき、ルームメートが勧めました。）</p> <p>18-A10: [前略] 就是那个，学姐介绍，说这个（软件）挺好的，对基础学习日语比较好。然后刚开始进入的话，就下载了一个。</p> <p>（18-A10: [前略] あのう、〔女性の〕先輩が紹介しました。これ〔アプリ〕がよくて、基礎の日本語学習にいいと。それで、日本語を勉強し始めたら、ダウンロードしました。）</p>
理論的メモ	<p>「五十音图」を勧めた人物は、先輩、クラスメート、ネット上の新入生コミュニティーのメンバー、ルームメートである</p>

分析ワークシート 4

<p>概念名</p>	<p>概念 4 (推荐人推荐的具体内容) 概念 4 (推荐者からの勧めの具体的な内容)</p>
<p>定義</p>	<p>受访者从推荐人处得到的具体的推荐内容。 (インタビュー協力者が推薦者から受けた具体的な勧めの内容。)</p>
<p>ヴァリエーション</p>	<p>24-A5:就好像那个, 因为有人(新生群里的成员)说:“就是现在自学日语的也很多嘛。然后就, 就, 就说他们可能就已经学的都已经挺厉害了。有的还有日语高考的进来的, 然后就说要不要我们也先学一下(五十音)。” 然后就找到这个入门的五十音图的软件, 就下了 (24-A5:あのを、誰か〔ネット上の新入生コミュニティのメンバー〕が、「今独学で日本語を学ぶ人が多いでしょう、それで、で、彼らたちはすでにすごいレベルに達している。日本語の入試科目を受けて入った人もいる、だから私たちが先に〔五十音〕勉強しましょう」と言ったから、この入門の五十音図のアプリを見つけて、ダウンロードしました。)</p> <p>28-A7: 嗯, 因为她(室友)说有, 就是口型, 教你发音的口型。这点就是比较好, 然后就下载了这个软件。 (28-A7:はい、彼女〔ルームメイト〕は口の形、発音の口の形を教える内容があると言いました。この点が良くて、このアプリをダウンロードしました。)</p> <p>18-A10: [前略] 就是那个, 学姐介绍, 说这个(软件)挺好的, 对基础学习日语比较好。然后刚开始进入的话, 就下载了一个。 (18-A10: [前略] あのを、〔女性の〕先輩が紹介しました。これ〔アプリ〕がよくて、基礎の日本語学習にいいと。それで、日本語を勉強し始めたら、ダウンロードしました。)</p>
<p>理論的メモ</p>	<p>他人の勧めの内容が学習者の利用に影響する可能性があるのでは? 調査②の結果と関連がある。</p>

分析ワークシート 5

<p>概念名</p>	<p>概念 5 〈本人検索〉 概念 5 〈本人による検索〉</p>
<p>定義</p>	<p>不通过别人的推荐而是自己通过检索得知该软件。 (他人からの勧めではなく、自分で検索して該当のアプリを知った。)</p>
<p>ヴァリエーション</p>	<p>18-A3: 就是, 我觉得这东西(五十音)记不住嘛。然后突然想到手机上学习软件这么多, 学日语的肯定也有, 我看室友在网上看什么可以记得(五十音)快一点, 我想手机上也有, 更方便嘛。查一下还真的有。</p> <p>19-Z: 同寝室的人给了你一些启发这种感觉吗?</p> <p>20-A3: 对对对。</p> <p>(18-A3: その、これ〔五十音〕が覚えられないと思いましたね。それでスマートフォンに学習のアプリはたくさんあると思いついて、日本語を学ぶものもあと思いました。ルームメートがインターネットでどのようにすれば速く〔五十音〕覚えられるかを調べているのを見て、スマートフォンにもあると思って、もっと便利でしょう。調べたら、本当にありました。</p> <p>19-Z: ルームメートがヒントを与えたって感じですか?</p> <p>20-A3: そう、そう、そう。)</p> <p>30-A11: 契机肯定很简单。因为我的专业是日语专业, 然后老师要求记(五十音)。反正背记五十音图的时候, 我肯定想到用手机或者其他什么来学习一下, 然后就去找了呀, 这个软件。这样子。</p> <p>31-Z: 是你自己去找, 不是说别人推荐你的吗?</p> <p>[中略]</p> <p>34-A11: 嗯, 我是自己找的。</p> <p>(30-A11: きっかけはとても簡単です。専攻は日本語専攻だから、そして先生が〔五十音を〕覚えてと要求しました。五十音図を覚えるとき、スマートフォンか何かで勉強すると思いつくでしょう。それで、探しました。このアプリ。このように。)</p>

	<p>31-Z: 自分で探しました?ほかの人からの勧めではないですか? [中略]</p> <p>34-A11: うん、自分で探しました。)</p> <p>28-A12: 因为不是说(接下来)要学日语嘛,就先准备一下嘛。</p> <p>29-Z: 是你自己去下载的吗?还是别人推荐你的?</p> <p>30-A12: 是的,是我自己想下载的。</p> <p>(28-A12: [これから]日本語を学ぶでしょう。だから先に準備しました。</p> <p>29-Z: 自分でダウンロードしようと思いましたか?それともほかの人に勧められましたか?</p> <p>30-A12: そうです、自分でダウンロードしようと思いました。)</p>
<p>理論的メモ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ルームメートから得たヒント ➤ 学習者が自覚している事項が異なる ➤ この概念と概念3、概念4を一つのカテゴリーまとめる?

分析ワークシート 6

<p>概念名</p>	<p>概念 6 〈使用的原因〉 概念 6 〈利用する原因〉</p>
<p>定義</p>	<p>受访者使用该软件的具体原因。 (インタビュー協力者が該当のアプリを利用する原因。)</p>
<p>ヴァリエーション</p>	<p>12-A2: 就是我当时刚学日语嘛。然后就, 它(软件)就是纯粹教你五十音图的, 然后还有什么拗音, 清音, 就这样分开来教的。 (12-A2: 当時、日本語を学び始めたばかりだから。で、それ [アプリ] は単に五十音図を教えるもので、それから拗音、清音などを分けて教えています。)</p> <p>21-Z: 那是一个什么样的契机让你开始使用日语的这个五十音图的软件呢? 22-A2: 是到我被日语系录取之后。 (21-Z: どのようなきっかけで五十音図というアプリを使い始めましたか? 22-A2: 日本語専攻に合格してから。)</p> <p>14-A4: [前略] 就是, 就是当时在背五十音图的时候, 有点, 很难背。 (14-A4: [前略] 当時、五十音図を覚えているとき、ちょっと、とても覚えにくかったです。)</p> <p>24-A8: 首先是因为我们是刚入门嘛。这种(软件)就是有那些基础的东西。所有就下了。 (24-A8: まず私たちはまだ入門レベルだからでしょう。このようなもの [アプリ] に基礎的な内容が入っているから、ダウンロードした。)</p> <p>30-A9: 还有就是老师上课的时候, 她就是, 因为人(学生)也比较多嘛, 你可能自己有些不懂的或者学不太好, 就是不太会读的东西, (课上)就</p>

	<p>是也没有办法。就是马上解决啊。那个你回去自己听听看的话，就是会，就是比较，就是有点提高吧。</p> <p>(30-A9:それから、先生が授業中、先生が、人〔学生〕が多いでしょう。よく分からないあるいはよく学んでいない、うまく読めないものがあるかもしれないが、〔授業では〕仕方ありません。すぐに解決するでしょう。じゃ、帰って自分で聞いてみたら、少しは上達するでしょう。)</p>
<p>理論的メモ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 12-A2 24-A8 「日本語はまだ入門レベル」 ➤ 22-A2 「状況の変化」 ➤ 14-A4 「五十音の暗記の難しさ」 ➤ 30-A9 「授業での学習不足」

分析ワークシート 7

<p>概念名</p>	<p>概念 7 〈选择的理由〉 概念 7 〈選択した理由〉</p>
<p>定義</p>	<p>受访者最终选择使用该软件的理由。 (インタビュー協力者が最終的に該当のアプリを選択した理由。)</p>
<p>ヴァリエーション</p>	<p>26-A1: 嗯，就是它更直接吧，它说学五十音图就学五十音图，嗯，对，然后就是它整个操作起来就比较适合我嘛。 (26-A1:はい、それはもっとストレートで、[このアプリは] 五十音図を学習ものだと言ったら、その内容は本当に五十音図だけです。うん、はい、そして操作が私に合いますね。)</p> <p>32-A1: 我在下之前，就比较了一下它的好评率，还有那种占内存，然后我就挑了五十音图。 (32-A1:ダウンロードする前に、レビューの好評率やサイズを比較して、五十音図を選んだ。)</p> <p>64-A1: 一个免费的比较好的学习软件。 65-Z: 哦。那你刚才，刚才说到了一个免费的这个这个要素。 66-A1: 嗯嗯。 67-Z: 那这个免费的要素是不是也是你当时你选择这个 APP 的一个也可以算是一个理由呢。 68-A1: 呃，是的。因为主要考虑到是初学，就只要能达到我想要的学习效果就好了。如果我想要去深入的话，比如说我现在去沪江（网站），然后我肯能就去买它的课，这样子。 (64-A1:無料でいい学習アプリです。 65-Z: はい。さき、無料という要素を言いましたね。 66-A1: はい。 67-Z: じゃ、この無料という要素はこのアプリを選択した理由の一つではないですか？</p>

	<p>68-A1:はい、そうです。初めて学ぶことを考えたら、私が求めている学習効果を達成できれば十分です。もしもっと深く勉強したければ、例えば、今のように沪江〔ホームページ〕を見に行つて、オンラインのコースを買うかもしれません。)</p> <p>32-A2:我是，我当时是多下了几个。然后挑了一个最好用的留着，然后其它的就删掉了。</p> <p>33-Z: 哦，也就是说这个五十音图是你觉得最好用的对吧？</p> <p>34-A2: 对对对。</p> <p>(32-A2:私は、私は当時何個かダウンロードしました。その中から一番使いやすいものを残して使いました。それ以外はアンインストールしました。)</p> <p>33-Z: はい、この五十音図が一番使いやすいものと思っていたということですか？</p> <p>34-A2: そう。そう。そう。)</p> <p>22-A3: 首先我看它是〔搜索结果〕前面两个的嘛。然后它的那个图标比较好看，就是颜色比较干净一点，就选了它。</p> <p>(22-A3: まず、それは〔検索結果の〕上のほうに入っています。そしてアイコンもきれいで、シンプルな色ですから、それを選びました。)</p> <p>32-A4: 因为它看起来比较正规，下载量比较高。然后，界面看起来比较舒服，没有那么多广告。</p> <p>[中略]</p> <p>36-A4: 只选了〔五十音图〕一个。因为我不想下太多软件，占我手机内存。</p> <p>(32-A4: 正式なものみたいで、ダウンロード数も比較的多いから。そして、インターフェースは見た感じで気分がよくて、広告がたくさん入っていないです。)</p>
--	--

	<p>[中略]</p> <p>36-A4: これ〔五十音図〕だけを選びました。たくさんアプリをダウンロードして、スマートフォンの容量を多くとりたくないから。)</p> <p>34-A4: 嗯，对。然后就是，就是搜出来的时候，就是排在比较靠前的位置嘛。</p> <p>(34-A4: うん、はい。それから、検索した結果、〔検査結果の〕上のほうに位置していましたから。)</p> <p>18-A6: 就下了以后觉得它界面挺简单，就是而且，怎么说呢？就是看过去挺舒服的，每个平假，片假，我觉得它都讲得挺详细的吧。就是用着没有什么不便。因为我比较懒，我就不想换〔其他软件〕了。</p> <p>(18-A6: ダウンロードして、インターフェースはとても簡単で、しかも、なんって言えばいいだろう。見て気分がとてもいいです。各平仮名、片仮名、とても詳しく説明していると思います。使って特に不便を感じませんでした。私は怠け者だから、〔他のアプリに〕変えたくありません。)</p> <p>42-A6: 对，我比较喜欢简单一点的东西。</p> <p>43-Z: 哦，原来如此。</p> <p>44-A6: 我一下子也不能学这么多，如果用一些别的软件。比如说日语配音吧，我根本就没有到那个水平。然后先学这个，然后学完了就可以把它卸载啊。也挺方便的。</p> <p>(42-A6: はい、簡単なものが好きです。)</p> <p>43-Z: はい、なるほど。</p> <p>44-A6: 一度にたくさんを勉強できないし、もし他のアプリを使ったら、例えば日本語のアフレコ〔のアプリ〕、私はまだそのレベルではないから。先にこれを学んで、終わったらアンインストールすればいいし。とても便利です。)</p>
--	--

22-A10: (学姐) 推荐了有其他的。因为才, 就是(日语) 零基础进入, 然后不太懂。然后就不知道有哪些软件, 然后就是说这个刚开始嘛。然后就这个, 也没有查其他的软件。然后看一下, 然后这个软件用的人好像比较多的, 然后就也选了这个。

(22-A10: [先輩は] 他の[アプリ] も勧めてくれました。[日本語の] 基礎が全くない状態から学び始めたから、あまり分かりませんでした。どのようなアプリか知りませんでした。つまりまだ始めたばかりです。そして、これ、他のアプリも探しませんでした。そして、ちょっと見て、このアプリを使っている人が多いようなので、これにしました。)

38-A11: [前略] 就是通过, 简单的说吧, 就是通过它的图标, 设计感啊, 还有它的文字说明是不是配的比较齐全, 这样子, 我就觉得就是通过这些东西看它是不是做的用心吧。然后就会去(使用)。

(38-A11: [前略] 簡単に言うと、そのアイコン、デザインなどを通して、それから説明の文書が整っているかどうか、これを通して、このアプリは丹念に作られたかどうかを見ますね。それを見てから、[使います]。)

42-A11: 我同时下了几个(软件), 然后经过一点体验之后, 留下了这一个。

43-Z: 就是最后只留下了这一个对吗?

44-A11: 嗯, 对。

45-Z: 那你删掉其他的那些的原因是什么呢?

46-A11: 就是好几个软件同时体验之后, 其他的软件制作比较粗糙, 然后内容比较少, 或者是它的那种软件可能会闪退之类的。所以我就把它删掉了, 只留下这一个。

(42-A11: 同時に何個か[のアプリ] をダウンロードした。少し試してから、これだけを残しました。

43-Z: つまり最後にはこれだけを残したということですね。

	<p>44-A11 : うん、はい。</p> <p>45-Z : 他のアプリを削除した原因はなんですか？</p> <p>46-A11: いくつかのアプリを試してから、それらのアプリの作りは雑で、コンテンツも少なく、また急に強制終了するアプリもありました。だから、それらをアンインストールして、このアプリだけを残しました。)</p> <p>32-A12: 因为觉得它学习比较简洁嘛，然后感觉使用也比较方便，比较适合自己。</p> <p>33-Z: 你说的这个使用方便主要是指那些方面呢？</p> <p>34-A12: 就是界面比较清晰吧，然后操作也很简易，主要功能也比较明显，就是读音这些。</p> <p>(32-A12: このアプリの学習はシンプルだと思います。使用もとても便利で、自分に合います。</p> <p>33-Z : 便利とは主にどんな面を指していますか？</p> <p>34-A12 : インターフェースはくっきりしていて、操作も簡単で、主な機能もはっきりしています。例えば、発音など。)</p> <p>35-Z: 嗯。那你当时是同时下了几个软件，还是说就下了这个软件呢？</p> <p>36-A12: 就两三个吧，其实也差不多吧。</p> <p>37-Z: 那你这个同时下了两三个软件，你比较了之后觉得你最后比较心仪的还是哪个软件呢？</p> <p>38-A12: 就是那个叫五十音图。</p> <p>39-Z: 那和你下的其他两个软件比较有什么好的地方呢？</p> <p>40-A12: 就是它提供了巧记，就是联想记忆什么的。</p> <p>(35-Z: はい、同時に同時に何個かのアプリをダウンロードしましたか、それともこれだけダウンロードしましたか？</p> <p>36-A12: 二、三個かね、ほとんど同じでしょう。</p> <p>37-Z : 同時にこの二、三個のアプリをダウンロードして、比較してどれ</p>
--	---

	<p>が一番気に入りましたか？</p> <p>38-A12: その五十音図のアプリです。</p> <p>39-Z: ダウンロードした他のアプリと比べていいところはなんですか？</p> <p>40-A12: いい覚え方を示しています。イメージ記憶とか。）</p>
理論的メモ	<p>32-A1、22-A3、32-A4、38-A11 「アプリの外観、サイズ、ダウンロード数、好評率」</p> <p>22-A3、34-A4 「検索結果における表示の順番」</p> <p>64-A1 「無料」</p> <p>26-A1、42-A6、32-A12、18-A6 「自分との相性」</p> <p>32-A2、42-A11、36-A12 「他のアプリとの比較」</p>

分析ワークシート 8

<p>概念名</p>	<p>概念 8 〈使用之前的期待〉 概念 8 〈利用する前の期待〉</p>
<p>定義</p>	<p>受訪者在使用该软件时对该软件所能带来的学习效果的期待。 (インタビュー協力者が該当のアプリを利用する前に、そのアプリによる学習効果に対する期待。)</p>
<p>ヴァリエーション</p>	<p>50-A1:想达到的水平应该就是能够，首先就是把五十音图那个发音（发准），先比较正确嘛，然后再能够把它顺利地背出来。 (50-A1:到達したいレベルは、先に五十音図の発音、比較的正確に〔発音できる〕ね、それからうまく覚えればいいです。)</p> <p>40-A2: 期待就是我能把那五十音发音发标准。然后，写字能像日语学习者那样比较熟练地写出来那样。 (40-A2:期待は自分が五十音を正しく発音できることです。それから、日本語学習者のように書き慣れることです。)</p> <p>30-A3:〔期待〕就是〔软件〕能帮我更快更方便的记住〔五十音〕。平时这样记的话没什么效率嘛。就是你一直写一直写就没什么意思。(用软件)就是随时随地都能写，你没有纸没有笔，你拿起手机〔就能学〕，没事的时候，无聊的时候，比如说公交车上的时候。随时随地可以这么看两下。那总会记住的嘛。 (30-A3:〔期待は〕〔アプリが〕より速くより便利に〔五十音を〕覚えることの手助けになることです。普段いつものように覚えると、あまり効率が高くないでしょう。書き続けるのが面白くないです。〔アプリを使うなら〕いつでもどこでも書けます。紙もペンも持っていなくても、スマートフォンを使えば〔勉強できます〕。用事がないとき、暇なとき、例えばバスに乗っているとき。随時随所に少し見ていたら、覚えるでしょう。)</p>

	<p>42-A4: (期待) 就是可以让我更快的背日语, 然后能有一些形象记忆法, 就是让我不会那么快的遗忘它。</p> <p>(42-A4: [期待は] もっと速く日本語を覚えることです。それから、何かイメージ記憶法とかあって、すぐに忘れないようにしてくれればいいです。)</p> <p>42-A5: 学习效果就入门的那种比如说, 知道它的写法, 然后那种怎么读。最好就是有那种方便记忆的那种规律啥的。[后略]</p> <p>(42-A5: 学習効果は入門のような、例えば、どう書くかを知るとか、どのように読むかを知るとか。記憶しやすいルールなどがあればいいと思いますね。[後略])</p> <p>22-A6: 我觉得它也不是一个很难, 就是非常基础的吧。就稍微对日语有些了解就好了。</p> <p>(22-A6: 難しいではなくて、とても基礎的なアプリだと思いますね。だから、(それを使ったら) 日本語について少し知ればいいです。)</p> <p>52-A7: 首先应该就是帮我快速地学完五十音图。因为那个时候平假名和片假名, 记忆还是有一点困难。然后么, 就是希望它能用的时间长一点。</p> <p>(52-A7: まずは、五十音図を速く覚えさせてくれることです。当時、平仮名と片仮名は覚えにくかったです。それから、長く使えばいいと思っていました。)</p> <p>26-A8: (期待) 就是那个发音比较标准, 然后其实我也没想到它会教我们那些笔顺是怎么样的嘛。还可以在上面写那种。</p> <p>(26-A8: [期待は] 正しく発音できることです。[アプリ内で] 書き方を教え、しかもなぞって書くことができるのが予想外でした。)</p> <p>32-A9: 期待就是。就是可以把五十音图学的比较好一点吧。就是那种读</p>
--	---

	<p>音，发音跟写的方式，可能，写的好看一点，然后就是读音能读对吧。因为老师说，就是刚开始学五十音图，比较重要嘛。就跟你后面的日语单词发音，有关联。</p> <p>(32-A9 期待は、五十音図をうまく習得できることですね。その発音、発音と書き方、たぶん、きれいに書ける、そして、正しく発音できるなどですね。先生は初めて五十音図を勉強するとき、とても重要で、あとの日本語の単語の発音と関連すると言いましたから。)</p> <p>40-A11: 可能我的的学习目的是学习五十音图，我除了希望他能让我很快很好地把五十音图记全之外，还希望它能在其他功能，比如在背单词背句型，其他更多的学习内容上也有帮助。</p> <p>(40-A11: 学習の目的は五十音図を学習することですが、このアプリで速く、良く五十音図を覚える以外、他の機能、例えば、単語やセンテンスを覚えるなど、他の学習にも役にたってほしいです。)</p> <p>24-A10: 期待就是希望能够会写五十音图，然后会发音。就是那个吧。就是发音准确。这方面的。</p> <p>(24-A10: 期待は、五十音図が書ける、発音できることです。あれでしょう。正しく発音することです。このような面のことです。)</p> <p>44-A12: (期待) 就是比较快的可以记住吧。最好有一点乐趣。</p> <p>(44-A12: [期待は] 速く覚えることです。少し楽しさがあればいいです。)</p>
理論的メモ	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 読み書きに関する期待 ➤ 利便性に関する期待 ➤ あまり期待しない

分析ワークシート 9

<p>概念名</p>	<p>概念 9 〈使用的期限〉 概念 9 〈利用の期間〉</p>
<p>定義</p>	<p>受訪者使用该软件的期限，何时开始使用，何时停止使用。 (インタビュー協力者が該当のアプリを利用する期間、始める時期、利用し終わる時期。)</p>
<p>ヴァリエーション</p>	<p>42-A2: 就是在那个，那个，得知。暑假的时候，知道自己要学日语之后，一直到开学后把五十音记牢之后</p> <p>42-A2: あのを、夏休みのとき、自分がこれから日本語を学ぶと知ってから、新学期が始まって五十音をしっかり覚えたまでです。</p> <p>35-Z: [前略] 我想问一下，你是在什么时候开始用这个五十音图的呢？</p> <p>36-A3: (五十音) 大概学了三四列吧。</p> <p>37-Z: 学了三四列是指在教科书上学五十音图？</p> <p>38-A3: 对对对，教科书上的五十音图，三四列的时候开始</p> <p>39-Z: 那个时候应该是你刚进大学的那段时间。大概的那个时间段你可以跟我讲一下吗？</p> <p>40-A3: 我都不记得我什么时候进大学了。是 9 月份，对应该是 9 月份，那么大概是 10 月左右吧，10 月多一点点。</p> <p>(35-Z: [前略] いつからこの五十音図を使い始めたかについて聞きたいです。</p> <p>36-A3: たぶん [五十音] 三、四列学んでからですね。</p> <p>37-Z: 学んだ三、四列は教科書にある五十音図ですか？</p> <p>38-A3: そう、そう、そう。教科書にある五十音図で、三、四列を学んでから。</p> <p>39-Z: それは確か大学に入ったばかりの頃ですね。だいたいいつなのか教えてもらえませんか？</p> <p>40-A3: いつ大学に入ったかはっきり覚えてはいませんが、9 月、はい、9 月だと思います。そうすると、10 月ぐらいですね、10 月ちょっとす</p>

	<p>きたころ。)</p> <p>44-A4:就是在学五十音图，上课学到五十音图的时候。那个五十音图学了很久啊。</p> <p>[中略]</p> <p>54-A4:然后这个软件就用了两个月左右。</p> <p>(44-A4:五十音図を勉強して、授業で五十音図を勉強しているときです。五十音図を長く勉強しましたよ。</p> <p>[中略]</p> <p>54-A4:このアプリは二ヶ月くらい使いました。)</p> <p>10-A5: 还是我没进学校，暑假的时候。</p> <p>[中略]</p> <p>36-A5: 开学之后，就是不是后来就五十音学完之后就学单词了嘛。后来好像就没用了。</p> <p>37-Z: 就是类似于开学的那段时间你也在用，但是就是学完五十音后这个就不用了。这个理解对吗？</p> <p>38-A5: 嗯，好像是。</p> <p>39-Z: 那大概是开学之后多少的一个时间呢？</p> <p>40-A5: 开学之后。我记得那个，老师教五十音的时候，好像教的挺快的吧。一个星期，基本上就是要求我们都能够背诵默写下来(五十音图)了。大概一两个礼拜吧。</p> <p>(10-A5:まだ大学に入っていない、夏休みのときです。</p> <p>[中略]</p> <p>36-A5:新学期が始まってから、五十音が終わってから、単語を勉強するでしょう。そのあとは使いませんでした。</p> <p>37-Z: 新学期が始まったばかりのころはまだ使っていましたが、五十音を勉強し終わってから使わなくなったと理解していいですか？</p> <p>38-A5:うん、そうですね。</p>
--	--

	<p>39-Z: それは新学期が始まってからどのくらい経ったときですか?</p> <p>40-A5: 新学期が始まってから。先生が五十音を教えているとき、早く教えていたことが覚えています。一週間くらいで、〔五十音図〕暗記、読み書きが出来ることが求められていました。だいたい一、二週間くらいですね。)</p> <p>31-Z: 那你开学之后还有在用这个软件吗?</p> <p>32-A6: 对啊, 因为因为就是老师就会上, 就会上五十音, 上完了呀, 这个软就就当然没有用了。因为它其实占内存很小, 那就是一个就教了五十音嘛。</p> <p>(31-Z: 新学期が始まってから、このアプリを使いましたか?)</p> <p>32-A6: はい、先生は授業中で五十音を教えているから。それが終わったら、このアプリも当然使わなくなりました。アプリのサイズは小さくて、五十音だけを教えているでしょう。)</p> <p>33-Z: 那你大概是在大一的什么期间在用这个软件?</p> <p>34-A8: 主要就是在学五十音图的时候吧。</p> <p>35-Z: 那大概是一个什么时候呢? 假如说你开学的时候是九月份的话, 那九月之后的哪几个月?</p> <p>36-A8: 嗯, 就是两个月之内吧。</p> <p>37-Z: 就是九月份到十一月份这样的一个时间段对吗?</p> <p>38-A8: 是的。</p> <p>(33-Z: 大学1年生のどの期間にこのアプリを使いましたか?)</p> <p>34-A8: 主に五十音図を勉強しているときですね。</p> <p>35-Z: それはいつですか? もし新学期が9月から始まるとしたら、その後の何ヶ月?</p> <p>36-A8: うん、二ヶ月以内でしょうね。</p> <p>37-Z: 9月から11月までという期間ですか?</p> <p>38-A8: はい。)</p>
--	---

	<p>42-A9: 就是十月初吧，就是开始学日语就开始用这个软件。</p> <p>(42-A9:10 月の始めのころですね。日本語を学び始めたらこのアプリを使い始めました。)</p> <p>28-A10:就是 2017 年 9 月 17 号，那个时候开始的。</p> <p>(28-A10:9 月 17 日です。このときからです。)</p> <p>48-A11:是在去年入学十月份开始，就是在开学，日语课开始上课之后，就是正在学五十音图的那个期间，这样。[后略]</p> <p>(48-A11:去年、入学して 10 月からです。学期が始まって、日本語の授業が始まって、五十音図を学ぶ間です。[後略])</p>
<p>理論的メモ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 利用開始時期: 大学に入る前の夏休みの間、大学に入って日本語を学び始めたとき ➤ 利用終了時期: 授業で該当する内容の学習が終わった頃

分析ワークシート 10

<p>概念名</p>	<p>概念 10 〈使用的频率〉 概念 10 〈利用の頻度〉</p>
<p>定義</p>	<p>受訪者在使用该软件过程中的使用频率。 (インタビュー協力者が該当のアプリを利用している間の利用の頻度。)</p>
<p>ヴァリエーション</p>	<p>80-A1: 嗯, 就开始学的时候可能就每天都在使用。然后把通篇学下来以后, 那可能就只会去, 可能就比如说周末回去听一听它。 (80-A1: はい、新学期が始まったまもないごろは、毎日使っていました。一通り勉強してから、例えば、週末だけ少し聞くことになりました。)</p> <p>46-A2: 开学之前的话, 是, 当时, 一周, 一周就一两次吧。</p> <p>47-Z: 嗯。那开学之后, 就是你正式被录取之后, 那你这个, 我想也在上日语课, 那那个时候, 在课外的时候, 是什么样一个频率在用这个软件的呢? 48-A2: 当时课外是每天都会用。 (46-A2:学期が始まる前なら、はい、当時は、週に、週に一回か二回ですね。)</p> <p>47-Z:はい。学期が始まってから、つまり正式に大学に入学してから、当時は日本語の授業も受けていると思いますが、そのとき、教室外で、どのような頻度でこのアプリを使っていましたか? 48-A2: 当時、教室外では毎日使っていました。)</p> <p>42-A3: 只要有时间就用吧, 那段时间(10月多一点点)用的挺多的。大概几乎天天都有在看 (42-A3:時間があれば使っていましたね。そのとき[10月ちょっとすぎたころ]けっこう使っていました。ほぼ毎日見ました。)</p>

	<p>58-A4: 嗯，也不是特别多吧。每星期大概，大概，就是要背的时候才拿出来看一下。就是，就是在那个上课那天的前一天，前两天会看一下。</p> <p>(58-A4: うん、頻度はそんなに多くなかったですね。一週間に、たぶん、暗記する必要があるときに見ます。授業の前日か、2 日前に少し見ます。)</p> <p>26-A6: 当时（暑假）的使用频率啊。就是好像我自学效率蛮低的，就是大概一个多星期吧。就是每天打开了看一看，后来就没有怎么看过了。比如说有些什么事情，比如说出去玩，和同学一起，就不会去看了。</p> <p>27-Z: 那也就是说你下下来之后，就差不多只用了一个星期之后，就差不多不用了这样一个状态吗？</p> <p>28-A6: 不是，我指的是连续使用的时间。大概一个多星期，后来可能去玩，后来想起来可能再打开一下。不是不用。</p> <p>29-Z: 就是之后频率变得很少这种状况吗？</p> <p>30-A6: 对。</p> <p>(26-A6: 当時〔夏休み〕の利用頻度ですね。私は独学の効率が低いです。一週間ぐらいでしょう、毎日アプリを使って少し見て、そのあとはあまり見ませんでした。何か用事ができて、例えばクラスメートと一緒に遊びに行ったりしたら、見なくなりました。</p> <p>27-Z: ダウンロードして、一週間ぐらい使ってから、使わなくなったという状態ですか？</p> <p>28-A6: いいえ、連続的に使う時間を指しています。それはだいたい一週間ぐらいです。その後は、遊びに行ったりして、思いついたらアプリを開いて見ました。利用しなくなったというわけではありません。</p> <p>29-Z: つまり、利用の頻度が少なくなったという状況ですか？</p> <p>30-A6: そうです。)</p> <p>40-A8: 嗯，是。就是一开始学的时候会频繁一点，差不多每天都用，然后后来就是三四天嘛。</p>
--	---

	<p>(40-A8:うん、はい。学びはじめた頃は頻繁に使いました。ほぼ毎日使っていました。そのあとは、三、四日になりました。)</p> <p>32-A10: 頻率，就是。每天几个几个地过吧。就它不是有闯关的嘛，一轮一排，然后五个的那个，然后就每一天，每一天或一天到两天的时候就轮一下。也不太确定，就是闯关，闯了两三关，有的时候就放下了。因为课比较少然后比较难。</p> <p>(32-A10:頻度ですね、毎日何個かクリアしますね。そのアプリは前の方をクリアしないと次に進まないでしょう。1行が1ラウンドで、5個の五十音があります。だから、1日、あるいは2日ごとに1ラウンドをクリアします。はっきり覚えていませんが、クリアして、2、3ラウンドをクリアしたら、時々ほっときました。授業は少ないし、内容も難しいから。)</p>
理論的メモ	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 夏休み中の利用と大学に入学した後の利用 ➤ 頻度が減少傾向

分析ワークシート 11

<p>概念名</p>	<p>概念 11 〈具体时间段〉 概念 11 〈具体的な時間帯〉</p>
<p>定義</p>	<p>受访者具体使用该软件的时间段。 (インタビュー協力者が該当のアプリを利用する具体的な時間帯。)</p>
<p>ヴァリエーション</p>	<p>43-Z: 那大概是每天的什么时候在看呢? 44-A3: 吃饭的时候, 然后下课, 然后有些时候在外面, 坐公交车的时候, 都是比较碎的时间。 (43-Z: 毎日いつアプリを見ますか? 44-A3: ご飯を食べているとき、授業後、それから外にいて、バスに乗っているときなど、断片的な時間ですね。)</p> <p>46-A4: 一星期大概就学一行两行这样子吧。然后平时零碎的时间都可以看一下嘛。排队啊, 或下课之后。 (46-A4: 一週間に一行か二行ぐらい勉強しましたね。普段、まとまった時間がないときは少し見ますね。列に並んでいるときとか、授業後とか。)</p> <p>38-A7: 一般是晚上熄灯之前, 然后大概每天用个 20 到 30 分钟的样子。还有一个是在上课之前, 之前大概有 10 分钟的时间, 去温习一下以前学的比如说那些五十音图。 (38-A7: 普通は、夜消灯する前、だいたい毎日 20 から 30 分ぐらい使いました。それから授業の前に、10 分ぐらいの時間があるから、以前習ったたとえば五十音図を復習しました。)</p> <p>32-A8: 一般就是老师上课之前我会先看一点吧。但是不太懂, 然后等老师讲解了之后, 再用这个复习, [后略]。 (32-A8: 先生が授業をする前に少し見ましたね。でもよく分からなかったら、先生が解説してから、これを使って復習しました。[後略])</p>

	<p>52-A11: 白天上课，然后在中午闲暇的时候，或者是晚上准备睡觉之前，就打开来使用一下。</p> <p>(52-A11: 昼間に授業を受けて，お昼の休みのとき，あるいは夜寝る前に、アプリを開いて使いました)</p>
理論的メモ	断片的な時間帯

分析ワークシート 12

<p>概念名</p>	<p>概念 12 〈使用方式〉 概念 12 〈利用の仕方〉</p>
<p>定義</p>	<p>受訪者が使用该软件时具体的使用方式。 (インタビュー協力者が該当のアプリを利用する間の具体的な利用の仕方。)</p>
<p>ヴァリエーション</p>	<p>49-Z: 哦。那具体是一个怎么样的使用方式呢? 50-A2: 就是在图书馆的时候, 只要是在学习就基本上打开软件, 就算(自己)不发出声音也要听, 那样的。 51-Z: 嗯。还有就是一边听然后还一边动手在纸上写这样的一个状况对吗? 52-A2: 对对对。 (49-Z: はい、具体的にどのような使い方をしましたか? 50-A2: 図書館にいるとき、勉強しているならば、アプリを開いて、たとえ〔自分が〕発声しなくても、発音を聞きます。 51-Z: はい。それから、聞きながら紙に書いたりしましたか? 52-A2: そう、そう、そう。)</p> <p>45-Z: 你刚才说就是你在使用这个软件之前的时候, 是用笔和纸在记五十音图。然后在你下载了这个五十音图之后, 你只用了这个五十音图软件, 还是继续在纸上写。 46-A3: 纸笔没用了。 47-Z: 就是一直用这个五十音图在学么? 48-A3: 对对对。 (45-Z: 先ほど、このアプリを使う前に、ペンと紙を使って、五十音図を覚えていたと言いましたね。この「五十音図」をダウンロードしてから、これだけを使いましたか、それとも引き続き紙に書いたりしましたか?) 46-A3: ペンと紙を使わなくなりました。</p>

	<p>47-Z:ずっとこの「五十音图」で勉強したということですか？</p> <p>48-A3:そう、そう、そう。)</p> <p>60-A4:就是五十音图的那个软件也会用。然后我也会在知乎软件上面搜一些，就是相关的背的方法。</p> <p>[中略]</p> <p>72-A4: [前略] 就是，就是当那个记忆的方法不太适合我的时候，我就会去知乎上再看看（其他方法）。就是每个音他们都有不一样的记法嘛。</p> <p>(60-A4:「五十音图」というアプリも使っていましたが、「知乎」というアプリで、暗記の仕方などに関するものを探しました。</p> <p>[中略]</p> <p>72-A4: [前略] ええと、その記憶の方法が自分に合わないとき、「知乎」で [他の方法を] 探してみました。各音は違う記憶の方法があるでしょう。)</p> <p>47-Z: 哦，好的。那你当时的具体的使用方式是什么样的，你是只用这个五十音图在学呢？还是说你还配合了一些其他的形式在学呢？</p> <p>48-A8: 我可以，别的 APP 也在用吗？</p> <p>49-Z: 可以，你当时还用了些什么样的 APP 呢？</p> <p>50-A8: 就是我们学的就是那个标准日语的那册书嘛。然后根据它书上也有一个同样的 APP，和那个书相关的，和书本内容相关的，也叫标准日语。</p> <p>[中略]</p> <p>57-Z: 嗯，好。就是类似于你在用这个软件之外，你还用了其他的一些软件，也在一起使用这种感觉对吗？</p> <p>58-A8: 嗯。</p> <p>(47-Z: はい、分かりました。当時、具体的な利用の方法はどんな感じでしたか。「五十音图」だけを使って勉強していますか。それとも他の何かと一緒に勉強しましたか？</p>
--	--

	<p>48-A8: 他のアプリも一緒に使っていたと言っていいですか？</p> <p>49-Z: はい、当時他にどのような APP を使いましたか？</p> <p>50-A8: 標準日本語という本を勉強していましたね。その本には付属のアプリがあって、本と関連して、本の内容と関連して、名前も標準日本語です。</p> <p>[中略]</p> <p>57-Z: うん。はい。この〔五十音図の〕アプリを利用する以外に、他のアプリも利用したということですか？</p> <p>58-A8: はい。)</p> <p>48-A9: 那个时候就是大概就是，先看书本自己读一遍，然后跟，就是有一些不是特别会读的，然后看着它，就是它的那个 APP 有一些发音，然后就不再跟着它写嘛。大概是这样子。</p> <p>(48-A9: そのときは、まず自分で本を読んで発音して、うまく発音できないものがあれば、アプリには発音があって、それを聞いて、書いたりしました。こんな感じです。)</p> <p>36-A10: 也会写。当时老师也在教嘛，然后就，老师们发的也有那些视频啊。然后什么 bilibili 啊，然后就看啊，看就是那些相关的那些动画啊。</p> <p>[后略]</p> <p>(36-A10: 書いたりしました。当時、先生も教えていますし、それから、先生たちは動画を配布していました。それから、bilibili もあって、そのサイトで関連の動画を観たりしました。[後略])</p> <p>56-A11: 因为它的功能是书写，书写顺序还有发音。所以说用的时候一边跟着发音一边用笔写。</p> <p>(56-A11: その機能は書く、書き順、発音などだから、使うときは発音を聞きながら、ペンで書きます。)</p>
--	---

	<p>54-A12: 也会在本子上写一写吧。我觉得写下来可以帮助记忆吧。</p> <p>(54-A12: ノートに書いたりしたこともありました。書いた方が覚えるのに役に立つと思います。)</p>
理論的メモ	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 伝統的な学習方法と合わせて利用するパターン ➤ 他のアプリなどと同時に利用するパターン ➤ 該当アプリだけを利用するパターン

分析ワークシート 13

<p>概念名</p>	<p>概念 13 〈不使用的原因〉 概念 13 〈利用しなくなる原因〉</p>
<p>定義</p>	<p>受訪者在使用了该软件之后，逐渐不使用的原因 (インタビュー協力者が該当アプリを使って、利用しなくなる原因。)</p>
<p>ヴァリエーション</p>	<p>36-A5: 开学之后，就是不是后来就五十音学完之后就学单词了嘛。后来好像就没用了。 (36-A5:新学期が始まってから、五十音が終わってから、単語を勉強するでしょう。そのあとは使いませんでした。)</p> <p>88-A8: 因为那个时候都在学课文那些单词什么的，每天都要记单词。就是那个学期，你感觉那些(五十音)你都掌握的都比较牢固了，然后记单词记记啊背背，然后经常有些就感觉特别熟悉了，然后就不需要重复拿这个 APP 来帮你记这些单个的发音啊什么的。 (88-A8:そのとき、文章にある単語などを勉強して、毎日単語を覚えなければなりません。[五十音を] しっかり習得したと感じて、単語を覚えたりして、慣れてきました。繰り返しにこのアプリを使って各発音を覚える必要がなくなりました。)</p> <p>61-Z: 那你刚才说它没有很好的达到你的预期效果。那你觉得就是这个，这个也是最后影响到你不用它的一个原因吗？</p> <p>62-A9: 一个是这个原因吧，还有一个就是后面学，就是课文的话，就是五十音图感觉去复习的不多了。因为就是要专注一些课文单词，背的也比较多。这样子的。 (61-Z: 先このアプリは自分が期待した効果を發揮していないと言いましたね。これはあとこのアプリを使わなくなった原因の一つですか？)</p> <p>62-A9:原因の一つはそれですね。もう一つは、あと文章を勉強すると、五十音図を復習することが少なくなったと思います。文章の単語に集</p>

	<p>中して、覚えることが多いから。ですね。)</p> <p>60-A10: 大概是在十二月份, 十一月份左右吧。因为那个时候, 我, 就是五十音图什么, 都已经基本上知道了。都在接触一些短语啊, 就是句子啊, 就没太用它。</p> <p>(60-A10: たぶん十二月、十一月ごろですね。そのとき、五十音図についてはほとんど知っていました。短いフレーズやセンテンスなどを勉強することが多いから、あまり使わなくなりました。)</p> <p>48-A11: [前略] 然后我们进入新的学习阶段之后, 这个软件就没有再怎么用了。</p> <p>(48-A11: [前略] 新しい段階の学習に入ってから、このアプリをあまり使わなくなりました。)</p>
理論的メモ	新しい段階の学習に入ったから利用しなくなった。

分析ワークシート 14

<p>概念名</p>	<p>概念 14 〈期待的達成〉 概念 14 〈期待の達成〉</p>
<p>定義</p>	<p>在使用该软件之后，受访者认为该软件是否达成了当初使用前的期待，具体又是哪些部分达成。</p> <p>(該当のアプリを利用した後、インタビュー協力者が利用する前の期待を達成できたかどうか、具体的にどのような部分が達成できたか。)</p>
<p>ヴァリエーション</p>	<p>54-A1: 应该说是算达到了吧，但是我觉得就是说不止是靠 APP 的这种，就是作用嘛。因为就是你单纯的依靠 APP 我觉得其实是一件蛮耗时间的东西，因为它有些时候就会让你无意义地去重复。</p> <p>(54-A1:達成できたと言えますね。でも、このアプリだけによる効果ではないと思います。アプリだけに頼ると、けっこう時間かかりますから、時々無意味に同じことを繰り返してやらされますから。)</p> <p>62-A2: 嗯，算达到了吧。就让我记牢了嘛，然后也让我就是，就是，就是，让我方便一点记忆。然后碎片化时间也利用的比较好。</p> <p>(62-A2:はい、達成できましたね。しっかり覚えさせてくれましたね。それから、その、その、便利に記憶させてくれました。それから、断片的な時間の利用もよかったです。)</p> <p>51-Z: 那使用之后你觉得它达到了你预期的效果吗？</p> <p>52-A3: 有。</p> <p>53-Z: 具体是哪些方面呢？</p> <p>54-A3: 就是零碎时间一直看一直看，它会让我方便的记住，不用整理出大把时间，很枯燥的坐在那个地方背。平时没事情看看就随便记住了，那就最好了呀。</p> <p>(51-Z:使ったあと、期待した効果が達成されたと思いますか。)</p> <p>52-A3: はい。</p> <p>53-Z: 具体的にはどんな面ですか？</p>

	<p>54-A3:まとまった時間がないときに見て見て、便利に覚えさせてくれました。多くの時間を空けて、ただ座って無味乾燥に覚えなくてもいいです。普段、暇なときに見て覚えられるなら、これに越したことはないでしょう。)</p> <p>74-A4: 嗯，算是达到了吧</p> <p>75-Z: 你可以具体跟我讲它达到了哪些吗？</p> <p>76-A4: 就是我能比较牢固的记住它们（五十音），然后也可以比较流利地写出来，就是写的时候不会卡壳这样子</p> <p>(74-A4: はい、達成できたでしょうね。</p> <p>75-Z: 具体的になにが達成できたか説明してもいいですか</p> <p>76-A4: [五十音を] しっかり覚えることができました。そして、スムーズに書くこともできて、書くときに滞ることがないということです。)</p> <p>46-A5: 嗯，还可以。</p> <p>47-Z: 这个还可以可以讲的更具体一点吗？</p> <p>48-A5: 就是入门的话，就，就它的写法和读音的话，我觉得肯定是不够的，但因为它这个软件就叫五十音嘛。</p> <p>49-Z: 嗯。</p> <p>50-A5: 好像有其他的功能。但我后来没有点开来看。好像有那种视频，教学什么的。其他的我没点开来看。</p> <p>(46-A5: はい、まあまあです。</p> <p>47-Z: もうすこし具体的に説明してもいいですか？</p> <p>48-A5: 入門ならば、このアプリの書き方と読み方では、足りないと思います。でも、このアプリの名前も五十音でしょう。</p> <p>49-Z: はい。</p> <p>50-A5: ほかの機能もあるらしいですが、開いて見ませんでした。ビデオとか、レッスンとかもあるらしいが、タップして見ませんでした。)</p>
--	--

56-A7:基础学习还是有的,那个比如说它不能搜索单词,这个的话感觉还是需要改进一下。因为不管怎么说,日语学习虽然基础也是很重要,但是是一些单词搜索,一些基础的单词搜索应该具备。

(56-A7:基礎的な学習はありました。でも、たとえば単語を検索できなくて、これはすこし改善する必要があると思います。なにしろ、日本語の学習は基礎も大事ですが、単語の検索など、基礎的な単語の検索の機能も備えるべきだと思います。)

64-A8: 其实也不能说完全达到吧。就是有些东西还是会忘记的。不过很奇怪的是,就是一开始学的时候嘛,就会让你记得很牢,但是当你全部都学会了之后,你会觉得你再复习的时候,好像都似曾相识,都学过了。但是还是有些总是会忘记。这个我也不清楚。

(64-A8:完全に達成できたとは言えないですね。忘れるものがあります。おかしいことに、学び始めた頃はね、しっかり覚えさせてくれました。しかし、全部習得して、復習するとき、見たことがあるような、勉強したことがあるようなと感じますね。なにかがいつも忘れてます。これについてはあまり分かりません。)

56-A9:我感觉就是没有特别达到吧。因为就是感觉,就是因为可能不是读的特别多嘛。就是你后面,我感觉就是在读单词的时候没有特别注重那个发音了。就是你读的时候,可能说只是说大概读对了就好了,就是没有注重你的发音到底要有多标准,这样的。

(56-A9:あまり達成できなかったと思います。たぶんたくさん発音しませんでしたから。そのあと、単語を読むとき、発音が重視していなくて、つまり、読むとき、発音がだいたい合っていればいいということです。)

42-A10:算是达到了吧,因为其实也是当一个辅助吧。因为毕竟还是靠老师这边教,自己也练习啊,练习下来的。所以应该效果还是有的。

	<p>(42-A10:達成できましたね。補助として使いましたから。なんといても、先生が教えて、自分も練習して、習得しましたから。効果はあると思います。)</p> <p>64-A11:嗯，我觉得是达到了。因为它大部分〔的内容〕都是非常有效的促进了我当时记忆的，就是程度还有有速度。</p> <p>(64-A11:はい、達成できたと思います。このアプリの大部分〔の内容〕は当時の記憶の程度とスピードを非常に効果的に促進してくれましたから。)</p> <p>65-A12:达到了吧，在开学之前就把它记齐了。</p> <p>(65-A12:達成できましたね。学期が始まる前に全部覚えました。)</p>
<p>理論的メモ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 達成できた人もいれば、達成できなかった人もいる、その原因は？ ➤ 利用前の期待との関連？

分析ワークシート 15

<p>概念名</p>	<p>概念 15 (推薦の対象) 概念 15 (推薦の相手)</p>
<p>定義</p>	<p>在使用该软件之后，受访者已经或者可能推荐的对象。 (該当のアプリを利用した後、インタビュー協力者が勧めたまたは勧める可能性がある相手。)</p>
<p>ヴァリエーション</p>	<p>62-A1: 嗯，呃，呃，想推荐的人那一般就是，就是如果把这个软件推荐给别人，我觉得就是和我相同的状况，他基础肯定是比较差的嘛。或者说是想要去巩固。[后略] (62-A1: うん、ええと、ええと、勧めたい相手は、もしこのアプリをほかの人に勧めるとしたら、自分と同じような状況で、その人は基礎があまりよくない、あるいは基礎をしっかりしたい人だと思います。)</p> <p>40-A6: 我给我一个不是日语专业在别的学校的同学推荐过。因为它就是像我说的内存比较小，然后界面简单，然后挺好用的。对于一个就是没有接触过的一个初学者来说，我觉得它是一个挺好的入门方式。 (40-A6: 日本語専攻ではないほかの学校にいる同窓に勧めました。このアプリは私が言ったようにサイズが小さくて、インターフェイスも簡潔で、とても使いやすいです。日本語に触れたことがない初心者にとっては、とてもいい入門の方法です。)</p> <p>58-A7: 会的。我有一个朋友是其他专业的，她说她之后想辅修一门日语。问我有什么可以学习的那些软件啊。我就把这个基础的五十音图推荐给她。 (58-A7: はい。友達がほかの専攻で、彼女はこれから日本語を副専攻として学びたくて、私になにか学習アプリがあるかと聞きました。この基礎の「五十音图」を勧めました。)</p>

	<p>74-A8:会啊，我见到同学，我有时候就会说。</p> <p>(74-A8:はい。クラスメートとあったとき、時々言いますね。)</p> <p>64-A9:应该是会的吧。就是对初学者的话，如果是已经学过的就不一定会推荐了。</p> <p>(64-A9:勧めると思いますね。初心者なら勧めますが、すでに習った人なら勧めません。)</p> <p>46-A10:推荐的话，到目前好像没有推荐过，因为周围，周边的同学们，都好像，都有好像有一些就是那个，跟我不一样水平。就是他们之前可能接触过了，用的可能不一样。所以就没有那个（推荐）。</p> <p>47-Z: 那假如说是你的那些后辈啊，你会去推荐他们吗？</p> <p>48-A10: 那当然会的，因为如果完全没有基础的话，我觉得这个还是可以的。就是这个（五十音）像拼音一样嘛。所以我觉得会推荐的。</p> <p>(46-A10:勧めについて、いままでまだ勧めたことがないです。周り、周りのクラスメートは、たぶん、たぶん何人かは、私のレベルと違って、彼らたちは前にすでに日本語に触れたことがあって、他のアプリを使っていたかもしれません。だから、〔勧め〕しませんでした。</p> <p>47-Z: 後輩たちになれば、彼らに勧めますか？</p> <p>48-A10: もちろんですね。もし完全に何の基礎もなければ、このアプリはいいと思います。この〔五十音は〕ピンインみたいなものでしょう。だから、勧めると思います。)</p> <p>70-A11:嗯，会推荐，然后之后我的室友们她们也下载了这个软件，都是基本上大家好几个同学都用了这个软件来学，都挺好的。</p> <p>(70-A11: うん、勧めますね。ルームメートたちもこのアプリをダウンロードして、みんな、何人かがこのアプリで勉強して、よかったです。)</p>
--	---

	<p>68-A12:大家都有自己的选择吧。我不会特别去推荐。</p> <p>69-Z: 那假如说你的后辈问你有什么, 那个, 那个, 软件的话。你会去推荐它吗?</p> <p>70-A12: 会的。</p> <p>(68-A12:みんな自分の選択があると思いますね。特に勧めはしません。</p> <p>69-Z: もし後輩に何か、その、その、アプリがあるかと聞かれたら、このアプリを勧めますか?</p> <p>70-A12:はい。)</p>
<p>理論的メモ</p>	<p>他の専攻の同窓、友達、ルームメート、クラスメート、日本語の初心者、後輩に勧める</p>

分析ワークシート 16

<p>概念名</p>	<p>概念 16 〈向其他人推荐的内容〉 概念 16 〈他人への勧めの具体的な内容〉</p>
<p>定義</p>	<p>在使用该软件之后，受访者已经或将来会向他人推荐的内容。 (該当のアプリを利用した後、インタビュー協力者がすでにまたは今後^に他人へ勧める内容。)</p>
<p>ヴァリエーション</p>	<p>62-A1: [前略] 那我就跟他讲这个软件就是专注于这一点(五十音)的。然后它就是，它就是操作起来还是比较简单的。就，然后也没有说需要，呃，购买增值的服务。 (62-A1: [前略] 彼らにこのアプリは〔五十音〕一つに集中したもので、そして、操作も簡単で、そして、有料のオプションを買う必要もありません。)</p> <p>66-A2: 我就说我当时用的就是五十音图，然后我觉得还挺好用的。 (66-A2: 当時私も「五十音图」を使って、とても使いやすいと言います。)</p> <p>82-A4: 他们在背五十音图的时候，我会说，那你可以下一个软件来，然后，然后就是平时随便什么时候，零碎的时间都可以拿出来看一看。然后这样会记得更快 (82-A4: 彼らが五十音図を覚えているとき、「アプリをダウンロードして、そして普段いつでも、まとまった時間がないときなどアプリを開いてみて、この方が速く覚えられます」と言います。)</p> <p>76-A8: 我一般会说有个 APP 叫五十音图，然后它就可以教你比较快的把那些发音啊，那种写法记住，都很简单。 (76-A8: 「「五十音图」というアプリがあって、発音や書き方を速く覚えさせてくれます。全部とても簡単です。」と言います。)</p> <p>74-A11: 就是，我们都有共同的目的学习这个五十音图嘛，所以我肯定首先跟他说，这个促进了我的学习进度，所以也推荐他试试看，然后他试了之后也会知道它的某些好处，所以就推荐成功了。</p>

	<p>(74-A11: 五十音図を勉強するという共通の目的があるでしょう。だから、先にその人に「このアプリは私の学習のスピードをアップしてくれましたから、試してみたほうがいい」と言います。そして、その人が試してみたらアプリの何かのいいところを知るから、勧めが成功します。)</p>
<p>理論的メモ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ A1 アプリに関する詳細な情報 ➤ A4、A8 アプリで得られる効果について ➤ A2、A11 体験談

分析ワークシート 17

<p>概念名</p>	<p>概念 17 〈卸载和不卸载的理由〉 概念 17 〈アンインストールする/しない理由〉</p>
<p>定義</p>	<p>受访者卸载以及不卸载该软件的理由。 (インタビュー協力者が該当のアプリをアンインストールする/しない理由。)</p>
<p>ヴァリエーション</p>	<p>73-Z:没有在使用，但是它还保留在你的手机里吗？ 74-A1:嗯，是的。 75-Z:就类似于存在手机里，但是基本上之后就不动了，不用了。这个状况对吗？ 76-A1:对，基本不太使用。但是如果说有时候就觉得发音比较忘记了或者是比较奇怪，然后可能就会去再打开它再去听一下。 (72-A1:いまはもう使っていません。 73-Z:使っていません。しかしまだスマホにおいていますか？ 74-A1:うん、はい。 75-Z:まだスマホにおいていますが、基本的に触らない、使わないような状況ですか？ 76-A1:はい。 76-A1:はい。ほとんど使いませんが、発音を忘れたときや発音がおかしいとき、またアプリを開いて聞きます。) 76-A2:就是把五十音图记牢之后就卸掉了。 [中略] 79-Z:就是类似于你已经学完五十音图，你已经掌握了五十音图，然后你觉得这个就达到了它的功效。然后你就把它给删了对吗？ 80-A2: 嗯，对。 (76-A2: 五十音図をしっかりと覚えてからアンインストールしました。 [中略])</p>

79-Z:五十音図の勉強が終わって、それを習得して、このアプリはその役割を果たしたので、それをアンインストールしましたか？

80-A2: うん、はい。)

66-A3: 我把五十音图全部背清楚了就删了。

(66-A3: 五十音図をはっきり覚えてからアンインストールしました。)

88-A4: 因为我已经学完五十音图了，它对我没什么价值了。

(88-A4: 五十音図の勉強が終わって、このアプリは私にとってあまり価値がないから。)

66-A7: 一个是室友就是推荐了对以后学习更加有帮助的几个 APP 嘛。然后就是觉得基础来说自己掌握的也还行。基础方面也不怎么需要了，就把它给卸掉了。

(66-A7: 一つの原因はルームメートがこれからの学習にもっと役に立つアプリを勧めてくれたから。それから、基礎については自分がまあまあ習得できたと思います。基礎についての勉強は必要ないから、アンインストールしました。)

70-A9: 就是那个时候，就是因为刚刚学完，已经学完五十音图啦。然后就是开始学课文，然后不是要背单词嘛。刚好它那个跟课文配套的标准日本语（软件）里面，就是有一些单词，还有课文里面的语法都有，然后就用那个软件。然后五十音图就是学完的话，我看它不用了，然后就把它删掉了。因为那个标准日本语里面，就是前面，它也有五十音图。就是这样子。

(70-A9: そのとき、五十音図を勉強し終わったばかり、すでに勉強し終わりました。本文などを学んで、単語を覚える必要があるでそう。ちょうど本文の内容とセットになっている標準日本語〔アプリ〕の中で、単語があつて、本文の中の文法もあるから、それを使うようになりまし

	<p>た。五十音図は勉強済みで、あまり使っていないくて、アンインストールしました。標準日本語の中でも、前半の内容には、五十音図があるから。以上です。)</p> <p>76-A11: 没有了，因为我现在已经到了大一下学期，五十音图的记忆已经比较熟悉了。然后功能，也因为它的功能太单一，所以留在手机里面，用处不大，我就把它删除了。</p> <p>(76-A11 使っていません。いまもう一年生の下半期だから、五十音図は記憶して慣れてしています。それから、アプリの機能はとても単一だから、スマートフォンにおいても、あまり役に立たなくて、アンインストールしました。)</p> <p>89-Z:那你现在这个手机里，还保存着这个软件吗？</p> <p>90-A12: 嗯，是的。</p> <p>91-Z: 那你为什么还会把它保存在那里呢？</p> <p>92-A12: 因为手机内存够用。</p> <p>(89-Z:スマホに今でもこのアプリをおいていますか？</p> <p>90-A12: うん、はい。</p> <p>91-Z: なぜまだおいていますか？</p> <p>92-A12:スマホのストレージはまだ余裕がありますから。)</p>
<p>理論的メモ</p>	<p>する理由：</p> <p>アプリ内の内容を学習したため、その価値を感じない</p> <p>ほかのアプリの利用への移行</p> <p>いままでの利用したアプリの利用の頻度の減少</p> <p>アプリの機能の単一性</p> <p>しない理由：</p> <p>復習するため、スマートフォンのストレージは余裕がある</p>

分析ワークシート 18

<p>概念名</p>	<p>概念 18 〈有关优点的评价〉 概念 18 〈良い点についての評価〉</p>
<p>定義</p>	<p>在使用该软件之后，受访者对该软件的优点的评价。 (該当のアプリを利用した後、インタビュー協力者がそのアプリの良いところについての評価。)</p>
<p>ヴァリエーション</p>	<p>58-A2: 我觉得还蛮好用的。然后平时课本那么沉，然后不带课本就可以直接拿出手机用，也挺方便的 [中略] 84-A2: [前略] 然后当然对于初学者来说还是挺好用的。[后略] (58-A2: とても使いやすいと思います。普段、教科書は重くて、教科書を持たなくてもスマートフォンを出せば勉強できて、とても便利です。 [中略] 84-A2: [前略] 初心者にとってはとてもいいです。[後略]) 92-A4: 做的挺好的，挺人性化的，没有广告。 (92-A4: よく制作されて、ユーザーフレンドリーで、広告などありません。) 54-A5: 感受的话就是比较简单，比较好用吧。 (54-A5: とても簡単で、使いやすいと思いますね。) 54-A6: 我觉得它就是一个比较适合于初级，比较基础，然后用起来确实对初学者，怎么说呢，就是使用起来挺方便的一个软件。 (54-A6: 初級に合う、基礎的なアプリだと思います。そして、確実に初心者にも、なんとさえいいたいだろう、つまり、利用はとても簡単なアプリです。) 50-A7: 对于刚开始入门吧，我觉得这个软件还是不错的。因为之前也提到</p>

它关于口型的问题，这个就是可以调整，就是调整，纠正我的发音。然后再结合老师上课讲的一些注意点，就可以很好的，首先发音也可以发的标准了。这个挺好。然后它那个每日一句日语，这个设计也是不错的。因为它每日的那句日语就是偏向生活方面的。就这些。

(50-A7:入門の人には、このアプリはいいと思います。先も〔発音の〕口の形の話をしました。このアプリは調整でき、調整、私の発音を直すことができます。そして、授業で先生が教えた注意点と合わせれば、よく、まず発音も正しくできるようになりました。この点はよかったです。それから、アプリの中の毎日日本語のセンテンスを一つ提示する、というデザインもよかったです。そのセンテンスは生活に近いから。以上です。)

74-A7: 就是对入门还是有很好的帮助。

(74-A7: 入門にはとても役に立ちます。)

90-A8:评价，比较有趣吧。然后效率也挺高的。

91-Z:那这个有趣具体是指什么呢?

92-A8:就是，比如，让我想想。其实我也说不太上来，就是比如说它那个はひふへほ那个ふ，它给你画了一只小猫，然后把它那个猫耳朵里一标，就是那个ふ的那个片假名嘛，然后就有点像，然后一只小小的猫，你就看到它耳朵那里被标出来，然后就可以联想到它那个片假名，就是感觉比较容易记吧，就这种挺有趣的。

(90-A8:評価は、とても面白かったですね。そして、効率もよかったです。)

91-Z:面白いとは具体的に何を指しますか?

92-A8:それは、例えば、少し考えさせて下さい。はっきり言えないですが、例えば、「はひふへほ」のふ、アプリでは、子猫の絵かがれていて、猫の耳のところで表示して、それはふの片假名でしょう、似ていますね。小さい猫で、耳のところで印が付けられていて、その片假名に連想

	<p>できます。とてもおぼえやすかったと思いますね。とても面白かったです。)</p> <p>54-A9: 感受我就觉得对初学者来说还是挺有用的吧。因为那个虽然后续, 不太, 就是有发展。但初学者的话记得还是挺牢的。</p> <p>(54-A9:初心者には役に立つと思いますね。このアプリは続きがなく、あまり、あとの内容はないです。でも、初心者はしっかり覚えられます。)</p> <p>74-A10:评价的话, 我觉得它对那个完全, 就是初学者比较好。[后略]</p> <p>(74-A10:評価は、初心者にはいいと思います。[後略])</p> <p>80-A11:我的评价是它非常优秀。因为它真的是依照中国学生, 中国人的那种思维习惯, 来很快的记忆了这个五十音图。效果很好。</p> <p>(80-A11:評価はこのアプリはとても優秀なものです。このアプリは本当に中国人の学生、中国人の考え方に従って、速く五十音図を覚えさせてくれますから。効果はとてもいいです。)</p>
理論的メモ	「学習レベル」、「コンテンツ」、「使いやすさ」、「制作」に分ける

分析ワークシート 19

<p>概念名</p>	<p>概念 19 〈有关缺点的评价〉 概念 19 〈良くない点についての評価〉</p>
<p>定義</p>	<p>在使用该软件之后，受访者对该软件的不足的具体评价。 (該当のアプリを利用した後、インタビュー協力者がそのアプリの良くないところについての評価。)</p>
<p>ヴァリエーション</p>	<p>44-A1: 哦，哦，会有。因为就，嗯，有时候比如说，课上它会上的，可能你学的比较快，然后你已经掌握到后面，但是它那里就会一定要求你通关才能去学习后面的。但是其实你就已经想复习后面了，其实然后再从头开始，其实你已经掌握了这些东西再去通关，其实我觉得是蛮浪费时间的。 [中略] 48-A1: [前略] 但是，就是形式太过单一了吧。就是你可以有这种按部就班的，然后你也可以就是新出，另外出一个版本，就是说你可以跳着来的。这样我觉得也是更适合那种巩固的 (44-A1:ええと、ええと、あります。時々、例えば、授業でも教えられていて、早く勉強して、すでに後の内容を習得したが、このアプリならば次の内容に進むために前の内容をクリアしないとイケません。でも、実は多分もう次の内容を復習したいかもしれません。また最初からやり始めて、すでに習得済みの内容をもう一度クリアすることは、時間の無駄使いだと思います。 [中略] 48-A1: [前略] でも、形式はとても単一ですね。「五十音図」のように設定された順番で使うアプリもいいが、新たに、ほかのバージョンも制作して、ランダムで勉強できるようなもの。このようなアプリは習った内容をしっかり覚えることに合うと思います。) 54-A2: 这个，它就是，五十音图它上面显示的一般都是印刷体的，那样的写法。然后老师教的时候，发现跟老师的手写体有很多不太一样。 (54-A2:このアプリは、五十音図で表示しているのは印刷のフォントで、</p>

	<p>そのような書き方です。先生が教えているとき、その多くは先生が実際に手で書いたものと違いことに気づきました。)</p> <p>96-A2: 就是我觉得它基本上对于初学者来说,对日语学习来说有用价值可能也就三四个月就能把五十音图记住了嘛。然后就没什么其他用了。</p> <p>96-A2:初心者にとって、日本語の学習について価値は多分三、四ヶ月で五十音図を覚えることだけだと思いますね。そのあと、ほかにはあまり役に立ちません。)</p> <p>94-A4: [前略] 就是背单词的软件嘛,就跟背英语单词差不多。那我觉得创新嘛,也没什么创新吧。</p> <p>[中略]</p> <p>100-A4: 我觉得它可以再扩展一点吧。嗯,就是,它可以,如果它可以做个更完整版的。就是把日语的学习方法也放进去。就是可以做一些后续的不止是五十音图的东西。</p> <p>(94-A4: [前略] 単語を覚えるソフトでしょう。英単語を覚えると同じようなものです。新しいところについては、特にないと思いますね。</p> <p>[中略]</p> <p>100-A4:もう少し広げたほうがいいですね。うん、つまり、より完全なバージョンを作ればいいです。つまり、日本語の学習方法なども入れて、もう少しあとの学習に関する内容を作成して、ただ五十音図に限るのではありません。)</p> <p>74-A5: 评价的话,就我自己用的话。我感觉就是,就是我自己知道的那些,就感觉它有点过于简单了吧。就那个教教五十音,有读音啥的。就你真的要学日语的话,这个肯定是不够的,起码最好有点单词啥的。</p> <p>(74-A5:評価について、自分が使った経験から言うならば、自分が知っている限り、このアプリは簡単すぎると思いますね。五十音を教えて、発音などがあるだけです、もし本当に日本語を勉強するならば、これだけ</p>
--	---

は足りなくて、少なくとも単語などあればいいと思います。)

80-A5:就是我感觉它这个,它这个软件的名字就有点就是过于简单了。如果是稍微知道一点的人就知道,就是五十音图就是最最那个基本的。可以稍微,比如说就是那个,就是比如说改下名字,比如日语入门,这样。就,它就光五十音的话,有一些稍微知道一点的人,肯定就不愿意下这个了。因为他们肯定就五十音知道一点的嘛。

(80-A5:このアプリの名前は簡単すぎると思います。少し知っている人ならば、五十音図は最も基礎だと知っています。少し、例えばあとう、例えば名前を少し変えて、例えば「日本語入門」のように。五十音だけならば、少し知っている人ならば、これをダウンロードしたくないです。彼らたちは五十音について知っているでしょう。)

54-A6: [前略] 但是,它就是像我说的我学完以后就把它卸载了。它就不是一个长期,就是一个长期使用的软件。功能也就很有限嘛。也就是帮助你学习五十音图。

(54-A6: [前略] でも、言ったように学習し終わってからアンインストールしました。このアプリは長期的に、長期的に利用できるアプリではありません。機能も限られていますね。五十音図の学習にだけ役に立ちます。)

98-A8:就是其是我是觉得它可以在多一些那些,就是那种句子的那些的扩展嘛。就是我只能用它一段时间,不够丰富。

(98-A8:もっとセンテンスなどがあればいいと思います。このアプリを短い期間内でしか使えなくて、内容はあまり豊富ではないです。)

50-A9:就是它有一些那个,就是你自己写的那个时候,感觉不太方便嘛。然后写起来就很奇怪。然后有一些就是,就是读的话,我觉得读还可以,因为都是你点一个,它读一个。选择性比较强。

	<p>(50-A9:このアプリは、自分で書くとき、少し不便だと感じます。書いておかしいです。それから、読むについて、読むのはいいです。タップしたら読んでくれます。選択は自由です。)</p> <p>58-A11:因为我是同时下了好几个，留下了这一个，所以我对它的一些功能都是比较满意的。唯一就是有一点遗憾的就是，它就是单一的仅作为一个五十音图的学习软件来使用，并没有拓展其他的功能。然后它的那些记忆的方法呀什么的，都还是非常的厉害的，我觉得。当然每个人记忆的习惯不一样，它大部分是让我中意它的记忆方式，也有少数的，极少数的部分它的那种记忆有点不恰当，但是这是每个人的体验都是不一样的。</p> <p>(58-A11:私は同時にいくつかのアプリをダウンロードして、最後にこれだけを残しました。だから、このアプリの機能については満足しています。唯一残念なことは、五十音図の学習だけの学習アプリで、ほかの機能はありません。そして、このアプリの記憶の方法とか、とてもすごかったともいます。もちろん人それぞれ覚える習慣が違いますが、このアプリの大部分記憶の方法は気に入ります。もちろん極わずか、極わずかの記憶の方法は適切ではなくて、でも、人の体験はそれぞれ違います。)</p> <p>96-A12:评价，各方面都挺好的，如果可以提供一些比如说主题什么的，让它看起来更舒服一点。</p> <p>[中略]</p> <p>102-A12: 就是界面应该可以自己选择，不是单一的颜色吧。</p> <p>(96-A12:評価は、全部よかったです。でも何か例えばテーマを提供して、もっと見やすくして。</p> <p>[中略]</p> <p>102-A12:インターフェースは自分で選択できて、単一の色ではないことですね。)</p>
理論的メモ	概念 18 と同じように四つに分けて説明する

分析ワークシート 20

<p>概念名</p>	<p>概念 20 〈其他软件的使用〉 概念 20 〈ほかのアプリの利用〉</p>
<p>定義</p>	<p>使用过该软件之后，是否有使用其他的软件以及其理由。 (該当のアプリを利用した後、ほかのアプリの利用の有無と利用の理由。)</p>
<p>ヴァリエーション</p>	<p>81-Z:那你在删了之后，你有再去下一些其他的软件吗？ 82-A2: 嗯，我下了一个标准日本語，那个软件就叫这个。跟我们课本是对接的。然后就可以听课文录音什么的。 (81-Z:アンインストールした後、他のアプリをダウンロードしましたか？ 82-A2:はい、「标准日本語」という名前のアプリをダウンロードしました。教科書とセットになっています。教科書の録音を聞けます。) 71-Z: 那你在不用这个 APP 之后，你还下载了其他的 APP 吗？ 72-A3: 就是很多单词不认识的时候就用那个沪江小 D。其他就没了 73-Z: 这个也是别人推荐你的吗？ 74-A3: 不是，这个是老师推荐的。 (71-Z: このアプリを使わなくなってから、他のアプリをダウンロードしましたか？ 72-A3: 単語が分からないとき「沪江小 D」を使います。他はないです。 73-Z: これは他の人が勧めてくれたものですか？ 74-A3:いや、先生が勧めてくれました。) 86-A4: 对。我现在在用那个，就是教材那本书，它的配套软件。 [中略] 106-A4:嗯，如果我选了日语专业，我就肯定会去下载的。但是我现在没有在学日语专业了。然后就是相当于二外，不是特别重要。然后我</p>

	<p>最近就是没有在下载。但是我觉得，等考试的时候我还是会再下载的。</p> <p>(86-A4: はい。今その、教科書とセットになっているアプリを使っています。</p> <p>[中略]</p> <p>106-A4: はい。もし日本語専攻を選んだら、必ずダウンロードしますね。でも、いまは日本語専攻ではなくて、日本語は副専攻で、あまり重要ではありません。最近はダウンロードしませんでした。でも、試験などのときはまたダウンロードすると思います。)</p> <p>20-A12: 就是那个书配套的。</p> <p>21-Z: 这个是在五十音图之前用的吗?</p> <p>22-A12: 不是，是开始学习那个具体的单词啊，然后句子语法什么的的时候开始的。</p> <p>23-Z: 也就是说这是在使用五十音图之后才开始使用的是吗?</p> <p>24-A12: 是的。</p> <p>(20-A12: 教科書とセットになっているアプリです。</p> <p>21-Z: 「五十音图」を利用する前ですか?</p> <p>22-A12: いいえ、単語、センテンス、文法などを勉強することになったから。</p> <p>23-Z: 「五十音図を利用してから使い始めたということですか?」</p> <p>24-A12: はい。)</p> <p>32-A7: 学习了一段时间之后，就是五十音图也学完了。然后也是室友推荐，下了一些其他的软件。那个时候室友推荐的是沪江开心词场。</p> <p>33-Z: 你继续。</p> <p>34-A7: 她们说那个背单词比较好用，所以就下了那个。</p> <p>35-Z: 你刚才说的是，你用完了这个五十音图之后，你再去下载了另外的 APP 这样的吗?</p> <p>36-A7: 对对。因为那个时候也决定要学习日语了。</p>
--	--

	<p>(32-A7:少しの間勉強してから、つまり五十音図の勉強が終わりました。またルームメートの勧めで、他のアプリをダウンロードしました。そのとき、ルームメートが勧めてくれたのは「沪江开心词场」というアプリです。</p> <p>33-Z：続けてください。</p> <p>34-A7：彼女たちはそのアプリは単語を覚えるのにいいと言ったから、ダウンロードしました</p> <p>35-Z:先言ったのはこの「五十音図」を使い終わってから、他のアプリをダウンロードしましたということですか？</p> <p>36-A7:そう、そう。そのとき、すでに日本語を学ぶと決めたから。)</p>
<p>理論的メモ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「標準日本語」、「沪江小D」、「沪江开心词场」などのアプリの利用へ移行する。 ➤ 日本語専攻かどうかによる学習の必要性

分析ワークシート 21

<p>概念名</p>	<p>概念 21 〈对今后使用的影響〉 概念 21 〈今後の利用への影響〉</p>
<p>定義</p>	<p>本次使用的的经历对受访者今后使用软件学习的影响。 (今回の利用の経験がインタビュー協力者の今後のアプリ利用への影響。)</p>
<p>ヴァリエーション</p>	<p>83-Z:我是说你用软件的这个经历，对你选择其他的一些软件的那些影响。 84-A3: 有的呀，就是经常会想到什么需要用的就直接去搜一下，然后随便选，挑一个试一下，好用就用，不好用就不用。 (83-Z:このアプリを利用した経験は、他のアプリの選択に何か影響。 84-A3:ありますね。何か必要があれば探してみると常に思います。随意に選んで、一つ選んで試して、使いやすければ使う、使いにくければ使いません。)</p> <p>78-A7:还是会的。就是会尽量挑选一些能使用的时间比较长的一些软件。 (78-A7:影響あります。できるだけ利用の時間は少し長めのアプリを探します。)</p> <p>102-A8:就是会，你用别的软件的话，你就会进行一些对比，比如说在它的功能上。像这个标准日语，就他就虽然主要是紧合课本的嘛，但是它也不是很有趣，就是那些东西搬在上面。[后略] (102-A8:他のアプリを利用すれば、何か比較し、例えば機能の面。この「標準日本語」は、教科書と密接に関係しているでしょう、でもあまり面白くなくて、教科書の内容そのままアプリに移っただけです。)</p> <p>82-A9:不会吧，我觉得每个软件都不一样。就是它，现在学习软件特别多，每个软件都有它的特色嘛。不会影响，应该不会影响。因为我下软件特别多，就是不会因为一个软件影响另一个软件。 (82-A9:影響しないでしょう。それぞれのアプリは違います。いま学習のアプリはとても多くて、それぞれ特色ありますね。影響しません、多分影響しません。たくさんアプリをダウンロードしましたから、一つのアプリで他のアプリ</p>

	<p>に影響しません。)</p> <p>82-A10:会吧，就是通过它之后，然后应该会学习其他的比较，就是教你日常的会话啊，什么那种软件。就会换成这种。</p> <p>(82-A10:影響はあるでしょう。このアプリを使ってから、ほかの比較的、つまり日常会話を教えたりするようなアプリを学習します。このようなものに変えます。)</p> <p>66-A11:我肯定是非常感谢这个软件给我带来的帮助，然后也关注了一下这个制作的这个，这个制作者，然后发现他好像没有其他的那种，其他类型的软件可以使用。然后就比较遗憾吧。</p> <p>67-Z: 那假如说你发现了这个作者做了些其他的软件的话，你是不是也有可能就会再去下载其他的那些软件呢？</p> <p>68-A11: 嗯，对的。因为它就是，就像是那种小说，小说家写了好的小说，你肯定关注他的下一部作品之类的感觉。</p> <p>(66-A11:このアプリが役に立ったことに感謝しています。そのあと、これを制作、この制作者を少しフォローして、ほかの、ほかの種類のアプリがないことを知りました。残念ですね。</p> <p>67-Z:もしこの制作者はほかのアプリも作ったと見つけたら、ほかのアプリもダウンロードする可能性はありますか？</p> <p>68-A11:うん、そうですね。アプリは小説のようなもので、小説家がいい小説を書いたら、彼の次に作品に注目するといった感じです。)</p> <p>86-A11:可能是有一点影响的。因为我可能会不由自主的去比较一下两个软件的优劣。</p> <p>[中略]</p> <p>88-A11: 比较之下肯定会，就是本来如果说没有使用这个五十音图，那我下其他的软件可能只是单一地从它给我带来的体验和观感来做评判。但是在使用了那个五十音图之后，因为那是一个优秀的软件，所以说在使用其他软件之后，可能其</p>
--	---

	<p>他软件の体験感，就然我就没有单纯只使用它的那种感觉那么好，因为是有那种比较了嘛</p> <p>(86-A11:少し影響はあるかもしれませんが。思わず二つのアプリの優劣を比較するかもしれないから。</p> <p>[中略]</p> <p>87-A11:比較したら、つまり、もしこの「五十音図」を使っていなければ、ほかのアプリをダウンロードしてそのアプリによる経験と感想で評価します。でも、その「五十音図」を使ってから、ほかのアプリの体験の感想は単にほかのアプリを使うときより、よくないかもしれません。比較があるから。)</p>
<p>理論的メモ</p>	<p>影響する A3、A4、A7、A8、A10、A11</p> <p>影響しない A9</p>

分析ワークシート 22

<p>概念名</p>	<p>概念 22 〈有关使用软件软件的优点的认识〉 概念 22 〈学習アプリ利用の良いところに対する認識〉</p>
<p>定義</p>	<p>受访者对于在课外学习日语时使用软件这一行为的优点的认识。 (インタビュー協力者が教室外で日本語を学習する際にアプリを利用することの良いところに対する認識。)</p>
<p>ヴァリエーション</p>	<p>99-A1: [前略] 他可携带啊。就你如果, 比如说你带着一部手机, 然后你可能想学习了就学。但是如果你带着一本书, 你可能想学啊, 但是你没带书, 你不就是不能学了么。[后略]</p> <p>(99-A1: [前略] 持ち運べます。例えばもしスマートフォンを持っていれば、勉強したければ勉強できます。しかし、本を持って、勉強したいですが、でも本を持っていなければ、勉強できないでしょう。[後略])</p> <p>100-Z: 那你刚才说挺方便, 挺好, 这个到底, 你可以具体和我解释一下吗? 这个方便和好到底指的是哪些东西呢?</p> <p>101-A2: 就是课本天天带着肯定太沉嘛。天天携带就很沉就不方便。但是手机的话就会随身带嘛。就随时, 在等车的时候, 或者坐车的时候。然后随时拿出来听一下, 就很方便。</p> <p>102-Z: 那这些主要指的是方便的一些方面。那好的话你主要指的是哪些具体的内容?</p> <p>103-A2: 好的话我觉得就是你想, 想, 就是重复学习的时候, 你就可以重复学了。然后就是会让你记忆, 记忆的比较频繁, 也比较深刻, 那样的</p> <p>(100-Z:先言った便利といいについて具体的に説明してもいいですか。この便利といいとは何を指していますか?)</p> <p>101-A2: 毎日教科書を持ち歩くと重いでしょう。毎日持ち歩くと重くて不便です。でもスマートフォンなら持ち歩けますね。いつでも、バスを待つときとか、あるいはバスに乗っているときとか、いつでも出して聞いたりして、とても便利です。</p> <p>102-Z: これらは便利についてのもので、いいとは具体的に何の内容を指し</p>

	<p>ますか？</p> <p>103-A2: いいについて、繰り返して勉強したいとき、それができると思います。それから、記憶、記憶の頻度を多くしてくれて、もっと深くなど。）</p> <p>86-A3: [前略] 比如说，拿一个单词出来，就是一个单词跳出来，然后你每天都会出现这个单词，你无聊的时候看看，就记住了。那样最好了。</p> <p>87-Z: 那你觉得课外使用日语学习软件的好处是什么。</p> <p>88-A3: [前略] 好处的话肯定对日语成绩有所提高吧。比如说多记些单词的话肯定对日语的词汇量这些都有增加。然后日语课外学习软件，有些还有读音的嘛。那肯定对你的听力也有些帮助。其他好像没有什么了。</p> <p>(86-A3: 例えば、単語一つ選んで、単語一つが出てきて、毎日同じこの単語が出ます。退屈のとき見て、覚えられます。それは最もいいです。</p> <p>87-Z: 教室外で日本語の学習アプリを利用することの良いところは何だと思いますか？</p> <p>88-A3: 良いところは日本語の成績が上がることです。もっと多くの単語を覚えれば日本語の語彙量の増加にいいです。そして、教室外で使う日本語のアプリは中で発音があるアプリもある。聴解にも役に立ちます。他は特にないです。)</p> <p>115-Z: 嗯，那你觉得它的好处是什么呢？</p> <p>116-A4: 好处，好处就是可以利用零碎的时间来学习。然后就是不用一直在手机上玩啊。可以用手机来学习啊。</p> <p>117-Z: 还有其他的吗？</p> <p>118-A4: 就是很方便啊。不用带书本。</p> <p>(115-Z: うん、良いところは何だと思いますか？</p> <p>116-A4: 良いところ、良いところは断片的な時間を利用して学習できることです。そして、ずっとスマートフォンで遊ぶではなく、スマートフォンで勉強できます。</p> <p>117-Z: ほかはありますか？</p>
--	--

	<p>118-A4:便利ですね。教科書を持たなくていいです。)</p> <p>83-Z:那你觉得它有什么优点?</p> <p>84-A7: 一个是携带方便吧。现在每个人都有智能手机, 然后还有个是, 种类也挺多的, 种类也挺广的。</p> <p>85-Z: 你说的是学习资源的种类吗?</p> <p>86-A7: 对。然后还有就是可以在空余的时间, 可以利用, 学习。</p> <p>(83-Z:どのような良いところがあると思いますか?)</p> <p>84-A7: 一つは持ち運びが便利ですね。今みんなスマートフォンを持っています。それから、種類も多くて、範囲が広いです。</p> <p>85-Z: リソースの種類を言っていますか?</p> <p>86-A7:はい。そして、暇のときを利用して勉強できます。)</p> <p>112-A8: 第一个就是经济上, 你不用特地到专门机构去学。然后就是它比较方便啊, 你随时都可以打开手机来学习。</p> <p>(112-A8:一つは経済の面で、わざわざ専門の機関に行って勉強しなくていいです。そして、便利ですね。いつでもスマートフォンを使って勉強できます。)</p> <p>88-A9: 第一的话就是比较方便嘛, 因为书比较大, 有些时候。第二个是, 可以就是听, 我觉得最重要的就是听吧。因为就是觉得学习外语的话, 其实因为我们就是不是外国人, 就是发音可能都不是特别标准, 就是你可以听它的发音。第三个的话, 我觉得就是可能对你的兴趣也有一点影响吧。就是这样子。</p> <p>(88-A9:第一は便利ですね、本は大きいから、時々。第二は、聞くことができます。最も重要なのは聞くとおもいます。外国語を勉強することについて、その国の人ではないから、発音は正しくないかもしれません。アプリの中の発音を聞くことができます。第三は、興味にも少し影響しますね。以上です。)</p>
--	--

	<p>86-A10:我觉得这个,我觉得很必要有一个这样的〔学习方法〕。就单单的学习日语的话,就很枯燥。然后你有一个什么手机软件啊,然后就可以增加自己的兴趣,兴趣感嘛,然后就比较更加的喜欢吧。所以就,我觉得蛮支持的。</p> <p>87-Z: 你觉得其他优点是什么?</p> <p>88-A10: 优点就是那个,娱乐性比较强,然后就知识的话,就是可以更加的有印象嘛,更加有印象的那种感觉。</p> <p>89-Z: 还有其他的呢?</p> <p>90-A10: 其他的。应该是更容易吸收吧。更容易吸收知识,然后就没有那么,压力感存在。</p> <p>(86-A10 このような〔学習方法は〕必要だと思います。単に日本語を勉強すると、とてもつまらないです。もし何かのアプリがあれば、自分の興味を高めることができ、もっと好きになるでしょう。だから、賛成します。</p> <p>87-Z : 他の良いところはなんだと思いますか?</p> <p>88-A10:良いところはその、娯楽性が強いですね。そして、知識については、もっと印象深くなりますね。</p> <p>89-Z : 他は何かありますか?</p> <p>90-A10:ほかは、もっと吸収しやすいでしょう。知識はもっと吸収しやすいです。そして、そんなにプレッシャーはないことです。)</p> <p>91-Z : 你觉得这个学习行为的优点在哪里呢?</p> <p>92-A11:它能最大化地利用你现在生活之中的各种零零散散的碎片的时间,这就是效率非常高,然后因为它操作又便捷,不需要带着额外的东西,只需要拿着手机就可以达到一个学习的目的。所以说我觉得它优势很大。</p> <p>93-Z : 那你觉得其他的优势还有吗?</p> <p>94-A11 : 就是,它的时间,主要还是时间问题。它除了提高了学习的效率,利用了很多很多零散时间之外,它也没有顾及这个时间,它的那个,怎么说,就是白天和晚上,无论你那个时间段,你都能学。因为你不需要灯,也不需要其他东西。你只要打开屏幕就可以学。所以说那种局限性很小。</p>
--	--

	<p>(91-Z: この学習の行為の良いところは何かと思いますか?)</p> <p>92-A11: 生活の中の断片的な時間を最大限に利用できて、効率はとてもいいです。そして、操作も便利で、他のものを持たなくてよくて、スマートフォンだけを持っていれば勉強できます。だから、強みが多いと思います。</p> <p>93-Z: 他に何かの強みがあると思いますか?</p> <p>94-A11: それは、時間、やはり主に時間の問題です。学習の効率をあげて、断片的な時間を利用する以外、時間をあまり気にしなくてもいいです。その、何と云えばいいだろう。昼と夜、どんな時間帯でも勉強できます。ライトとかいらなくて、ほかのものもいらぬです。起動すれば勉強できます。だから、制限が少ないです。)</p> <p>112-A12: 优点就是可以自己一个人学习吧。</p> <p>113-Z: 其他呢?</p> <p>114-A12: 就是不用老师也可以自己学习。</p> <p>(112-A12: 良いところは自分一人でも勉強出来ることでしょうね。)</p> <p>113-Z: ほかは?</p> <p>114-A12: 先生がいなくても自分で勉強できます。)</p>
<p>理論的メモ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 本より持ち運びに便利である。 ➤ 学習アプリが学習の頻度を多くすることができるため、深く記憶できる。 ➤ 暇な時間を有効に活用でき、時間的な制約が少ない。 ➤ 経済的で、コストが低い。 ➤ 教師がいなくても一人で学習できる。 ➤ 日本語に対する興味を高めることができる。 ➤ プレッシャーが少ない。

分析ワークシート 23

<p>概念名</p>	<p>概念 23 〈有关使用学习软件的缺点的认识〉 概念 23 〈学習アプリの利用の良くないところに対する認識〉</p>
<p>定義</p>	<p>受訪者对于在课外学习日语时使用软件这一行为的缺点的认识。 (インタビュー協力者が教室外で日本語を学習する際にアプリを利用することの良くないところに対する認識。)</p>
<p>ヴァリエーション</p>	<p>54-A1: [前略] 因为就是你单纯的依靠 APP 我觉得其实是一件蛮耗费时间的事情, 因为它有些时候就会让你无意义地去重复。 (54-A1: [前略] アプリだけに頼るのはとても時間がかかることだと思います。時々、無意味に同じことを繰り返します。)</p> <p>92-A3: 不好的地方。没有想到什么不好的地方 (92-A3 : 良くないところについて、特に思いつきません。)</p> <p>120-A4: 不好的地方就是学习的时候趣味性比较少吧。 121-Z : 那你期待的那些趣味性是什么呢? 122-A4 : 就是可以结合一些音乐啊, 电影啊, 这种。然后也可以放一些文学啊, 历史进去啊。 (120-A4:良くないところは、勉強するとき面白さが少ないですね。 121-Z : どのような面白さを期待していますか? 122-A4 : 音楽とか、映画とか、このようなものと結びつて、そして、文学とか、歴史とかの内容も入れてもいいです。)</p> <p>84-A5: 就是像有些人的话, 他可能要做一个题目, 他可能先中文写好, 然后直接用那种翻译软件翻译出来, 然后写上去。这样的话就是可能对学习啊什么的反而是不太好的。 (84-A5:例えば、このような人もいます。彼は問題をとく必要があって、まずは中国語で書いて、直接翻訳のアプリで訳して、書きます。これは学習に逆に良くないです。)</p>

	<p>88-A7: 不足的地方的话。可能就是有些日语学习资料吧，跟老师讲的可能会有些出入，然后就是可能自己学习的这些，然后老师上课讲的又是另外一种，就很容易，脑子很容易混淆。而且网上的一些资料就是参差不齐，鱼龙混杂吧，也不知道哪一种可信度比较高，哪一种可信度比较低。</p> <p>(88-A7:良くないところについて、先生が教えた内容と異なる日本語の学習の資料があつて、自分がこれらを勉強して、先生が授業中で違うものを教えて、頭が混乱しやすいです。ネット上のリソースはクォリティーがバラバラで、色々ありますね。どれが信頼性が高いか、どれ低いか分かりません。)</p> <p>118-A8: 就是有可能你会三天打鱼两天晒网吧，就是有些东西你刚知道很新鲜，但是过了之后可能记不住。有些印象深刻的倒是能记住。</p> <p>(118-A8:たぶん三日坊主で勉強するかもしれないでしょう。最初に知った時は、新鮮で、あとになったら覚えられないかもしれません。印象深いものは覚えられます。)</p> <p>94-A10: 这个缺点就是，在用手机（学习）的时候会被其他的那些什么，其他信息干扰。就会长时间的就会，有时候会被搁置住，就会就不坚持吧，就容易放弃一段时间。然后又想着又容易把它搁置在那个地方，有时候就会。</p> <p>(94-A10:良くないところは、スマートフォンで〔勉強する〕とき、ほかの何か、ほかの情報に邪魔されます。長時間に、放置されて、続かないですね。少しの間やめて、時々また放置すると思います。)</p> <p>96-A11: 首先，从身体健康来说，老对着手机屏幕肯定是不健康的。然后就是，因为它是安装在手机上，你老是对着手机的话，你肯定会不由自主打开其他东西。因为就会造成一个滥用手机，对手机产生依赖的一个情况出现。这可能是不好的地方。</p>
--	---

	<p>(96-A11:まず、体の健康からいえば、ずっとスマートフォンの画面を見るのは健康的ではないです。そして、アプリはスマートフォンにインストールされていますから、ずっとスマートフォンを見ていると、思わずほかのアプリを開きます。それで、スマートフォンを過度に使って、スマホ依存のような問題が出ます。これは良くないところかもしれません。)</p> <p>116-A12: 缺点和优点差不多，就是老师提供的会更加详细，有时候也会引申一些。</p> <p>(116-A12:良くないところは良いところと似ていて、先生が提供したのはもっと詳細で、時々ほかの内容へ広がります。)</p>
<p>理論的メモ</p>	<p>スマホ依存、授業の内容と異なる、長続きしない、内容の広がりが無い、健康面の問題</p>

分析ワークシート 24

<p>概念名</p>	<p>概念 24 〈周围的环境〉 概念 24 〈周囲の環境〉</p>
<p>定義</p>	<p>受访者所处的环境。 (インタビュー協力者の周囲の環境。)</p>
<p>ヴァリエーション</p>	<p>99-A1: 我是蛮赞成这种行为的。因为不只是我，身边也有很多人在用这种学习软件去学习。 (99-A1:この行為には賛成します。私だけでなく、周りも多くの人がこのような学習アプリで勉強しています。)</p> <p>99-A2: 我觉得挺方便，挺好的。就用 APP 学，学习的话。然后身边同学也有很多在用 APP 嘛。而且大家都基本上互相推荐这样子。 (99-A2:とても便利で、いいと思います。アプリで勉強することは。周りのクラスメートの多くもアプリを使っていますね。しかも、みんなお互いに勧めます。)</p> <p>18-A3:就是，我觉得这东西〔五十音〕记不住嘛。然后突然想到手机上学习软件这么多，学日语的肯定也有，我看室友在网上看什么可以记得〔五十音〕快一点，我想手机上也有，更方便嘛。查一下还真的有。</p> <p>19-Z: 同寝室的人给了你一些启发这种感觉吗？</p> <p>20-A3: 对对对。 (18-A3:その、これ〔五十音〕が覚えられないと思いましたね。それでスマートフォンに学習のアプリはたくさんあると思いついて、日本語を学ぶものもあると思いました。ルームメイトがインターネットでどのようにすれば速く〔五十音〕覚えられるかを調べているのを見て、スマートフォンにもあると思って、もっと便利でしょう。調べたら、本当にありました。)</p> <p>19-Z:ルームメイトが君にヒントを与えたって感じですか？</p> <p>20-A3:そう、そう、そう。)</p>
<p>理論的メモ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 周囲には多くの人がアプリを利用して学習している。 ➤ 寮生活

付録 8 文字データ

インタビュー協力者 A1

番号	話者	内容
1	Z	我想问一下你现在是几年级呢？
2	A1	大一。
3	Z	我看你在给我答的问卷里用的软件是叫五十音图的软件。
4	A1	是的。
5	Z	然后还记得五十音图的软件到底是用来学什么的吗？
6	A1	嗯，就是适合那种零基础的日语初学者吧。它就是相当于把那种，呃，比如说像あ行啊，这样子按一行一行来嘛，然后就等你就是到比较熟练，然后能，能够答，答出它那边的题目以后，再让你学习下一堂这样子。
7	Z	哦，那你当时是什么时候在用这个软件的呢？
8	A1	就是，比如说呢，日语课上完以后嘛，然后刚开始学的话就下课去复习的话就用这些软件什么的。
9	Z	嗯，是大一的时候，大一上半学期刚开始学日语的那段时间对吧？
10	A1	嗯，对，是的。
11	Z	嗯，然后，你在使用这个 APP 之前有使用过其他的一些相关的一些 APP 吗？
12	A1	呃，是指学习日语还是就是语言类的。
13	Z	都可以。
14	A1	如果是语言类的话，就比如说这个沪江然后还有，呃，什么，可可英语，然后这样的英语流利说这样练口语的，然后或者说看单词的都有。
15	Z	哦，那那些经历的话，那些学习的经历是不是也对你这次，呃，在使用这个，就是开始使用这个的，有一些影响呢？
16	A1	嗯，有，感觉就用 APP 学起来还是蛮方便的嘛。
17	Z	嗯，那这个方便具体指那些东西呢？
18	A1	比如说，就像，有课文，然后你就可以听课文嘛，然后，像一般的有些会有测试，就是可以让你去练你的听力，然后或者说去纠正你的那些发音。
19	Z	嗯，好谢谢，然后还有就是，是怎么样一个契机让你开始使用这个五十音图的软件吗？
20	A1	契机就是，自己真的是零基础，然后就是去网上找一些，就是别人的推荐嘛。
21	Z	嗯，第一个就是你刚才说你自己是零基础是一个你自身的情况，然后你又说你去网上找那个推荐，那这个你在网上找的时候大家是这么推荐这个软件的呢？
22	A1	这个怎么讲，就是比如说，就是你去输，比如说适合零基础的日语入门，然后它就会有比如说，初学者，然后你，这个软件，比如说五十音图就是专注于五十音图，然后它就没有别的像单词这样的东西，然后它就适合你这样去学。
23	Z	然后我想这种，也应该也其他有相关类型的学五十音图的一些软件对吧。
24	A1	呃，是。
25	Z	那我想你在选择的时候是你以怎么样一个标准来选择最后使用这个，这个五十音图的软件的呢？
26	A1	嗯，就是它更直接吧，它说学五十音图就学五十音图，嗯，对，然后就是它整个操作起来就比较适合我嘛。
27	Z	哦，然后你说到操纵，那具体指的是手机上的使用方法的那些东西吗？
28	A1	嗯，是的，就是打开 APP 然后跟读，然后通过，然后学习下一课。
29	Z	哦，就是操作比较方便对吧？

30	A1	嗯，是的。
31	Z	那当时呢，我想也，当时也同样问了一个类似的问题就是也有几个同样类型的 APP，那当时你是只下了这一个五十音图的学习软件呢还是又同时下了几个学习软件一起在学呢？
32	A1	我在下之前，就比较了一下它的好评率，还有那种占内存，然后我就挑了五十音图。
33	Z	哦，好，那接下来下一个问题，你在使用的，就是你下下来以后。
34	A1	嗯。
35	Z	你刚才也说你在课后学的嘛对吧？
36	A1	对。
37	Z	那你是一个怎么样的频率，然后具体的是一个怎么样的使用方法呢？
38	A1	频率的话，五十音图，那之前基本就是课后，每次都有复习，有些时候的话课上，然后就觉得自己的发音不行，然后也会拿出来听，然后事前预习的时候也会有，所以一周的频率在那段时间，是蛮高的吧，我觉得可能，每天或者说每隔两天就肯定会有。
39	Z	嗯，然后你说你那时候基本上每天都在使用一个状况对吧？
40	A1	对。
41	Z	那你在使用的过程中具体遇到一些什么问题吗？
42	A1	具体遇到的问题，想一下。
43	Z	就是让你使用不太舒服，不太顺畅的东西？
44	A1	哦，哦，会有。因为就，嗯，有时候比如说，课上它会上的，可能你学的比较快，然后你已经掌握到后面，但是它那里就会一定要求你通关才能去学习后面的。但是其实你就已经想复习后面了，其实然后再从头开始，其实你已经掌握了这些东西再去通关，其实我觉得是蛮浪费时间的。
45	Z	就是类似于你得按它的那个步骤一步步地走，不能按你设计的那个方式走这个意思吗？
46	A1	对，是的是的。
47	Z	那你在使用这个软件之后，你的，你对，这个，使用感受是怎么样的呢？
48	A1	呃，我觉得总体来说还是不错的。因为它设计的，就是它里面的一些，呃，就是授课方式，然后它还有，它也会把那种，就是口型啊标注出来，就是对于我这种基础比较差的真的比较有好处。但是，就是形式太过单一了吧。就是你可以有这种按部就班的，然后你也可以就是新出，另外出一个版本，就是说你可以跳着来的，这样我觉得也是更适合那种巩固的。
49	Z	嗯，那你在使用了这个 APP 之后，你有达到你预期的一个，那我先问一下你预期，在使用之前，你预期使用这个，五十音图的这个软件，你想达到一个什么样的水平？
50	A1	想达到的水平应该就是能够，首先就是把五十音图那个发音，先比较正确嘛，然后再能够把它顺利地背出来。
51	Z	嗯。
52	A1	就是这样。
53	Z	嗯，那之后你在使用之后有达到了你原来的预期的效果或目标吗？
54	A1	应该说是算达到了吧，但是我觉得就是说不止是靠 APP 的这种，就是作用嘛。因为就是你单纯的依靠 APP 我觉得其实是一件蛮耗费时间的东西，因为它有些时候就会让你无意义地去重复。
55	Z	嗯，那就是单纯使用这个软件来看。
56	A1	嗯嗯。
57	Z	就是我知道学日语，就是五十音图的话，单纯使用软件是不行，那你从就是单纯在课外使用这个软件来看，你觉得你达到了你使用之前的对它的期待的，和那个学习效果的那些东西吗？
58	A1	嗯，我觉得应该算是达到了的。

59	Z	嗯，好的。那再我想问一下就是你使用，你自己也使用过这个，这个软件，对吧，那你在对，就是你如果，就是你会去推荐别人去使用这个软件吗？
60	A1	嗯，我会的。
61	Z	那，那，那你去推荐别人的话，那你是怎么样去推荐呢？就是你会怎么跟别人解释这个软件？
62	A1	嗯，呃，呃，想推荐的人那一般就是，就是如果把这个软件推荐给别人，我觉得就是和我相同的状况，他基础肯定是比较差的嘛。或者说是想要去巩固，那我就跟他讲这个软件就是专注于这一点的。然后它就是，它就是操作起来还是比较简单的。就，然后也没有说需要，呃，购买增值的服务。
63	Z	嗯。
64	A1	一个免费的比较好的学习软件。
65	Z	哦。那你刚才，刚才说到了一个免费的这个这个要素。
66	A1	嗯嗯。
67	Z	那这个免费的要素是不是也是你当时你选择这个 APP 的一个也可以算是一个理由呢？
68	A1	呃，是的。因为主要考虑到是初学，就只要能达到我想要的学习效果就好了。如果我想要去深入的话，比如说我现在去沪江，然后我肯能就去买它的课，这样子。
69	Z	嗯，好的。
70	A1	嗯。
71	Z	那最后还有几个问题。那现在你还在使用这个五十音图这个软件吗？
72	A1	现在已经没有在使用了。
73	Z	没有在使用，但是它还保留在你的手机里吗？
74	A1	嗯，是的。
75	Z	就类似于存在手机里，但是基本上之后就不动了，不用了。这个状况对吗？
76	A1	对，基本不太使用。但是如果说有时候就觉得发音比较忘记了或者是比较奇怪，然后可能就会去再打开它再去听一下。
77	Z	嗯，那你刚才说每天使用到现在就是，我想有个过渡期对吧？
78	A1	嗯。
79	Z	就是你从每天使用到不使用，慢慢开始不使用，那个大概是个什么时候呢？
80	A1	嗯，就开始学的时候可能就每天都在使用。然后把通篇学下来以后，那可能就只会去，可能就比如说周末回去听一听它。
81	Z	嗯。
82	A1	然后到了后来，你就觉得自己能背它了，然后也能读它了，然后可能就不太去了。
83	Z	那你对，整体来说对这个 APP 的评价是怎么样的呢？
84	A1	评价应该还是比较高的吧。如果五颗星的话，我应该会打四星。
85	Z	哦。
86	A1	嗯，对。问题，就问题就扣在之前才所说的它这个形式比较死板。虽然它学习的方式有很多。但是形式比较死板。
87	Z	那你现在，使用了这个五十音图之后，那我想也使用了很长一段时间，那你这个使用之后你会。
88	A1	嗯。
89	Z	这一阶段的使用经历会影响，就会，就会让你今后还会去使用其他的一些日语学习软件吗？
90	A1	呃，我想应该是会的。
91	Z	那主要是从哪些因素会影响到你去使用其他软件呢？从使用这个软件的经历来看。

92	A1	那我我觉得有一点就是，呃，给我提供一个，怎么讲，就是提供一个听和说的途径吧。其实像学习的话它是有光盘的，但是如果你仅听那些音频啊，然后去跟的话，其实你无法判断自己学的怎么样，然后说啊听啊其实都是不能保证的。
93	Z	嗯。
94	A1	然后像那种的话，它就是可能会有那种，能测试你发音，就是能给你发音打分的那些。
95	Z	嗯。
96	A1	然后我就觉得这些很有用，而且像很多软件，如果这些日语学习，它其实是有那种学习资料，它的课文阅读啊，这样子，我觉得很有用。
97	Z	哦，好的。那最后一个问题。你对，呃，现在就不限于这个五十音图这个软件了。你对课外使用日语学习软件这个学习行为你整体的一个看法是什么？
99	A1	我是蛮赞成这种行为的。因为不只是我，身边也有很多人在用这种学习软件去学习。因为，首先它肯定，就是它资源里面会更多，然后它的途径也会更多。他可携带啊。就你如果，比如说你带着一部手机，然后你可能想学习了就学。但是如果你带着一本书，你可能想学啊，但是你没带书，你不就是不能学了么。但是的确像这种软件的话也存在着这种，就是当你捧起手机你可能的确就是不想学习就想玩。但是我觉得还是因人而异吧，想学的人肯定会想学，对吧。
100	Z	嗯，好的好的，那我想问的都已经结束了。
101	A1	嗯，嗯，好。

インタビュー協力者 A2

番号	話者	内容
1	Z	(個人情報が入っているため、公開できない)
2	A2	
3	Z	
4	A2	
5	Z	
6	A2	
7	Z	现在是大几呢？
8	A2	大一。
9	Z	大一下半学期对吧？
10	A2	对。
11	Z	那你还记得你用的五十音图是个什么样的软件吗？
12	A2	就是我当时刚学日语嘛。然后就，它就是存粹教你五十音图的，然后还有什么拗音，清音，就这样分开来教的。
13	Z	嗯。好的。那我想问一下你在使用这个五十音图之前，你还用过一些其他的软件吗？
14	A2	我还在用那种标日的课本的软件。
15	Z	你是一直用的，还是在那之前用的。
16	A2	我现在在用标日，然后之前在用五十音图。
17	Z	哦。那你就是在用那个五十音图之前，你有用过相关的学习软件吗？不管什么软件都可以的。
18	A2	之前的话就是背英语单词用的百词斩，MOJi 英语的那种。
19	Z	那那些使用的经验对你开始使用这个，这个五十音图有没有什么影响呢？

20	A2	有啊，因为之前用它来学过英语，所以就想学日语也会有软件。就上网随便一搜，然后就搜到了，就下载了。
21	Z	那是一个什么样的契机让你开始使用日语的这个五十音图的软件呢？
22	A2	是到我被日语系录取之后。
23	Z	哦。然后就是说你自己去找的对吧？
24	A2	嗯。
25	Z	然后你自己去找的时候你自己是以一个什么样的标准去找这个软件的呢？
26	A2	我是问过一个学日语的学姐，我就问她刚开始学日语的话要下什么样的软件。她就说你可以先记一下五十音图。
27	Z	然后她推荐了你这个软件吗？
28	A2	对对对。
29	Z	那她当时是怎么推荐你的呢？
30	A2	就直接跟我说那个软件。
31	Z	然后那你自己就是在下，下的时候我想也可能就会看到跟它同一类型的软件，那当时你是怎么去选择这个软件的呢？
32	A2	我是，我当时是多下了几个。然后挑了一个最好用的留着用，然后其它的就删掉了。
33	Z	哦，也就是说这个五十音图是你觉得最好用的对吧。
34	A2	对对对。
35	Z	那你说的这个好用到底是指哪些方面的呢？
36	A2	就是，就是它好像分的比较清楚。什么浊音，拗音，这些分的比较清楚，然后它还有视频教学。然后还有就是，就是感觉它功能比较强的。还有语音什么的。
37	Z	嗯，就是相对来说功能比较全。这是你的一个概念对吧？
38	A2	对对对。
39	Z	那当时我想你在下这个软件之前对它也有一定的期待对不对，就是你会期待这它对你的学习带来一些些，就是能提高一些你的日语能力。那你当时对它的一些期待是怎么样的呢？
40	A2	期待就是我能把那五十音发音发标准。然后，写字能像日语学习者那样比较熟练地写出来那样。
41	Z	那在使用的时候。那现在就要问你关于你在使用的那段时间的情况。你是在什么时候开始使用这个软件的呢？
42	A2	就是在那个，那个，得知。暑假的时候，知道自己要学日语之后，一直到开学后把五十音记牢之后。
43	Z	就是在记牢五十音之前对吧，应该是。
44	A2	嗯，对对。
45	Z	那你在记这个五十音图，就是刚开始学日语的阶段，期间你是以一个什么样的频率在使用这个软件的呢？
46	A2	开学之前的话，是，当时，一周，一周就一两次吧。
47	Z	嗯。那开学之后，就是你正式被录取之后，那你这个，我想也在上日语课，那那个时候，在课外的时候，是什么样一个频率在用这个软件的呢？
48	A2	当时课外是每天都会用。
49	Z	哦。那具体是一个怎么样的使用方式呢？
50	A2	就是在图书馆的时候，只要是在学习就基本上打开软件，就算不发出声音也要听，那样的。
51	Z	嗯。还有就是一边听然后还一边动手在纸上写这样的一个状况对吗？
52	A2	对对对。
53	Z	那你在使用的时候你有遇到过什么问题吗？就是类似于就是你觉得用的不大顺畅或不大舒服的一些地方。

54	A2	这个，它就是，五十音图它上面显示的一般都是印刷体的，那样的写法。然后老师教的时候，发现跟老师的手写体有很多不太一样。
55	Z	那还有一些其他的一些方面呢？
56	A2	其他的倒还好吧，我觉得没什么用的不顺畅的。
57	Z	那你自己使用之后的感受是怎么样呢？就是使用了这个五十音图的软件。
58	A2	我觉得还蛮好用的。然后平时课本那么沉，然后不带课本就可以直接拿出手机用，也挺方便的。
59	Z	嗯。主要是你觉得就是用手机，然后用这个 APP，就是比较便于携带，可以让你随时随地学，这个有让你比较大的感触。对吗？
60	A2	嗯，对。
61	Z	那刚才我也有问过你在使用这个的时候对它的一些期待。那你在使用之后你觉得你达到了你当时的那些目标，那些期待吗？
62	A2	嗯，算达到了吧。就让我记牢了嘛，然后也让我就是，就是，就是，让我方便一点记忆。然后碎片化时间也利用的比较好。
63	Z	嗯，那你之后，就是用完了这个软件之后，就像刚才说的，你用这个软件的契机是因为你的一个学姐推荐你的。那你亲身用过以后你会推荐其它人用这个软件吗？
64	A2	我应该会的吧。
65	Z	那假设你要去推荐给别人的话，你会怎么去推荐这个软件呢？
66	A2	我就说我当时用的就是五十音图，然后我觉得还挺好用的。
67	Z	然后这个挺好用的又是指哪些方面呢？
68	A2	就是功能比较全，然后发音比较准，比较方便。
69	Z	嗯，好，谢谢。那之后我要问的就是关于现在，就是使用之后的一些情况。
70	A2	嗯。
71	Z	那你现在还在用这个软件吗？
72	A2	已经不用了。
73	Z	已经不用了，那还在你的手机里吗？
74	A2	没有，已经卸掉了。
75	Z	哦。那你卸载的时候大概是什么时候呢？
76	A2	就是把五十音图记牢之后就卸掉了。
77	Z	就大概是开学之后几个星期左右，这个有大概的印象吗？
78	A2	大概怎么也得一两个月吧。
79	Z	就是类似于你已经学完五十音图，你已经掌握了五十音图，然后你觉得这个就达到了它的功效。然后你就把它给删了对吗？
80	A2	嗯，对。
81	Z	那你在删了之后，你有再去下一些其他的软件吗？
82	A2	嗯，我下了一个标准日语，那个软件就叫这个。跟我们课本是对接的。然后就可以听课文录音什么的。
83	Z	哦，原来如此。那你在使用过这个五十音图之后，你对这个五十音图是一个怎样的评价的呢？
84	A2	它，我觉得它 y 因为仅限于五十音图嘛，所以也就初学者用用吧。感觉就是再往后学一学的话就没什么用了。然后当然对于初学者来说还是挺好用的。就是它太浅，就这一点了。
85	Z	它所教的有一个时间的局限性，你想说的是不是这个意思？
86	A2	嗯。
87	Z	就是只能限于初学者那块时间学，然后等你要到高级的时候。它这个内容就不大符合。这个意思吗？

88	A2	对对。
89	Z	那我想再问一个问题，你今后，就是你用这个五十音图之后，你又去下了标准日语。我想你也有挺多的用日语学习软件的经历，那你还会想着要去使用其他的一些日语学习软件吗？
90	A2	会啊，肯定会。
91	Z	嗯，那那个理由是什么呢？
92	A2	我觉得就跟自己学的程度有关吧。在以后像考级的话，还可能会下那种就是 N1, N2 专用的听力，那种听力练习的 APP。然后还有什么专门背日语单词的软件，这样的。
93	Z	嗯，刚才好像有漏问一个问题。假如说要给这个软件评价，有五颗星，这个标准。你对这个五十音图评几颗星呢？
94	A2	就三个吧。因为它对我的用处的话可能也就那一两个月嘛。
95	Z	减掉两颗星的原因就是什么呢？
96	A2	就是我觉得它基本上对于初学者来说，对日语学习来说有用价值可能也就三四个月就能把五十音图记住了嘛。然后就没什么其他用了。
97	Z	哦。原来如此。那好的，那我现在就要问你最后一个问题，那这个问题就不仅仅只限于五十音图这个软件，而是说你对在课外，在课外哦。就是使用日语学习 APP 这个学习行为这个整体看法是一个什么样的看法。
99	A2	我觉得挺方便，挺好的。就用 APP 学，学习的话。然后身边同学也有很多在用 APP 嘛。而且大家都基本上互相推荐这样子。
100	Z	那你刚才说挺方便，挺好，这个到底，你可以具体和我解释一下吗？这个方便和好到底指的是哪些东西呢？
101	A2	就是课本天天带着肯定太沉嘛。天天携带就很沉就不方便。但是手机的话就会随身带嘛。就随时，在等车的时候，或者坐车的时候。然后随时拿出来听一下，就很方便。
102	Z	那这些主要指的是方便的一些方面。那好的话你主要指的是哪些具体的内容？
103	A2	好的话我觉得就是你想，想，就是重复学习的时候，你就可以重复学了。然后就是会让你记忆，记忆的比较频繁，也比较深刻，那样的。
104	Z	好的，我的采访就这些问题，非常感谢你能够接受我的这次采访。

インタビュー協力者 A3

番号	話者	内容
1	Z	那我现在就开始问问题了。
2	A3	好的。
3	Z	首先我想问一下你现在大几呢？
4	A3	大二。
5	Z	(個人情報が入っているため、公開できない)
6	A3	
7	Z	我十月份的时候去工大做过调查。当时的时候呢？，发的问卷里面有一个问题是你用过什么样的学习软件。然后我看你的那个问卷里面呢？有一个回答就是五十音图这个软件。
8	A3	嗯。
9	Z	你还记得这个五十音图是一个什么样的软件，你可以简单跟我简单介绍一下这个软件吗？

10	A3	就是它不是五十音不是あ什么，あ段，い段，然后就是刚开始学的时候不是就是要一个一个记嘛。然后就是它就会就是一个一个，你要刚学了あ段，它可以上面あ段，你点一下あ段的假名。然后点进去，然后它会一个个出来。然后，它只会给你那个假名嘛。然后然后你认，然后认完了，之后让你确定了之后。知道的话你就点下一个。不知道的话就点一下那个音标嘛。它会出来的，然后就看一下，记住，重新来，一直来一直来，就记住了。
11	Z	嗯，我刚才漏问了，你现在是日语专业还是日语专业。
12	A3	日语啊。
13	Z	哦，好的。那接下来我想问一下就是你在用这个五十音图之前的一些情况。你在用这个五十音图之前你有使用过其他的一些日语学习软件或者其他的一些学习软件吗？
14	A3	没有，之后倒是有的。
15	Z	你是之前没有任何学习的经历吗？
16	A3	没有，没有。
17	Z	那是一个什么样的契机让你开始使用这个五十音图的软件的呢？
18	A3	就是，我觉得这东西记不住嘛。然后突然想到手机上学习软件这么多，学日语的肯定也有，我看室友在网上看什么可以记得快一点，我想手机上也有，更方便嘛。查一下还真的。
19	Z	同寝室的人给了你一些启发这种感觉吗？
20	A3	对对对。
21	Z	那你自己在查这个日语软件的时候，我想你也可以查到很多同类型的这个 APP，那你当时选择这个五十音图的一个标准是什么呢？
22	A3	首先我看它是前面两个的嘛。然后它的那个图标比较好看，就是颜色比较干净一点，就选了它
23	Z	那你没有看它的具体介绍什么的吗？
24	A3	嗯，没看。因为我觉得都差不多嘛。
25	Z	那你当时去搜的时候，应该有很多软件在那里。那你当时是只下载了这个五十音图，还是同时下载了几个日语学习软件呢？
26	A3	我就下了这一个。
27	Z	然后你下载的那个标准就是它的那个图标比较简单，这些原因对吗？
28	A3	嗯。
29	Z	那你在下之前，你对它有什么期待呢？你期待着它能给你带来什么样的学习效果呢？
30	A3	就是能帮我更快更方便的记住。平时这样记的话没什么效率嘛。就是你一直写一直写就没什么意思。就是随时随地都能写，你没有纸没有笔，你拿起手机，没事的时候，无聊的时候，比如说公交车上的时候。随时随地可以这么看两下。那总会记住的嘛
31	Z	哦，原来如此。就是类似于你在用这个五十音图之前，你是用纸用笔在练这个五十音的对吗？
32	A3	对啊。
33	Z	然后你觉得这个比较方便，你就把它给下下来了。
34	A3	对。
35	Z	那接下来我要问的是一些你在使用期间的一些问题，使用期间的一些情况。我想问一下，你是在什么时候开始用这个五十音图的呢？
36	A3	大概学了三四列吧。
37	Z	学了三四列是指在教科书上学五十音图？
38	A3	对对对，教科书上的五十音图，三四列的时候开始。
39	Z	那个时候应该是你刚进大学的那段时间。大概的那个时间段你可以跟我讲一下吗？

40	A3	我都不记得我什么时候进大学了。是9月份，对应该是9月份，那么大概是10月左右吧，10月多一点。
41	Z	那当时你在用这个软件的时候，你是怎么样一个频率在用这个软件的呢？
42	A3	只要有时间就用吧，那段时间用的挺多的。大概几乎天天都有在看。
43	Z	那大概是每天的什么时候在看呢？
44	A3	吃饭的时候，然后下课，然后有些时候在外面，坐公家车的时候，都是比较碎的时间。
45	Z	你刚才说就是你在用这个软件之前的时候，是用笔和纸在记五十音图。然后在你下载了这个五十音图之后，你只用了这个五十音图软件，还是继续在纸笔上写？
46	A3	纸笔没用了。
47	Z	就是一直用这个五十音图在学么？
48	A3	对对对。
49	Z	那你在使用的过程中你遇到过什么样的问题呢？
50	A3	好像没有遇到什么问题。比较简单的一个软件嘛。
51	Z	那使用之后你觉得它达到了你预期的效果吗？
52	A3	有。
53	Z	具体是哪些方面呢？
54	A3	就是零碎时间一直看一直看，它会让我方便的记住，不用整理出大把时间，很枯燥的坐在那个地方背。平时没事情看看就随便记住了，那就最好了呀。
55	Z	那使用之后你有什么样的感受呢？
56	A3	感受的话，感受的话，就是这东西挺方便的。就是不需要你坐下来花大把时间。其他也没什么特别的了
57	Z	那你使用了这个五十音图之后，你会向其他的，你身边的朋友或你的后辈推荐这个。
58	A3	我已经推荐了这个东西。
59	Z	哦，那当时你是怎么推荐的呢？
60	A3	就是看他们学的东西，他们记不太住。你拿这个东西试试看吧，我就是这样背的，很方便。然后他们就去试了。
61	Z	哦，原来如此。那接下来几个问题是关于就是你使用之后还有一些你现在的使用情况的一些问题。那你现在还在用这个软件吗？
62	A3	不用了呀。
63	Z	那是把它删了还是还留在手机里面。
64	A3	删了呀。
65	Z	那你删的时候大概是什么时候删的呢？
66	A3	我把五十音图全部被清楚了就删了。
67	Z	那大概是一个什么时候呢？
68	A3	大概半个学期吧。
69	Z	半个学期？
70	A3	半个多学期，大概十一，二月份吧。不太记得了。
71	Z	那你在不用这个APP之后，你还下载了其他的APP吗？
72	A3	就是很多单词不认识的时候就用那个沪江小D。其他就没了
73	Z	这个也是别人推荐你的吗？
74	A3	不是，这个是老师推荐的。
75	Z	那接下来我想问一下你对五十音图这个软件的评价是怎么样的呢？

76	A3	评价的话，就打分嘛。如果是五分的话，那五分的话，给五分。挺好的这个软件。
77	Z	就类似与如果总分是五星的话，你就五星全都给它的那种感觉吗？
78	A3	嗯，就给五星嘛。
79	Z	那你觉得它没有任何不好的地方吗？
80	A3	对，我想要的预期都达到了，就给五星。
81	Z	哦，原来如此。那你在用这个五十音图之后的这些经历，会影响到你去选择其他那些日语 APP 的那些情况吗？
82	A3	它只是帮助我记五十音图。对我之后学习日语没什么影响。
83	Z	我是说你用软件的这个经历，对你选择其他的一些软件的那些影响？
84	A3	有的呀，就是经常会想到什么需要用的就直接去搜一下，然后随便选，挑一个试一下，好用就用，不好用就不用。
85	Z	哦，原来如此。那最后一个问题。那最后这个问题就不仅限于五十音图这个软件，而是说你对课外使用日语学习软件学习的这种学习行为，你的整体的看法是怎么样？
86	A3	日语学习软件最好就是那种不需要网上教学视频那种，你要坐下来认真听，那就没有什么叫课外学习，我觉得也跟上课没什么两样。课外学习软件就要简单一点。就是能随时看，随时停，然后简单一点的那种学。比如说，拿一个单词出来，就是一个单词跳出来，然后你每天都会出现这个单词，你无聊的时候看看，就记住了。那样最好了。
87	Z	那你觉得课外使用日语学习软件的好处是什么。
88	A3	好处的话肯定对日语成绩有所提高吧。比如说多记些单词的话肯定对日语的词汇量这些都有增加。然后日语课外学习软件，有些还有读音的嘛。那肯定对你的听力也有些帮助。其他好像没有什么了。
89	Z	那你觉得它有什么不好的地方吗？或者说需要改善的地方吗？
90	A3	就是没有针对任何一个软件吗？
91	Z	对。
92	A3	不好的地方。没有想到什么不好的地方。
93	Z	哦。可以了，以上就是我所要采访的所有内容。

インタビュー協力者 A4

番号	番号	内容
1	Z	那我首先要问一下你现在是几年级呢？
2	A4	我现在是大一。
3	Z	大的一的後半学期对吧？
4	A4	嗯，对，大一下学期。
5	Z	你现在是英语专业对吧？
6	A4	嗯，对，是英语专业。
7	Z	那你之前还没有分日语专业和英语专业的时候，你应该也在学日语对吧？
8	A4	对对对。
9	Z	那我现在要问的就是你当时的那些情况。
10	A4	嗯，好的。
11	Z	就是你尽量回忆一下当时的情况就好了。
12	A4	就是在手机上学习日语的情况吗？
13	Z	对，我会具体问你的。你就回忆当时的情况就可以了。

14	A4	嗯。但是就是上学期嘛。就是那本教材，标准日语那本教材，它是有配套的 APP 的。然后我就去下载那个 APP，然后我就是用了上面的那个，那个，那个注册码登陆了一下。然后现在也在用。就是那个 APP，它上面有单词，也有些语法解释，就是跟教材差不多的。然后平时都可以拿出来看一下嘛。就是随时都可以背单词这样子。其他的，其他的学习，我就没有再用更多的 APP 了。但是，就是，就是当时在背五十音图的时候，有点很难背。
15	Z	你刚才说到五十音图这个软件对吧？
16	A4	嗯，对。那个是五十音图。
17	Z	然后我要问的就是关于这个五十音图的一些情况。因为当时呢？，我十月份去做调查的时候，在问卷里面呢？有一个选项就是你在学习日语过程中用过什么样的日语学习软件。然后呢？，我看了你的这个问卷里面呢？，有一个，你写了这个五十音图的软件。然后我要问的呢？就是你在用这个五十音图的相关情况。那么首先我要问的是，你可以简单和我介绍一下，这个五十音图是个什么样的软件吗？
18	A4	那个软件好像是，嗯，我有点不太清楚了。就是当时搜了一下五十音图，然后就下了一个软件。然后里面就是只有五十音图。然后就是一些很形象的记忆法嘛。它会有些跟中文联系起来的，然后也有一些那个，它为什么这个写，就是来记这个图案嘛。然后就还有些发音啊。其实五十音图这软件大部分人看起来都差不多。然后记住之后就不会再忘记了。
19	Z	那我想问一下，你在用这个五十音图软件之前，你有使用过其他的一些日语学习软件或者说其他的一些学习软件吗？
20	A4	日语学习软件其他应该没有的。就是大一刚开始学习日语。然后其他的学习软件的话，什么学习软件都可以吗？
21	Z	可以。
22	A4	嗯，主要就是，就是那个有道词典，查英文词语的，英文单词。然后，然后就是有个可可英语。就是，就是里面的资源比较多。我觉得是个比较好的软件。
23	Z	那你使用的那些软件的经历是不是也有对你开始使用这个，呃，五十音图这个软件有些影响？
24	A4	会啊，就是因为这些软件比较方便啊，随时都可以看啊。不用带书本。我当然会在学日语的时候，会去搜寻一些软件。然后就可以在手机上使用它们。因为现在手机学习比较方便。
25	Z	那当时是一个什么样的契机让你开始使用这个五十音图的这个软件的呢？
26	A4	是同学推荐。
27	Z	哦，那同学怎么推荐你这个软件的呢？
28	A4	他也没有推荐我用这个软件，就是他说他在手机上有下五十音图的软件。然后我也就搜了一下，就是软件是不一样的。但是他们都是学五十音图用的。
29	Z	那你刚才也说软件是不一样的。你自己去搜的时候，也会出现就是同种类型的那种软件，对吧？
30	A4	对对对。
31	Z	那你最后为什么最后选择了这个五十音图的软件呢？
32	A4	因为它看起来比较正规，下载量比较高。然后，界面看起来比较舒服，没有那么多广告。
33	Z	就是比较符合你的心意这个感觉对吧？
34	A4	嗯，对。然后就是，就是搜出来的时候，就是排在比较靠前的位置嘛。
35	Z	那你就是当时搜了几个软件，你是同时下载了几个软件使用，还是只选了这一个在使用？
36	A4	只选了一个。因为我不想下太多软件，占我手机内存。
37	Z	那这个软件内存大小，你觉得是和吗？
38	A4	适合啊，挺小的呀。好像就只有几十兆吧。

39	Z	嗯，好的。那就是你在下载之前，你对这个五十音图又什么样的期待，就是你预计它给你带来什么样的学习效果？
40	A4	这个软件吗？
41	Z	你在使用它之前，对。
42	A4	就是可以让我更快的背日语，然后能有一些形象记忆法，就是让我不会那么快的遗忘它。
43	Z	哦，原来如此。那接下来我想问的就是关于一些你在使用期间的一些问题。那首先要问的是，你是在什么时候，就是类似你说在大一的时候用的嘛。你大一的那个阶段在用这个五十音图呢？
44	A4	就是在学五十音图，上课学到五十音图的时候。那个五十音图学了很久啊。
45	Z	那大概是什么时候呢？
46	A4	一星期大概就学一行两行这样子吧。然后平时零碎的时间都可以看一下嘛。排队啊，或下课之后。
47	Z	国内开学应该是九月份左右对吧？
48	A4	对。
49	Z	那你使用这个五十音图是九月之后到什么时候呢？，大概呢？
50	A4	你说九月份到什么时候是吗？
51	Z	对，你最初使用这个软件是什么时候？是几月份呢？
52	A4	最初开始学，应该。就是我们开学就挺晚了，九月末的时候，才开学的嘛。
53	Z	嗯。
54	A4	然后这个软件就用了两个月左右。
55	Z	用了半个月，还是两个月？
56	A4	两个月。
57	Z	两个月左右，好的。那你那两个月是怎么样一个频率在用这个软件的呢？
58	A4	嗯，也不是特别多吧。每星期大概，大概，就是要背的时候才拿出来看一下。就是，就是在那个上课那天的前一天，前两天会看一下。
59	Z	好的好的，那你具体的使用方式是怎么样呢？就是你单独只使用这个五十音图在背五十音呢？还是会用一些其他的手段在背呢？
60	A4	就是五十音图的那个软件也会用。然后我也会在知乎软件上面搜一些，就是相关的背的方法。
61	Z	那你搜到的那些方法，你有自己去实践吗？
62	A4	有，我觉得挺好用的。知乎上面的更好记。
63	Z	它的方法，具体是一个什么样的方法呢？
64	A4	就是有很多啊。就是每一个五十音，平假名，片假名，它都会有形象的记忆法。就是，就是，我有点忘了现在。就是比如说，什么什么は是个人啊之类的，然后他在跳舞啊巴拉巴拉的。
65	Z	哦，原来如此。就是类似于它介绍了一些更形象的东西，然后让你去背这种感觉对吗？
66	A4	嗯，嗯。然后又和这读音联系起来，就很好记。
67	Z	好的好的。
68	A4	反正知乎上面的答案都比较好。
69	Z	嗯，好的好的。那接下来我想问的问题就是说，你在使用这个五十音图的时候，你有遇到过什么样的问题吗？或者说你有遇到然你觉得使用不太顺畅的东西吗？
70	A4	什么东西?再说一遍。
71	Z	就是你在使用这个五十音图的时候，你有遇到过什么问题吗？
72	A4	几乎没有吧。就是，就是当那个记忆的方法不太适合我的时候，我就会去知乎上再看看。就是每个音他们都有不一样的记法嘛。

73	Z	刚才我也有问过一个问题就是你在使用之前有个预期它能够给你带来什么样的学习效果，那你在使用了之后，你觉得它达到了你之前预期的目标吗？
74	A4	嗯，算是达到了吧。
75	Z	你可以具体跟我讲它达到了哪些吗？
76	A4	就是我能比较牢固的记住它们，然后也可以比较流利地写出来，就是写的时候不会卡壳这样子。
77	Z	哦，好的好的，那你用了之后的感受是怎么样？在使用的过程中你的感受是怎么样？
78	A4	我觉得挺好用的啊，并没有什么。因为本来就是自己要背的东西嘛。也不能说你下了之后，就会就会记住，还是要靠自己的。
79	Z	嗯，好。那接下来这个问题就是说因为你用过，自己也亲身经历过这个软件。那你觉得你会推荐给其他，被人用这个软件吗？
80	A4	嗯，会的。
81	Z	那你推荐给他们的时候你会怎么推荐呢？
82	A4	他们在背五十音图的时候，我会说，那你可以下一个软件来，然后，然后就是平时随便什么时候，零碎的时间都可以拿出来看一看。然后这样会记得更快。
83	Z	哦，好的。那接下来的几个问题呢？，是关于你使用之后的一些情况，还有就是一些你现在的一些使用情况。那你现在还在使用这个五十音图的软件吗？
84	A4	没有。
85	Z	那已经把他给删了吗？
86	A4	对。我现在在用那个，就是那个教材那本书，它的配套的软件。
87	Z	那为什么你会把它给删了呢？
88	A4	因为我已经学完五十音图了，它对我没什么价值了。
89	Z	哦。然后你就是觉得你需要就是学习另外的东西的时候，更深入的东西的时候，你就下了另外的一些东西对吧？
90	A4	对对。
91	Z	那我接下来就要问一下你对这个五十音图的评价是怎么样的呢？
92	A4	做的挺好的，挺人性化的。没有广告。
93	Z	人性化就只限于广告这个问题吗？
94	A4	就是，就是挺正常的软件吧。就是背单词的软件嘛，就跟背英语单词差不多。那我觉得创新嘛，也没什么创新吧。
95	Z	那假如说以一个五星的标准来评判某一个APP，那你会给这个五十音图打一个怎么样的评价？
96	A4	评价？你说是四星吗？
97	Z	对，如果五星是一个最高的满分的情况下，你给五十音图打几星呢？
98	A4	四星半吧。
99	Z	那为什么最后会给它扣掉那零点五星呢？
100	A4	我觉得它可以再扩展一点吧。嗯，就是，它可以，如果它可以做个更完整版的。就是把日语的学习方法也放进去。就是可以做一些后续的不止是五十音图的东西。
101	Z	就是它的内容可能还是只限于五十音图，就是没有更多的后续的那些东西对吧？
102	A4	嗯，对。但是我觉得这样也挺好，这样挺小巧的
103	Z	嗯，好的，好的。那再接下来这个问题就是，你在使用了五十音图这个软件的这些经历会影响到你使用其他的一些软件吗？
104	A4	嗯，会啊。也就是背的软件嘛，比如说百词斩啊，我会拿来背单词。就是会寻求同样，同类型的软件。

105	Z	嗯，好的。那你今后还会想用其他的那些日语学习软件？你现在已经在用了，你在用的过程中你还会再继续去想用其他的更多的日语软件吗？
106	A4	嗯，如果我选了日语专业，我就肯定会去下载的。但是我现在没有在学日语专业了。然后就是相当于二外，不是特别重要。然后我最近就是没有在下载。但是我觉得，等考试的时候我还是会再下载的。
107	Z	哦。好的好的。那具体就是那种等级考试，这种这种这种东西吗？
108	A4	就是我最近比较忙碌，都没有认真的在看日语的感觉。
109	Z	哦。你的忙碌所指的是学业的忙碌，还是指你的大学生活的社团的忙碌？
110	A4	学业很忙碌，然后大学生活也很忙碌。最近特别忙碌。
111	Z	嗯，好的好的。加油加油。那最后一个问题了。那最后这个问题就不只限于五十音图这个软件，而是说你对课外，就是限定这个学习情景，就是你对课外使用日语学习软件学习日语的这种日语学习行为的整体看法是怎么样子的呢？
112	A4	课外的日语学习？
113	Z	课外使用日语学习软件学习日语这样的一个学习行为。
114	A4	我觉得挺好的。因为现在时代在发展嘛。大家手机用的越来越多，你整体看手机，还不如看看学习的东西呢？
115	Z	嗯，那你觉得它的好处是什么呢？
116	A4	好处，好处就是可以利用零碎的时间来学习。然后就是不用一直在手机上玩啊。可以用手机来学习啊
117	Z	还有其他的吗？
118	A4	就是很方便啊。不用带书本。
119	Z	那你觉得它的不好的地方，或者说还需改进的地方。
120	A4	不好的地方就是学习的时候趣味性比较少吧。
121	Z	那你期待的那些趣味性是什么呢？
122	A4	就是可以结合一些音乐啊，电影啊，这种。然后也可以放一些文学啊，历史进去啊。
123	Z	就是你希望在课外是让你拓展更多的日语知识这种感觉对吗？
124	A4	嗯，对。比如说它的五十音图为什么这么写啊。它是怎么发源过来的呀。
125	Z	哦。好的好的。非常感谢。那这次我所要采访的内容就到此为止了。

インタビュー協力者 A5

番号	話者	内容
1	Z	那首先呢？我想问一下你现在是大几呢？
2	A5	大二。
3	Z	(個人情報が入っているため、公開できない)
4	A5	
5	Z	我十月份的时候去做调查的时候，那个问卷里面有一个问题就是你用过什么样的日语学习软件，你还记得吗？
6	A5	日语学习软件？
7	Z	对对，你当时填的时候。
8	A5	好像有一个五十音图。
9	Z	对，然后我要问一下就是关于这个五十音图的一些东西。那首先呢？，我想问一下你还记得这个五十音图有什么功能，是怎么用的吗？

10	A5	还是我没进学校，暑假的时候。他们说那个，然后就下了一个。好像是点开来，然后会有那个就是对应的五十，五十个音。然后会有那个写法和读音好像。
11	Z	那你说的他们是指谁呢？
12	A5	就是，不是知道自己进了哪个学校，哪个专业以后。然后会有加学习的那个，学院的那个群。然后会有一些同专业的加过来。
13	Z	然后他们有推荐用这个软件对吗？
14	A5	嗯，嗯，是的。
15	Z	那，好。我想问一下你在使用这个日语的五十音图之前，有用过一些其他的学习，学习软件吗？就不一定是日语的，其他的学习软件也是可以的。
16	A5	就那个大学之前吗？
17	Z	对，就是在用这个 APP 之前。
18	A5	那时是不可以用手机的。
19	Z	这个还是你第一次用？
20	A5	对，就是字典。
21	Z	这是你第一次用 APP 学语言吗？
22	A5	嗯。对。手机也是暑假买的。
23	Z	哦。那当时是一个什么样的契机，让你去下这个五十音图的软件呢？
24	A5	就好像那个，因为有人说，就是现在自学日语的也很多嘛。然后就，就，就说他们可能就已经学的都已经挺厉害了。有的还有日语高考的进来的，然后就说要不要我们也先学一下，然后就找到这个入门的五十音图的软件，就下了。
25	Z	那当时我想你们在聊的时候也会，就是会自己，会说到很多个类似的日语学习软件，那为什么你最后选择了这个软件呢？或者说你选择这个软件的标准是什么？
26	A5	标准的话就是找那个入门的。因为以前也没有接触过日语嘛。就是一点也没有学过。然后找入门的，然后他们就推荐了这个五十音。
27	Z	那在去下之前，是什么样的东西吸引你呢？
28	A5	就比较简单易懂吧。就比较好学嘛。就跟着它读，然后就看它怎么写的。
29	Z	那现在就要问一些关于你开始使用之后的一些问题。那你在使用期间是怎么使用的呢？
30	A5	我也记不太清楚了，应该就是点开来，然后就是看着它那个，就是一个一个的音，然后点一下它会那个，有语音出来嘛。就跟着它读。
31	Z	那你大概是在什么时候用这个软件的呢？
32	A5	就是知道了自己进了这个日语专业，然后又加了很多同学，然后下了这个软件之后，就用了一段时间。
33	Z	那用了一段时间，那具体是用到了哪一个时间段呢？一直用到了哪个时间段呢？
34	A5	用到哪个时间段啊？
35	Z	就是说你开学之后还在用吗？
36	A5	开学之后，就是不是后来就五十音学完之后就学单词了嘛。后来好像就没用了。
37	Z	就是类似于开学的那段时间你也在用，但是就是学完五十音后这个就不用了。这个理解对吗？
38	A5	嗯，好像是。
39	Z	那大概是开学之后多少的一个时间呢？
40	A5	开学之后。我记得那个，老师教五十音的时候，好像教的挺快的吧。一个星期，基本上就是要求我们都能够背诵默写下来了。大概一两个礼拜吧。
41	Z	那你在用这个五十音图之前，你对它有什么样的期待。或者说你期待它给你带来什么样的学习效果呢？

42	A5	学习效果就入门的那种比如说，知道它的写法，然后那种怎么读。就好就是有那种方便记忆的那种规律啥的。但是好像没有。就是很简单的怎么写怎么读。
43	Z	那可以说你对它的期待是比较高的吗？
44	A5	也没有吧。因为当时还不知道五十音是什么。然后点进去发现是这样的。
45	Z	那你使用之后它有达到你的预期的效果吗？
46	A5	嗯，还可以。
47	Z	这个还可以可以讲的更具体一点吗？
48	A5	就是入门的话，就，就它的写法和读音的话，我觉得肯定是不够的，但因为它这个软件就叫五十音嘛。
49	Z	嗯。
50	A5	好像有其他的功能。但我后来没有点开来看。好像有那种视频，教学什么的。其他的我没点开来看。
51	Z	那就类似于你没有把它全套学下来，就学了其中的一部分。这样理解可以吗？
52	A5	嗯，可以。
53	Z	那你自己使用之后对它的感受是怎么样？
54	A5	感受的话就是比较简单，比较好用吧。
55	Z	那你这个简单具体指哪些东西呢？
56	A5	简单就是它那个，点开来就是直接会有那种页面跳出来，然后你点它那个页面他就会有那个语音出来嘛。就是它那个读音。就是不会说有其他的那些比较多的那种选项。
57	Z	那你在使用的过程中有遇到过什么样的问题吗？用这个软件的时候。
58	A5	用这个软件的时候？
59	Z	就是类似于让你感觉不太顺畅的那些东西。
60	A5	不顺畅的。嗯，记不太清了。我不记得它那个有没有广告啥的了。现在很多软件点开都会有几秒钟的广告。但是那个。时间有点长了我记不太清了。
61	Z	哦。好的好的。没关系。你使用了之后你会推荐给其他人这个软件吗？比如你所自己的那些后辈啊什么的。
62	A5	就是你还没有用教材之前的话，就是完全没有一点接触的话。就是还是可以用的。好像它是有视频那个教学的。也有那个以后会慢慢深入的就是那个，就是那个更深入的一些版本，应该也在更新。
63	Z	那你刚才说是在没有开始学的时候，那真正开始学五十音图的那段期间，你觉得你推荐他们用吗？
64	A5	也可以。因为在学的时候要强化记忆嘛。然后，比如说你可以在走路啊，或者平时闲的时候可以直接听嘛。然后在脑海里面想那个怎么写。可以强化记忆。
65	Z	那最后呢？我想问几个就是关于你使用之后的情况。你现在还在用这个，这个，这个五十音图的这个软件吗？
66	A5	嗯，没有了。
67	Z	那没有的话，那软件还在你手机里吗？
68	A5	删掉了。
69	Z	那你大概是什么时候删的这个软件呢？
70	A5	就我说那个，上完那个五十音图，然后基本上都记住了以后一两个礼拜。
71	Z	嗯。那你删它的原因，就是因为你已经记住了这个五十音。所以就是你觉得再用这个，这个软件没什么用处。这样理解对吗？
72	A5	嗯。。。当时可能是这样想的。但是不知道它还有没有一些其他的功能。
73	Z	嗯，好的。那你自己使用了之后。你对它的这个，这个，五十音图的软件的评价是怎么样的呢？

74	A5	评价的话，就我自己用的话。我感觉就是，就是我自己知道的那些，就感觉它有点过于简单了吧。就那个教教五十音，有读音啥的。就你真的要学日语的话，这个肯定是不够的，起码最好有点单词啥的。
75	Z	嗯，好。那这个，你使用这个五十音图之后，这些经历会不会影响你去使用其他那些日语学习软件呢？
76	A5	嗯，怎么说。
77	Z	更明确就是，你今后还会想使用其他的一些日语学习软件吗？
78	A5	嗯，应该是想的。
79	Z	嗯，好。那你说是想的。那这个想的这一部分里面有没有一起你用过这个五十音图的这个经验的一些影响因素呢？
80	A5	就是我感觉它这个，它这个软件的名字就有点就是过于简单了。如果是稍微知道一点的人就知道，就是五十音图就是最最那个基本的。可以稍微，比如说就是那个，就是比如说改下名字，比如日语入门，这样。就，它就光五十音的话，有一些稍微知道一点的人，肯定就不愿意下这个了。因为他们肯定就五十音知道一点的嘛。
81	Z	嗯，嗯，好的。那最后一个问题。你对课外使用这个日语学习软件学习日语这个行为你的整体看法是怎么样呢？
82	A5	因为现在就是，就是信息也是比较那个发达了嘛。流动也比较快了。用那个，这种，这种学习软件的话，我觉得适当的用一下还是可以的，但是就是不要太依赖。就是什么，你做作业或者要写个那种啥的都直接查那个的话就不太好了。可以适当借助。
83	Z	那你为什么觉得它不大好呢？
84	A5	就是像有些人的话，他可能要做一个题目，他可能先中文写好，然后直接用那种翻译软件翻译出来，然后写上去。这样的话就是可能对学习啊什么的反而是不太好的。
85	Z	哦。那你刚才说的是一个翻译的软件，如果是一些那些教学的软件的话。你对这样的一些软件是怎么样看法呢？
86	A5	教学软件？带翻译功能吗？
87	Z	不带翻译功能。就类似于这个五十音图，就是教你学一些新知识的东西。
88	A5	嗯，就是可以，举一反三吧。比如像那个，那个教科书上面一个语法不是会举很多个例句嘛。
89	Z	嗯。
90	A5	可以让学习的人自己造一个例句。
91	Z	嗯。
92	A5	然后可以比如说，可以语音，然后就是自己造的例句，然后可以检查是不是符合语法，或者是不是符合什么。
93	Z	嗯，你对这个功能的评价是相对比较高的吗？
94	A5	哪个？我刚刚说的吗？
95	Z	对。就是检查你到底做的对不对的这个功能。
96	A5	这是我刚自己想的。不知道有没有。
97	Z	我是想，不是说让你去，就是叫什么去想一个那个功能，而是说你对这个，在课外用日语学习 APP，使用软件学习的这个行为的看法是什么。
98	A5	课外用学习软件。
99	Z	对。
100	A5	我觉得，我觉得适当地用肯定是可以帮助学习的。因为你说现在你比如说你在寝室里面要学习的话，你可能不知道这个是什么意思，你可能还要，比如说你还要跑到图书馆里面去查很多很多的大辞典，就会比较麻烦。但是你手机上有一个学习软件的话，就会比较方便。

101	Z	哦，好的好的。那我采访的内容就到此为止了。
-----	---	-----------------------

インタビュー協力者 A6

番号	話者	内容
1	Z	首先我想问一下你的年级是什么？
2	A6	大一。
3	Z	(個人情報が入っているため、公開できない)
4	A6	
5	Z	就是我十月份去做调查的时候，你在给我答的问卷里面，就是你用过什么样的日语学习 APP 的问题。你给我答的是五十音图的这个软件。你现在还记得这个五十音图是个什么样的软件吗？
6	A6	嗯，记得。就是一个比较适合初学者使用的，就是会有五十音图的每个，教学，就是会有包括那些笔顺的，就会给你写出来，然后你可以跟着它写，跟着它念，录音。然后下面还有一个小的视频教学。就是暑假的时候去看的。后来就是上日语课了，就没有用了，因为五十音图就上完了嘛。
7	Z	哦，就是你说你是在暑假的时候开始用这个软件了。那是一个什么样的契机让你开始用这个五十音图的日语学习软件的呢？
8	A6	因为专业呀，然后就是加了新生群嘛，里面有人通过这个在学，然后开学也是要学日语的，所以就看了一下。
9	Z	类似于你在就是要开学之前，进了一个新生的群，然后新生群里面有别人推荐你用这个软件，然后你也比较感兴趣，然后你就用了这个软件对吧？
10	A6	对。
11	Z	那在使用这个五十音图之前，你用使用过一些其他的一些，不仅限于这个日语软件，其他的一些软件吗？
12	A6	嗯，之前就是有，比方说英语魔方秀，它就是一些配音嘛，英语的。然后还有扇贝，百词斩，这些背单词的。然后还有一个英语流利说也是类似于有配音的，它会给你打分。
13	Z	那这些使用经验，有没有影响到你去选择这个五十音图的使用呢？
14	A6	没有，因为之前就完全没有接触过日语。
15	Z	哦。
16	A6	这些都是学英语的。
17	Z	那我想跟这个五十音图相类似的其他的一些 APP 那你就最后选择这个五十音图这个软件的标准是什么？
18	A6	就下了以后觉得它界面挺简单，就是而且，怎么说呢？，就是看过去挺舒服的，每个平假，片假，我觉得它都讲得挺详细的吧。就是用着没有什么不便。因为我比较懒，我就不想换了。
19	Z	我想你当时说到那个新生群里面有推荐这个软件，我想新生群里也应该会有推荐一些其他的软件，那其他的一些软件也一起下下来了吗？
20	A6	对，之前我有吧那个什么英语流利说卸载过，因为像这种 APP 的话，就是有段时间没用的话，它是有给你口语力打分的，然后你坚持打卡的话，你的口语力就会上去。然后就很长一段时间没用之后，像这些 APP 的话，有时候自己坚持不下来就就把它卸载了。然后后来群里大家就不想让暑假过的这么荒废，我们就是有个助班，她就每天去里面，就是在流利说里面找个任务嘛，然后我们去群里打卡，然后就是它不是会打分嘛。就是得分最低的那个人就要唱一首歌。大概就是这样子的。所以大家在一起的话就是还是会稍微坚持一下的。
21	Z	那再回到五十音图这个软件上面。你在下这个五十音图的时候，你对它有什么期待，就是你期待它给你带来什么样的学习效果呢？
22	A6	我觉得它也不是一个很难，就是非常基础的吧。就稍微对日语有些了解就好了。

23	Z	这是你对这个学习软件的学习效果的一个期待的内容？
24	A6	嗯。
25	Z	那之后我想问一下，你在使用这个软件的时候，你说是在暑假的时候用的这个五十音图的软件，那你当时的使用频率是怎么样呢？
26	A6	当时的使用频率啊。就是好像我自学效率蛮低的，就是大概一个多星期吧。就是每天打开了看一看，后来就没有怎么看过了。比如说有些什么事情，比如说出去玩，和同学一起，就不会去看了。
27	Z	那也就是说你下下来之后，就差不多只用了一个星期之后，就差不多不用了这样一个状态吗？
28	A6	不是，我指的是连续使用的时间。大概一个多星期，后来可能去玩，后来想起来可能再打开一下。不是不用。
29	Z	就是之后频率变得很少这种状况吗？
30	A6	对。
31	Z	那你开学之后还有在用这个软件吗？
32	A6	对啊，因为因为就是老师会上，会上五十音，上完了呀，这个软就当然没有用了。因为它其实占内存很小，那就是一个就教了五十音嘛。
33	Z	那我刚才问了你在使用前对她有什么样的期待。那之后，你使用了之后，你觉得她达到了你想要的学习效果或者学习目的嘛？
34	A6	我觉得还是用点用的，我觉得它展现的方式比较简单嘛，因为之前从来没接触过日语。然后它就是，怎么说呢？那些写那些日语字的那些就是。
35	Z	嗯。
36	A6	笔顺啊什么的。就是可以之间在手机上面写啊。就感觉还是挺好的吧。
37	Z	嗯，就是让你会写了日语，这个算是你达到的一个效果吗？
38	A6	我觉得，嗯，差不多吧。
39	Z	那刚才就说，你说这个是别人推荐你的，那你在自己亲身经历，亲身使用之后。你会向其他人推荐这歌五十音图的软件吗？
40	A6	我给我一个不是日语专业在别的学校的同学推荐过。因为它就是像我说的内存比较小，然后界面简单，然后挺好用的。对于一个就是没有接触过的一个初学者来说，我觉得它是一个挺好的入门方式。
41	Z	我想你刚才也几次提到了它，那个内存占的小，界面简单，这个要素。那这两个要素是不是也是你当时选择这个下载 APP 的一个理由呢？
42	A6	对，我比较喜欢简单一点的东西。
43	Z	哦，原来如此。
44	A6	我一下子也不能学这么多，如果用一些别的软件。比如说日语配音吧，我根本就没有到那个水平，然后先学这个，然后学完了就可以把它卸载啊。也挺方便的。
45	Z	那接下来就要问你关于使用之后的一些情况。你刚才说你已经不再用这个 APP 了。那这个 APP 还在你的手机里吗？
46	A6	没有啊。
47	Z	就已经把它卸砸掉了对吧。
48	A6	对。
49	Z	那你是在什么时候把这个 APP 卸载掉的呢？
50	A6	就是我们，我们五十音图教完了以后。可能十月份这样吧。
51	Z	就是类似于刚开学，学完五十音图，然后就差不多把它卸载了。对吧？
52	A6	嗯。

53	Z	那你整体对这个五十音图的评价是什么？
54	A6	我觉得它就是一个比较适合于初级，比较基础，然后用起来确实对初学者，怎么说呢？，就是使用起来挺方便的一个软件。但是，它就是像我说的我学完以后就把它卸载了。它就不是一个长期，就是一个长期使用的软件。功能也就很有限嘛。也就是帮助你学习五十音图。
55	Z	那你如果就是，就是在使用过这个五十音图之后，就是使用过五十音图这个软件的经历会不会影响到你去使用其他的日语学习 APP 呢？
56	A6	也许吧。
57	Z	那具体是哪些因素会影响到你去学习其他的日语学习软件呢？
58	A6	比方说它的页面展现的方式就不要有那么多花里胡哨的东西，然后就是比较清楚的，直观的，就是能就帮助我们学习。
59	Z	那假如说你要给这个软件评分。然后这个评分的标准，最多能打五颗星。那你给这个五十音图的软件打几颗星呢？
60	A6	四星半吧。
61	Z	那最后扣掉的那半星，具体指的是哪些内容？
62	A6	就像我说的就是它也就只帮我们学了五十音图吧。在它这个有限的功能里面，它还做的挺好的。
63	Z	就是类似于，它完成了它的任务，但是它没有更多的拓展，这个意思对吧？那就最后一个问题。我想问一下你对课外，在课外使用日语学习软件这个学习行为的整体看法是一个什么样的看法？
64	A6	我觉得日语学习软件确实给我们的学习提供了一些帮助。比如说我们现在学的那个日语书，它是有一个 APP 的，就是我们学的是标准日本语。它有个 APP。书里就会又个码，你把码输进去就会获得整本书的一些，就是包括单词啊，习题啊，一些内容。然后课前就会去听一下嘛。我觉得，而且，它，比如说我走路时候也可以听。它就是比较便捷的学习方式，然后有时候也可以让我们的学习稍微看起来简单一些。
65	Z	哦，那个简单是具体指什么方面的简单？就类似于可以随时学这个意思吗？
66	A6	可以随时学。然后，因为原先也没怎么接触过日语嘛，然后可能就是多听一听的话，就是会对语音方面有一定的帮助。
67	Z	那我刚开始问的时候漏问了一个问题，你现在应该是英语专业对吧？
68	A6	对，英语专业。
69	Z	好的好的，那我这次采访的内容就已经结束了。

インタビュー協力者 A7

番号	話者	内容
1	Z	那现在开始这个采访调查。
2	A7	好。
3	Z	那我想问一下你现在是大几呢？
4	A7	大一。
5	Z	大一下半学期对吗？
6	A7	对。
7	Z	你现在是日语专业还是英语专业呢？
8	A7	日语专业。
9	Z	好的。然后呢？，我想我在十月份的时候去调查的时候，那个问卷里面有个问题是你使用过一个什么样的日语软件。你当时给我填的呢？，里面有个叫五十音图的一个软件。你还记得吗？

10	A7	是的，那个时候刚刚开始学五十音图，然后就下了这个软件。
11	Z	那你还记得这个五十音图是个什么样的软件呢？你能跟我介绍一下吗？
12	A7	就是教一些比较基础的东西。刚开始是五十音图。
13	Z	嗯。
14	A7	一个一个教过去。然后，好像，我记得是一行一行解锁之后才能解锁下一行。然后它里面有一个比较好的地方是，可以教你发音的口型。
15	Z	嗯。
16	A7	然后还有一点是每天它会有一句日语。每天一句叫你。比较，比较，就是一些比较日常的日语。
17	Z	这是你对它的一个整体的印象对吗？
18	A7	对对。
19	Z	那我想问一下你在使用这个五十音图之前你有使用过其他的软件吗？不一定是这个学习日语的软件，有其他的一些学习软件吗？
20	A7	暑假里下过英语流利说。
21	Z	嗯。
22	A7	之前就下过一些词典吧，其他应该也没有。
23	Z	那你之前的那些学习的经历。就是用这个学习软件学习的经历，对你这次选择这个五十音图有没有什么样的影响呢？
24	A7	影响倒是没什么影响。毕竟之前学习的都是跟英语，基本上跟英语挂钩，日语学习也是没有的。也没什么影响。
25	Z	那是一个什么样的契机，让你开始下载这个五十音图呢？
26	A7	室友推荐的，这个是。
27	Z	哦，就是你室友推荐的，是吗？
28	A7	嗯，因为她说有，就是口型，教你发音的口型，这点就是比较好，然后就下载了这个软件。
29	Z	那你当时，我想你自己去下的时候也应该会就是，也会看到几个类型，就是同样类型的一些学习软件。那你当时选择这个的原因是什么？
30	A7	因为那个时候日语是刚入门嘛。所以单词什么的，发音也都还不会，然后就想先下点基础的东西。而且那个时候也没有决定是学日语还是学英语。所以先把基础的东西下下来。学学看，看以后有没有兴趣。这样就可以去选择专业。
31	Z	那你当时是在同类型的软件中只下了这个软件，还是一起下载了其他的软件？
32	A7	学习了一段时间之后，就是五十音图也学完了。然后也是室友推荐，下了一些其他的软件。那个时候室友推荐的是沪江开心词场。
33	Z	你继续。
34	A7	她们说那个背单词比较好用，所以就下了那个。
35	Z	你刚才说的是，你用完了这个五十音图之后，你再去下载了另外的 APP 这样的吗？
36	A7	对对。因为那个时候也决定要学习日语了。
37	Z	好的，那现在接下来我要问的就是你在使用那段期间的一些问题。你在使用就是开始使用这个五十音图的时候，你是在什么时候，然后怎么样的频率在使用的呢？
38	A7	一般是晚上熄灯之前，然后大概每天用个 20 到 30 分钟的样子。还有一个是在上课之前，之前大概有 10 分钟的时间，去温习一下以前学的比如说那些五十音图。

39	Z	那你这个大概是在什么时候不用它的呢？
40	A7	五十音图学完之后吧。
41	Z	那大概是一个什么样的时候呢？就是类似于你开学到你。
42	A7	开学到那个时候。让我想一想。应该是在两个月之后吧。
43	Z	那你在使用期间有遇到过什么样的问题吗？
44	A7	是软件方面的问题？
45	Z	就是各种问题都可以，就是使用这个五十音图的时候的一些问题。
46	A7	问题啊？
47	Z	或者说是一些让你使用不太舒服的一些东西。
48	A7	这个有点忘了，因为使用的时间不是特别长。
49	Z	哦，好的。那再换一个问题。那你使用了这个五十音图的软件，你使用后有什么样的感受呢？
50	A7	对于刚开始入门吧，我觉得这个软件还是不错的。因为之前也提到它关于口型的问题，这个就是可以调整，就是调整，纠正我的发音。然后再结合老师上课讲的一些注意点，就可以很好的，首先发音也可以发的标准了。这个挺好，然后它那个每日一句日语，这个设计也是不错的。因为它每日的那句日语就是偏向生活方面的。就这些。
51	Z	那就是你在下这个软件之前。你就是因为有室友推荐你对吧。那听了你室友对你的推荐之后，你对这个软件有什么样的期待吗？期待它能给你带来什么样的学习效果？
52	A7	首先应该就是帮我快速地学完五十音图。因为那个时候平假名和片假名，记忆还是有一点困难。然后么，就是希望它能用的时间长一点。
53	Z	这个长一点具体是指什么？
54	A7	就是对确定专业之后的一些单词的学习，就是用的比较长点。但是，它就是还是偏向基础方面的。单词方面的也并没有。
55	Z	那你在使用了它之后，它有达到你原来预期的学习效果，学习目标吗？
56	A7	基础学习还是有的，那个比如说它不能搜索单词，这个的话感觉还是需要改进一下。因为不管怎么说，日语学习虽然基础也是很重要，但是一些单词搜索，一些基础的单词搜索应该具备。
57	Z	好的。那你在使用了这个五十音图之后，你会向你身边的朋友去推荐这个五十音图，或者说向今后的后辈推荐这个软件吗？
58	A7	会的。我有一个朋友是其他专业的，她说她之后想辅修一门日语。问我有什么可以学习的那些软件啊。我就把这个基础的五十音图推荐给她。
59	Z	哦，好的好的。那接下来的几个问题就是关于你使用之后和你今后的一些情况。那你现在还在使用这个五十音图吗？
60	A7	不在使用了。
61	Z	那它还在你的手机里吗？
62	A7	已经卸载了。
63	Z	那卸载就类似于学完五十音图，从开学后两个月之后，你就把它卸载了对吧。
64	A7	嗯嗯嗯，对。
65	Z	那你卸载的原因可以再跟我阐述一下吗？
66	A7	一个是室友就是推荐了对以后学习更加有帮助的几个 APP 嘛。然后就是觉得基础来说自己掌握的也还行。基础方面也不怎么需要了，就把它给卸掉了。

67	Z	那你对这个五十音图的评价是怎么样的呢？
68	A7	还不错，适合入门学习。
69	Z	哦，好的。那假如说以五星的标准来评价这个五十音图的软件，你给他打几星呢？
70	A7	四星吧。
71	Z	那你这个扣掉它一星的原因是什么？
72	A7	就是刚才说的那个一些基本单词并不能搜索。
73	Z	那给它四星的理由又是什么呢？
74	A7	就是对入门还是有很好的帮助。
75	Z	就是它达成了它四星的就是入门的那些东西对吗？
76	A7	对，至少它对的起它的名字，五十音图。
77	Z	那使用这个五十音图的这些经历，会不会影响到你去使用其他的一些日语学习软件，今后你去使用的学习软件呢？
78	A7	还是会的。就是会尽量挑选一些能使用的时间比较长的一些软件。
79	Z	那就类似于你在使用这个五十音图的时候，你发现它使用的时间比较短。经历了这个之后，你希望你今后使用的软件能时间长一点对吗？
80	A7	对。
81	Z	那现在就要问你最后一个问题。那这个问题就不仅限于五十音图这个软件了。而是说你对课外使用日语学习软件这样的一个日语学习行为整体看法是怎么样的？
82	A7	课外学习我觉得还是应该支持的，我觉得。但是应该课堂学习为主，课外学习为辅。比如说课堂上，现在在学标准日本语，然后它一些单词，还有单词录音，还有课文的录音，基本上我都是在课后在喜马拉雅那个电台上找的。这个也是老师推荐的，这个的话课外就可以很多时候空余时间都可以，去一半听一边做别的事情。所以我觉得课外学习也是，用智能手机学习也是很重要的。
83	Z	那你觉得它有什么优点？
84	A7	一个是携带方便吧。现在每个人都有智能手机，然后还有个是，种类也挺多的，种类也挺广的。
85	Z	你说的是学习资源的种类吗？
86	A7	对。然后还有就是可以在空余的时间，可以利用，学习。
87	Z	那你觉得在课外使用日语学习 APP 的这个学习行为有什么不好的地方，或者说不足的地方？
88	A7	不足的地方的话。可能就是有些日语学习资料吧，跟老师讲的可能会有些出入，然后就是可能自己学习的这些，然后老师上课讲的又是另外一种，就很容易，脑子很容易混淆。而且网上的一些资料就是参差不齐，鱼龙混杂吧，也不知道哪一种可信度比较高，哪一种可信度比较低。
89	Z	好的好的。那我这次采访的问题就已经全部问完了。非常感谢你能够参加我的这次采访。

インタビュー協力者 A8

番号	話者	内容
1	Z	那首先我想问一下你现在是大几呢？
2	A8	大一。
3	Z	大一下半学期对吧？
4	A8	是的。
5	Z	(個人情報が入っているため、公開できない)

6	A8	
7	Z	那你是英语专业呢？还是日语专业呢？
8	A8	英语。
9	Z	你上半学期的话，就是还没有分专业的时候，是大类的时候在学日语的对吗？
10	A8	是的。
11	Z	那你现在还有在学吗？
12	A8	还有在学。估计最少要学到大二上册。
13	Z	好的好的，那我现在就是要问一下就是日语学习的 APP 的使用情况，我十月分去做调查的时候。我那个调查问卷里有一个问题是你用过一个什么样的日语学习软件。然后呢？，我看你在给我的问卷里面回答的有一个叫五十音图的一个软件，你还记得吗？
14	A8	嗯，记得。
15	Z	那你可以跟我简单介绍一下这个五十音图是一个什么样的软件吗？
16	A8	它那里面就是有那个平假名片假名，就是它那个怎么发音的，就是那一个表。它有那个就是单独的平假名，然后全部，再片假名全部。然后，再那些拗音浊音，就是也有分开来，就是在里面有。就是你可以，就是一边，你点一下它就可以那个发音。然后它还有一个地方，就是你可以跟着它那个写。有那个笔顺。
17	Z	那我想问一下你在使用这个五十音图的软件之前你有用过其他的一些日语学习软件，不一定是日语学习软件，或者说其他的一些学习软件吗？
18	A8	嗯，就是没有专门的这种学习软件。但是我就看看日漫这些。
19	Z	哦，好的。那是什么样的一个契机让你开始使用这个五十音图的呢？
20	A8	因为室友推荐的。就是大一新生的时候，室友推荐。
21	Z	那那个室友推荐的时候她是怎么推荐的呢？
22	A8	她说我们不是日语要开始学五十音图了嘛。然后有个 APP 就叫五十音。然后就是说可以学。
23	Z	那我想你去下的时候也会看到其他的一些同种的软件，那最后选择这个软件的标准是什么？是什么东西吸引了你？
24	A8	首先是因为我们是刚入门嘛。这种就是有那些基础的东西。所有就下了。
25	Z	那你在下之前你对这个软件有什么期待吗？你期待这它能给你带来什么样的学习效果呢？
26	A8	就是那个发音比较标准，然后其实我也没想到它会教我们那些笔顺是怎么样的嘛。还可以在上面写那种。
27	Z	那这个是在你使用之后才知道的。你在使用之前，你希望它能给你带来什么样的学习效果？
28	A8	使用之前？
29	Z	嗯。
30	A8	就是能让我熟练的掌握这些发音嘛。
31	Z	哦，好的好的。那接下来几个问题是关于你在使用期间的一些问题。你大概是在什么时候使用这个五十音图的软件的呢？
32	A8	一般就是老师上课之前我会先看一点吧。但是不太懂，然后等老师讲解了之后，再用这个复习，在它上面还有一些什么谐音，就是用中文那些什么东西，联想之类的。一些小小的图教你怎么把它记下来。
33	Z	那你大概是在大一的什么期间在用这个软件？
34	A8	主要就是在学五十音图的时候吧。
35	Z	那大概是一个什么时候呢？假如说你开学的时候是九月份的话，那九月之后的哪几个月。
36	A8	嗯，就是两个月之内吧。

37	Z	就是九月份到十一月份这样的一个时间段对吗？
38	A8	是的。
39	Z	那你在使用期间，你是什么样的频率在使用这个软件的？
40	A8	频率啊？
41	Z	嗯。
42	A8	一个星期大概一般的时间吧。
43	Z	基本上是两天会用一次的这种感觉对吗？
44	A8	嗯，是。就是一开始学的时候会频繁一点，差不多每天都用，然后后来就是三四天嘛。
45	Z	那这个过渡期大概是一个什么样的时间段呢？假如说你整个使用的时间段是九月到十一月份，那你从每天都用，到渐渐不用这个状态，大概是什么时候开始的？
46	A8	大概五个星期。记得不太清楚。
47	Z	哦，好的。那你当时的具体的使用方式是什么样的，你是只用这个五十音图在学呢？还是说你还配合了一些其他的形式在学呢？
48	A8	我可以，别的 APP 也在用吗？
49	Z	可以，你当时还用了一些什么样的 APP 呢？
50	A8	就是我们学的就是那个标准日语的那册书嘛。然后根据它书上也有一个同样的 APP，和那个书相关的，和书本内容相关的，也叫标准日语。
51	Z	嗯。
52	A8	然后那里面就有单词课文那些。
53	Z	那那个地方有学五十音的东西吗？
54	A8	也有诶。就是它那个，它那个标准日语上就是有那个发音。
55	Z	嗯。
56	A8	然后五十音图的那个 APP 上就是有教你联想法，记下来。
57	Z	嗯，好。就是类似于你在用这个软件之外，你还用了其他的一些软件，也在一起使用这种感觉对吗？
58	A8	嗯。
59	Z	那你在使用过程中你有遇到什么样的问题？
60	A8	什么样的问题？
61	Z	或者说让你觉得用的不太顺畅的地方。
62	A8	好像没有什么问题。
63	Z	好的。那刚才我有问过你在使用之前对它有什么样的预期的效果嘛，那你在用之后，你觉得它达到了你当初的预期效果，学习目标吗？
64	A8	我觉得达到了呀。
65	Z	那具体是怎么样，你可以跟我解释一下吗？
66	A8	我可以那考试来说吗？
67	Z	可以。
68	A8	就比如我那个期中考试的时候，考的是满分，然后期末考试的时候，也就是一个没怎么见过的词，就是那个拓展的那个词没有记住之外，然后其他都对的。
69	Z	那这个是学习五十音图给你带来的效果吗？

70	A8	不全是吧。
71	Z	那我想问的是这个五十音图给你带来的这些学习效果，是达到了吗？就是你在使用之前的预期和你在使用之后的预期完全符合吗？
72	A8	其实也不能说完全达到吧。就是有些东西还是会忘记的。不过很奇怪的是，就是一开始学的时候嘛，就会然你记得很牢，但是当你全部都学会了之后，你会觉得你再复习的时候，好像都似曾相识，都学过了。但是还是有些总是会忘记。这个我也不清楚。
73	Z	嗯，好的。那你在使用了这个软件之后，你会向别人推荐这个软件吗？，这个五十音图这个软件吗？
74	A8	会啊，我见到同学，我有时候就会说。
75	Z	那你会怎样推荐它呢？
76	A8	我一般会说有个 APP 叫五十音图，然后它就可以教你比较快的把那些发音啊，那种写法记住，都很简单。
77	Z	那接下来几个问题是关于你使用之后，或者说你现在的的一些使用情况的一些问题。那我首先要问的是你现在还在用这个 APP 吗？
78	A8	没有了。
79	Z	就是大概你说的十一月份，十一月份之后你就把它卸载了，这种感觉？
80	A8	是寒假里卸载的。
81	Z	寒假里卸载，那大概是什么时候呢？
82	A8	就是寒假里，想到了就把它卸载了。
83	Z	好的好的，那我想问，你十一月份之后就不怎么用了是吧？
84	A8	是的。
85	Z	那你那个不怎么用的时候，到你卸载之前，那段时间，它只是在你的手机里存在而已，你基本上就不去碰它的这种感觉吗？
86	A8	好像是这样的。
87	Z	好的。那你之后又不使用它的原因是什么呢？
88	A8	因为那个时候都在学课文那些单词什么的，每天都要记单词。就是那个学期，你感觉那些你都掌握的都比较牢固了，然后记单词记记啊背背，然后经常有些就感觉特别熟悉了，然后就不需要重复拿这个 APP 来帮你记这些单个的发音啊什么的。
89	Z	哦，好的。那我再问一个问题，你对这个五十音图的评价是怎么样的？
90	A8	评价，比较有趣吧。然后效率也挺高的。
91	Z	那这个有趣具体是指什么呢？
92	A8	就是，比如，让我想想。其实我也说不太上来，就是比如说它那个はひふへほ那个ふ，它给你画了一只小猫，然后把它那个猫耳朵里一标，就是那个ふ的那个片假名嘛，然后就有有点像，然后一只小小的猫，你就看到它耳朵那里被标出来，然后就可以联想到它那个片假名，就是感觉比较容易记吧，就这种挺有趣的。
93	Z	哦，好的。那假如说以一个五星的标准来评价这个 APP，那你给它打几星呢？
94	A8	是指那些可以整数的那种吗？就是只能一二三四五这样子吗？
95	Z	你也可以打半星这种的。
96	A8	四点五星吧。
97	Z	那扣掉的那零点五星到底是哪些方面让你觉得要扣掉零点五星？
98	A8	就是其是我是觉得它可以在多一些那些，就是那种句子的那些的扩展嘛。就是我只能用它一段时间，不够丰富

99	Z	好的。那你在用了这个五十音图这个软件的一些经历，会影响到你去使用其他的一些软件吗？
100	A8	会吧。
101	Z	那具体是哪些方面呢？
102	A8	就是会，你用别的软件的话，你就会进行一些对比，比如说在它的功能上。像这个标准日语，他就虽然主要是紧合课本的嘛，但是它也不是很有趣，就是那些东西搬在上面。但是标准日语，你对比之后就会发现它有另外的功能，比如它可以给你听写，就是那个所有的那个单词表里的东西嘛，你可以设置读完，每个词都几遍，然后读完之后，就是间隔几秒，然后就是在那个时候你可以拿来听写。就觉得它多了一个功能，好像也不是那么让人失望。就是这样。
103	Z	那你今后还会想使用那些日语学习的 APP 软件吗？
104	A8	可能会吧，但是暂时还没有这种想法。
105	Z	那是为什么呢？
106	A8	因为英语，它作业啊课程特别多。就感觉学日语，跟多要自己挤时间来学。
107	Z	那最后一个问题，就是不仅于这个五十音图这个软件，而是说你对课外使用日语学习软件的这个日语学习行为，你是一个怎么样的看法呢？
108	A8	我觉得最大一部分就是看你的兴趣嘛。比如说你对日语的兴趣啊，或者对日漫啊，日语歌曲这些的兴趣，会有影响。然后你也会想到，如果以后去旅游啊，或者干嘛，至少能知道一些东西，也是挺好的。主要是这些吧
109	Z	那你是不是觉得通过课外使用日语 APP 可以让你扩展更多的日语知识，这些东西呢？
110	A8	嗯，是的。
111	Z	那你觉得课外使用日语 APP 的好处在哪里？
112	A8	第一个就是经济上，你不用特地到专门机构去学。然后就是它比较方便啊，你随时都可以打开手机来学习。
113	Z	其他还有吗？
114	A8	暂时还没有。
115	Z	那你觉得它不足的那些地方呢？
116	A8	不足？
117	Z	就这样的学习行为不太好的地方。
118	A8	就是有可能你会三天打鱼两天晒网吧，就是有些东西你刚知道很新鲜，但是过了之后可能记不住。有些印象深刻的倒是能记住。
119	Z	好的，那其他还有不足的地方吗？
120	A8	好像没有什么不足了。
121	Z	那我这次采访所要问的问题就到此为止了，非常感谢你能参见我的这次采访。

インタビュー協力者 A9

番号	話者	内容
1	Z	那接下来我首先想问一下你现在是大几呢？
2	A9	大一。
3	Z	大一的后半学期吗？
4	A9	对。

5	Z	(個人情報が入っているため、公開できない)
6	A9	
7	Z	你现在是日语专业还是英语专业呢？
8	A9	英语专业。
9	Z	那大一的时候，就是还没有分日语专业英语专业的时候，你也在学日语的对吧？
10	A9	对，现在也在学。
11	Z	我想我十月份去做调查的时候，那个调查问卷里有个选项是，你用过什么样的学习软件。我看你里面给我答的有一个叫五十音图的这个软件你还记得吗？
12	A9	嗯。
13	Z	你可以简单跟我介绍一下这个五十音图是一个什么样的软件吗？
14	A9	他就是，就是那个界面进去就是五十音图。就是右上角可以点就是那个浊音，然后就是，你可以把两个都点出来的，就是假名那个。然后好像有一个地方还是，就是，就是你点进去就是单个的时候，然后你可以用手在上面写的。大概就是这样的吧，但是它那个只是练五十音的，其他的没有。
15	Z	好的好的。那我想问一下你在使用这个五十音图之前你有使用过其他的日语学习软件或者是其他的一些学习软件吗？
16	A9	没有。
17	Z	就这个五十音图是你第一你用学习软件，这种感觉对吗？
18	A9	嗯，日语的是第一次。
19	Z	那你其他的那个，之前有用过其他的什么软件吗？
20	A9	就是其他语言的吗？还是？
21	Z	可以，对可以。
22	A9	就是，英语用过百词斩，然后用过什么，有一个就是配音的。但是我不太记得名字了。然后，就是还有什么，就是看新闻的一些软件，不是学习性的吧。
23	Z	那那些软件的使用经验是不是影响到了你这次选择这个五十音图的这个，你觉得有没有什么关联呢？
24	A9	我感觉没有，因为那个主要是学英语的。然后日语的话是，就是同学之前，就是我之前是没有日语基础的嘛。然后他们就是学之前然后就发现这个 APP，说可以学一下五十音图，然后我就下了。因为它是只学五十音，那个时候我们也没有学其他的嘛。就觉得就是还可以的，这个软件。
25	Z	那也就是说别人推荐你去使用这个软件的吗？
26	A9	对。
27	Z	那个同学是你的室友吗？
28	A9	是的。
29	Z	那当时你是一个什么样的契机开始使用这个五十音图呢？你刚才说到一个契机可能是同学，室友推荐你，那其他还有什么因素让你开始使用这个五十音图呢？
30	A9	还有就是老师上课的时候，她就是，因为人也比较多嘛，你可能自己有些不懂的或者学不太好，就是不太会读的东西，就是也没有办法，就是马上解决啊。那个你回去自己听听看的话，就是会，就是比较，就是有点提高吧
31	Z	嗯。那当时你在下之前的话，你对它有什么样的期待呢？你期待它给你带来什么样的学习效果呢？
32	A9	期待就是。就是可以把五十音图学的比较好一点吧。就是那种读音，发音跟写的方式，可能，写的好看一点，然后就是读音能读对吧。因为老师说，就是刚开始学五十音图，比较重要嘛。就跟你后面的日语单词发音，有关联。

33	Z	那你当时我想你自己去下的时候，搜索的时候，也会看到一些其他类似的软件。那最后你是一个什么标准来选择了这个软件呢？
34	A9	当是下的时候，除了五十音图，还有一个标准日语，是我们那个，是跟我们学的配套的嘛。然后，但是因为我们当时，那个就是，刚开始学五十音图，就是学的比较慢嘛。因为我们那时候还没有分专业，所以就是那个标准日语，它是跟书连一起的嘛。然后就是后面才用的那个标准日语。所以前面的话就是用的五十音图。因为它那个，就是我们学五十音图，学了很长时间，然后用那个比较方便一点。
35	Z	嗯。那你当时，也就是说你当时是同时选择了几个，那个那个学习软件，然后在一起学的，这个状况对吗？
36	A9	对。
37	Z	好的，谢谢。那接下来呢？，我要问你一些使用期间的情况。
38	A9	好的。
39	Z	那你是在什么时候开始使用这个软件的呢？
40	A9	什么时候。就是刚刚学日语，要具体日期吗？
41	Z	就大概的一个日期，给我。
42	A9	就是十月初吧，就是开始学日语就开始用这个软件。
43	Z	那你当时使用的频率是怎么样呢？
44	A9	大概是两三天，两天，两天一次吧。嗯。
45	Z	那你具体的使用方式是怎么样呢？你是单独只使用这个软件学五十音图呢？，还是说你在课外还用了其他一些方法呢？
46	A9	就是，你是指只学五十音图，还是后面学课文也算？
47	Z	你在学五十音图的那个期间。
48	A9	那个时候就是大概就是，先看书本自己读一遍，然后跟，就是有一些不是特别会读的，然后看着它，就是它的那个 APP 有一些发音，然后就再跟着它写嘛。大概是这样子。
49	Z	那你在使用的过程中有遇到什么样的问题吗？
50	A9	就是它有一些那个，就是你自己写的那个时候，感觉不太方便嘛。然后写起来就很奇怪。然后有一些就是，就是读的话，我觉得读还可以，因为都是你点一个，它读一个。选择性比较强
51	Z	那除此之外还有什么让你觉得不太舒服的地方？
52	A9	除此之外，应该没有吧。因为它那个软件很简单的，就只有和五十音图有关嘛。所以感觉还好。
53	Z	那你觉得你使用之后的感受怎么样呢？
54	A9	感受我就觉得对初学者来说还是挺有用的吧。因为那个虽然后续，不太，就是有发展，但初学者的话记得还是挺牢的。
55	Z	那接下来我想问的是，刚才我问过你，就是你在使用之前对它有什么样的期待，那你就是使用了之后那他到了你的那些期待和你所以想的学习目标吗？
56	A9	我感觉就是没有特别达到吧。因为就是感觉，就是因为可能不是读的特别多嘛。就是你后面，我感觉就是在读单词的时候没有特别注重那个发音了。就是你读的时候，可能说只是说大概读对了就好了，就是没有注重你的发音到底要有多标准，这样的。
57	Z	那你是什么时候开始不用这个软件的呢？
58	A9	就是学完五十音图就不用了。
59	Z	那大概是什么时候呢？
60	A9	大概一个月以后吧，就是十一月初到中旬吧。

61	Z	那你刚才说它没有很好的达到你的预期效果。那你觉得就是这个，这个也是最后影响到你不用它的一个原因吗？
62	A9	一个是这个原因吧，还有一个就是后面学，就是课文的话，就是五十音图感觉去复习的不多了。因为就是要专注一些课文单词，背的也比较多。这样子的。
63	Z	嗯，好的。那你既然也用过了这个软件。你觉得你会推荐给其他人用这个软件吗？
64	A9	应该是会的吧。就是对初学者的话，如果是已经学过的就不一定会推荐了。
65	Z	那如果你要推荐给别人的话，那你觉得你会怎样推荐这个软件呢？
66	A9	就有可能跟他们说，就对那个日语的发音，然后就是五十音图，就是自己背可能会比较好。
67	Z	哦。好的。那接下来几个问题是关于你现在以及今后的一些使用情况的问题。那首先第一个问题就是说，你说你现在已经不在用这个软件了，那这个软件还留在你的手机里吗？
68	A9	没，已经删掉了。我不用就把它删了。
69	Z	好的。那你可以再和我解释一下你删它的原因吗？
70	A9	就是那个时候，就是因为刚刚学完，已经学完五十音图啦。然后就是开始学课文，然后不是要背单词嘛。刚好它那个跟课文配套的标准日语里面，就是有一些单词，还有课文里面的语法都有，然后就用那个软件。然后五十音图就是学完的话，我看它不用了，然后就把它删掉了。因为那个标准日语里面，就是前面，它也有五十音图。就是这样子。
71	Z	就类似于你五十音图学完了，你要学的更深入的时候，这个达不到你的一些期待，然后你就把它给删了这种感觉吗？
72	A9	对。
73	Z	哦，好的。接下来这个问题就是，你用这个你对这个五十音图的评价是怎么样的呢？
74	A9	评价。如果十分的话，给他打八分吧。
75	Z	十分的话打八分。那你扣掉的那两分的因素是哪里呢？
76	A9	因为大概就是，怎么说，因为它学习，本来五十音图就比较枯燥嘛，一个就是比较乏味，就是要看你自己想不想要去打开软件，还有一个的话，也是大概没有达到我的期望吧。就是这样子。不够吸引我，我觉得是。
77	Z	那刚才你是以十分的标准来打的，那我现在就是说以五星的标准来打的话，你给它打几颗星呢？
78	A9	三颗星吧。可以打半吗？
79	Z	可以。那你扣掉那一点半的星的话，就是你刚才说的那些理由吗？
80	A9	对对。
81	Z	好的。那接下来这个问题就是，你使用过这个五十音图的这个经历，会影响到你去使用其他的一些软件吗？
82	A9	不会吧，我觉得每个软件都不一样。就是它，现在学习软件特别多，每个软件都有它的特色嘛。不会影响，应该不会影响。因为我下软件特别多，就是不会因为一个软件影响另一个软件。
83	Z	嗯。好的好的。那接下来就要问最后的一个问题。那这个问题就不仅仅只限于五十音图这个软件，而是说你对课外使用日语学习软件的这样的学习行为的看法是什么样的？
84	A9	我觉的还是有帮助吧。因为有些时候它上课的时候，有一些单词或者就是这种句子，就是老师上课的时候，他不可能讲的非常细，然后他读完了你也不知道，就是有一些不会读的，就是到底怎么读。就是课外学习，第一个的话，对于你自己提升还有一些就是，就是语音还有就记是单词方面有点提升。或者说我觉得有些软件，它设计比较有趣嘛，然后就是你可能学的时候，如果你挺感兴趣的话，大概你的就是，对这种，对这个语言的兴趣可会提升一点，大概会更想学一点吧。就是这样子。
85	Z	好的。那我想问一下你觉得它的优点在哪里？

86	A9	你是指课外学习的软件吗？
87	Z	对。在课外使用手机学习日语的这个行为。
88	A9	第一的话就是比较方便嘛，因为书比较大，有些时候。第二个是，可以就是听，我觉得最重要的就是听吧。因为就是觉得学习外语的话，其实因为我们就是不是外国人，就是发音可能都不是特别标准，就是你可以听它的发音。第三个的话，我觉得就是可能对你的兴趣也有一点影响吧。就是这样子。
89	Z	就是可以扩展你的兴趣，丰富扩展你的知识，这种感觉吗？
90	A9	对。
91	Z	那你刚才讲到了优点，那你觉得它的缺点在哪里呢？
92	A9	缺点就是，就是你要看它 APP 的设计，有一些无聊，不会引起我兴趣，我可能就不会特别想用它。然后有一些就是，能就是，它的，因为它的那个设计，就是可能我有觉得它太简单了，不会想去，太难了，我也不回想去。就是很难达到就是，能刚刚好跟你适合的这个难度。就是这样子。
93	Z	也就是说难以选择你自己想，就是很难找到你心仪的那些软件。这种感觉吗？
94	A9	对，就是很难找到跟你的水平恰当的软件。
95	Z	哦，好的。那其他还有些缺点或优点吗？
96	A9	可能有一些软件就是，界面做的比较简单，丑的话，我也不太会想用。然后就是有一些功能性比较多的话，可能就是选择比较多。但是，有一个不好的就是，功能比较多，就是有可能，就是会，就是，光关注其他功能，对学习那方面不太有影响。就是，大概这样子吧。
97	Z	好的，好的。那这次采访的内容就到此为止了。非常感谢你能够参加我的这次采访。

インタビュー協力者 A10

番号	話者	内容
1	Z	那我从现在开始采访。首先我要问一下你现在是大几呢？
2	A10	我，我大一的。
3	Z	是大一的后半学期吗？
4	A10	对。
5	Z	(個人情報が入っているため、公開できない)
6	A10	
7	Z	
8	A10	
9	Z	好的。你现在是什么专业呢？
10	A10	日语专业。
11	Z	好的。我十月份的时候，去工大做调查，做问卷调查的时候。那个问卷里面有个选项是，你用过什么样的日语学习软件。然后你给我答的那个问题里面有，回答里面呢？填了一个五十音图这个软件。不知道你还
12	A10	有，那是刚开始学习的时候，就，就下载了一个那个软件。然后现在没用了。
13	Z	那我要问的就是关于这个软件的这个事情。这个软件的这个情况。那想请你给我介绍一下这个五十音图是个什么样的软件？
14	A10	它主要是那个，教你怎么写吧。先开始接触那个五十音图，不知道怎么写。然后它就有那个，它有发音，然后也可以那个笔画，笔顺的那个。然后就是那个，学姐介绍的。就下了一个。
15	Z	那我想问一下你在使用这个五十音图之前有用过一些其他的软件啊吗？学习软件之类的。
16	A10	好像没有。就是，没有没有，就是这个。

17	Z	那你是一个什么样的契机让你开始用这个软件的呢？
18	A10	就是专业吧，专业，然后学习，就学这个。就是那个，学姐介绍，说这个挺好的，对基础学习日语比较好。然后刚开始进入的话，就下载了一个。
19	Z	那你自己去下的时候我想你也应该看到有一些其他类型，或者同类型的软件。那当时你为什么就选择了这一个呢？
20	A10	选这一个？
21	Z	或者说，学姐就推荐了你这一个吗？
22	A10	推荐了有其他的。因为才，就是零基础进入，然后不太懂。然后就不太知道有哪些软件，然后就说这个刚开始嘛。然后就这个，也没有查其他的软件。然后看一下，然后这个软件用的人好像比较多的，然后也就选了这个。
23	Z	好的。那我在想，就是你在下这个软件之前，应该对它有一个希望它给你带来什么样的效果，这样的一个期待。你在下它之前，对它有什么期待呢？
24	A10	期待就是希望能够会写五十音图，然后会发音。就是那个吧。就是发音准确。这方面的。
25	Z	那接下来几个问题呢？是关于你在使用期间的问题。首先呢？，我要问一个，就是你什么时候开始用这个软件呢？
26	A10	大一上的时候，刚开始的时候就用的这个。
27	Z	那具体是一个什么时间呢？
28	A10	就是 2017 年 9 月 17 号，那个时候开始的。
29	Z	那当时你是怎么样的频率在用这个软件呢？
30	A10	你能不能重复一下？
31	Z	当时你是怎么样的频率在用这个软件？
32	A10	频率，就是。每天几个几个地过吧。就它不是有闯关的嘛，一轮一排，然后五个的那个，然后就每一天，每一天或一天到两天的时候就轮一下。也不太确定，就是闯关，闯了两三关，有的时候就放下了。因为课比较少然后比较难。
33	Z	那也就是说当时使用的频率是比较高的，这个感觉对吗？
34	A10	还算是吧。
35	Z	那你当时具体的使用方法是什么样的？你是单独只使用这个学习软件呢？，还是说你用了这个学习软件，还会去写啊，干什么的？
36	A10	也会写。当时老师也在教嘛，然后就，老师们发的也有那些视频啊。然后什么 bilibili 啊，然后就看啊，看就是那些相关的那些动画啊。然后也会有单词啊，我们就开始教那个，也会记，也会开始那个写。
37	Z	那我接下来问一下，你在使用过程中有遇到什么问题吗？
38	A10	问题的话就是，发音不太。就是可能根据地方性的不同，然后就发不太准确。我那个鼻浊音啊什么的，就感觉发的音有点分不清楚。
39	Z	那你觉得用这个软件用的不太顺畅的是什么呢？
40	A10	不太顺畅的地方。太单一了吧。就只是五十音图，就感觉好像就没有什么其他的。
41	Z	那接下来我要问一个问题，就是刚才我问了你在用之前对它有什么期待。那你在用了之后，你觉得它达到了你当时的那些预想吗？
42	A10	算是达到了吧，因为其实也是当一个辅助吧。因为毕竟还是靠老师这边教，自己也练习啊，练习下来的。所以应该效果还是有的。
43	Z	那你刚才说到辅助这个词，那它作为一个辅助的一个手段，你觉得它达到了你要的效果吗？
44	A10	对，达到了吧。

45	Z	那接下来这个问题就是，你自己也用过了这个软件。你觉得你会向身边的那些人推荐这个软件吗？
46	A10	推荐的话，到目前好像没有推荐过，因为周围，周边的同学们，都好像，都有好像有一些就是那个，跟我不一样水平。就是他们之前可能接触过了，用的可能不一样。所以就没有那个。
47	Z	那假如说是你的那些后辈啊，你会去推荐他们吗？
48	A10	那当然会的，因为如果完全没有基础的话，我觉得这个还是可以的。就是这个像拼音一样嘛。所以我觉得会推荐的。
49	Z	你如果推荐给他们的時候，你会怎么推荐呢？
50	A10	就，就讲这个。我觉得我应该会把它比作那个就像我们学拼音一样吧，就是学语言，先想要学好日语，可能需要发音准确啊。就先把它练好，就比较好。就这样。
51	Z	好的。那接下来这几个问题是关于你使用之后还有一些是现在的一些情况。首先的一个问题是，你现在还在用这个软件吗？
52	A10	现在没有了。现在没有了。
53	Z	已经把它卸载了吗？
54	A10	对，已经卸载了。
55	Z	你，就是不用它的是什么时候呢？
56	A10	上个学期结束吧。
57	Z	那具体是一个什么时间呢？
58	A10	具体时间。一月二月份的那个時候，差不多。
59	Z	嗯。那我想你刚开始用的时候，使用的频率是比较高的，那你学完那个五十音图之后，你的那个，那个使用频率可能就慢慢的降低。那这个过度的时间段大概是什么时候？
60	A10	大概是在十二月份，十一月份左右吧。因为那个时候，我，就是五十音图什么，都已经基本上知道了。都在接触一些短语啊，就是句子啊，就没太用它。
61	Z	就类似于你学完五十音之后，你就觉得可能不再用它了对吧？
62	A10	对。
63	Z	那你之后，慢慢频率降低以后，你用它的原因是什么呢？
64	A10	问题能在讲一下吗？
65	Z	就是那个你先开始每天都会用，你学完五十音后，五十音之后，虽然是就是，就是不怎么用了，但是，有时候还是会用它的对吧？
66	A10	那个时候会。现在没用了。
67	Z	那我问的就是那个时候。那个时候就是你基本不用的时候，你用它的原因是什么？
68	A10	原因就是认识五十音图，然后会发音啊，会写啊。
69	Z	我知道，对对，已经学完了五十音了。我说的是，学完五十音之后。
70	A10	那个时候是为了巩固吧。
71	Z	嗯，嗯，就是要复习的这种感觉对吧？
72	A10	对。
73	Z	嗯。好的好的。那接下来的一个问题就是，你对这个五十音图的评价是怎么样的？
74	A10	评价的话，我觉得它对那个完全，就是初学者比较好。然后对，就是慢慢的开始接触，然后全都，就是开始可以对话的程度的话，我觉得就没有必要，就是用了吧，就觉得是那种。有时候，有时候还是发音不准，可以，也可以巩固，复习的时候也可以用，就是对那个初学者很好。
75	Z	那我想问一下如果是五星级来评价一个软件的话，你给这个软件打几颗星呢？
76	A10	如果是初学的话，我给五星级吧。但对现在的我们来说，就是没必要的话，就四颗星，三颗星也可以。

77	Z	就是当时你刚学完五十音图的时候，你给它打分的时候，会打五颗星。如果你学完之后，你到你现在这个阶段，你可能给它的评价就会降到四颗星，三颗星。这种感觉？
78	A10	是的。我觉得应该是这样的。
79	Z	那你现在这个阶段给它打三颗星，或四颗星，你给它剪掉这一两颗星的原因是什么？
80	A10	原因就是那个，我们就是基本的发音，然后写啊，都知道了，所以就没有必要去那个了。就是没有必要，就是再去花时间去一个一个一个地发音，然后一个一个一个地写。所以我就觉得，对于，就不太需要了吧。反而倒是有一点浪费时间，基本上你都知道内容了。
81	Z	好的。那接下来这个问题是，你使用了这个五十音图的使用经历会影响到你去使用其他软件吗？会影响到你接下来去用其他的软件吗？
82	A10	会吧，就是通过它之后，然后应该会学习其他的比较，就是教你日常的会话啊，什么那种软件。就会换成这种。
83	Z	就是类似于，就是它虽然是初级的，你学了它之后，它的那个初级的功能完成了，你就会想着要去学更多的，更深入的东西？
84	A10	对。
85	Z	那最后一个问题就是，不仅限于这个五十音图，而是就是一个整体的看法，就是对课外使用日语学习软件这个学习行为的看法是怎么样的？
86	A10	我觉得这个，我觉得很必要有一个这样的。就单单的学习日语的话，就很枯燥。然后你有一个什么手机软件啊，然后就可以增加自己的兴趣，兴趣感嘛，然后就比较更加的喜欢吧。所以就，我觉得蛮支持的。
87	Z	你觉得它的优点是什么呢？
88	A10	优点就是那个，娱乐性比较强，然后就知识的话，就是可以更加的有印象嘛，更加有印象的那种感觉。
89	Z	还有其他的呢？
90	A10	其他的。应该是更容易吸收吧。更容易吸收知识，然后就没有那么，压力感存在。
91	Z	那刚才问了一些优点，那不足或者说缺点在哪里呢？
92	A10	缺点，软件吗？手机上下载的那些吗？
93	Z	就是你觉得你在课外用软件学日语这个，在课外你自己去用软件学日语这个，这个。
94	A10	这个缺点就是，在用手机的时候会被其他的那些什么，其他信息干扰。就会长时间的就会，有时候会被搁置住，就会就不坚持吧，就容易放弃一段时间。然后又想着又容易把它搁置在那个地方，有时候就会。
95	Z	还有其他的一些学点吗？
96	A10	缺点，我觉得应该没有了吧。我觉得它的优点大过那个缺点。
97	Z	那我采访的内容就到此结束了。非常感谢你能参加我的这次采访。

インタビュー協力者 A11

番号	話者	内容
1	Z	那首先我想问一下你现在是大几呢？
2	A11	我是大一。
3	Z	大一后半学期对吗？
4	A11	对。
5	Z	(個人情報が入っているため、公開できない)
6	A11	
7	Z	

8	A11	
9	Z	我想问一下你现在是什么专业呢？
10	A11	我现在是日语专业。
11	Z	那现在我就要问一些关于采访的问题了。
12	A11	好的。
13	Z	十月份的时候我去工大做过调查，调查问卷里面有一个问题是你用过什么样的日语学习软件，然后我看你答的里面有写五十音图这个软件，你还有印象吗？
14	A11	嗯嗯，我记得的。
15	Z	你可以跟我简单介绍一下这个五十音图是个什么样的软件吗？
16	A11	这个五十音图软件，它就是当时一开学的时候，主要是，就是，主要就是介绍五十音图，除此以外的功能并没有太多。然后五十音图，它，学长是想了解它的，它是以什么方式来学习五十音图，还是怎样？
17	Z	就是你简单介绍一下它有什么样的功能，它是主要来学什么的。类似于这些东西。
18	A11	它就是把五十音图书写的顺序，还有记忆方法，给罗列出来，比如说用一些例句来展示这个音它是怎么样使用，然后用一些那种图片或者是，类似空耳的形式来记忆这个音，然后书写方式也罗列出来，大概就是这几样。然后其他的没有什么了。
19	Z	那接下来我想问一下你在使用这个五十音图的软件之前有用过日语学习软件或其他的学习软件吗？
20	A11	用过，有一个也是类似五十音图的记忆，但是它的记忆方式就是类似于日语的输入法在手机上的界面的那种形式，就是主要的音节，然后在分别衍生出四个不同的音。然后用这种方式，每次点击的时候就播放一下它的那个声音。但是我觉得没有我之前我在调查问卷上提到的那个比较好，那样的好用。
21	Z	那你之前用的那个软件叫什么名字呢？
22	A11	是高中时期，我去看了一下日语的时候使用的，我不是很清楚了。等下我可以挂断之后查一下。
23	Z	好的。那就类似于你高中时候使用的那个日语的软件的这个经历是不是影响到了你开始使用这个五十音的软件呢？
24	A11	意思是有没有影响到我现在用的这个软件的这种感觉吗？
25	Z	对。
26	A11	有一点吧，因为第一次开始接触总是印象比较深刻，但是不同的软件它使用，体验感觉，我觉得区别是挺大的
27	Z	那你之前说它没有你用的五十音图用的好。那是不是因为它用的不太顺畅所有才导致你去用这个五十音图软件呢？
28	A11	应该是这样说的
29	Z	那我想问一下你是以一个什么样的契机开始用这个五十音图的软件的呢？
30	A11	契机肯定很简单，因为我的专业是日语专业，然后老师要求记，反正背记五十音图的时候，我肯定想到用手机或者其他什么来学习一下，然后就去找了呀，这个软件，这样子。
31	Z	是你自己去找，不是说别人推荐你的吗？
32		(通信不良)
33	Z	我刚才问了一个问题，你是自己去找了这个软件还是别人推荐你的呢？
34	A11	嗯，我是自己找的。
35	Z	那我想你在去找的时候也会发现有些同样类型的日语学习软件。那你在选择这个五十音图的软件的时候的标准是什么呢？是一个什么样的东西吸引了你呢？

36	A11	是这样的，我下载应用软件的时候，首先看它的功能介绍，就是它的文字说明，然后它的文字说明比较。
37		(通信不良)
38	A11	不好意思，这个网不太好。就是通过，简单的说吧，就是通过它的图标，设计感啊，还有它的文字说明是不是配的比较齐全，这样子，我就觉得就是通过这些东西看它是不是做的用心吧。然后就会去。
39	Z	嗯。那当时你在使用之前你对它有什么期待呢？，你期待这它给你带来什么样的学习效果呢？
40	A11	可能我的的学习目的是学习五十音图，我除了希望他能让我很快很好地把五十音图记全之外，还希望它能在其他功能，比如在背单词背句型，其他更多的学习内容上也有帮助。
41	Z	那当时你在选择下载这个日语学习软件的时候，你是同时下载了几个日语软件，还是只下了这一个呢？
42	A11	我同时下了几个，然后经过一点体验之后，留下了这一个。
43	Z	就是最后只留下了这一个对吗？
44	A11	嗯，对。
45	Z	那你删掉其他的那些的原因是什么呢？
46	A11	就是好几个软件同时体验之后，其他的软件制作比较粗糙，然后内容比较少，或者是它的那种软件可能会闪退之类的。所以我就把它删掉了，只留下这一个。
47	Z	嗯，好的好的。那接下来我想问的就是关于你使用期间的一些情况。那你是在什么时候开始使用这个软件的呢？
48	A11	是在去年入学十月份开始，就是在开学，日语课开始上课之后，就是正在学五十音图的那个期间，这样。然后我们进入新的学习阶段之后，这个软件就没有再怎么用了。
49	Z	那你说你是在进入新的学习阶段就没怎么用了，那大概是个什么时候你不开始用的呢？
50	A11	大概是我们现在的那个教材标日，它的五十音图学完之后，开始上第一课那个时候，就用的比较少了，因为也记全了，因为它的功能也就是记五十音图，比较单一所有就没有再用了。
51	Z	那你在用的时候你是以一个什么样的频率在用的呢？
52	A11	白天上课，然后在中午闲暇的时候，或者是晚上准备睡觉之前，就打开来使用一下。
53	Z	那个时候基本上每天都在用这个软件吗？
54	A11	嗯，对，每天都记，每天都经常使用。
55	Z	那你具体的使用方式是怎么样，就是单纯只用这个软件在学呢？，还是说有配套的在用其他方式在学呢？
56	A11	因为它的功能是书写，书写顺序还有发音。所以说用的时候一边跟着发音一边用笔写。
57	Z	哦，好的。那我再想问一下，你在使用的过程中有遇到什么样的问题吗？或者说有遇到什么不太舒服的地方吗？
58	A11	因为我是同时下了好几个，留下了这一个，所以我对它的一些功能都是比较满意的。唯一就是有一点遗憾的就是，它就是单一的仅作为一个五十音图的学习软件来使用，并没有拓展其他的功能。然后它的那些记忆的方法呀什么的，都还是非常的厉害的，我觉得。当然每个人记忆的习惯不一样，它大部分是让我中意它的记忆方式，也有少数的，极少数的部分它的那种记忆有点不恰当，但是这是每个人的体验都是不一样的。
59	Z	那你说有极少部分的记忆方式让你不太喜欢，那那些极少的部分具体指什么样的情况，你可以和我说明一下吗？
60	A11	比如说记某个音的时候，它是空耳成另外一个单词，那我觉得它不是很符合那种感觉，就是比较牵强，那我可能不容易记下，可能我就要自己去寻找其他方式去记下这个音，是这样的。
61	Z	我刚才没有听清楚，你可以再跟我解释一下吗？

62	A11	嗯，好的。就是在记某一些音的时候，我觉得它的那种记忆方式有一点牵强，就是不容易让我记忆深刻，所有说我得自己去想一个方式，或者某个词来记忆这个音。
63	Z	好的好的。那我想我刚才有问你在使用之前对它有什么样的期待的这个问题，那你觉得你在使用之后，它达到了你预期的效果吗？
64	A11	嗯，我觉得是达到了。因为它大部分都是非常有效的促进了我当时的记忆的，就是程度还有有速度。
65	Z	那你使用之后的感受是怎么样呢？
66	A11	我肯定是非常感谢这个软件给我带来的帮助，然后也关注了一下这个制作的这个，这个制作者，然后发现他好像没有其他的那种，其他类型的软件可以使用。然后就比较遗憾吧。
67	Z	那假如说你发现了这个作者做了些其他的软件的话，你是不是也有可能就会再去下载其他的那些软件呢？
68	A11	嗯，对的。因为它就是，就像是那种小说，小说家写了好的小说，你肯定关注他的下一部作品之类的感觉。
69	Z	哦，原来如此。那现在你使用过之后，你会去推荐其他的人去用这个五十音图的软件吗？
70	A11	嗯，会推荐，然后之后我的室友她们也下载了这个软件，都是基本上大家好几个同学都用了这个软件来学，都挺好的。
71	Z	那那些室友是你推荐他们使用的吗？
72	A11	有我推荐的，也有她们自己找到的这个软件。
73	Z	哦，好的，那假如说你要去推荐这个软件，你会怎样去推荐它呢？
74	A11	就是，我们都有共同的目的学习这个五十音图嘛，所以我肯定首先跟他说，这个促进了我的学习进度，所以也推荐他试试看，然后他试了之后也会知道它的某些好处，所以就推荐成功了。
75	Z	那接下来几个问题是关于你现在和今后的使用情况的一些问题。那首先我想问一下，你刚才也说了，你学完五十音图之后就不用了。那你现在这个软件还在你的手机里吗？
76	A11	没有了，因为我现在已经到了大一下学期，五十音图的记忆已经比较熟悉了。然后功能，也因为它的功能太单一，所以留在手机里面，用处不大，我就把它删除了。
77	Z	哦，原来如此，就是类似于你觉得它已经完成了它的功能了，所以你就不再使用了吗？
78	A11	嗯，对。
79	Z	那我现在再问一下，你对这个五十音图的评价是怎么样的呢？
80	A11	我的评价是它非常优秀。因为它真的是依照中国学生，中国人的那种思维习惯，来很快的记忆了这个五十音图。效果很好。
81	Z	那我想如果以五星的标准来评判某个软件的话，你给这个五十音图的软件打几星呢？
82	A11	四星半吧。
83	Z	那四星半的话，要减掉零点五星，那你是在那个方面去减掉它的这个零点五星呢？
84	A11	很大程度是因为它就是，特别让人遗憾的是它的这种软件的学习方式非常优秀，但是它仅仅真的只能用来记忆五十音图，再也没有其他方面的拓展，所以就是说减掉了这半颗星。
85	Z	那你用了这个五十音图的体验会不会影响到你接下来去使用其他软件呢？
86	A11	可能是有一点影响的。因为我可能会不由自主的去比较一下两个软件的优劣。
87	Z	那然后你比较了两个软件的优劣之后，你会具体去怎么做呢？
88	A11	比较之下肯定会，就是本来如果说没有使用这个五十音图，那我下其他的软件可能只是单一地从它给我带来的体验和观感来做评判。但是在使用了那个五十音图之后，因为那是一个优秀的软件，所以说在使用其他软件之后，可能其他软件的体验感，就然我就没有单纯只使用它的那种感觉那么好，因为是有那种比较了嘛

89	Z	哦，原来如此。那接下来我要问你一个最后的问题。那这个问题就不只仅限于这个五十音图软件，而是说你对课外使用日语学习软件这样的一个学习行为的整体看法是怎么样呢？
90	A11	我觉得这个肯定，我个人因为也有这样的行为，所以说我是非常看好的。因为现在人人都是使用智能手机，智能手机普及的时代，这作为一种非常有利的武器和资源，必须利用起来才能体现它的价值，我是这么认为的。
91	Z	你觉得这个学习行为的优点在哪里呢？
92	A11	它能最大化地利用你现在生活之中的各种零零散散的碎片的时间，这就是效率非常高，然后因为它操作又便捷，不需要带着额外的东西，只需要拿着手机就可以达到一个学习的目的。所以说我觉得它优势很大。
93	Z	那你觉得其他的优势还有吗？
94	A11	就是，它的时间，主要还是时间问题。它除了提高了学习的效率，利用了很多很多零散时间之外，它也没有顾及这个时间，它的那个，怎么说，就是白天和晚上，无论你那个时间段，你都能学。因为你不需要灯，也不需要其他东西。你只要打开屏幕就可以学。所以说那种局限性很小。
95	Z	那我刚才问的是好的方面，那你觉得它的不好的方面有什么呢？
96	A11	首先，从身体健康来说，老对着手机屏幕肯定是不健康的。然后就是，因为它是安装在手机上，你老是对着手机的话，你肯定会不由自主打开其他东西。因为就会造成一个滥用手机，对手机产生依赖的一个情况出现。这可能是不好的地方。
97	Z	嗯，好的好的，那我这次采访的问题已经全部问完了。非常感谢你能参加我的这次采访。

インタビュー協力者 A12

番号	話者	内容
1	Z	那我们现在开始采访可以吗？
2	A12	可以。
3	Z	首先我要问几个问题，第一个你现在大几呢？
4	A12	大一。
5	Z	是大一后半学期对吗？
6	A12	对的。
7	Z	(個人情報が入っているため、公開できない)
8	A12	
9	Z	你现在的专业是什么呢？
10	A12	英语专业。
11	Z	那你在上半学期的时候一边学英语一边学日语对吗？
12	A12	是的。
13	Z	嗯，好的。那接下来我就要问一些采访的问题。十月份我去工大做调查的时候，那个调查问卷里面有一个选项是你用过什么样的日语学习软件，然后我看你当时的问卷里面有回答五十音图这个软件。请问你还记得吗？
14	A12	我还记得，现在已经不用了。
15	Z	那你可以跟我简单介绍一下这个五十音图是个什么样的软件吗？
16	A12	就是提供些发音啊，然后怎么写，然后还有些巧记的办法。

17	Z	其他就没有了吗？
18	A12	差不多就这些吧。
19	Z	嗯，好的。那你在用这个五十音图软件之前，你还用过其他的日语学习软件或其他的学习软件吗？
20	A12	就是那个书配套的。
21	Z	这个是在五十音图之前用的吗？
22	A12	不是，是开始学习那个具体的单词啊，然后句子语法什么的时候开始的。
23	Z	也就是说这是在使用五十音图之后才开始使用的是吗？
24	A12	是的。
25	Z	那我刚才那个问题是你在用这个五十音图之前有用过其他的一些软件吗？不一定是日语的软件。
26	A12	并没有。
27	Z	那你是一个什么样的契机让你开始使用这个五十音图的软件的呢？
28	A12	因为不是说要学日语嘛，就先准备一下嘛。
29	Z	是你自己去下载的吗？还是别人推荐你的？
30	A12	是的，是我自己想下载的。
31	Z	那你当时自己去下载的时候肯定会去搜索，那你搜索的时候，肯定也会见到一些同类型的一些日语学习软件。那当时你为什么你选择了这个五十音图的软件呢？
32	A12	因为觉得它学习比较简洁嘛，然后感觉使用也比较方便，比较适合自己。
33	Z	你说的这个使用方便主要是指哪些方面呢？
34	A12	就是界面比较清晰吧，然后操作也很简易，主要功能也比较明显，就是读音这些。
35	Z	嗯。那你当时是同时下了几个软件，还是说就下了这个软件呢？
36	A12	就两三个吧，其实也差不多吧。
37	Z	那你这个同时下了两三个软件，你比较了之后觉得你最后比较心仪的还是哪个软件呢？
38	A12	就是那个叫五十音图。
39	Z	那和你下的其他两个软件比较有什么好的地方呢？
40	A12	就是它提供了巧记，就是联想记忆什么的。
41	Z	其他还有吗？
42	A12	就这些吧。
43	Z	那我想你当时去下这个五十音图的时候也应该对它有一个期待，就是期待这个它给你带来一些学习效果。那你当时期待着它给你带来什么样的学习效果呢？
44	A12	就是比较快的可以记住吧。最好有一点乐趣。
45	Z	还有吗？
46	A12	没有了。
47	Z	接下来几个问题是，关于你在用这个五十音图的软件期间的一些问题。首先我想问一下你是什么时候开始使用这个软件的呢？
48	A12	就是暑假的时候就知道了要学习日语嘛。然后自己就开始先准备一下，就开始学五十音图。
49	Z	就是暑假的时候，就是类似于你进大学之前，9月份之前，就已经开始使用这个五十音图的软件了对吗？
50	A12	是的。
51	Z	那当时你是以一个什么样的频率在用这个软件的呢？

52	A12	频率就两天差不多吧。记不太清。
53	Z	那你具体的使用方式是怎么样的呢？你是单独只使用了这个软件呢？，还是说一边用这个软件，然后一边自己写啊干什么的？
54	A12	也会在本子上写一写吧。我觉得写下来可以帮助记忆吧。
55	Z	那你前面也讲到你同时下了几个软件，当时就是类似于，你一边用这个五十音图，一边也用着其他的软件吗？
56	A12	差不多刚开始用就选择了这个吧。
57	Z	好的好的。那你在使用的过程中用遇到过什么样的问题吗？
58	A12	没有。
59	Z	那有没有然你觉得使用不太顺畅的地方呢？
60	A12	挺好的吧。总体上。
61	Z	那我刚才问了你在用之前对它的一些期待，那你觉得使用了之后它达到了你期待的学习效果吗？
62	A12	还行吧。
63	Z	那这个还行的话，具体指它达到了还是没达到呢？
64	A12	达到了吧，在开学之前就把它记齐了。
65	Z	就类似于你在正式开始上日语课之前，就已经把那个五十音图记好了，这种感觉吗？通过这个软件。
66	A12	是的。
67	Z	好的。那你觉得你用过了这个五十音图的软件之后，你会像身边的那些朋友推荐这个软件吗？
68	A12	大家都有自己的选择吧。我不会特别去推荐。
69	Z	那假如说你的后辈问你有什么，那个，那个，软件的话。你会去推荐它吗？
70	A12	会的。
71	Z	那你如果推荐的话，你会怎么推荐这个软件呢？
72	A12	就是从它的实用性吧。然后操作性，以及最主要的效果。
73	Z	哦，好的好的。那接下来最后几个问题呢？，是关于你使用之后，包括现在的一些情况。那你刚才说你已经在不用这个五十音图的软件了。你是什么时候开始不用这个软件的呢？
74	A12	是不用的时候吗？
75	Z	对。你什么时候不用这个软件的呢？
76	A12	我掌握了以后就不用了。
77	Z	那大概是什么时候呢？
78	A12	就开学前吧。
79	Z	也就是说你在开学前就把这个软件删了吗？
80	A12	还没删，还在用。
81	Z	就你开学之后还在用这个软件吗？
82	A12	并没有。
83	Z	那你大概是什么时候删了这个软件呢？
84	A12	就是等自己掌握了以后，等一两个星期。
85	Z	不好意思我没有听清楚，你可以再讲一遍吗？
86	A12	就是掌握了以后然后等了一两个星期，然后发现真的记牢了，然后就不用了。

87	Z	你那个不用指的是就把它卸载的意思吗？
88	A12	没有卸载，但也没有去使用。
89	Z	那你现在这个手机里，还保存着这个软件吗？
90	A12	嗯，是的。
91	Z	那你为什么还会把它保存在那里呢？
92	A12	因为手机内存够用。
93	Z	就这么一个单纯的原因吗？
94	A12	嗯。
95	Z	好的好的。那接下了这个问题就是，你在使用了这个五十音图之后，你对它有什么样的评价呢？
96	A12	评价，各方面都挺好的，如果可以提供一些比如说主题什么的，让它看起来更舒服一点
97	Z	那假如说以一个五星的标准来评判一个学习软件，你给这个五十音图打几分呢？
98	A12	100 分的话 80 分吧。
99	Z	我刚才说如说是五星的标准的话。
100	A12	五星的话，应该是四星吧。
101	Z	那最后给它扣掉的那颗星是在哪方面呢？
102	A12	就是界面应该可以自己选择，不是单一的颜色吧。
103	Z	那你给它四星的地方，是给的哪些部分呢？
104	A12	就是它的实用性，操作性，效果。
105	Z	好的好的，那接下来这个问题是，你使用这个五十音图的经历会影响到你今后去使用其他软件吗？
106	A12	会的吧，有好多软件还是会给我们提供很多方便。
107	Z	可以这样理解吗？就是你在学五十音图的时候你用了这个软件你觉得比较方便，然后你觉得接下来学其他的东西的时候，用软件也会比较方便，这样的感觉吗？
108	A12	嗯，是的。
109	Z	嗯，好。那最后一个问题就不限于这个五十音图的软件，而是说你对课外使用日语学习软件这个学习行为，你的整体看法是什么？
110	A12	应该是支持的吧，因为自己有的时候也不是很懂嘛。就是可以提供一些帮助。
111	Z	那你觉得它的有点在哪里呢？
112	A12	有点就是可以自己一个人学习吧。
113	Z	其他呢？
114	A12	就是不用老师也可以自己学习。
115	Z	那你觉得他的缺点又在哪里呢？
116	A12	有点跟缺点差不多，就是老师提供的会更加详细，有时候也会引申一些。
117	Z	但是用软件学的话，它的内容就会比较，比较。。
118	A12	笼统吧，就是也不会那么细致。
119	Z	那我这次采访的问题就到此结束了。非常感谢你能够参见我的这次采访。